

発 刊 登 録 番 号

11-B553448-000053-01



日帝強制動員被害者支援財団 翻訳叢書 12 口述記録集

逃げるって？ 憲兵が銃を持って 監視しているのに

日帝強占下強制動員被害真相糾明委員会 | 編
日帝強制動員被害者支援財団・日本語翻訳協力委員会 | 訳



日帝強制動員被害者支援財団

発 刊 登 録 番 号

11-B553448-000053-01



日帝強制動員被害者支援財団 翻訳叢書 12 口述記録集

逃げるって？ 憲兵が銃を持って 監視しているのに

日帝強占下強制動員被害真相糾明委員会 | 編
日帝強制動員被害者支援財団・日本語翻訳協力委員会 | 訳



日帝強制動員被害者支援財団

日帝強制動員被害者支援財団 翻訳叢書 12 口述記録集

逃げるって？ 憲兵が銃を持って監視しているのに

初版 1刷 印刷 2001年 12月 20日

初版 1刷 発行 2021年 12月 20日

韓国語版編著 日帝強占下強制動員被害真相糾明委員会

韓国語版発行 2006年 10月 31日

日本語版発行人 金容徳

日本語版発行所 日帝強制動員被害者支援財団
ソウル特別市鐘路区鐘路ギル42利馬ビル6階
<http://www.fomo.or.kr>

翻訳 日本語翻訳協力委員会

翻訳にあたり、訂正、追記した個所がある。訳注は〔 〕で示した。

最終監修 玄明喆 (韓日関係史学会 前会長)

発刊登録番号 11-B553448-000053-01

デザイン・編集 Design21

本書の全部または一部を無断で複写複製(コピー)することは、
著作権法上での例外を除き、禁じられています。



目次

発刊の辞(日本語版)	004
発刊の辞(韓国語版)	006
解題	008

山口県 / 017

金甲得(キム・カプトク) 炭鉱が海の底に入り込んでいるんだ [沖之山炭鉱]	019
金東業(キム・ドンオプ) 天命で生き延びたんだ [本山鉱山]	037
朴丁出(パク・チョンチュル) 捕まって行くのに何ができる! [炭鉱]	053

兵庫県 / 073

関丙珠(ミン・ビョンジュ) ちいさな握り飯ふたつしかくれない [久保田鉄工]	075
崔炳淵(チェ・ビョンヨン) 引率は高等係刑事がした [川崎重工業造船所]	091

神奈川県 [日本鋼管鶴見製鉄所] / 117

朴來鉉(パク・レヒョン) 死ぬといわれれば死ぬマネまでしなくてはならない	119
--------------------------------------------	-----

岩手県 [日鉄鉱業釜石鉱山] / 143

明由鎮(ミョンユジン) 頭にいま爆撃の傷が [日鉄鉱業釜石鉱山]	145
宋栄彬(ソンヨンビン) 私は年が若く、坑の中に入らなかった	161

新潟県 [電気化学工業青海工場] / 185

金東烈(キムドンヨル) ポンポン船に乗って帰る途中、 海の幽霊になるところだった!	187
金伯煥(キムベッカム) わしらはみな死ぬ、そう思っていたよ	219
金鳳来(キムボンネ) 急に火の玉が落ちて来て	241
金青松(キムチョンソン) 監獄の罪人のように扱われた	255
朴基成(パクキソン) 船がないから闇船で帰ってきた	281

北海道 [北海道炭礦汽船夕張炭鉱] / 297

朴龍源(パクヨンウォン) 零細民で、配給を断つというので仕方なく行った	299
-------------------------------------------	-----



発刊の辞(日本語版)



財団法人日帝強制動員被害者支援財団は、今年も計4冊の強制動員関連の本を翻訳・発刊します。この出版事業は2019年からはじめ、今年で3年めとなりますが、日本の「強制動員真相糾明ネットワーク-日本語版翻訳協力委員会」と韓国の関連分野の研究者の方々の絶え間ない努力とご支援、そしてご協力によって生み出された成果だと言えます。

今年2021年に発刊されるのは計4冊です。まず、生存者24人の口述記録集(韓国語)があります。さらに、財団が2019年に発行した佐渡鉱山関連報告書の日本語版、旧委員会(日帝強占下強制動員被害真相糾明委員会・対日抗争期強制動員被害調査及び国外強制動員犠牲者等支援委員会)が発行した強制動員被害調査報告書と口述記録集の日本語版があります。一昨年から財団と協力してきた日本の「日本語版翻訳協力委員会」の関係者の方々による翻訳作業の後、国内学界の研究者の方々の監修を受けて、貴重な原稿が用意されました。日本と韓国で長年活動してこられた研究者の方々と活動家、翻訳家の方々の献身的な努力に、心より感謝申し上げます。

特に強制動員の真相を明らかにするにあたって、口述記録集は文献資料の隙間を埋める大切な「基礎」資料です。今回収録する被害者10人の証言を通じて、強制動員前後の状況と現地での生活を詳しく知ることができると思います。現在、動員被害生存者の数は2,000人余りに減っています。そ

れゆえ、生存者の口述採録は緊急の課題であり、このためにできるだけ早い時期に多くの成果を得て記録として残さなければなりません。

「日本地域の炭鉱鉱山における朝鮮人強制動員の実態—三菱鉱業(株)佐渡鉱山を中心に—」(2019年、財団発行)の翻訳書は、日本政府が佐渡鉱山を世界遺産に登録しようとする時点で、日本の研究者に韓国人被害者に関する研究成果を日本語で提供できるという意義があると思います。また、旧委員会報告書のひとつである「靖国神社「韓国人」合祀経緯・合祀者名簿の真相調査」は、父の靖国神社合祀の取消しを提訴した韓国人遺族の要請によって調査が開始され、まとめられた報告書です。

旧委員会解体後に中断していた事業が、財団を通じてこのような形で事業が持続され、また強制動員分野での国内外の研究にお役に立てられることを嬉しく思っております。今後も、財団は強制動員分野における様々な研究報告書の作成や学術資料・教育資料の編纂などに努めます。強制動員に関する研究成果が韓国と日本を超えて国際的に広がるよう、財団の事業への多くのご関心とご支援をお願いします。

発刊事業に尽力された関係者の方々のご尽力に、特に感謝の意を表します。ありがとうございました。

2021年12月20日

財団法人 日帝強制動員被害者支援財団

理事長 金容徳 김용덕



発刊の辞(韓国語版)

2004年11月に発足し、2006年11月10日で2周年を迎える「日常強占下強制動員被害真相究明委員会」は、強制動員被害の真相を究明し、歴史の真実を明らかにするため、様々な活動を行っています。今回、委員会発足2周年を迎え、『強制動員口述記録集3 - ポンポン船に乗って帰る途中、海の幽霊になるところだったよ』と『強制動員口述記録集4 逃げるって？憲兵が銃を持って監視しているのに』を発行することになりました。

当委員会は去年から今年の6月まで、2回にわたり22万件に達する被害申告の受付を締め切り、5件の真相調査を終了し、関連資料収集および資料集を発行するなど、具体的な成果を上げています。特に昨年末には、『強制動員口述記録集1-タンコだって？』を発行し、8月15日には『強制動員口述記録集2-黒い大陸に連れて行かれた朝鮮人たち』を出しました。この二つの口述記録集は委員会の被害申告調査と真相調査の中で最も大きな割合を占める生存者への調査の成果をまとめたものです。『タンコだって？』は、2005年の1年間にわたる労務動員生存者調査の成果を基に作成された政府レベルの最初の口述記録集であることに大きな意義があります。『黒い大陸に連れて行かれた朝鮮人たち』は、サハリン強制動員の口述記録と強制動員被害当事者の記録である『山中半月記』をはじめ、新聞記事の目録、年表、解題など、様々な情報を提供する総合的な性格の口述記録集として企画されました。

今回発行することになった『強制動員口述記録集3 - ポンポン船に乗って

帰る途中、海の幽霊になるところだったよ』と『強制動員口述記録集4 - 逃げるって？憲兵が銃を持って監視しているのに』は、去年と今年の二回にわたって行った忠清道地域における生存者調査の成果をまとめたものであり、強制動員口述記録集の忠清道編です。この本では口述内容の書き直しなどを最小限に抑え、より充実した口述記録集になるようにしました。忠清道出身の生存者たちの豊富で多様な口述内容を含むものとするため、九州とその他の地域に分けて2冊を出しました。このような韓国内の地域別特性を盛り込んだ口述記録集が今後も発刊されることを期待しています。

この本が発刊されるまで多くの人の努力がありました。二回にわたり忠清道地域を訪問し、お年寄りの皆様の貴重なお言葉を採録し、編集作業に携わった調査1課職員の仕事は、大変なものでした。また、委員会の調査作業をご支援くださった地方実務委員会の担当者および支援部署の職員の皆様にも、感謝申し上げます。しかし、何よりもこの本を完成させた最大の功労者は、24人の口述者の皆様です。大切な記憶を進んで口述し、貴重な個人資料を提供していただいたことから、この本が誕生しました。委員会の調査活動に積極的にご協力いただき、口述記録集の発行を承諾してくださった口述者の皆様に心より感謝申し上げます。

最後に、当委員会の真相究明作業へのご協力とご支援をお願いいたします。また、今後発行される口述記録集をはじめ、各種発行物や調査活動に激励とご協力をお願いいたします。

2006年10月31日

日帝強占下強制動員被害真相究明委員会
委員長 全基浩



解題

1. 「逃げるって？憲兵が銃を持って監視しているのに」の構成

『強制動員口述記録集4 逃げるって？憲兵が銃を持って監視しているのに』（以下、「逃げるって？」と略記）は、忠清道地域で労務者として強制動員された人たちの記憶を収めた2冊目の本である。以前発刊された2巻の強制動員口述記録集（第1集 タンコだって？ 第2集 黒い大陸へ連れ去られた朝鮮人たち）と同様、被害当事者の声を通して強制動員の歴史を復元する助けとするために作成した。労務者として動員された忠清道地域出身者24名の話をもとに1巻に収めることは無理であり、2巻で構成した。

「逃げるって？」には、24件の口述記録のうち、山口県、兵庫県、神奈川県、岩手県、新潟県、北海道の各地に動員された14件の話が収められている。これを忠清道の市郡別に見れば、つぎのとおりである。

表1 口述者別市郡分布現況

本籍地	口述者
忠北 清原	閔丙珠
忠北 槐山	朴來鉉
忠南 瑞山	金東烈、金甲得、金東業、金伯煥、金鳳来、金青松、朴基成、朴龍源、朴丁出、崔炳淵
忠南 扶余	宋榮彬
忠南 泰安	明由鎭

<表1>の口述者本籍地分布をみれば、大田広域市を含む忠清道管内29

市郡区のなかの5地域に該当する。彼らの動員先である日本の地域別分布をみれば、日本の5つの県と1道にまたがっている。気候が温暖な山口や兵庫、神奈川もあるが、雪が多く寒い岩手、新潟、北海道もみられる。

口述者14名の作業現場をみると、鉱山（炭鉱を含む）が6カ所、電気化学工場など工場が6カ所、製鉄所が1カ所、造船所が1カ所である。とくに地域的には、山口、岩手は鉱業であり、新潟も鉱業関連の工場である。同一の業種とみることができる。これは、動員が企業別、職場別、国内地域別に集団的に行われたことを意味する¹⁾。

表2 日本の地域別口述者現況

地域別	口述者
山口県	金甲得（炭鉱）、金東業（炭鉱）、朴丁出（炭鉱）
兵庫県	関内珠（工場〔鉄工所〕）、崔炳淵（造船所）
神奈川県	朴來鉉（製鉄所）
岩手県	明由鎮（鉱山）、宋栄彬（製鉄所〔鉱山〕）
新潟県	金東烈、金伯煥、金鳳来、金青松、朴基成（電気化学工場）
北海道	朴龍源（炭鉱）

- 1) 調査1課が口述記録集4集発刊のために準備した口述者15名のなかで、北海道に動員された口述者は2名であった。しかし、最終編集過程で崔〇〇おじいさんの内容を除外せざるを得なかった。崔〇〇おじいさん（86歳）は1921年忠南唐津郡合徳面で生まれ、1942年8月頃、北海道にある住友鉱業（株）鴻之舞鉱業所に動員された。ここで労務者の生活をしたが、1943年4月頃、秋田県の〔藤田組〕花岡鉱業所へ配置転換され、解放後に帰国した。崔〇〇おじいさんは日本内で作業場の配置転換を経験し、その状況を詳細に口述し、口述資料利用も許可してくれた。しかし、本を編集しながら口述者たちにもう一度掲載の可否を確認する過程で、息子さんが拒否の意志を明らかにした。こうした内容が本になって世間に知られるのを望まないという理由だった。口述者本人と通話して許諾を得ようとしたが、それすら許されなかった。崔〇〇おじいさんは動員地域も2カ所で、口述内容も豊富であったため、多くの国民が内容を共有できるよう願ったが達成できなかった。とても残念である。

表3 動員地域別の作業場状況

地域別	動員作業場状況					
	鉱山（炭鉱）	飛行場	土木工事場	軍工事場	その他	小計
山口県	29	4	6	39	11	89
兵庫県	17	2	15	72	31	137
神奈川県	0	5	15	89	29	138
岩手県	11	0	1	3	6	21
新潟県	13	0	8	15	19	53
北海道	134	9	25	19	52	239

<資料>『戦時朝鮮人強制労働調査資料集 連行先一覧・全国地図・死亡者名簿』から作成

これらの作業場分布状況と日本の地域別作業場状況の関連性はどうなのか。竹内康人の調査に基づき、口述者たちの動員地域別作業場状況を調べた<表3>と比較すれば、関連性はみられない。口述調査自体が中央委員会に申告した生存者に限定されているからである。最も代表的な例が北海道だ。北海道は日本三大炭田地域（北海道、九州、茨城・福島）の一つであり、作業場の数にしても鉱山（炭鉱）が圧倒的多数を占めている地域だ。しかし「逃げるって？」では、口述者はただ1名だけである。とすれば、数多くの北海道の鉱山には、忠清道地域民が動員されなかったという結論になるが、そうではない。

口述者たちの日本の動員地域分布状況を通して、忠清道地域民の動員状況や特性を把握するのはできない。けれども、口述者個人の経験を通して認識の幅を拡大し、多様な歴史像をつくりだしていくことはできる。では、14件の話の内容をみてみよう。

2. 「逃げるって？憲兵が銃を持って監視しているのに」の内容 および性格

金甲得おじいさん（81歳）は1926年に忠清南道瑞山郡遠北面で生まれ、1943年12月の夜、寝ているときに連れて行かれ、日本の山口県にある宇部沖之山炭鉱に動員された。炭鉱で一番辛かったのは、仕事がきついことより、腹が減ることだった。うっかり体をこわして働きに出られなければ、働いている人にくらべ、量が少ない休日メシになったという。炭鉱は収容所のような垣で囲まれており、人々の出入りを統制し、外出も自由にできなかった。解放になってひと月後、仙崎港から帰国することができた。

1914年に忠清南道瑞山郡遠北面で生まれた金東業おじいさん（93歳）は、1943年11月に日本の山口県の本山炭鉱に動員された。夜寝ている時に面長と労務係がやってきて、日本に行けばお金をすぐ稼げるという懐柔や脅迫で徴用を勧めたという。おじいさんが動員されてから1年後、弟は樺太（現在のサハリン）へ徴用で行ったが、結局、行方不明になってしまったと悔しさをにじませた。おじいさんは炭鉱での生活について「行って死なずに生き延びたタンコ〔炭鉱〕」、「まさに天命で生き延びたんだ」と回想する。

1927年に忠清南道瑞山郡遠北面で生まれた朴丁出おじいさん（80歳）は、面の労務担当者に1943年7月頃、「労務に行くから家に居れ」と通告され、翌日に山口県の炭鉱に動員された。炭鉱で働いてもらったわずかな月給は、ひもじい腹を満たすため「トコロテン」を買って食べるのにみな使ってしまった。炭鉱の入口が崩れ、炭鉱内に数時間閉じ込められた記憶に、いまでもぞっとする。炭鉱の名前は憶えていないが、山口県は「恨みの場所」だと60年たった今も記憶はなまなましい。

関丙珠おじいさん（94歳）は、1913年に忠清北道清原郡北一面で生まれ、33歳になった1945年12月12日に兵庫県にある久保田〔鉄工所〕の工

場に動員された。当時、15歳になる娘がいたが、娘を結婚させてから徴用に行くため、支署長に頼みこまなければならなかった。おじいさんは一家の家長として生計のために工場で働き、別途に靴の修繕、メリヤス商などをして金をかせぎ、家に送金した。

1923年に忠清南道瑞山郡近興面で生まれた崔炳淵おじいさん（84歳）は、1944年10月ごろ81名を引率する小隊長として、兵庫県の川崎造船所に動員された。造船所で食事の量がきちんと提供されないとして5,000名余の朝鮮人たちが団体で抗議し、まともに食事がもらえるようにした。いつも空襲があったが、幸い朝鮮人の宿舎に被害はなかった。

朴來鉉おじいさん（80歳）は1927年に忠清北道槐山郡槐山面で生まれ、1943年4月ごろ神奈川県の日本鋼管株式会社鶴見製鉄所に動員された。国民学校を卒業し、鉉山事務所で使い走りの仕事をしていたとき、日本人警察官が徴用に行けと言った。鉄板を延ばす仕事をしたおじいさんは、休みの日には同僚たちと横浜駅に近い桜木町駅の映画館に行くことができたほど、他の人たちに比べ余裕のある生活だった。しかし、槐山から一緒に行った友人が肺結核で死ぬ姿を見なければならぬという、人知れぬ痛みも経験した。解放の年の4月、労務者たちに徴兵令状がきて労務者の数が少なくなると、会社側では残った人びとを朝鮮に送り返した。

明由鎮おじいさん（83歳）は1924年に忠清南道瑞山郡泰安面で生まれ、1942年4月28日、岩手県の日本製鉄株式会社〔日鉄鉉業（株）〕の釜石鉉山に動員された。幼くして父母に死に別れ、他人の家で働かれ仕事をしている時に、バス停留所にとまったバスに「人々が白い服を着、手ぬぐいを巻いてバスに乗り込む」光景を見て、自分もそこに割り込んで日本に来ることになった。初めは石灰山で働いたが、「賢くすばやい」からと鉄鉄道の仕事へ移り働いた。解放近く、釜石製鉄所の空襲でおじいさんがいた宿舎も焼け落ち、動員された朝鮮人が死亡した。

1929年に忠清南道扶余郡忠化面で生まれた宋榮彬おじいさん（78歳）は、1945年1月に岩手県の日本製鉄株式会社〔日鉄鉱業（株）〕の釜石鉱山に動員された。1年前にすでに兄が「お前はそんな歳でないので、行っちゃだめだ。おれが行く」といって、私の代わりに北海道へ徴用に行ったという事情があった。募集担当者は徴用状もなしに、「部屋でカマスを編んでいるときに、何もいわずにお前が行け！」といって日本へ連れて行った。おじいさんは若すぎるからといって、「穴の中の仕事はしないで油を運ぶ」仕事をした。解放になったがすぐには帰れず、畑を耕し、日本人たちが何か植えて食べられるようにしてから、11月に帰ることができた。

金東烈おじいさん（80歳）は、1927年に忠清南道瑞山郡遠北面で生まれた。父に來た徴用のかわりに行くといったが、17歳で年齢が満たないと送り返された。1944年1月、区長を訪ねて「父が行けば生活できないので、代わりに私が行きます」といって、行った先が新潟県西頸城郡にある電気化学工業株式会社であった。原石を溶かす溶鉱炉労働者として働いたが、とても熱くて30分ごとに交替しなければならなかった。食事前にはいつも「食事前の感謝」を三度復唱しなければならなかった。おじいさんは自分が経験した苦痛について「国がない悲しみ」、「時代がそうだったから」と話された。

金伯煥おじいさん（88歳）は1919年に忠清南道瑞山郡浮石面で生まれ、1945年に新潟県の電気化学工業青海工場に動員された。最初にしたのは工場の屋根の雪おろしだった。おじいさんがした仕事は、空襲で機械が破損するのを防ぐために、機械と機械の間にコンクリートの壁をつくることだった。仕事がきつくて脱出を試みる人が捕まって、見せしめに鞭で打たれた。それを見てからは一生懸命に働かざるをえなかった。月給はもらったこともなかったが、「いつかここにも爆弾が落ちてみんな死んでしまう」と思い込み、お金をもらって故郷へ帰るなど考えもしなかった。空襲と

空襲による死傷者の発生が若い朝鮮青年の意欲を失わせたのだ。

1926年に忠清南道瑞山郡地谷面で生まれた金鳳来おじいさん（81歳）は、1943年に面書記によって新潟県の電気化学工業株式会社青海工場に動員された。工場は山に行ってカーバイドの原料を調達する外勤と、工場内でカーバイドを生産する内勤に分かれていたが、おじいさんは内勤の仕事をした。日本語ができたため班長として働いたが、主な仕事は出退勤点検と、点呼準備などであった。解放後、貯金通帳と退職金をもらい密航船に乗って釜山に到着、汽車に乗って家に帰る途中、惜しくもカバンをなくしてしまい、何ももたずに帰ることになった。

1920年に忠清南道瑞山郡南面で生まれた金青松おじいさん（87歳）は、1944年9月頃に新潟県の電気化学工業青海工場に動員された。「監獄暮らしの罪人。連れて行かれ、罪人のような境遇」で、食事もしだいに量が少なくなった。おじいさんがした仕事は、原石の山で掘り出した石を鉤石運搬車にのせて運ぶことだった。米軍の捕虜たちが、もう少し我慢すれば解放になると耳打ちしてから、何日もたたないうちに解放を迎えた。

朴基成おじいさん（89歳）は1918年に忠清南道瑞山郡浮石面で生まれ、28歳になった1945年1月、「年のいった」労働者として新潟県の鉤山（名称不明）に動員された。おじいさんは石灰山で石を掘って手押し車で運ぶ仕事をしたが、一緒に動員された人の中で体の弱い人は工場で働いた。解放になって船に乗るため下関へ行ったが船便がなく、密航船に乗って蔚山経由で帰国できた。おじいさんは会社の名前は憶えていないが、作業の内容や地域の特徴により、電気化学工業青海工場であると推測される。

朴龍源おじいさん（79歳）は1928年に忠清南道瑞山市礼川洞で生まれ、1944年7月ごろ北海道の北海道炭礦汽船(株)夕張鉤業所に動員された。徴用されないよう何度か逃亡を図ったが、行かなければ食糧を配給しない

というから、しかたなく行った。月給としてもらったお金は、毎月家にきちんと送った。炭鉱の中に入る時にもらう弁当は、お腹がすいているので昼になる前に食べるのが普通であった。炭鉱内で仕事をしたので「解放になった!解放になった!」という声を聞いて外へ飛び出し、解放になったのを知った。

「逃げるって?」は、「ポンポン船」に比べ、作業場により重点がおかれている。地域的には新潟と山口は同種の作業場である。口述調査自体が中央の委員会に申告した対象者に限定されたため、彼らの分布状況からは特性を知ることはできない。それでも、こうした事例を通して同種の作業場についての多様な記憶を確認する契機になるだろう。また、集団動員の代表的な事例としても注目される。

3. 強制動員の研究の深まりと認識の広がりのために

「ポンポン船」と「逃げるって?」は、忠清道という口述者の本籍地別に編集した口述記録集である。この間、日本で出た強制動員関連の証言集は、日本の地域別に構成されており、韓国内で発刊されたものでも、韓国の地域別に構成された証言集は、〔慶南の〕昌寧博物館で発行された『채인돌〔チェインドル〕』(2000年)が唯一である。

口述記録集を国内地域別に構成した理由は、送出過程をはじめ具体的な動員実態と動員された地域の性格などが、地域ごとに特性があるためだ。日本の侵略戦争のための人的動員は、日本政府の指示によって植民地朝鮮の各地域で同一の水準と速度で一糸乱れず行われたのではなかった。朝鮮総督府の支配政策の方向および行政体系の整備状況、人力受給政策の基調、年度別送出の方針に伴い地域別、時期別に異なっていた。したがって国内地域の特性を研究することは、強制動員の歴史を究明することに欠かせない。そうした点で、忠清道地域編として構成された「ポンポン船」と

「逃げるって？」は新たな意味を持つ。

しかし、委員会が発刊する「ポンポン船」と「逃げるって？」の内容だけで、忠清道地域民たちの動員状況や強制動員の特性を把握することはできない。口述調査自体が、中央の委員会に申告した対象者に限定されたためだ。それゆえ彼らが動員された地域や、作業場の生活体験が一般的だとはいえない。一般的結論を導き出すためには、「ポンポン船」と「逃げるって？」に掲載された口述記録を中心に、関連した文献記録を重ね合わせる作業や時代状況に対する理解を助ける研究が必要である。地域史研究者たちは、ここに骨格をつくり、肉をつけなければならない。結局、研究者にとって「ポンポン船」と「逃げるって？」は研究のための小さな契機となるだけである。しかしこの小さな契機が、強制動員研究の水門を開ける役割を果たすことができれば、その役割は決して小さいとはいえない。だからこれからも、委員会は地域別、主題別の口述記録の発刊を通して、小さな糸口を見いだしていくであろう。

また、「ポンポン船」と「逃げるって？」は、「資料集」ではない。深層インタビューをそのまま、「ありのままのこと」としてテキスト化した。口述者の録音資料を文章化する過程で、読みやすいように文章を整えた。読者の理解のために脚注をつけ、説明文を挿入した。このように元資料を加工した理由は、「ポンポン船」と「逃げるって？」の発刊目的による。強制動員された生存者たちの貴重な経験を幾人かの研究者が活用すること以上に、より多くの人々に共有してもらうためである。侵略戦争の被害の経験を多くの人が共有することは、被害者たちが戦争の苦痛から逃れる助けとなる。また、歴史の車輪を前に進める動力にもなる。

人類に苦痛を与える歴史は人間に実存的な懐疑を呼び起こすだろう。人生最大の目標は幸福な生であり、自分の幸福な生を営むためには、守らなければならない徳目がある。人間は数千年間引き継いできた哲学と文学、

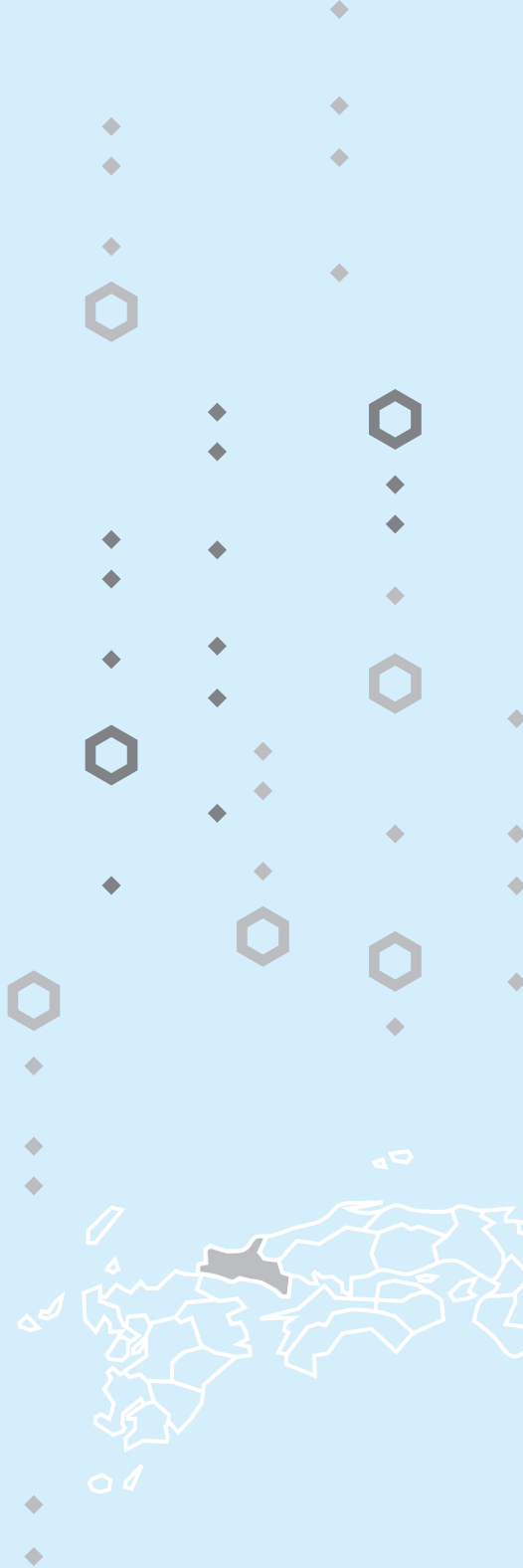
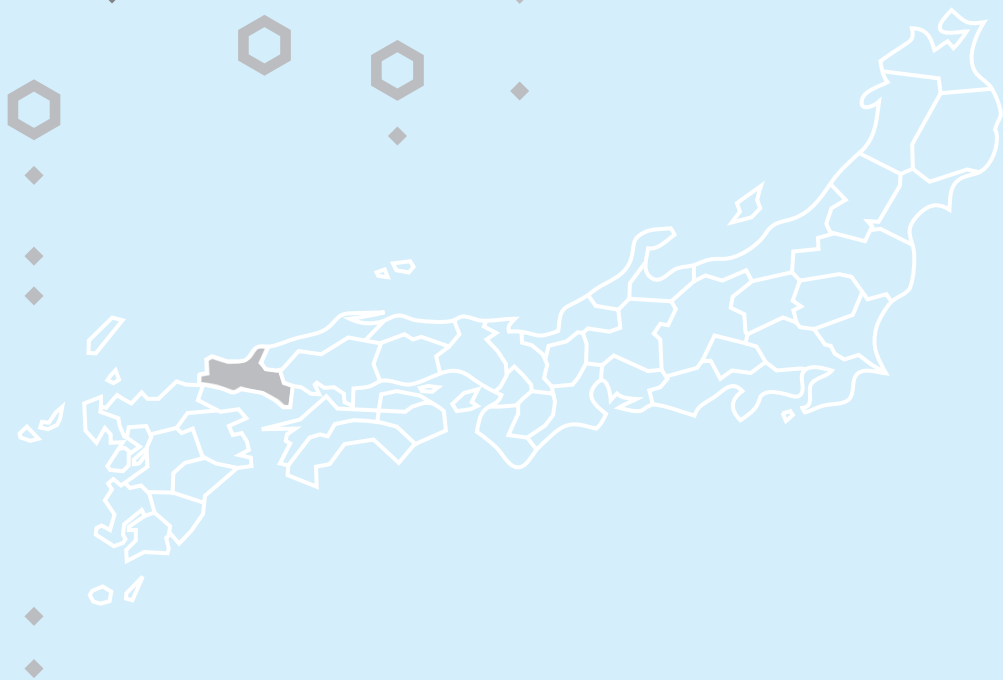
歴史学などの人文学の伝統を通して得た実存性に対する確信を土台に幸福を追求し、他の民族に対する道徳的優位を強調した。人間が道徳的優位を引き続いて守り抜く方法の一つは、自由、平等、博愛などの徳目を、社会の中に根付かせる努力である。これらの徳目を守ること、人類は自己の領域と自身の幸福を保証できる。これが社会の普遍的な価値であり支柱である。しかし、この支柱は丈夫ではなかった。帝国主義時代になって、侵略と支配が社会の主要な価値として浮上した時期があったからだ。強国であれ弱小国であれ「強者の論理」を金科玉条と信じ、力を過大視した帝国主義の時代は、二度にわたる世界大戦と冷戦体制という後遺症を残した。

結局人類は、共存する方式が何なのかを悟るために高い授業料を支払ったのだ。数十年間の治癒過程を経て、表面上の傷は癒やされたが、内部の傷は完治できていない。依然として「強者の論理」は、抑制しがたい誘惑として残っている。最近、地球のあちこちで繰り広げられる紛争と戦争がそれを教えてくれる。いかに多くのものが傷を治すために必要であるのか、また別の傷を生じさせないためにはどうしなければならないかを考える機会にもなったのである。

痛みはまた別の痛みを生み出すだけである。普遍的な社会の価値と人間性を守り抜くためには、人類に痛みを与える歴史のサイクルを断ち切り、共存のための新たな歴史をつくりださなければならない。われわれはすでに新たな歴史をつくるためには何をしなければならないのか、具体的な方法を知っている。まだ実践していないだけである。

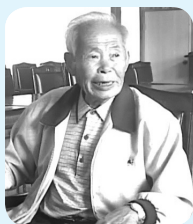
このように考えれば、日帝末期に植民地の民として日本の侵略戦争に動員された経験者たちの生々しい口述は、これからの「新しい歴史づくり」に役立つことができるだろう。それはわれわれのためらいを解き、実践力を回復させるものになりえる。

山口県





炭鉱が海の底に入り込んでいるんだ



金甲得 (キム・カプトク) 男、81歳

1926. 2. 1. 忠清南道瑞山郡遠北面防葛里出生
1943. 12. 山口県宇部沖之山炭鉱²⁾に動員される(22歳)
1945. 9. 帰国

日本には何歳の時にいかれましたか？

その時、22か23歳だった。あまり憶えていない。そうだったと思う。

解放されてから帰られたんですね？

8・15の光復になって。

2) 宇部沖之山炭鉱。1897年沖之山炭鉱創業。1905年海底坑道に着手。1928年宇部沖之山炭鉱(株)設立。1942年他の3つの会社と併せて宇部興産(株)が設立された。1944年東見初炭鉱と合併。その間、1937年落盤事故で6名が死亡、1939年ガス爆発で9名が死亡する事故があった。1969年宇部鉱業廃坑。現在は合成ゴム、樹脂、建設資材、機械、金属などを生産する宇部興産(株)として運営されている。

何年いらっしゃいました？

約2年いました。

行くときの季節は？

冬でした。冬の夜寝ていて連れて行かれたのです。冬だから陰暦で10月の冬至ごろになる。陽暦では12月になるかな。

徴用にいくまで家でどんな仕事をされていたか？

家で、ですか？ 農業をしていました。

徴用状が出たのですか？

令状も何の予告もありません。ただ連れて行かれたんです。面事務所の職員、担当の職員がそうしたんです。

その職員の名前は何ですか？

憶えていません。昔のことだから。

どのようにして連れて行かれたんですか？

昼夜関係なく連れて行かれたけど…。夜の暗いうちでした。

どこへ連れて行ったんですか？

瑞山へ行って、旅館で一晩泊まった。

面事務所に集合させられなかったのですか？

集められなかった。瑞山へ行って、旅館に一晩泊まって、その次の日そこを出発して汽車に乗って釜山まで行きました。汽車に乗ったんだが、洪城から乗ったのか、あまり憶えていない…。

瑞山へはどうして行きましたか？

瑞山へはバス1台に乗って行きました。乗った所は泰安だったかな、とにかく1台でした。瑞山に行ったり来たりするバス。私を「捕まえてこい」ということで捕まって、職員と二人で行きました。

村からはひとり行かれたのですか？

ふたり行きました。ふたり一緒に行った所が収容所でした。

なぜ収容所に行かれたのですか？

収容所といっても、いわゆる収容所ではなく、何というか？労働者を連れて行って飯を食べさせたり、宿泊させたりする所です。

村から一緒に行った人の名前はなんですか？

薪斗里の人ですが、名前は忘れました。姓は申、申氏。そうだ、姓は申氏で薪斗里の人です。薪斗里は3区になるでしょう。3人。歳はたぶん私より1、2歳下でしょう。1、2歳下のはずです。

瑞山まで3人で行ったのですか？

はい、薪斗里班は先に行ったが、私は行かないといって逃げて家に帰ったんです。夜、家に帰って、夕飯を食べて寝ている時に捕まった。刀を持って、職員をつれて来た。職員と二人で来たんです。その人が私を連れて、瑞山、いや泰安でバスに乗って、瑞山まで来たんです。

瑞山には申という人もいましたか？

はい、その人もいました。

瑞山には何人ほど集まったのですか？

瑞山郡内で集まったのは20人ほどになるでしょうか。よく憶えていない。遠東面(遠東面はなく遠北面)からはふたり、薪斗里の申氏とふたりだけです。遠北

面からはふたりだけ行きました。たくさんの人が来るには来たけど、みんな逃げたんです。みんな逃げて、ふたりだけが捕まったんです。もう少し逃げていれば、家に帰らなければひょっとして捕まらなかったのに、家に帰って捕まったんです。行った日は朝の早い時間だったと思う。

日本のどこへ行かれましたか？

釜山から船に乗り、下関³⁾です。下関へ行ってそこで汽車に乗り、山口県⁴⁾に行きました。

瑞山行きの引率者は誰でした？

そこからは引き継ぎした人がいたんです。日本人ではありません。朝鮮人です。その人が私たちを引率して釜山まで行ったんですが、どこまでか分かりません。行くとまた別の人に引き継ぎして、一体どうなっていたのか、分からない。

山口県へ行く時の引率者は誰ですか？

日本人ですよ。

面の職員は行き先について話をしてくれましたか？

そんな話はない。

引率者も話しませんでしたか？

日本人ですか。しませんよ。その人(引率者)も何処へ行くのか知らなかったようです。人間を捕まえるだけだった。日本のどこへ行くのかは知らなかったはず。知っていたのか、知らなかったのか、いずれにせよ、説明してくれませんでした。

釜山から下関までどれくらいかかりましたか？

釜山から下関まで行くのに、船は速くないでしょ。ゆっくりなんです。飛行機が

3) 下関。山口県の港湾都市。関釜連絡船の出航、到着港。

4) 山口県。日本の南部の県。県庁所在地は山口市で関釜連絡船が出航、到着する下関がある。



》》 沖之山炭鉱

空をぐるぐる回って、船を護衛したんです。それで時間は8時間ぐらいだったかな。釜山から下関までなら、それほど遠くはないでしょ。

船にはいつ乗られたのですか？

釜山で一晩泊まって、明け方に乗りました。夜明け頃です。到着した時はまだ明るかった。日暮れ前、そうすると何時間になるかな。

冬だったので寒くはありませんでしたか。

あそこ日本は、ここよりは寒くないから。

山口県に行ってどこで働かれましたか。

炭鉱だ。炭鉱夫、採炭夫です。

炭鉱の名前は何ですか？

チュンジサン〔沖之山〕炭鉱⁵⁾です。山口県の宇部市のチュンジサン〔沖之山〕

5) 沖之山炭鉱の韓国語読み

炭鉱。

炭鉱では訓練や教育は受けられましたか？

教育はありません。

行ってすぐ働いたのですか？

はい。そこで指示を出す人がひとりいて、ついて行って、その人と働いた。その人から仕事を教わりながら、石炭掘りを教わりながら、何日か通いました。

瑞山から一緒に行った人は、みんなその炭鉱に入ったのですか？

はい。一緒に行った人は皆そうです。同じ収容所へ入った。

宿舎はどうでしたか？

宿舎の部屋は畳が敷いてあって、ふとんもありました。でも床はとても冷たくて、寒かった。壁もこのようなコンクリートの壁でなくイタ（板）張りの木造の家です⁶⁾。屋根は瓦葺きです。

一つの部屋に何人が寝たんですか？

部屋は大きかった。一部屋に5、6人入りました。

そこでは爆撃がありましたか？

そこに入ってから爆撃もあって、家がふっ飛びました。家の前の庭に防空壕がありました。飛行機の音がすれば、みんな外に出て前の庭の中入りました。退避壕に入ったとたん爆弾が落ちて家がふっ飛んだ。ひと足でも遅れていれば死んでいました。そうして家がなくなり、風呂敷をかかえて放浪しました。それからは爆撃のため、夜も昼も出歩くことができなかった。

6) イタは日本語の板の意味。

家が壊れたあと、炭鉱で仕事をしなかったですか？

しましたよ。家がふっ飛んだから別の家に移って。移った場所で解放になりました。光復になった時は、そこで働いていたんです。

庭の中で隠れたのは退避壕ですか？

退避壕です。

炭鉱と宿舎はどれくらい離れていましたか？

そう遠くなく、メーター数でどれくらいになるかな？約200m。200mだ。すぐ近くにあった。

食事はどうしましたか？

食事は収容所の宿舎。そこに食事を出す食堂がありました。食堂で食べました。ご飯は配給で、わずかな量を与えられるだけでした。お腹がすいて死ぬほ



≫≫ 山口県・宇部市にある長生炭鉱の空気換気口(ピヤ)の2本。炭脈を追い海底に坑が進んでいる(調査1課李秉熙調査官撮影)

どの苦しみでした。食事にお米のご飯が出るといいますか？豆かすってあるじゃないですか。そこに米粒がたまに入っていて、麦もたまに入っていて、そんなのを食べました。お汁は何のお汁だったかな？みそ汁です。みそ汁にタンムジと赤い大根。タンムジって、たくわんとのことです。その二つだけです。最後までそれを食べました。戦争が終わるまで。

昼食はどうされました？

昼食は炭鉱に入る日に飯を包んでくれました。トシラク、弁当です。炭鉱に入って働き、時間がくれば食事するんです。

炭鉱では夜も働きますか？

採鉱場には夜も昼も交代で入ります。夜交代と昼交代があります。2交代か3交代になります。

朝は何時に起きて仕事を始めますか？

朝起きて朝に入る時と、夕方日が暮れる前に入る時もあるという生活です。起床時間は何時だったかわかりません。5時頃に起きて、食事をしたあと作業服に着替えます。炭鉱の前に行く建物ひとつあって、そこが神社だそうです。神社にお辞儀をする。そこに参拝させるんです。そのあと電灯がついた安全帽をかぶり、坑道の切り羽へ入ります。ところで交代時間ですが、どれくらい働いてから出てくるのか、昔のことなので憶えていません。そういう生活です。

月給はもらいましたか？

はい、お金はくれたけど多くはなく、わずかです。90円。月給は全部で90円です。

具合が悪くて休めばひどい目にありましたか？

そうではありません。具合が悪くて働かない人は相手にされないだけです。ただ働くのがいやで休んでいるとひどい目にあって、お金も少ししかもらえない。そのうえ食事が問題だ。働く人のごはんと、働かない人のごはんのこと

で、茶碗半分ほどの差がでる。そのような暮らしでした。「休み飯」⁷⁾と日本語でいいます。休んでいる人のご飯を「休み飯」というんです。そう、半分です。5歳くらいの子が食べてもお腹はふくれません。具合が悪く休む人(仕事ができない)のご飯はそうなんです。どこか負傷して休む人もそうで、具合が悪く休む人も、遊んで休む人も同じように少ない食事です。

日本語はよくできましたか？

日本語は当時学校に少しかよったから、少しは分かるけど、とても下手くそですよ。

炭鉱に日本人もいましたか？

一緒に働きました。

事故が起こったことはありますか？

ああ、坑道で事故が起きては人が運ばれて出てくる、そんなのをたくさん見ました。担架にのせられて出てくる。落盤事故でたくさん死んだり、発破していて誤発で死んだりした。

朝鮮人がたくさん死にましたか？

朝鮮人？誰かわからない。死んだ人は見なかった。

おじいさんの日本名は何といいますか？

その時は創氏の姓がクムチョン(金村)。クムチョン・カプトウク。金村だった。

月給でもらったお金は家に送ったのですか？

どうしたかという、日本で一緒に生活する人たちは、夜になると花札をしたんです。花札でお金がなくなるとお金をせがむんです。あげれば終わりです。

7)「休み」は欠勤や休息の意味。

それでどうしたかという、もらった月給が自分の手に入らないように、日本の人に預けたんです。そういう職員がいたんです。だから、私はお金を持っていないからお金をくれという人はいないでしょ。でもお金を日本人に預けたのに、その人は召集で軍人になって行ってしまったんです。召集で行ったので、私はそのお金がもらえず、なくしてしまったと思ったんです。そしたら、その人は軍に行く時、別の職員に引き継ぎをしていたのです。

正直な人ですね。

それで引き継ぎした人が私に、「私が引き継ぎしたから、私がお金を預かってもいいか」と聞かんで、預かってくれといった。だから私は一銭も踏み倒されることも、失うこともなく。そうしたお金は400円だったかな、よくわかりません。憶えてないです。

解放になって貯めたお金を持ち帰られたんですか？

持って帰ったんです。どうなったのかというと、スリに遭いました。何十人が一緒に帰ったので、その人たちと一緒に寝ている間にお金を盗まれたようです。服のなかに、お金をぐるぐる巻きにして入れておきました。銅銭はポケットに入れて。そうして朝起きると、銅銭だけが取られていました。その人たちは私がお金を持っていると思わなかったからね。そうしてお金は無事に持ち帰りました。

他の人たちは月給をもらって賭け事をしたんですか？

花札をしました。私はよく分からず、憶えようとしなかった。分からなかったのでした。

家に手紙は出しましたか？

手紙を出すのは時まで、年に3、4回か4、5回ほどです。ひと月に1度ずつは出せなかった。手紙を送って消息を知らせ、また、家の消息も聞いた。

日本人たちが殴るとかそんなことはなかったですか？

私は殴られなかったけど、逃亡して捕まりひどく殴られるのを見ました。逃亡

して捕まった人が。

逃亡した人はいましたか？

そこから逃げた人はいました。

つらいから逃亡するのですね？

そうです。苦しさに耐えられず。

おじいさんが来た後、さらに来ましたか？

後から来た人は、あらたに連れてこられた人は見ていません。光復の日まで。聞くと、当時の日本はうまくいってなかったでしょう。毎日爆撃があつて、原子爆弾が落ちたでしょ？

炭鉱はどのようになっていたのですか？

大まかにいうと、炭鉱は坑道が海の下に入り込んでいるんです。山口県の炭鉱は海の底に入り込んでいる。海底の炭鉱は一つではなく、二カ所になるかな？

長生炭鉱というところは浸水して多くの人が死んだそうですね？

浸水すれば最悪だ。そうならなかったようだ。浸水すると石炭は採れなくなります。そういうことにはならず、人も死にませんでした。もちろん別のところではそうですが。海の中に入り込んだ坑道の入り口は海の周辺でした。海底をたくさん掘ると、陸水〔湧き水〕⁸⁾が出てくるんです。塩水ではなく。出てきた湧き水を大きな機械で吸い出します。海の底に入って。

休みの日はなかったですか？

休みの日ですか？休みの日はなかったです。

8) 海水ではない水をいう

ずっと働いてばかりいたんですか？

そう、働いてばかり。日曜日も働いた。しんどい時はたまに少し休んだ。仕事しないで出てこない人はいました。収容所は垣でぐるりと囲まれて、人が通るのは出入口だけ。入口の横に入ると事務室です。事務室で職員たちが警備をしているのでどこに出かけられますか。外出もままならない。一切できなかった。市内にも自由に出られないから逃げられません。

炭鉱周辺の市内に行けましたか？

お腹がすけば、何か買って食べたけど、食堂はありませんでした。市内を回っても食堂はなかった。市内には一度行ったことがある。軍人になってからそこで訓練を受けたからです。

そこで徴兵令状が出たんですか？

はい。それで軍人になるんです。訓練を何ヶ月か受けて8.15の解放になりました。炭鉱に働きながらも、訓練を受ける時間はあったんです。全部軍事訓練だ。

解放になったのがどうしてわかりましたか。

解放になったとき、朝に市内へ、いや、市内ではなく、ちょっと出かけると日本人たちが仕事もしないで、座って何かぶつぶつ言っている。聞いてみると、日本が降伏したというんですよ。日本の天皇が降伏したというんです。「負けたからお前たちはもう家に帰れる。家に帰れる。」というので、それでわかりました。

お金を預けた人からお金を受け取られましたか？

帰るからお金をくれというと、何も言わずにくれました。

解放になってどれくらいして帰られたんですか？

解放になってからひと月ほどでした。船を待っていたので。

密航船に乗られたんですか？

密航船ではなく乗せてくれる船があった。ちょうど二隻。船に乗ったのは仙崎⁹⁾という港です。その港で10日間、船に乗れないまま過ごしました。行ったり来たりして。待っている人が多くて船の順番が回ってこない。10日の間に食べるものがなくなった。炭鉱を出るとき米3升くれました。小さな升で3杯のほんの少し。それで何日か食べてきたけど、もう米がなくなったんです。このままでは飢え死にするでしょ。飢え死にはするまいと思って、そこにあった倉庫のひとつを壊して中に入ったのです。そこにあったのはトウキビ、キビ。搗精してないトウキビがあった。それを茹でて食べました。みそ汁にして。寝る場所がなくて屋外で寝ました。地面に敷いて寝るものがなく、倉庫でカマスを盗みました。カマスを盗んで警察署にひっぱられた。アイゴ！私が寝ている時に警察につかまったんです。カマスを盗んだからだと。ああ、「どうすればいい、寝る場所もなく、食べるものもない」からしかたがない。それで釈放されました。その人達にしてもどうしようもなかった。

船に乗る順番がきて帰ってこられたんですか？

はい、船がやってきて順番がきたので乗った。ただです。日本の船です。その頃は鉄の船はさほど多くなく、みんな木造船でした。だからたくさん乗れません。船はそう大きくはなく、人が乗るからただ旅客船といった。それほど多く乗れないけど、100名以上、200名くらい乗ったでしょう。お金を出さずに。密航船ではなかった。そこを出発して到着地は釜山です。

釜山に来られてお腹がすいたでしょう？

お腹はすきました。いつも腹ぺこです。

仙崎港から釜山までどれほどかかりましたか？

行く時も時間はかかりましたが、それ以上かかったでしょう。

9) 山口県の港湾都市

釜山では何か食べられましたか？

食べ物をくれるところがありますか？空腹をがまんしました。そして汽車に乗るんですが、汽車には無事乗ることができ、洪城まで帰りました。そこからはバスに乗って泰安まで下った。

家に着いて家族たちは喜ばれましたか？

はい。死んだと思っていたのが生きて帰ってきたたから。死んだ息子が生きて帰ってきたといって。当時、日本から生きて帰れるとは思ってもよらなかった。

申という方も一緒に帰られましたか？

はい、ふたり一緒に帰った。申氏。その人とは行く時も一緒に行き。宿舍も同じで、同じ部屋で暮らした。とても昔のことだから忘れました。それでも最近でもその人とは時々会うんですよ。生きています。生存者です。時々会います。

日本から持ってきたお金で土地を買われましたか？

ああ、土地を買うほどのお金はない。その頃は食料がなくてとは、食料を買って食べるのにみんな使った。

炭鉱では石炭をどのように掘りましたか？

ツルハシで削って天井を柱で支え、それから発破¹⁰⁾です。発破で石炭を崩して、それをツルハシで掻き出して、掘り進むという作業だ。その何というか。その前に土を運びだす斜車という車〔炭車〕があった。むかしはこれに積んで歩いて入りました。まっすぐ入っていくのではないから、かなり時間がかかります。降りるのに1時間かかる。それから平行に坑道を掘っていきます。

炭鉱で働く時、おなかがすくのは一番つらかったでしょうね？

はい。それが、仕事もつらかったが、仕事よりおなかがすくのが大変でした。

10) 導火線によってダイナマイトを爆発させること

お金を出して食べる所もなかったのですね？

方法がありません。その時分、日本には食堂というものはなかったから。食料がなくて食事をしようにもできない。食堂がなくて…。

その時の家族関係はどうだったのですか？

私は独身でした。

炭鉱の名前は日本語でどう発音しますか？

タンコ。そう、タンコです。炭鉱。オキネヤマ(沖之山)¹¹⁾。オベシ(宇部市)¹²⁾。石炭を掘る人のことはどこにも書かれてない。私の心の中に、それを記憶しているのです。

面談：金澤烈調査2チーム長 1次録聴文作成：韓ヒョンサン

編集、推敲、注釈：鄭恵瓊課長、李秉熙、権美賢調査官

11) オキノヤマが正確な発音

12) ウベシが正確な発音



◆ 面談後記 ◆

2005年10月20日、忠清南道泰安郡遠北面事務所内に別途用意された面談場で実施した口述面談である。後述者は92歳の高齢でも、はっきりした記憶力で口述に応じた。ある日寝ている時に面長と労務係（労務動員担当者）の金〇〇がやってきて、日本に行けばたくさんお金が稼げると懐柔、脅迫して徴用に送ったという。弟は樺太（現在のサハリン）へ徴用に行ったが、行方不明になったと言って、くやしさを滲ませた。当時、面長にお金を渡せば徴用から逃れることもできたが、そんな能力もなく、お金がないという罪で徴用に行ったと悔しかった。

天命で生き延びたんだ



金東業 (キム・ドンオフ) 男、93歳

- 1914. 11. 7. 忠清南道瑞山郡遠北面東海里出身。
- 1943. 11. 山口県の本山炭鉱¹³⁾に動員される(30歳)
- 1945. 9. 帰国

ことし何歳になられましたか？

90を越えた。91かな？

徴用には何歳の時に行かれましたか？

30歳。30歳の時に行って、32歳で帰ってきた。日本のタンコ¹⁴⁾、日本の入り口にあるサング¹⁵⁾〔山口〕県のタンコ。まちがいなく石炭を掘るタンコだ。行って

13) 宇部、本山炭鉱。1887年の本山炭鉱組合の設置後、事故で97名が死亡。本山の主要運搬坑道は1917年に大日本炭鉱が設置、1941年に宇部炭業^株が完成させて使用。1963年閉鎖。

14) 炭鉱のこと

15) 韓国語でサングは山口。県庁は山口市にあり、山口県には関釜連絡船が出発し、到着する下関がある。

死なずに生き延びたタンコだ。そこで数百人死んだ。石炭を掘りに50名、数百名が入っていき、そこから日本人も朝鮮人も出られずに死んだ。崩れて。私たちもやっと生きて帰ってきた。天命があったから生きて帰ってきた。30歳で行って、32歳で帰った。

おじいさんは歳をとってから徴用に行かれたんですね？

歳が何だ。30歳ならなんともない。

普通20代で行くのでは？

だから強制で連れて行かれた。20歳になった人も15歳の人も行く。

何年度に行かれたのですか？

それはよく分からない。30歳に行ったから。夕方寝ていると労務(動員担当者)の金〇〇というのが、村の里長と来て、出てこいと強制的に連れて行かれた。行きたくて行ったのではない。

労務係はだれですか？

金〇〇だ。そこの労務ガタリ¹⁶⁾〔係〕(労務担当者)が金〇〇だ。お金がない人が行って、お金のある人は行かなかった。なぜかという、労務者が30名の割当てだとすると70名ほど選ぶ。悪い奴らが。そして賄賂をした者は行かず。それをしない者がいくんだ。その時、寝ていて連れて行かれた。しかたなく。そうして働いて帰ってきたんだ。

夜、寝ていて連れて行かれたのですか？

いや、その日の夕方、私たちの家族が大勢で、それぞれ部屋で寝ていると、出てこいというので出てみるといい。次の日の夜ちょうど12時になって、またやって来たんだ。誰か昨日の夜にも来たのかと聞くと、里長が、日帝時代には

16) 係のこと

区長さんだ¹⁷⁾。区長さんと労務係の金〇〇が来たという。「行こう」というので、「どこへ行くというのか。わけを話せ。死にに行くとしても、話を聞いてからじゃないか」というと、「行きさえすればいい」。「行くといったってわけを話してくれないと行けないじゃないか。家族にも会わなければならないじゃないか」。夜にもかかわらず連れて行こうとするから、説明しろという。「日本へ行けばたくさんお金をもらえる。家族も多いから労務者として日本へ行こう。行くのは二日後だ」というんだ。「二日後に行こう」と。私が「二日間どこで過ごすんだ」と聞くと、行きさえすればいいと。そうして面に連れて行かれた。まったく！労務者として行けというから、「行かざるをえない」。それで行った。釜山へ行って連絡船に乗った。何時間かかかって、到着した。日本だといった。初めて来た。そこで3日ほど休んで、炭鉱へ行ったら石炭を掘った。

日本へ行く前に結婚されましたか？

結婚はしていなかった。

なぜ結婚が遅れたのですか？

動員で遅くなったんだ。私には6人の兄弟姉妹がいる。それで私が連れて行かれたが、1年ほどたってまた弟が行ったという。生きているのか死んだのか、今も消息がわからない。死んだだろう。どこへ行ったのかまったく連絡もない。

弟さんは申告されたんですか？

申告したかどうか知らない。別の弟がしたのか。金ヨンドク。金ヨンドクが樺太に行った弟だ。

17) 日帝時代は各村を一つの区にして、その区の長を区長と呼んだ。今の洞長、里長がそれに該当する。日帝時代の区長は、最末端の行政員として朝鮮総督府→道庁→郡庁→邑面事務所、区長へと業務が伝達された。区長は村の事情をもっともよく知っているため、警察や会社職員たちと同行し、村の人たちを直接動員するのを手伝った。また、強制動員対象者の選定は、区長の個人的判断で決定される場合があったため、しばしば村の人々の恨みを買った。

樺太に行って帰ってこなかったんですか？

そう。帰ってこなかった。消息はわからない。

両親は二人ともいらしたんですか？

そうだ。二人ともいた。私たち6人兄弟姉妹と、父、母の8人家族と一緒に暮らしていた。

おじいさんが長男ですか？

いや、長男ではなく次男だ。

お兄さんは徴用に行かれなかったんですか？

お兄さん？兄はずっと前に亡くなったけど、行かなかった。ひと家族から私と弟のふたりも行っているのに、これ以上行ける？

面の職員が面に連れて行ったのですか？

いや、数百名を集めてから連れて行った。日本から連行しに二人が来た。まず洪城に行った。洪城へ行ってバジ、チョゴリをみんな脱ぎ捨てた。そしてこんな赤い脚絆をくれた。こうしてまったく日本の奴になった（外形が日本人に見えるようにされた）。洪城へ行っても、労務タガリ¹⁸⁾〔係〕に後ろ盾（面倒を見てくれる人）を使えば行かなくてもよかった。洪城で名簿に載せられたらおしまいです。それで行かない人たちも多いというわけだ。お金のある人は。私たちのようにお金のない者が行くということだった。

洪城に日本人が連れに来たんですか？

洪城に来た。日本人が引率していくんだ。

何人ぐらい来ましたか？

ふたり。労務係の金〇〇は洪城まで来ただけ。洪城まで連れてきて、そこで日

18) 係のこと

本人が汚|率を引き継ぎ、私たちに服をくれた。

釜山に行かれたのですか？

そうだ。汽車に乗って釜山に行って。釜山で一晩泊まって、そこから日本に行った。簡単にいえば、そうやって行った。

創氏名はなんでしたか？

名前は何かといえば、日本の統治時代は金山だった。

募集係は日本の何処へ行くと話しましたか？

日本へ行くとはいわなかった。そこではそんなことはいわない。強制的に連れて行った。どうしようもない。そこから、しばらくして行った。

村から一緒に行った人で憶えている人はいますか？

一緒にいった人？村から行ったのは私ひとりだ。ひとりが行った。他から来た人たちはフィンドリ(薪斗里)¹⁹⁾の人たちだった。

名前は覚えていますか？

ああ、薪斗里の人で李カン〇という人、他は知らない。

何人くらい行きましたか？瑞山から？

ああ、数百名行った。

その中で記憶にある人は、李ガン〇おじいさんのほかいませんか？

その人は後だったけど、徴用で行ったと言っていた。

身体検査はしましたか？

身体検査？しなかった。

19) フィンドリは薪斗里とみられる



》》》 現在、市の指定文化財となった昔の本山炭砒の斜坑の入り口。

訓練は？

訓練もなかった。

炭鉱の大きさはどれくらいでしたか？

ものすごかった。ほんとに石炭を掘る所だ。そこは。天井を掘り進むんだ。後ろへガラガラと送ると、そこでわれわれが坑道で(石炭を)載せるんだ。載せると石炭が外へでる。そうして、そこで働いた。だから逃げようにも逃げられなかった。

坑道はいくつありましたか？

坑？坑道。1方²⁰⁾、2方、3方、4方、5方、9方、12方まで。入って、日本人と朝鮮人が一緒に石炭を掘る。朝入って夜に出てこなければその人は死んだんだ。生き延びた人は天命で生き残った。

20) 方は、働く順番を示す

瑞山から数百名が行ったんですね？

数百名だ。それが誰かは分からない。日本人も一緒に坑道に入ったから、誰なのかわからない。

瑞山から行った人はみんな炭鉱に行ったんですか？

そう。炭鉱に行った。一度に数千人だ。10名や20名ではなく。

炭鉱でどんな仕事をしましたか？

切り羽で石炭を掘ったんだ。機械で掘ると我々がスコップで車(炭車)に載せる。そういう仕事をした。機械で掘れば、石炭がドサッと崩れる。そしたら出入りする車数台にそれを載せるんだ。そこには日本人監督がいて、休むこともできない。

何時から働きましたか？

朝？朝の9時から入った。夕方6時に終わる。

昼食はどこで食べましたか？

弁当や水筒を持って入る。持って入って坑内で食べる。石炭掘るから真っ黒けだから、夕方に沐浴して出るんだ。

坑内では飯が黒くなるでしょうけど、どうして食べましたか？

弁当は包んであるから、中まで黒くならない。帽子を、光が出るカポ²¹⁾〔キャップ、カンテラ〕をかぶる。

カポというんですか？

そう、日本語でカポという。

ツルハシなんかを持つのですか？

そうだ。そこに行けばツルハシもあるし、シャベルもすべてある。入るときは

21) キャップランプ。炭鉱などで坑内帽に付いたランプをいう。

それらを持って入る。そしてカボ〔カンテラ〕をつけて、明るくする。カボがないと真っ暗で出てこれない。そして弁当と水の二つを持って入る。入ると頭は道具を出してくれる。そこへ入ると大きな学校の運動場みたい。入ると鍛冶〔熟練者〕が道具を出してくれ、炭車みたいなのに乗って出るが、誤ってそこで死ぬ人も多い。

どうして死んだんですか？

炭車に人を乗せるとすると、10人、20人といっぱい乗せる。ぼやぼやした奴が綱をつかみ損ねて落ちて死んだこともあった。私は死なずに生き延びた。

昼間だけ働いて夜は働かなかったのですか？

夜は働かない、日曜日も。日曜日は働かず、夜も働かない。9時に入れば6時に出てくるんだ。

食事はどこでしましたか？

炭鉱で。会社側が食堂で出してくれた。ああ、食堂には数千名が集まるからものすごい。食堂に入ると日本の女たちが来て「今日は行くのか」と聞く。「ああ行くよ」というとご飯をよそってくれる。体の具合で今日は行かないという、よそったご飯を元へ戻す。何でそうするのかと聞くと、「お前は今日休むから食べられない」というんだ。奴らは悪辣だ。働きに行かない人、体の具合の悪い人は無条件でご飯を半分に減らしてしまう。頭にきてご飯をくれというと、お前は働かないからだめだというんだ。

ご飯はどうでしたか？

米の飯だ。おかずは簡単なものだ。キムチとほかの何かだ。ここみたいに汁があるわけではない。キムチを載せて食べる。数百名が食べるから、たいした物はない。

仕事に行けと催促する人はいましたか？

仕事をさせる日本人はとても多かった。

作業班長が働かせたのですか？

違う。仕事をさせる班長が別にいる。誰々が入れといったは、そこへ連れて行く監督が別にいる。「1方は30名、2方は50名、3方は70名だ」というように。いわれるままの号数に入ると、監督が後からついてくる。入ると帳簿に全部載せる。日本の名前で載せる。創氏改名で、金山と日本の名前で書く。「カネヤマ」と呼ばれると「はい、はい」と答える。金山、仕事に行くかと。行くといって仕事に行く。行かない奴は赤い線を引いて。具合が悪く行けないとか。足が痛くて行けないとか。間違いなく2年間いたから日本語はみんな分かる。飯を食いに行っても日本語。仕事に行っても日本語。トイレに行く時も日本語。ここでは金東業なのに金山という。呼びやすいから金山だと。一部屋に10人ずつ入れる。労務者を連れてきた人(引率者)が。当時の部屋は大きい。

夜はどこで寝られたんですか？

部屋で寝た。部屋はいい。畳部屋だから。このように火をくべることもない。我々が行ったところは気候がよく、寒くない。だから気楽に帰ってきた。食べ物はお腹がすくからキムチでもみんな食べた。食べ盛りの時だから、仕事から帰ってくる時はどれほど腹が減っているか。何かわからずに食べたことも。

日曜日の休日はなにをしましたか？

日曜日は当然休む。教室に朝鮮人数千名がぐると囲んで座って。多くの人が座っていると他の人もそこに入ってくる。出て行くのはかまわない。出て行けないからだ。このように住民登録がある？何がある？そのうえ刑事たちに捕まれば恥ずかしいから出て行けない。出て行けないようにしている。私たちは丈夫な罪人だから。彼らが行けといえば行き、仕事しろといえばする。外で遊びもした。

そこには朝鮮人は何名ぐらいいましたか？

何名かな？数百人いた。

日本人もいましたか？

日本人は別のところに住んでいた。日本人は自分たちだけで働き、朝鮮人は朝鮮人だけで暮らしたから。在日の人は朝鮮人のための食堂を営んだ。

月給はいくらもらいましたか？

お金をいくらもらったかって。少しずつくれるから分からない。ひと月に少しずつくれる。何々を引いていくらかをくれた。外に出ればそれで食べ物を買った。仮に2000ウォンくれるとすると、1000ウォンはやつらが差し引いた。日本が労賃を出す、出さないなんて。お金を持ち帰ったかって？

貯金したといわれませんでしたか？

いや。貯金するお金なんてどこにもない。体の具合が悪く、頭に石炭が落ちてけがして1日、2日休んだ。仕事を替わってやっけて。

頭をけがされたんですか？

天井から塊のようなのが頭に落ちれば、何もかも壊れるから、炭鉱ではとても苦労した。シャベルを使っていて働いて、落ちてくれば、けがするんだ。今は治って大丈夫だ。

その時病院で治療を受けられましたか？

病院にも何度か通った。炭鉱の中ではなく外にある日本の病院へ。幹部がそこへけがした人を連れて行く。私も病院へ連れて行かれて入院した。

治療費は誰が出したんですか？

私たちが出さないで誰が出しますか。お金を出さないでどうしますか。それは死ぬことだ。

一日にいくらお金をもらったんですか？

いくらもらったのか思い出せない。でも、いくらにもならなかった。その当時、

朝鮮で鉄のやかんが200ウォンだった。昔のことだ。そうして帰ってきた。

そこは事故が多かったですか？

事故は多かった。そこで働いていて人が死んだ。坑道が崩れれば死ぬんだから。石炭掘りに入って、そこに数十名。70名が働いているでしょう。石炭を掘っていたり炭車に乗っていたりして崩れれば、どうすることもできず死ぬ。逃れるすべはない。

埋まってですか？

もちろん。日本人でも朝鮮人でもどうすることもできない。

朝鮮人はたくさん死にましたか？

そう、たくさん死んだ。死んだ人を私たちが火葬したから。埋まったのを引っ張り出して。引っ張り出されたのを受け取って、火葬する。火葬する場所に運ぶけど、そこでどうするのかは知らない。燃やすか何かして火葬した。

火葬して家に送ってくれましたか？

送るものにも。海に撒いたと聞いた。送るなんてことはしない。

家に手紙は送りましたか？

手紙？手紙も送らなかった。数ヶ月たって送ることができることを知ったが、手紙も書かなかった。一緒に行って死んだ人も多い。むりやり強制的に連れてこられた。行きたくて行った人はいないだろう。

ふろは毎日に入りましたか？

顔も体もまっ黒だから、毎日入らなければならない。湯船につかって洗わなければならない。でも湯船にもそのままでは入れない。まっ黒だから。それをまっ黒のまま洗う。洗ってから入らなければならない。湯船にそのまま入るかどうかを日

本の奴が監視しているから。

爆撃もありましたか？ 飛行機？

日本が？爆弾を落としたのか自動車を落としたのかさえ分からない。朝食を食べるとすぐ坑道に入るから分からない。飛行機が飛んで来たのかまったく分からない。朝食を食べて入り、夕方に出てくるから。

市内に出られたことはありますか？

市内？市内に出るひまなんてあるはずがない。毎日働くのに。私たちには日曜日も自由はない。病院での日本人の患者たちは数十名だ。腕や足をけがした人は繃帯している。その人たちも自由かってに出歩くことはできない。

おじさんも頭をけがされたじゃないですか？

いいや。半日通ってなんともないから仕事に出た。割れたのではなく、こすったんだ。半日通ってよくなったから、また仕事に行った。まったくバカだった。仕事をすればお金をたくさんもらえると思って。1日も休まないでおこうと。

炭鉱に慰安所という所はありましたか？

炭鉱に？慰安所？炭鉱に？朝鮮人と日本人と女たちも一緒に仕事をしました。仕事場に朝鮮人と日本人と一緒に行きました。

朝鮮人はどこから来た人たちですか？

どこから来たか知らない。みんな別の所から来た。

慶尚道、全羅道から来た人もいましたか？

ああ、そちらからが多かった。

どこから来たか聞いてみましたか？

聞かないはずがない。聞きましたよ。慶尚道から来た。全羅道から来た。仕事

をしながら話をした。

その時日本語はよくできましたか？

日本語？その時は日本語で話したが、今はぜんぶ忘れてしまった。

小学校には行かれましたか？

学校には行っていない。漢文を教える先生がいた。

農業をされていて行かれたのですか？

農業していて？そうだ。その時は国に米がない。麦飯を食べていた。そんな時に行った。私たちは20歳まで米の飯をよく食べていた。それ以後は難しくなった。

炭鉱に行ってからどれくらいで出てこられたのですか？

私？2年間して帰ってきた。

解放になってから帰ってこられたのですか？

解放になったから帰ったんだ。

解放になったこと分かりましたか？

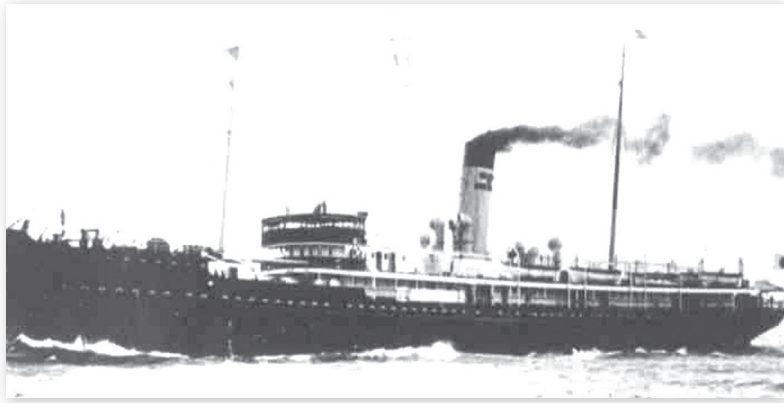
解放になったこと？わからないさ、そこでは。どうして分かる？そこを出て分かった。

日本人はどういうふうに家に帰れといったんですか。

採掘場から出ると解放になったと聞いた。朝鮮と日本が戦争して、朝鮮がそっくり奪われたでしょう。日本の奴らに。だから朝鮮に帰れというんだ。数百人がその時帰った。

何に乗って帰られましたか。

何に乗ったかって？連絡船。連絡船に乗って釜山で降りた。釜山まで連れて行ってくれた。



≫ 関釜連絡船のひとつであった新羅丸の姿。1945年、沈没した。

船は誰が用意してくれましたか？

日本人がしてくれた。釜山まで。並の大きさではない。これより広い。船はとても大きいからあまり揺れず、ポンポンという音もしない。行き先は知らなかった。釜山まで8時間しかかからなかった。

瑞山から数百名が一緒に行ったと言われましたね？帰るとき一緒でしたか？

一緒に帰った。慶尚道の人は慶尚道で降りて、全羅道の人は全羅道で降りた。みなそれぞれ降りた。私は遠北に住んでいるから遠北で降りた。

帰るときに日本人はお金をくれましたか？

お金をくれるという話はなかった。どれくらいになったのか。

炭鉱でお金を貰いましたか？

炭鉱で？炭鉱でお金をくれるのではなく、ひと月すれば月給が少しだけあった。それをもらったんだが、全部をもらったのではない。封筒に入ったのをもらった。さっきも話したように、2000ウォンのところを1000ウォン引いて1000

ウォンしかくれないのだ。

お金は貯まりましたか？

どうして貯まる。行けばいつ死ぬかわからない。だから日曜日になれば酒を飲んだりタバコをすったりした。惜しげもなく。

お酒はどこで飲みましたか？

外へ出れば、お酒はたっぷりある。日曜日にはそこに行くことができる。炭鉱の外へ出れば、朝鮮人が酒屋をしているところもあり、食堂もあって、みんなそこへ行った。日曜日になれば近場に出かけた。遠方には行けなかった。そちらに行くのを、鉄条網を張って監視する所があるんだ。ここで軍隊が監視するように。だからそれ以外外へは出られない。その中で遊ぶ。

朝鮮人が商売をしたんですか？

朝鮮人が商売をした。どれくらいいたのかな。この人ではなく慶尚道。

おじいさんの弟はいつ徴用に行ったのですか？

何年度かに帰ってきたので、行ってからどれくらいになるかと聞くと、まる1年になると言っていた。しかも強制的に連れて行かれた。樺太という所へ。家族が多いからか、労務へ行くと里長がむりやり連れて行ったのだ。一人っ子で、一人で暮らしている家は行かない。家族がたくさんいる所だけ連れて行った。私が行ったけど、それでも家族はたくさんだから、私の弟を引っ張っていったのだ。

ここに帰ってきてどんな仕事をされましたか？

農作業しました。働いて暮らした。今は年取って働けないよ。

面談・校閲：高鳳勲調査官 1次録聴文作成：チョ・ミンジョン

編集、推敲、注釈：鄭惠瓊課長、李秉熙、権美賢調査官



◆面談後記◆

2005年10月20日、忠清南道泰安郡遠北面の事務所で口述聴取できる場所を3ヵ所用意してくれ、別室で口述聴取を実施した。口述者の朴丁出は約束の時間より早く事務所に来て、面談者を待っていた。別室といっても天井が全部つながっており、隣の部屋で実施している口述面談の内容が全部聞こえてきた。騒音がひどく、集中して口述できる状況ではなかった。少し時間がたってから、互いに遮断された別室が提供され、落ち着いて口述聴取をすることができた。口述者は自信のある語調で面談者の質問に一つ一つ答えてくれた。

捕まって行くのに何ができる！



朴丁出 (パク・チョンチュル) 男、80歳

1927. 4. 24. 忠清南道瑞山郡梨北面青山里で生まれる

1943. 7. 頃 山口県の炭鉱²²⁾に動員される(18歳)

1945. 解放後 帰国

徴用に行ったときどこに住んでいましたか？

ハプサン〔瑞山の訛り〕だから梨北面。瑞山郡だよ。青山里1区。

いま住んでいる所と同じですか？

そうです。ここ青山里は、大別して朴氏、李氏、全氏、三氏の姓から成っていた。〔それが〕分かれたんだ。

村から何人くらい一緒に行かれましたか？

行く時？行く時はここから二人行ったほかは憶えていない。二人行ったが逃亡

22) 日本の研究者竹内康人が作成した強制動員地一覧（山口県）には、29カ所の炭鉱が掲載されており、被害者が動員された所を特定するのはむづかしい。被害者の証言をもとにしてみると、海辺に近い炭鉱と推定される。

し、私ひとりが行った。

名前は思い出せますか？

名前は憶えている。虎里に住んでいたと聞いている。金ヨン〇氏。

虎里に住んでいた方でしたか？

いや。住んでいたのはここだった。ここに住んでいて、私と一緒に連れて行かれたが、どうなったのかわからない。私ひとりが行った。どこでいなくなったのか分からない。

徴用に行かれる前の家族の構成は？

その時は、おばあさん、おじいさん、お父さん、お母さん。それだけだった。

ご兄弟は？

兄弟は私と、姉ひとりだけだった。

お父様は当時どんなお仕事をされていたか？

ただの船員の生活です。

おじいさんは何をしていた、徴用に行ったのですか？

私はただお金をもらって、食べて。ほんの少し。

お父さんのように船員生活はなさらなかったのですか？

しなかった。父が船員生活しているのに私ができますか？

学校には行けましたか？

学校には行った。昔の普通学校だ。遠北学校。4年生。

遠北普通学校ですか？

そうだ。その時は普通学校だ。

日本語は少し習われたでしょう？

その時は、日本語は教えなかった。後で日本語を教えるようになった。

徴用状は誰が持ってきたんですか？

面の担当者。

担当者は誰ですか？

たぶん、チョ〇〇だ。梨北面に住んでいたからよくわからない。労務係だった。

その人がおじいさんの家にきたんですか？

そうだ、やってきた。当日来て「労務に行くから、家におれ」と。明日行くから前日に連絡しに来たといった。逃げようとするから連れて行くことが多い。金持ちはみんな逃げて、行かない。取るに足りない人だけが行った。里長や班長をしていた人たちは、誰も行かなかった。その人たちを悪くいう人は少ないでしょ、当時は。

徴用状をもって来ましたか？

徴用状なんてない。話だけで連れて行かれた。

徴用に行かれたのは何歳ですか？

18歳の時。

何年度だったか、憶えていますか？

わからない。昔のことだから。

季節はいつでしたか？

暑い時ではない。田植え前だ。田植えしてから行ったはずだ。

春でしたでしょう？

そう、春だ。春になったばかりの3、4月頃だ。

急に徴用だといわれて、驚かれたでしょう？

驚いてもどうしようもないでしょ？ 連れて行かれるのに。後ろ盾のない人は弱い。後ろ盾のある人が腕力をふるう世の中だ。

募集担当者がきて、すぐに連れて行かれたのですか？

その日に行った。八峰面に行く渡し舟がある。舟に乗って八峰へ行ってから瑞山へ。

八峰には人がたくさん集まっていたか？

行くと人が集まっていました。自動車がなかったから歩いて行った。

金ヨン○という方も一緒に渡られたんですか？

一緒に舟に乗って行った。

ふたりだけが行ったのですか？

そう、ふたりだけだった。

瑞山に到着した時、金ヨン○という人は逃げてはいなかったのですか？

朝までいたのに知らぬ間にいなくなった。

瑞山のどこに集まりましたか？

瑞山のどこかの学校だったかな？ 学校だったようだ。昔の普通学校。学校に集

まって、村の人がひとり、ふたりと集まって運動場に行った。たくさん集まったけど、百人にはならなかった。数十人ほどだ。

誰が引率しましたか？

郡の担当者がいた。日本人ではなく朝鮮人だ。

引率は朝鮮人がしたのですか？

そうだ。その時、釜山へ行けといわれたんだ。

瑞山から釜山へはどのように行ったのですか？

汽車だったと思う。車に乗っていったかどうかは憶えていない。とにかくそれを気にする状態ではなかった。歩いてではなく、とにかく汽車に乗って行った。

郡から引率した人が釜山でも継続して引率したんですか？

いや、たぶん郡が道から来た人だと思う。道からか郡からか、知らないが人がひとり来て引率した。一晩泊まった。次の日からは身がすくむほどさらに厳しく怒鳴られた。何処へ行くのか分からないのに、やたらにどついて行けという。そうして船に乗ったんだ。

その時も引率者が同じ人でしたか？

どんな奴だったかわからない。朝鮮人なのか日本人なのかも。

引率者が厳格だとおっしゃいましたが？

幾つかに仕切られた部屋のようなところに入った。船では船員なのか誰なのか、分からない。

船は大きかったんですね？

大きかったようだ。だから数百人が日本で降りた。小さいとそんなことできますか？波が高ければ10時間以上かかる。船もその当時はいくら大きいといって

も、今よりは小さかったから。

行く時、波は高かったですか？

波が高かったかどうかはわからないが、驚いたよ。船が大きく揺れたから。

船に乗ってからどれほどかかりましたか？

だいぶかった。8時間以上かかった。10時間ほどかかった。

家で着ていた服のまま日本まで行ったのですか？

そうだ。日本まで。荷物はない。あるはずがない。寝て、食べるものがどうしてある？ 行って指示どおり暮らせばいい。持って行こうとしても持っていくものがない。昔は食べ物なかった。日本へ行く時も、そのあともそうだった。

日本のどこに到着しましたか？

下関²³⁾といていた、下関だと。

船に乗った人は下関でみんな降りたんですか？

下関で降りた。降りてそこから数人ずつに分かれたが、どこへ行くのかわからない。一度にみな同じところに押し込んだのではないから。どこにどれくらい行ったのかわからない。

そこから汽車に乗って別のところに行かれたのですか？

そうだ。山口県。日本語でヤマグチケン、朝鮮語ではサングヒョンという。海の近くだ。

汽車に乗って行く時、景色は見ましたか？

夜に乗ったから、見ることはできなかった。釜山を朝出発して8時間、下関であ

23) 下関。山口県の港湾都市。関釜連絡船が出発、到着する港。



》》 長崎県長崎市の海にある端島。三菱鉱業系列で軍艦のような形から軍艦島と呼ばれた。(調査1課李秉熙調査官撮影)

れこれしていると、夜だ。

夜に到着されて汽車に乗った人たちはみんな降りたんでしょ？

降りた。その炭鉱に行った人は全部降りた。

釜山から行った人たちはみんな同じところで降りたのではないですね？

一緒ではなかった。100人なら100人がみんな降りたのではない。10人なら10人。100人なら100人、50人なら50人と引率者が何人かごとに、分けたんだ。

おじさんが行かれたのは炭鉱ですね。その炭鉱で何人位降りましたか？

30～40人ほどだった。30人くらい。

その人たちはみんな泰安から行かれた人たちですか？

どこから来たのかはわからない。私は18歳だったからとても若く、班長だったならともかく、分かるはずがない。



≫≫ ほかの被害者に寄贈していただいたカンテラ(調査1課李秉熙調査官撮影)

互いに話しもできなかったでしょうね？

そうだ。お互いどこから来たのか聞けなかった。連れられてきたのにどこから来たのかだって。ただ連れて来られたただけだ。

到着して炭鉱について紹介してくれました？炭鉱の紹介。

その日の夜、炭鉱に行った夜に食堂でご飯を食べた。食べてからその次の日は1日何もませんでした。3日目に装備を配るという。

3日目に装備を配るというのですね？

行ってみると、電灯の付いた頭にかぶるカンテラ²⁴⁾とザル、ツルハシをひとつずつ。ツルハシもここで使うようなものではなく、刃を取り替えて使う。そのふたつをくれた。そして、50尋²⁵⁾ほど、そのまま入った。後になって分かったんだが、先に入った人の話では、昇降機に乗って降りていくと、50尋になると言っていた。降りていくとここでいう5里か10里くらいは天井に明かりがついていた。その後はカンテラに灯をつけた。数百の穴があるうちのどこに行くのか。

24) カンテラ。金属や陶器でできたやかんのような形の灯油壺に石油を入れて灯をつけて持ち歩く灯り。ここでは安全帽についた灯り。

25) 長さの単位。1尋は8尺または10尺で、2.4mまたは3mに該当。

それで最初の日は入って見学ただけで出てきたが、行ってみると木で支えながら入って行き、石炭を掘ってそれを引っ張り出すようなことをしていた。

天井がどうなったんですか？

崩れた。支えが曲がって落ちたんです。

炭鉱のなかではどんな仕事をしましたか？

石炭を掘りました。

3日目から石炭を掘り始められたんですか？

そうです。3日目から交代で。昼交代で入れば、夜に出た。

昼は何時から仕事が始まりましたか？

何時からって？交代の時間まで入っていなければならない。朝入るのは8時か7時です。交代の人が早く出てくると、私たちはさらに早く入らなければならない。

それでは7時頃に入ったんでしょうね？

そうだ。

出るのは何時でしたか？

何時になるかな？午後だよ。昼に出ると、午後に交代で入ったから。ともかく出たり入ったりしていました。

出てきて夕食はされましたか？

そうです。中では食事はできないので、出てから食事をした。中では食事するひまがない。

昼食はどうしましたか？

昼食？昼食は飯と水を少しずつ包んでくれるので、それを食べて入る。休日の

時は月給、ほんのわずかに出た月給で食べて暮らした。トコロテン²⁶⁾という、それしか買えるものがない。カマボコのようなもの。買って食べられるものといったらそれしかない。それがカマボコ、日本人はトコロテンといっている。

誰がそれを売っていましたか？

商売する人がいた。炭鉱ではなく外で。

外に出ることもできたようですね？

はい、そうです。休日のときは出歩きました。遠くには行けず、付近の村に行き来した。

休日はあったんですか？

夜働けば昼休む。休むけど夜働いてくるので眠らないといけない。夜また働かなければならないから。行くところもないし。日曜日ありません。

それでもちょっと出ることはあったんですね？

そうだ。腹がへるから食べ物を買いに行く。そこで売り切れていれば、別のところへ行かなければならない。そこでも無ければ、また別の所へ。そうして買って食べた。

寝る宿舎はありましたか？

その中では夜も昼も身動きがとれない。分かるでしょ、四方に鉄条網をはりめぐらしているから。

寝るときに鉄条網を張りましたか？

いや。いつも張ってあった。

26) テングサを煮て、その煮詰めた汁を冷まして固めた透明な食品。

なのに、どうして出られたんですか？

昼は、職員たちが出入りするから開いていて、夜にぴったり閉める。

出られるよう許可してくれたようですね？

さあ、働かないときは自由だから。出ることはできるけど、眠らなければならない。食べるためでなければ出ない。宿舎に牌くらいの大きさの板に、名前を書いてぶら下げておく。片方は赤い色で書き、その裏は黒い文字で書く。ご飯をもらって食べに行く時には、赤い文字を裏返しておく。それはご飯を食べて仕事に出たというしるしだ。

それは宿舎にかかっているのですか？

いや、たぶん食堂の戸口でそうしていた。

食堂ではご飯は誰がつくるのですか？

できたものが出てきた。

言葉は何語をつかいましたか。

私たちですか？朝鮮語で話をした。朝鮮人はみんな坑道の中にいた。

石炭を掘る仕事を見せてくれたのは朝鮮人ですか？

朝鮮人でした。

宿舎にも朝鮮人はいましたか？

朝鮮人が立ち寄ったりしていたから、朝鮮人がいたはずです。

宿舎では何人が寝泊まりしたか？

大きいところと小さなところがあったから、よく分からない。それに人が交代するから。朝交代で行って夕方に帰る人は、帰ってきてご飯を食べて寝る。部屋は大きかった。

宿舎に責任者はいましたか？

監視、監督はあったはずだ。仕事に行ったのか行かなかったのか。回りながら見張るやつもいたはずだ。

そんな人と話したことはありますか。

見回っているからありません。何で話をしますか。一度もしなかったです。

逃げて捕まった人がいたら、ひどい目に遭わず人もいますね？

捕まえたら閉じ込める。それが監督なのかどうかは分からない。どこかで捕まえて、鉄条網に囲まれた穴を掘っておいて、捕まえてそこに閉じ込める。閉じ込めて、たまに少し食べ物を与える。

逃げた人を叩いて見せしめにするといったことはなかったですか。

ありません。見なかったから分かりません。働いている人の目につかないようにした。

炭鉱は海に近かったですか？山の中にありましたか？

私たちには山の中かどうか、分かるはずがない。

海の音が聞こえましたか？

波の音はした。だから海辺だったようだ。市内に入って、私たちが行っている所は破壊された。

そこから海が見えなかったですか？

そう、そこからは海は見えなかった。外に出ることができれば、漁船も見えだろう。

散歩に出られたことはありますか？

あるよ。歩き回ったから、どこがどこか分からない。

炭鉱からどれくらい出てもいいですか？

遠くへ行かなければいい。海辺なのでその近くに行ってもいいのに。

仕事をして月給はもらわれましたか？

はい、月給はもらった。どれくらいもらったのか、憶えていない。トコロテンを買って食べる程度だ。

月給は家に送られましたか？

本人が送ってくれといえ、送ってくれた。そう言わなければ、送ってくれない。送ったことはない。どこかへ行って使う。

送るほどのお金ではなかったのですか？

そうだ。ひと月に食べるものを買うくらいだ。

炭鉱で働いていて事故に会われたことがありますか？

事故に会った記憶は、閉じ込められて何時間も出られなかったことだ。中に入って石炭を掘ってそれをザルに入れ、引っぱっていく。機械で引っぱっていくんだけど、その時、入口のところが崩れた。

幸い救出されたんですね？

1度や2度でない。終日、閉じ込められて必死だった。逃げるといったってどこへ？身動きできないまま連れてこられたんだから。

炭鉱に米国軍の捕虜もいましたか？

ああ、いたよ。

一緒に働いたこともありますか？

一緒には働かなかった。あの人たちはあの人たちだけで、朝鮮人は朝鮮人だけで働いた。

話しかけたことはありますか？

米国人に？米国人にどうして、言葉が通じないのに。行き来している時に会うだけだ。

米軍の捕虜たちはたくさんいましたか？

多かったのか少なかったのか、わかりません。作業場が数十カ所だから、中に入らないで事務室で人員を把握する人なら、どれくらいいたか知っているけど、私たちは仕事しに行かなければならない。指導者は20人くらい引っ張り出して、そこから多くて10人、15人が入る。19人まではかまわない。それだけしか入れません。

炭鉱で爆撃はありましたか？

日本で、ですか？爆撃があったと聞いたかな？

いつまでいらっしゃいましたか？

解放の時までいた。22歳になって帰りました。解放になってから。

春は何回来ましたか？

何度も来た。まる4年過ごした。18歳で行って22歳になったから4年です。最初にそう言ったしょう。18歳で行ったと。

解放になってからどうされましたか？

団体で帰すといっていたのに、そうはしなかった。だから逃げて、かつてに帰ったんだ。そう、じゃまする奴はいない。8.15の解放になったから。自由に1日でも早く帰ると騒いでいる人もいたし、しばらくそこにいてから帰るという人もいた。

解放になったとどうして分かりましたか？

何人かが聞いてきた。出入りする朝鮮人の一人が知ったから。解放になっても日本人は3、4日は仕事をさせた。

3、4日仕事をしてからやめたんですか？

働く人がいますか。10人で働く人。3人で働く人。2人ずつで働く人もいる。

炭鉱には日本人も多かったんですか？

日本人が多かったか、少なかったかは分からない。別々に働いたから。米軍たちも捕虜として行き来した。その場所はみんな違うから、どこに働きに行くのか分からない。

おじさんが働いた炭鉱は何という名前ですか？

何という炭鉱って？日本語でいうから分からなかった。朝鮮人は多かったの
で、朝鮮人の話によると、ここは山口県の炭鉱だと。

炭鉱の名前は？

分からない。もう憶えていない。そんな話をするでもないし、分からない。



≫≫ 福岡県にある坑口。個人の庭にある。当局は危険だと坑口を塞いだが、家の主人は湧き出す地下水を使うため、保存している。(調査1課李秉熙調査官撮影)

山口県というのは記憶されているんですか？

それは苦勞した所だから。

炭鋤の名前は思い出せないんですね？

思い出せばいいけど、思い出せない。

働いていて、親しくしていた人はおられましたか？

いません。親しい友達はいません。同じ地方の人が一緒に行けば、互いに話を
して親しくなるけど。いません。みな他の地域の人たちだから。

先に来て働いていた人もいましたか？

いたはずだ。

おじいさんが来た後に来た人はいましたか？

その炭鋤に、ですか？ どうして分かるというんだ？ 夜昼問わず働きに出てい
た、昼夜連れて行かれ、働いていたのに。

解放になって各自で帰国したんですか？

そうです。

どこに行かれましたか？

どこか分かりませんが、海辺だから行ってみました。そこで全羅道の船に出会
って、一緒に乗せてもらって帰りました。釜山で降りました。

どこから船に乗られたんですか？

どこか分からない。団体で帰ったから。日本で暮らした人が団体でまとまっ
て、ソウルならソウルというように団体で申請して帰るところがあった。それで
そうして帰ったんだ。

船賃は出されましたか？

船賃は団体の人たちが出した。釜山に来てその人たちと一緒に大田まで行って、その人たちはその駅で降りた。大田から天安へ行き、天安から洪城へ。洪城から瑞山へ。その時は自動車があった。木炭車だった。そうして帰った。

4年間おられて家族と手紙のやりとりをしましたか？

当然、しました。生きていることは分かりました。

村でおじいさんのほかに徴用に行った人はいなかったんですね？

そうだ。その後からどれくらい行ったのかは知らないが、この村からは、私が先発隊で行った。

ほかの人たちの話は聞いたことがありますか？

聞いたけどみんな忘れたよ。行って来ただの、帰ってきただののくり返しだから、詳しい話もしなかった。

釜山から家に帰る時、汽車賃を出されましたか？

出さなかった。団体と一緒に帰ったから、出したのか出さなかったのかも分からない。ありがたいことに彼らのおかげで帰ることができた。

その全羅道の人たちも徴用で来た人たちですね？

いや。故郷を離れて日本に住んでいた人が、8.15の解放になったから故郷に帰ろうと団体で帰ってきたんだ。帰る途中で出会ったありがたい人たちだ。私たちも帰らなければならないので一緒に行こうと、一人くらいは連れて帰れるとって。

食事はどうされましたか？

船に乗って帰る時？食事もその人たちが出してくれた。家に帰る時だけ車代を出したのかな。車代も出たのか出さなかったのかははっきりしない。日本に行っ

て帰ってきた人は、逃亡してきたのか、ただ帰ってきたのか分からない。

おじいさんの日本名は何ですか？

それは日本人がつけて呼んだのではなく、ここにいる時に日本の名前にしたのです。日本の姓を、朝鮮人の名前をみな日本の名前にして、それで密陽朴氏だと木村（または牧山）になった。木村といった、木村。

日本語ではどう呼びますか？

その時はボクティシュツ²⁷⁾(朴丁出)と呼んだ。ティシュツ。木村と言ったかどうかは、よく思い出せない。

キムラ・ティシュツと呼ばれたことはありますか？

思い出せない。たぶんこちらで呼ばれていた名前のようだ。それ以外は分からない。木村と呼んだと思う。家では「密陽朴氏はそのように改名した」というていた。[山口県で連合軍捕虜が連行された炭鉱は沖ノ山、東見初、本山、大浜、三陽無煙の5つである]

面談・監督：許光茂調査3チーム長 1次録聴文作成：チョ・ミンジョン

編集、推敲、注釈：鄭恵瓊課長、李秉熙、権美賢調査官

27) 朴丁出の日本語読み

兵庫県





◆面談後記◆

2005年10月7日、ソウル市恩平区水色洞の口述者の自宅で口述面談を実施した。どしゃぶりの雨の中、事前の約束時間より30分早く、口述者の自宅に到着した。口述者はアパートで息子さんとふたりで暮らしていた。

口述者はひとりで昼食中であつたが、調査官らが入ると食事を中断し、申し訳なかった。口述面談実施のため2名の調査官がさらに同行し、面談者は4名になった。面談は、代表面談者である権美賢調査官が主となった。口述者は93歳だったが、年齢のわりにキリッとし、記憶力もよかった。口述者はほかの被害者に比べて歳がいった30代で動員され、他の徴用者に比べ現地の状況に適応して過ごしたと見られる。口述内容は主にその体験談であつた。

ちいさな握り飯ふたつしかくれない



閔丙珠(ミン・ビョンジュ) 男、94歳

1913. 9. 19. 忠清北道清原郡北一面立上里で出生
1945. 2. 12. 兵庫県所在の久保田〔鉄工〕の工場²⁸⁾に動員(33歳)
1945. 11. 帰国

おじいさんのお年はおいくつですか？

93。

日本には何歳で行かれましたか？

30, いや33歳。

28) 久保田鉄工尼崎工場または久保田鉄工武庫川工場と推定。1890年、大出鑄造所（鑄物製造業）として創業し、1917年に兵庫県尼崎に工場を開設した。農業機械、建設機械などをつくる会社として有名である。大出鑄造所が久保田鉄工所、さらに㈱久保田鉄工所が久保田鉄工㈱となり、1990年に創業100周年を迎え、株式会社クボタに変わった。

それは何年だったか憶えていますか？

確かめなければ。道民証みせてくれる？身分証。

解放の何年前に行かれたのですか？

いや、その年だ。

徴用状は誰がもって来たんですか？

家にもって来た人が連れて行った。

誰ですか？

日本人と、朝鮮人がひとりだったが、朝鮮人はここに長く居た人だ。その人のせいで私たちが行った。

忠清北道清原郡²⁹⁾ 北一面³⁰⁾からは何人行きましたか？

朝鮮から1,000名行った。忠清北道から。

その内で名前を憶えている人はいますか？

もうみんな死んだ。閔フン○。名前もみんな忘れてしまったけど、チョ・スン○という人。その人は別の村から行った。ともかく昔のことだから憶えていない。

何月に行かれたのか憶えていますか？

何月に？陰暦なら分かるが、陽暦は知らない。陰暦で12月の末日。

正月を前にして行かれたんですね？

そうだ。当時は容赦しない。それもやつのこと許してもらった。私の娘はいま

29) 当時は行政区域が清州に属した。

30) 現在の内秀邑を指す。

77歳だが、その時15歳になったので、嫁にやろうとして、行くのを延期してもらった。そうでなければ、その前に行ったはずだ。

結婚して娘さんがいたということですね？

15歳になる娘がいた。結婚させるからちょっと延期してくれと、支署長に頼み込んだ。支署長はけしからんやつだ。その時は私たちによくしてくれたが、他の人にはひどいことをしたから、殴り殺された。解放になってから殺された。支署長が。

支署長は多くの人を徴用に送ったようですね？

もちろん。徴用にたくさん送ったこと以上にひどいことをした。人が性悪になり、食料なんかもやたら持って行って、朝鮮人が食べられなくしたんだ³¹⁾。私が行く時、嫁にこう言った。巡警がいくらひどいといっても、私の夫が日本の報国隊に命を惜しまず行ったのだから、すこしは助けてくれなければならないと言えど。幼児をおぶって行かせたんだ。嫁は私の言葉どおりしたから、私たちにはよくしてくれた。配給も十分もらった。夫が日本の報国隊に行って、家族が飢え死にしそうだから助けてくれ、と言ったおかげで。私たちの所には配給なんかもきちんとして、食べていくことができた。支署長から私の家族が配給をもらっているなんて村の里長が知らずにはできないことなのに、村中の人はおかしいと思った。悪いやつから（配給をもらって食べていると）。そうやって私たちは暮らした。私も嫁も元気で、そして解放の年に帰ってきた。

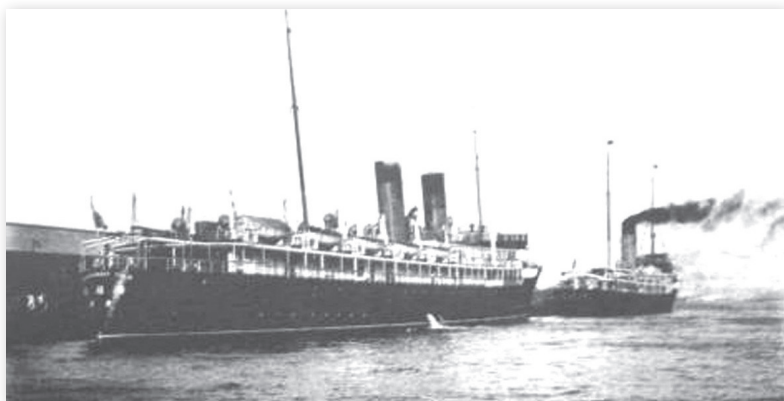
初めて行かれた時は、どこに集まりましたか？

清州。うん。

清州に1,000名がみんな集まったんですか？

清州に集まった。

31) 供出業務を担当したことを示す



>>> 関釜連絡船の一隻だった景福丸。

清州に1,000名が集まって訓練なんかを受けられたんですか？

いや。すぐに連れて行かれた。

清州からどこに行かれました？

大阪に。釜山からだ。

釜山へ行って、大阪まで行かれたんですね？

そう。大阪。兵庫県。大阪から兵庫県まで遠い。まる5里はある。

はじめに日本に到着されたのはどこですか？

兵庫県。

行くのに2、3日はかかったでしょう？

いや、それほど多くはかからなかった。

兵庫県から大阪へ行く時、汽車に乗れましたか？

いや。釜山で船に乗ればよい。連絡船³²⁾に乗って一泊すればよい。そこで一泊してからその次の日朝鮮の、いま金正日がいるところは何と言うところだったか。そう平壤。平壤からも1,000名が来た。その人たちの体つきは決まって小柄だ。昔は。そいつらがまたけしからん。汽車が遅れていたの、彼らが先に乗るか私たちが先に乗るかで争いになって、彼らが先に乗った。そいつらは強情だった。先に行って空襲に遭った。先に行ったのは間違いだった。

先に乗って行ったんですか？

そう。私らは無事だった。よくいうように悪いことは続かない。釜山へ行ったが、私の村の人で先に行った人がいる。その人は私より年下の若者で、釜山で出会った。なぜ分かったかという、朝鮮から報国隊が来るというので、道の要所で注意していると故郷で知っている人が来たとのことだ。そして私に会って「アイゴ!」、「ここにいれば行きやすいから、帰らないでここにいろ」という。私が、「どうなるのか分からないからここにいる」というと、同郷の人は「どうせ来たんだから、日本がどうなっているのか、少し見てよう」というので目的地まで行った。兵庫県まで来てみると、勝手が違う。故郷の家では私は立派だ、いい人だといわれ、悪い人といわれたことはなかった。ここではズルくなければ生きていけない。日本ではそうしないといけなかった。いつも人の目をうかがっていなければならなかった。

初めて来て何を教わったかという、³³⁾「あいうえおかけこ」と日本語を習った。学校で子どもたちを教える教室のような所で。私は一番後ろに座ってたば

32) ここでは関釜連絡船を指す。日本国有鉄道（国鉄）が本州の下関と釜山間を運行した鉄道連絡船（鉄道を結ぶ船の意。1905年開設）。福岡市の博多港と釜山間を運行した博釜連絡船（1943年開設）と、麗水を行き来した関麗連絡船（1905年開設）もある。関釜連絡船は1940年10月現在240km、約7時間30分かかり、博釜連絡船は1943年7月現在215km、約8時間10分（1943.07）かかった。1945年6月米軍の空襲がひどくなって、事実上運行停止となった。

33) 日本の仮名文字

こを吸った。昔はたばこを短いキセルで吸った。刻みたばこを入れた白い袋があって、それを持って行って吸った。吸っていると先生が来て、たばこを吸っているといって、横っ面をひっぱたいてキセルをとりあげた。それで私が「なんで人をたたくんだ」といった。先生は70歳くらいで、私は30過ぎにすぎない。朝鮮で「小学校の生徒を10年もした」というから、朝鮮語はよく分かっていて。私は「お前は朝鮮語が分かるだろう。日本人は自分の母親の前でもたばこを吸うくらいだから、ほっておけばいいじゃないか」といったんだ。「日本でも朝鮮でも教室ではそうしてはいけない。朝鮮でも教室内ではたばこは吸わないじゃないか」。「じゃ、お前にいうけど、お前らは先生といえるのか。私らは小学校の先生と生徒なのか。中学校の学生なのか。私らはおとなになってから来た。お前は先生としてふるまっているかもしれないが、朝鮮人はみんなそっぽを向いている」。私が騒ぎ立てると、何もいわずにキセルを返して出て行った。次からは教えてくれない。それでおわりだ。教えるのをやめたんだ。

日本での暮らしは、ずるくなければ生きていけない。だめなんだ。日本人が2人とわれわれの5人の班だ。班長は日本人で朝鮮人3人、日本人2人で仕事をする。私はその班長にいわれたとおりにした。法や常識から外れることが多いのに、そいつの子分になった。それなのに、ああ！朝鮮人2人は班長のいうことをいうことをきかなかった。いうことをきかず何もしなかったが、私はきちんとしたんだ。

ある日、私ら3人は事務所に呼ばれ、叱られた。何を言っているのかかわからないので、隣の人に何を言っているのか尋ねた。班長がいうことをきかないのを事務所に呼んで叱っているという。私はいわれとおりにきちんとやっているのに、なぜ叱るのか。その日本人は、班長を一発殴れという。「殴ってもかまわないですか?」と聞くと、「かまわん、かまわん」という。班長は70歳くらいで、私の親父ぐらいの歳だ。若いやつはひとりもない。年寄りばかりだ。そして「コッチコイ」という。日本語で来いという意味だ。行って、かけていた眼鏡をはずして、頬をぶん殴った。反対側の頬も両方とも殴った。「おい、私はお前がいうとおりにしているのに、どうして立たせて叱りつけるのか」。すると事務所で演説して叱りつけた奴は、気配を察したのか、いなくなってしまった。

叱りつけた奴はいなくなったが、班長は私に「閔丙珠は怠けてはいない。閔さんはよくやっていると思う」というから、「それじゃなぜみんな一緒にたたし

て、叱りつけたんだ？」といった。すると事務室へ呼ばれた。こんな机を前にして向かい合い、ソロバンを突き出して、何度もソロバンという。私がわからないかと思って。訳がわからないので「ソロバン、その前話ヤツテミ」と日本語でいうと、そろばんを机の上に置いた。ためらって何も言わない。日本語を話せる朝鮮人に、「あの人は何でそんなことするんだ。してはいけないとよく言い聞かせてやってくれ」と通訳してもらった。彼は何も言わず押しのけて、私に殴られた人を呼び出し、「なぜ一等国民が二等国民と喧嘩するのか」「ひどい目に遭うぞ」といつてくれた。そんな暮らしをしていると、沖縄の女たちがたくさん避難してきて、みんな食堂で働いた。

飯場のような所で働きましたか？

食堂で飯を出してくれた。30か25歳くらいの女たちが。必死だから浮ついた気持ちなどまったくない。どんな奴でも引っ捕まえるという時代だ。死んでしまうから。どうしてって、私たちはまかり間違えば、みんな死んでしまうという暮らしだ。数千人が飯を食うんだが、飯をどのようにして出すかという、幼児のこぶしほどの握り飯をくれる。握り飯ふたつとねぎ汁。他にはなにもない。ねぎ汁を炊いて椀に半分ほどと握り飯ふたつだけ。働き盛りの男がそんなもので足りるか？ そんなもの口に入れたらおしまい。真っ先に食べ終わったら、そこにいる必要はない。

木材を山のように積んでおく場所がある。その時は正月、陰暦の正月だったが日本は朝鮮より暖かい。日本人は、朝鮮服を着る私たちはそんなことしないが、彼らはパンツとランニングシャツだけです。もう気候は暖かく、たぶん陰暦の3月にはなっていた。そんな季節だったから田舎者を捕まえたのではない。外国に来て、何も知らないから木材の上で寝ていたんだ。工場では働くと合図の笛をピーッ!とならす。それでさっと起き上がって行こうとすると、その女たちが飯を分けてくれた。女3人だ。日本語で「おじさん、おじさん」と私を呼ぶ。どうしたんだという、手招きで来いという。行くと皿にのせた握り飯ふたつくれ、食べろという。それを食べると、また別の女が皿にのせてくれる。それでまた食べた。3食も食べ、もうお腹がいっぱいだ。そしたらまた一人の女が1食持ってきてくれた。その時、一緒に行った村の人を思い出した。私が「紙はあるか？」と聞く



》》 現在、インターネットにある
クボタのHPのトップページ。

と「ある」といって持ってきてくれた。それで包むようにいうと、また一皿持ってきてくれた。ふたり分を新聞紙に包んで、同郷の人に持って行った。知っている人にあげるとどれほどうれしいか。父母に会うよりうれしい？ そこでは、腹が減って豆カスを買って食べた。食べると腹具合がわるくなって、夜中ゲタの音がカタカタと絶えず鳴るようで、夜明けまで眠れない。他の人たちも、それを食べて腹を下した。そんな生活を送ったんだ。アイゴ。

おじいさんがいた工場の名前は何か？

久保田工場だよ。

おじいさんはそこでどんな仕事をしていましたか。

うん。いろいろやった。鉄、鉄を崩したり、つついたりした。そこで朝鮮人が死んだ。天井に設置された起重機を日本人が運転するんだが、そこに函がぶら下がっていて、その函に私らが鉄、崩した鉄のクズを入れる。起重機はそれに乗せて向こう側へ運んで行く。工場が大きいからだ。炭を乗せると同じように運んで行く。私は日本人ひとりと朝鮮人ふたりで鉄を集めて積み込んであちらに運んだ。日本人ひとりと私と班長は歩き、朝鮮人は函に乗って行った。鉄クズ

の上に乗って行くんだ。運転が上手であればいいんだが。その時は乱暴な運転で、あちこちふらふらした。工場内には鉄柱材が、いっぱい積まれている。それにぶち当たる。ふたり挟まれた。その下は水だ。そこに入ると誰も引き上げられない。

その人の名前は憶えていますか？

そう、チョン姓だったが、ああ！シド面。シド面の人だ。

同じ村の人ですか？

いいや。少し離れている。15里くらい。トガムという所だ。トガム何といったか忘れてしまった。その人はそこで死んだ。家は知らない。トガムのシド面の人ということだけは憶えている。詳しいことは分からない。他の人たちも朝鮮人が死んだって、気にする人はひとりもない。私も朝鮮にいた時の気持ちではいけないと決心した。どうすることもできないだろ。自分の命さえ維持するのが難しいのに、どうして人を助けることができる？

古くなった鉄を函にいれる仕事をなさったんですか？

いや、それもしたし、いろいろした。その一つは何かというと、夜に火をくべる時の火と機械をつくる型だ。軍需品工場で型を土でつくってそれに鉄を流し込むと型のなかで機械になる。そこへ行って火を焚いて十分に熱を加えなければならない。それから鉄板だ。鉄板を手押し車で曳いて、人が担げないから曳いていく。ヒサゴがそこにあれば、それを引き寄せて取り出し消すんだ。火は夜明けまで焚く。誰かが夜どうし火を焚いて、11時になると消す。11時になると壁が赤くなって、とてもその壁には近寄れない。

壁が赤く熱せられて熱いですって？

そうだ。11時になればそうなる。その時はそこで寝て、朝食前に灰を掻き出す。寮長が寮にやってきて朝飯食べてまた行くような時には、飯を十分に食べる。その時は一食余分に食べる。寮で食べて工場でまた食べる。だから食べることには何の心配

もない。他の人たちは毎日豆カスみたいなものでも買って食べ、腹をくだして慌てふためく。私はそんなことにはならなかった。魚を買ったり、マッコリを買った。

マッコリを買われたんですか？

そうしたから、健康管理もできてよかった。また、女たちの関連で食べる。他の人たちは班長にたじたじだったが、私は班長から配給を聞き出しては食べた。配給がある時には、広告板に「何だ」、「今日は何々がでる」と。朝鮮人にはそれが分からない。日本語を少し知っている人が、今日は何々が出ると教えるけど、朝鮮人はそれをもらうすべを知らない。だから食べられない。おかしいだろ。私は班長に会って、配給があるかどうかを日本語で「ハイキユウがある？」と聞いて、あればもらいにいく。一つ残らずみんな持って行けというので、みんなもらってくる。もらった物のなかには何であるのか分からないものも多い。これは食べるものかと聞いて、「食べ物」だとわかると、そいつと私は座って食べる。その時のお金で200ウォン（当時の金額で20円程度）、100ウォンだったかを出した。彼らが計算するため値段は安かったが、私に必要でないものは役に立たないからそれでよかった。彼が食べ物だというものを彼と食べた。私が食べられないものはお金で買い、それを朝鮮人の僑胞がいる所に持って行った。

朝鮮人たちが住んでいる村に行かれたのですか？

うん。朝鮮人が住んでいる所は多い。日本へ行くからと釜山から僑胞をたくさん連れて行った。みんな慶尚道の人たちだ。そこで何をするのかというと、馬を使った荷馬車引きだ。仕事は多かった。たびたび空襲があるから、引っ越しする人も多い。わが朝鮮の僑胞も生活はまずまずだった。その人たちは私らを見ると、かわいそうだといって食べ物も少しくれる。他の人たちは行って食べ物をもたらすべを知らない。豆カスみたいな安い物でも食べて腹を下して苦しむ。酒なんかも買う方法を知らない。私は豆カスみたいなのは買わない。そのようにして暮らした。朝鮮に日本語を知っているいところがあったが、ある日、私のおばさんが手紙をくれた。「いとこがそちらに行ったので訪ねなさい」と。それで手紙を出す「兄さん来て下さい」という。私より1歳年下だ。「兄さんが来

て下さい。私は行けません」だと。ああ！日本語が分かるのに来られないって。それで私がそっちへ訪ねていった。訪ねていくととても大きい工場だ。日本で一番大きな工場だ。

その工場の名前は何ですか？

工場の名前は何と言ったか忘れた。軍需品を作っていた。

その軍需品工場はおじいさんがおられた所とから遠かったですか？

そうだ。70里くらいはあった。

いどこに会いに行くとき車に乗って行かれましたか？

車に乗って行って会った。「我慢できないから兄さんどこかに移動させてくれ」という。「なぜ我慢できないのか」、「死体の後カタズキ³⁴⁾(片付け)が大変で我慢できない」と。大きな工場だから始終人が死ぬ。死んだ人を片付けるのはとても汚い。ひっきりなしに死んだという。「おまえは別の所へ移れば、朝鮮へ帰るのが難くなる。だからどんなにつらくてもここで我慢して、朝鮮に帰って両親に会わなければならない。別の所に移動してまかり間違えば朝鮮に帰れない」。私がそう言うと、「どうすれば私がいるところに行けるか」と聞くので、「よし」といって、私がいる所に連れてきて一晩泊めた。そこには私しか食べる分がない。だから私が日本の友達だと紹介し、せっかく来たから飯ひと碗よけいにくれと頼んだ。くれなければ私が黙っていないのでくれた。私が食べろという腹が減っているのかすぐに食べた。そうして食べさせた。そこから帰ろうとすれば、釜山や下関に行くことはできるが、こっちに来ると家に帰れなくなる。いくらつらくてもそこで我慢しておれば、帰りやすくなると思えと言った。それでつらくてもじっと我慢した。すると日本のやつらが手を挙げたんだ。降参した。だから、朝鮮人は全部送り返さなければならない。旅費をもらい、食料をもらって、家に無事帰った。家に帰ってきてどれだけ褒められた

34) 片付けのこと

か。私に「兄さんがいなければ死ぬところだった」と言うんだ。

解放になって何月に帰られましたか？

8月だ。

久保田工場で船を用意してくれましたか？

そうだ。

いとこと一緒に帰られたんですか？

いや、別々だ。ここから連れて行った人がいるだろ。朝鮮から連れて行った人は全部解放になると送り返した。旅費をやって船に乗って帰れと。連絡船には乗れない。連絡船に乗ろうとすると数ヶ月かかる。人が多いから。闇船³⁵⁾に乗らなければならない。闇船に乗って帰ってきたが大変でしんどかった。8時間乗れば帰れるところが、24時間かかった。

3倍もかかったんですね？

そうだ。釜山に行ってくれると思っていたが、麗水に連れて行かれた。

麗水から家までどうして来られたんですか？

家に帰るときは車を貸し切ってくれた。もう治安隊がいた。朝鮮治安隊ができていたからそうしてくれた。

そこで働かれたとき月給はいくらもらわれましたか？

月給はない。4円。そんなもの何の足しにもならない。

月給がないのにどうして肉やマッコリを買われたんですか？

別のことをして稼いだ。私は朝鮮から行ったんだが、私より1歳下の親戚のいと

35) 闇は違法の意味

こが死んだ。金持ちだったので彼が履いていた靴をくれた。二番目の叔母が、これを持っていれば日本に行ったときに役に立つから持って行って履けと、そういうのもらった。それを持って日本へ行った。履いていると底が裂けた。他の朝鮮人も私が履いて歩いているのを、そして底が裂けたのを見た。考えてみるとこれではよくない。それでゴミ箱をあさり回っていると靴墨みたいなものがあり、針は私が家から持ってきたのがある。大きな紙袋の糸をほどき、ゴミ箱をあさり回っては傘の布のようなもの、靴墨のようなもの、そんなものをあさってきては、それを縫い付ける。上手に縫い付けて墨をさっと塗ると新しい靴のようだ。ちょっとした腕前なので、他の人がそれを見て「アイゴ、どこで直したんだ」と聞く。どこに修繕屋なんかいるものか？「修繕屋にもどこにも頼んでいない」といって履いていると、私のも直してくれという。それで朝鮮人たちの靴を直してやって、お金1,000ウォン³⁶⁾ずつ、もらった。1,000ウォンといってもせいぜいマッコリ1杯分しかない。

それでそんな商売をされたんですね？

そうだ。朝鮮人どうしでしたし、それに日本人も靴をもって来てくれた。私に直してくれと。それでいくらほしいと言ったかという、日本人は金をいくらくれという、高いからやめると聞いていた。私はそれが嫌だったので、豆1升だけくれと言った。豆1升なら10円。当時の朝鮮のヤミで30円ほどになる。それをくれと、それくらい幾らにもならないだろ。豆1升をくれという、よっしゃといって器をもって来てくれた。大したお金じゃないか。靴をちょっと縫って豆1升をもらうなんて。だから、そんなこともしたし、ほかにもいろいろやった。行ってただじっとしておれないので。

じゃ、帰られる時はお金を少しためて帰られました？

もって来た。ほかの人たちはみんな交換して帰ったが、私はそのまま持ってきた。妻がそうしたらどうなるか知っていたから。私は朝鮮のお金で2000円[ウォン?]持ち帰った。200円で当時は畑が11斗落〔斗落は耕地面積の単位〕買え

36) 当時のお金で10円程度の金額。

る。それで妻が、私がお金を200円しか持たずに帰ってきたといった。先にお金を送ってやったんだ。

送金されたんですか？

うん。そうしてはいろいろな商売をした。米商売もした。それが癖になったから。お粥を売っているところがあった。白粥を売っているところで、親戚の同郷の人と暮らしているとき、お粥を食べるといっていつも大騒ぎした。一杯くれと。腹が減ってしかたないというので買ってやった。一杯で15円にしかならない。私は別の所をちょっと見てくるからそこで食べておれといって、別の所へいってみると日本人が靴を出して売っている。「ナオシ」もできずどうしようもない古靴を。「コレ、ナンボデスカ」と聞くと、一足の値段だ。その時、お金をいくら持っていたか。ちょうど200円持っていた。200円で靴5足を買った。5足を持って朝鮮の家に帰ると、アイゴ、それをどこで手に入れたのかと。そんなものどこで手に入れたのかと聞くんた。生まれて初めて見たからだ。それを売ると、200円で買ったのに、200円残った。

2倍の商売をなさったのですね？

200。50円ほど残った。それでまたその家に行った。行ってみると「ランニングシャツ」を売っていた。それを分けてくれと、それ一着いくらだと聞くと15円だという。それがよく売れるのかどうか分からず、ひと包みくれと言った。ひと包みだと1着15円だから7500円³⁷⁾だ。それを持って帰って1着30円もらった。1着15円で買って。朝鮮人はそれをみると、先を争って売ってくれという。日本へ行って金を稼ぐのが容易になった。金を稼ぐのが好きになった。1着30円で売って金を儲けた。日本では同郷のかわいそうな人だといってよくご飯を食べさせてくれた。だから私は腹も減らず元気にすごした。ある時、火をたいて寝ている時に空襲があった。あのB29っていうのか。大きいのが爆弾をたくさん落として、工場の外にそれが落ちた。ひょっとしたら私も死ぬところだった。出てみるとものすごく大きな穴があき、そのふちが大きく盛り上がっていた。

37) 75円程度。金額の誤述と判断される。

爆弾が落ちたんですね？

爆弾が落ちた。それから死ぬ目に遭った。もう解放になって家に帰るというある日の夕方、日本人らが注意を呼びかけた。「9時になると台風がきて風がひどく大雨になる」とのことだった。私は2階にいたのだが、8時半頃だったか？風が吹き始めた。そこは畳部屋だったが、分厚い畳がふわふわ飛び上がり、戸がガラガラと落ちてしまったもんじゃない。外を見ると水がこれくらいまでできている。ここにいてはだめだと思って下に降りた。降りて人の声がする方へ走っていった。アイゴ！私の同郷の人がみんなそこにいた。初めから分かっていたんだ。私は末練がましくそこに居たら死ぬところだった。帰ってみるとその2階建ての家がすっぽり水につかっていた。アイゴ！その後、雨がひどく降って、私たちは堤防の土手に、とりわけ高い土手に行った。古い2階建ての家はすっかり水につかり、子犬、豚、缶なんかみんな流されていた。ぷかぷか浮いて。まかり間違えば死ぬ所だった。そうして命が助かった。そんなひどい苦勞をたくさんした。

面談・監督：権美賢調査官 1次録聴文作成：沈スンア

編集、推敲、注釈：鄭恵瓊課長、李秉熙、権美賢調査官



◆面談後記◆

2005年10月19日、忠清南道泰安郡近興面の口述者自宅の居室で面談者と副面談者、面職員、おばあさんなどの立ち会いの下で口述面談を実施した。崔炳淵おじいさんの自宅は、裏側に海が見える漁村にあって、夫人とふたりだけで仲睦まじく暮らしていた。おじいさん、おばあさんとも、とてもさっぱりした性格であり、今まで訪問した中で最も清潔に家の中が整頓されていた。口述は秋の日差しが温かく居室に降り注ぐ午後の物静かな時間に落ち着いて進められたが、時折、外から電話があり、多少口述を妨げることもあった。口述者が事実確認にとっても積極的であり、誠実に対応してくれ、聴取作業の大きな助けとなった。時々、事実の記憶をたどろうと、しばらく沈黙する場面があった。ただ惜しまれる点は、高齢のために発音が不正確であり、きちんと意味を捉えられない場合があったことである。

引率は高等係刑事がした



崔炳淵(チェ・ビョンヨン) 男、84歳

- 1923. 3. 23. 忠清南道瑞山郡近興面新津島里で出生
- 1941. 10. 兵庫県の川崎重工業の造船所³⁸⁾に動員され、旋盤工とされる(24歳頃)
- 1946. 3. 解放後帰国

徴用に行かれる前はどこで暮らしておられましたか？

ここで暮らしていた。ここが故郷だ。

当時の住所はどうなっていますか？

瑞山郡近興面新津島里。今も番地はまったく同じです。

当時の家族関係はどうなっていましたか？

両親がおり、兄弟は私を含めて5人、7人兄弟姉妹だった。

38) 兵庫県神戸市にある川崎重工業株式会社の造船工場。1896年株式会社川崎造船所設立、1939年川崎重工業株式会社となるが、2002年川崎重工業から独立した。日帝時代は戦艦などを製造し、戦争に協力する会社だった。

おじいさんの上にお兄さんはおられましたか？

はい、兄、姉もいる。

お兄さんは何人おられましたか？

4人いましたが、一人は亡くなり、その時は3人でした。

徴用に行かれたときは何歳でしたか？

数えて24歳だったと思う。

何年度か憶えておられますか？

憶えていない。

何月だったか憶えていますか？

陽暦では憶えていないが陰暦でなら。陰暦で秋夕を祝った。22日頃ではなかったかと思う。それなら秋ですね。

秋の稲刈りの頃ですか？

その頃でした。

当時はどんな仕事をされましたか？

ここですることって、水産業のほかにはない。

船に乗って出て魚を獲られたんですか？

そうです。

学校には行かれましたか？

学校といえば、初等学校ではなく、実業中学校がありました。農村実習学校。1年間だけ瑞山にいるときに。

日本語はおできになったでしょう？

日本語ですか？全部分かったと思う。

何人くらい徴用に行きましたか？

瑞山郡で私たちと一緒にいったのは161人だ。

161人が一緒に行きましたか？

はい、一緒に行きました。

徴用令状を受け取って行かれたんですか？

そうです。面で。

徴用令状は誰が持ってきたんですか？

職員が、労務係員が持ってきました。

労務係員の名前はおぼえていますか？

持ってきた人はよく憶えていないが、引率で郡庁まで行った人は、ええと昨日まで憶えていたのに。その息子が塩を売っていたんだが。李〇〇だ。

李〇〇という人は面の職員でしたか？

面の職員だ。

面の職員が引率してどこへ行きましたか？

瑞山郡庁。

瑞山郡庁に161人がみんな行ったんですか？

違います。161人はそこに集まった人です。

161人というのはなぜ覚えておられるんですか？

それは、李〇〇という人が、かなり私に。当時私が通っていた中等学校がちょうど面事務所の下にあったんです。

学校が面事務所の下にありましたか？

ええ。いや、学校が上にあって面事務所が下にあった。その人が何とか教えてくれて、ずいぶん助かりました。郡に行って集まり、そこで鉛筆をくれた。隊長として行く人は、現地（日本）へ行っても労働はしないで事務をする。多くの人を連れて行く以外には何もしない。一度やってみろ、推薦してやるといって、推薦書を自分が出してやると鉛筆をくれた。それで行くと、李〇〇、いま思い出した。行くと試験官は内務課長だった。

内務課長ですか？

そう、試験官。そこへ4時を前後してひとり、ふたりと集まって来た。李〇〇氏の推薦で来たという、私に「これまで何をしたのか」と日本語で聞いた。

これまで何をしたのかと聞いたんですか？

ええ。何をしたのかとすべて日本語で聞いた。それで話をすると「よし、行け」という。分かったというわけだ。そして明け方頃に行くと、私たち161人は2つの小隊に分けられた。1小隊、2小隊に分けて「お前たちふたりは、私と一緒に引率していく」という。1小隊はヤン〔梁〕といい、それがヤナガワ³⁹⁾部隊だと。ヤナガワ部隊。

ヤン〇〇という人は日本名を使っていたんですね。

その時はみんなそうだ。

39) 柳川〔梁川〕と推定。

おじいさんの日本名は何ですか？

私は高山だよ、ヘイエン⁴⁰⁾〔炳淵〕。

ヤン〇〇という人は何という面から来た人ですか？

安眠島から。

ヤン〇〇は1小隊、おじいさんは2小隊を任されましたか？

はい。私が81人を引率し、彼は80人を引率した。そう記憶している。

引率隊長はその内務課長がしましたか？

内務課長と黒沢という日本人。瑞山警察署高等係の刑事です。

高等係の刑事ですか？

はい、その時は。

引率してどのように行かれたのですか？

釜山へ行きました。車やバスなど、あれやこれやと乗って、まず洪城まで行きました。洪城で列車に乗って天安に行き、それから大田に行きました。大田で労務係の引率者がまたひとり来ました。そして列車に乗って釜山へ行ったんです。

釜山に到着して何をされましたか？

着いたときは日が暮れて暗くなっていました。日本から人が来ていました。

日本から人が来ていたんですね？

はい。でも私たちが令状を受け取ったのは、徴用として、です。

40) 炳淵の日本語読み。

じゃ紙に書かれたものを受け取られたんですね？

そうだ。

どんな色だったか憶えていますか？

白い紙に赤い線が。でも郡に行くとき応徴士⁴¹⁾となっていました。応徴士と。それで引率して釜山に行くからと期待していました。そこで引継ぎをした。

高等係刑事が帰り、引継ぎした人たちが連れて行くのですか？

そうです。その人たちに引継ぎして。

引率者たちはどこへ行くのか話してくれたんですか？

どの部署でどこから来たのかわかりません。その時、李〇〇が「十中八九日本へ行く」から「そこで要領よくやれ」という話までしてくれました。私たちは小隊長だから話の内容が分かりました。そして腕章をもらって、81人すべての隊員にそれを配った。ヤン〇〇は同じものを80個配った。それからの行動は遮断されました。

その時から監視をするんですか？

はい。監視して、用をたすときも日本の奴がついてくる。どこに行くにも。

日本の軍人がいましたか？

いや、軍人なのかどうか分からない。

日本人がずっと付いていましたか？

もちろんです。日本人は同じ宿に泊まり、次の日の朝8時に連絡船に乗った。

41) 労務動員の人員を確保するため、1944年下半年から施行された労務動員の方法のひとつ。徴兵に応じる応召者と同じく、労務動員の人員徴発でも強制性と統制性を強化するため応徴士制度を積極的に実施した。応徴士制度によって地域別割当がさらに強化され、送出人員数も増加した。

連絡船は大きかったですか？

関釜連絡船⁴²⁾だから大きかった。

連絡船の名前はおぼえていますか？

朝鮮の連絡船だが名前は憶えていません。

連絡船の中に入ってみて、どのくらいの大きさの船でしたか？

中はとても大きかった。2階、3階になっていました。

連絡船には瑞山から行った161人だけが乗ったんですか？

いや、一般人もたくさん乗りました。われわれ161人は上の階に決められていました。その日の夕方、日本人に呼ばれました。ウノギ労務課長と黒沢隊長とチョ〇〇の3人が、小隊長の2人を呼んだんです。

黒沢というのは内務課長という人ですか？

労務です。ウノギ。植民地時代だから身分は天と地の差です。はじめて対面したときから指導権を握って、わざと私に与えなかった。「私は81人を引率しているから全員の腕章をくれた。引率者なので日本人が来いといえれば行くしかない。いったん任された以上、勝手なこととはできない。何があろうと自分でしなければならない」そう決心して行った。しばらくして呼ばれた、黒沢が呼んだんです。「私たちが責任を持って送ってやるから、ついてこい」といったようです。

黒沢という人が小隊長たちを呼んだんですね？

そうです。日本人がついてきて、内務課長が言うには「私たちの任務は終わったから、お前たちは手段と方法をつくして行動すること、それだけを言うておく。だから行動はお前たちにまかす」といって、菓子を買って1包ずつ分けてくれた。逃亡するなら勝手にしろということです。つまり、要領よく自由にやれということだ。私

42) 関釜連絡船 [この解説は、前掲注32と同じ]

たちの考えではこれは軍隊式だ。いずれにせよ、逃げるのなら逃げろ。私はそう思った。ヤン○○氏が、お腹が痛くて死にそうだと一晩中大騒ぎした。でもどうすることもできない。突然車に乗せられ、連絡船に連れて行かれたから、何ができますか？ 便所にも勝手に行けないのに。腹が痛くて死にそうでも死ねばそれまで、日本の奴らが放してくれますか？ そのようにして行ったのです。

日本のどこに行かれましたか？

日本に行くと神戸市灘区スマテラ町⁴³⁾だった。スマテラ町。都市に行けばなんとか区庁とかいう式で東区とか西区とかがある。そこは灘区です。灘区にスマテラという寺があって、寺の名前をとって地名にしたんです。そこに行くともんな新築だ。私たちを収容する建物は。行ってみると私たちだけではない。すでに来ていた人もいる。

すでに入っていた朝鮮人がいたんですか？

はい。みんな遮断されて。

遮断されたって？

その隊長の姓は分かります。人見だった。

人見という人が隊長でしたか？

はい。日本人です。そこで寝て次の日からひと月の間訓練をしました。

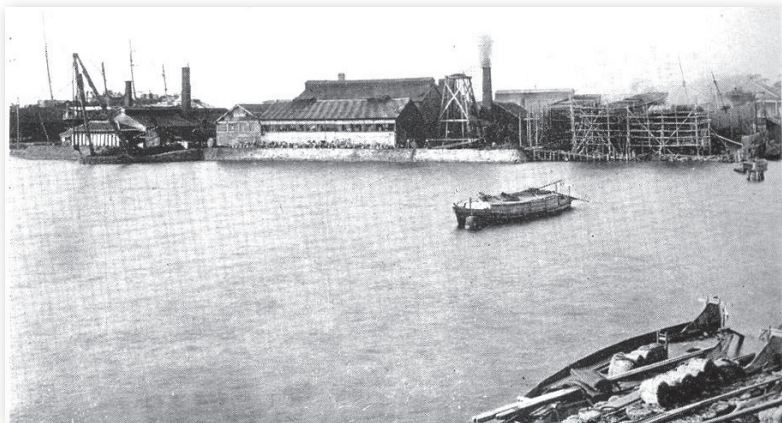
ひと月間訓練をしたんですか？

はい。訓練を受けながら工場の現場見学もし、さらにひと月後に各部署に配置されました。

現場見学の訓練だけをしましたか？そのほかの訓練も一緒にしましたか？

急ぐからほかの訓練も一緒にしたんです。「団体生活をするときはこうしなければ

43) 船寺町と推定。〔須磨寺ならば、須磨区〕



≫≫ 明治時代の川崎造船所の姿。

ならない。部署に配置されれば、熱心に働かなければならない」。こんな訓練を。

工場まで行くとき船はまっすぐ神戸まで行ったんですか？

ちがいます。下関で降りて列車に乗って。

列車が準備されていたようですね？

そうです。降りるとすぐに。

乗せられて神戸に行かれたんですね？

はい。そうしてそこへ行きました。

行かれた所は何をする所でしたか？

工場は艦船を作る工場です。ナガサキ⁴⁴⁾〔川崎〕艦船工場という。神戸ナガサ

44) 川崎の間違い

キ「川崎」艦船工場です。

そこで小隊長をされたんですか？

どういたしましてですよ。その人たちが口先だけで誘導しようとしたのかどうかかわからないけど、言葉が分かるということだけは認められた。前と同じです。少ししゃべってみて、日本語がわかる人は名札に赤い線が表示をされたんです。

名札があったようですね？

名札を付けて通いました。よく分かる人は二重の赤線。少しだけの人は一本線。できない人は何もなし。そのようなしくみで配置され、そのなかで、さらに分隊長をつくったんです。私が1分隊長。

分隊はいくつありましたか？

分隊長は28人だったから28。だから私たちだけではなかったんです。私たちが行くと、咸鏡道の元山の人たちがそこにいました。

おじいさんより後に来た人たちもいましたか？

その後に工場にきた人はよくわからない。外出もできなかったから。

外出もできなかったんですか？

もちろん、できなかった。分隊長だけが、小隊長、中隊長の引率で市内に出かけることができた。あちこち出かけて3人連れで9日に大阪にも行った。そうして外出するけど、それほどお金があるわけじゃないでしょ。

1分隊は何名でしたか？

その時は18人です。

18人が同じ部屋で寝るんですか？

違います。寝床はとてもよかった。畳1枚⁴⁵⁾に掛け布団、敷き布団、毛布2枚。

食事はどうされましたか？

食べ物は大豆飯、食べるものは。

大豆飯は充分に食べられましたか？

混ぜ飯です。麦を入れ、粟、雑穀、豆はたぶん味噌麴をつくって、大豆は大豆のままゆでてこれらとまぜる。だから米は少しも見えず、豆だけなんだ。豆を茹でてご飯と混ぜたものだ。食堂に行ってみると、そのようにしていた。

食堂と宿舎は近かったですか？

いいや、遠かった。ご飯をつくる工場が別にあった。

宿舎はそこから少し離れていたんですね？

かなり離れていた。

工場はどこにありますか？

工場はその向かいです。

工場と海は近かったですか？

海にくっついていました。だからそこで船をつくり水に浮かべました。

宿舎は工場の中にあったんですか？

工場の外です。工場に行くには列を作って行かなければならない。

45) 板の間に敷く日本の床材

工場で監視していたからですか？

監視したって行きたければ行くし、行きたくなければ行かないし。毎日監視する人はおらず、分隊長がしたんです。

朝は何時から工場で働いたんですか？

8時に行って5時まで。

5時に終わるとすると夕方に働きに行く人もいましたか？

いません。

5時に終われば宿舎に帰るんですか？

宿舎にいる。ただ、眠るんです。配食があれば、私たち分隊長がもらって分けてやります。

昼食はどうされましたか？

昼食は弁当。その時はベントといったよ。それを食堂で出すんだが、それが元で日本の警察署までみんな引っ張られました。

どんなことがあったんですか？

4合5勺⁴⁶⁾なのに、あいつらがするのをみると、朝食は160g、夕食は130g。昼食はなかった。どうしてそれだけなのかということです。4合5勺の飯を炊いてどうして200～300gしか出ないのか。それを抗議したんです。

あまりにも少ないという話をされたんですね？

はい。もっとくれなきゃならないのではないか。4合5勺ですよ。4合5勺の配分だとなっているんです。その時、分隊員の小隊相談室がありました。そこで1食

46) 合は容積の単位で穀物、粉、液体などの容積を量るときに使い、1合は1升の10分の1で約180mlに該当する。勺は合の10分の1で約18mlである。

分があまりにも少ないのではないかと。飯が入ってくる数字と私たちが食べる数字が。粥を炊いて食べに行けば、私たちにくれるか、確かめようと。中隊長は永登浦に20年いたらしいです。

中隊長は朝鮮人でしたか？

いや、日本人です。みんな日本人です。そいつが立ち聞きしたんです。そいつが「こいつらただではおかない」と、突然召集をかけたんです。みんな引っ張られました。「なんてことだ。訳をいえ。ここに死ぬために来たのに、生きようとしているのではないのか」と。内鮮一体を口にする奴が、仲間を犬のように殴ったんだ。

引っ張って行ったのですか？

いいや。ただ行こうと、行けない理由はないはずです。「私たちは強盗や泥棒ではない。逃げも隠れもしない。生きようするとお前らが勝手に思っている。私たちは妥協できればいい。どうして私たちが引っ張って行くんだ？」

妥協できればいい、どうして私たちが引っ張って行くんだ、という話をされたんですね？

分かりますか、そうして警察署に行ったんです。行ってみるとシホシミ、シホシュニン、司法主任が夜勤をしていました。どうしてここに来たのかと。「飯を公正にしてくれないんです。4合5勺といったからにはそれを守らなければならない。飯があまりに少ないんで、私たち28人が集まって会議をし、明日は事務室に行って確かめようと。そうしたらそれを口実に私たちが引っ張ってきた。留置しても、しなくてもいい。あなたの思い通りになるかならないか、みておれ」と。〔動員されていた朝鮮人が〕全部で4,500人だと後で分かりました。

工場にいる人はみんな朝鮮人でしたか？

そうです。朝鮮人たちがみんな警察署に来たんです。「私たちは地方から出てくるとき、この人たちを信じてついて行った。この人たち一緒に行けといわれてついてきた。私たちはこの人たちと一緒に居られるようにしてくれ」。

4,500人がそう話をしてくれたんですか？

はい。4,000人かもしれない。話では4,000人以上になると聞いたが、実際の数字はわからない。4,000人以上になるという話だけは、聞いた。とにかく全部で4,000人が集まってきた。その人たちは私たちが引っ張られて行ったとことを、どこかで聞いてきたようだ。だから止めようにも止められない。それで捜査主任、司法主任という人がここから出るようにと決着をつけてくれた。「今日は私が当直だから一晩泊まって遊んで行きなさい」といってくれました。それで私たちは「手錠をはめたままで遊ぶなんてとんでもない。なんであなたと遊ばなければならないのか？ 罪のない人間を捕まえて留置しようとしているのではないか」といった。すると「あの人たちには帰ってもらい、話をしよう」という。それですぐに「そんなことできない。どうせ私たちは死ぬんだ。あなたは内鮮一体、内鮮一体と言っているが何をしてくれたのか？ あなたたちは私たちに何をしてくれた。お腹がすかないようにしてくれ、量を増やしてくれ。それを求める者に手錠をかけたから、5,000人が抗議しているんだ。だからできない」と事情をうまく話した。するとしかたがないから出て行け、文句をいわずともかく早く宿舍に帰れという。私たちは明日9時には工場に行くので、一緒に歩いて帰ってきたんです。そしたらみんな何も言わずにさっといなくなったんです。驚きましたよ。

朝鮮人労働者が何もいわずにさっと思って驚かれたんですね？

はい。驚かすにはいられません。大声を張り上げて入ってきたのは。それは警察署が問題です。1杯だけくれればいいのです。いちばんしてはいけなのは、毎日注射を打つことだ。

誰に注射を打つんですか？

私たちに、ですよ。

どこで、ですか？

宿舍で。

何の注射を打つんですか？

そうですね。毎日注射を打ちます。それで私は看護員に率直に言ったんです。ある日私の友人が小包で棗を送ってくれました。友人の家から友人に。その友人が私の部隊にいたから私に少しくれた。私は少し聞きたいことがあった。棗をポケットに入れて看護員に「これ何か知ってるか」というと、わからないという。「これはお前らの言葉で、ナツメで、朝鮮語では棗だ。食べてみろ」。こんな実があるのかという。「ところでひとつ聞きたいことがある」というと、聞きたいならいってみろというから、「何の注射だ？」と聞いた。4,000人が一緒にいれば、変なことをされることもあります。だから「性欲を減らす注射〔ママ〕なんです。分隊長はなるべく避けてください」。

看護員がそう教えてくれたんですか？

「誰かにこの話をすれば、私がひどい目に遭います」というんです。それで「そんなことはしない。私だけが知りたかったただけだから、そんな心配はしなくていい」といってやった。

朝起きて出かける時に注射を打つのですか？

出かける時にみんな打たれます。

おじさんは避けられたんでしょう？

そうはいつでも、それも難しいです。4,000人が打たないとなれば、そんなこと耐えられないです。それで、警察署に行った次の日に大隊長、中隊長をスパッと罷免したそうです。

工場で罷免したんですか？

そうです。そして他の人が来て、飯が少し増えました。

飯が増えたんですか？

4合5勺にはならないけど、4合はくれたようだ。

みんながお腹をすかしているとき大きなことをされたんですね？

腹が減るのが一番つらい。農村から来た人たちは3食を食べても。世間からすれば、私は幸福に見える。でもほんとはたまらない。朝の食事だと匙3、4杯でなくなってしまう。だからその人たちが、ののしる。食事のせいで。

28人の分隊長が力を合わせて成し遂げたのだから、朝鮮人たちはいうことをよく聞いたんですね？

もちろん、よくついてきてくれた。

親しくされた人はおられますか？

名前をカネヤマ〔金山〕という元山の人で、その人に一発殴られるとすぐぶっ倒れます。私たちが日本で履いていた軍靴がすりへって履けなくなる。でもその人がみるととても良くなるんです。

その元山の人ですか？

はい。何だかんだといっても、言葉の分からない人にはきつい仕事です。コークスの運搬をした。私たちが作ると、後ろからきて運んで本社に送るけど、話が通じますか。通じないですよ、そうでしょ。

仕事ができない人はその元山の人の殴られた人ですか？

違う。日本人の奴らに。殴られた人に聞いたんです。その人はほんと、徹頭徹尾の〔最後まで貫く〕人です。私たちの工場では。

誰が、ですか？

元山の人。我々どうして口争いするときは便所に行けと言うんだ。「お前たちは汚い奴らに連れてこられ、恥ずかしいことをしながら生きているのに、我々どうして喧嘩してどうするんだ」。私と古参者は1日に事務室へ少なくとも3度くらい行かなければならない。だから身動きがとれない。日本人が朝鮮人を殴ったなら日本の奴をここへ来させろというんだ。「習いもしないのにどうして

言葉がわかるというんだ。言葉ができないのはばかだが、それがわからないお前たちもばかだ。お前はかわいそうな奴を殴ったから、お前も殴ってやる」。そう言って殴る。両方を一度ずつ殴ってから自分がすべきことをする。隊長のいる事務室で抗議するんだ。「ヒョンヘタン⁴⁷⁾〔玄海灘〕を越え、はるばる日本に来て、お前たちの戦争に貢献するための仕事をしている。飯をともに食わせてから働かせよ。この盗人ども。どうして殴るんだ。このやろう。殴るなんて。次から殴ればお前も殴ってやる。私たちはどうせ生きるために来たのではない。お前らの大東亜戦争とかで、死ぬために連れてこられたのだ」。そして「これからはしない」といって夕食の食事の量が増えた。

夕食の飯が増えたんですね？

何をしていた時だったか、風呂敷を包み帰るときだから。解放になったんだ。何も言わずに帰った。

解放になって、何も言わずに帰ったんですね？その後も食事は出ましたか？

日本人はみんな去って、誰が飯をくれる。どこで飯を食べる？

工場で働かれたときはどんなことをされましたか？

センバン⁴⁸⁾です。旋盤。

何を削ったんですか？

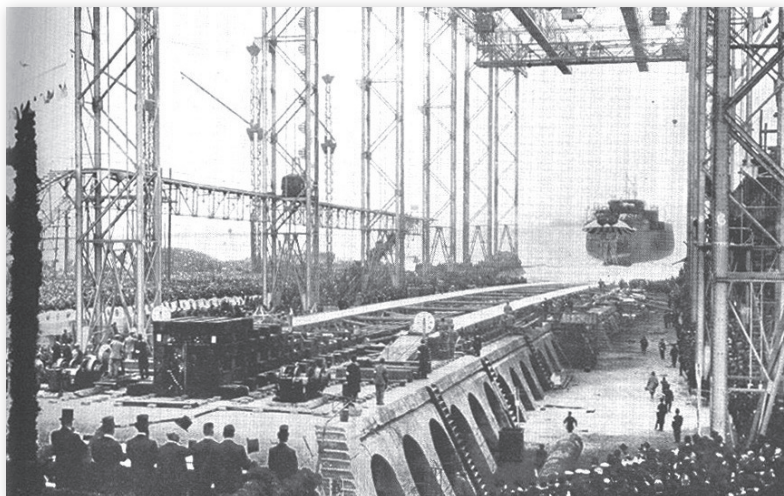
何か分かりません。こうして削れと言われただけ。

それは軍艦のどこにあたりますか？

それが船のどの部分なのかまったく分からず、言われる通りにした。

47) 玄界灘

48) 旋盤



》》》川崎造船所での巡洋艦進水式。1913年

おじいさんは旋盤工だったんですね？

そうです。

ひとりで、旋盤で削っておられたんですか？

いいや、たくさんいた。日本人を連れて来たから。

日本人が多かったんですか？

日本人は年取った人。40～50代。

若い日本人はいなかったんですか？

いても幼いのは、昼飯の運び役だ。16、7歳ぐらいの者たちと旋盤を使う。ある日本人が、田中という人だが、そいつが「お前たちはどう考えるか」と聞いたんだ。お前たちは1年の期限で来たといって。

1年の期限で来たといって、そう聞いてみたんですか？

そう、1年期限です。だから私に話をするんだ。「大東亜戦争がシマイになれば(終われば)⁴⁹⁾、お前たちは自分の家に帰る。この戦争で日本が負けてもそうなる。日本が勝てばお前たちは全部南方軍にされ、訓練工として行く。朝鮮という国はない。だからよく考えて行動しろ」。こんなことをいう歳のいった日本人もいた。その人は45歳くらいです。そんな人に会ってから、旋盤を使うのに力が入らなかった。

1年期限だったのにどれくらい働かれたんですか？

1年にもならなかった。

44年の秋夕を過ぎて連れていかれ、次の年解放になって帰られたんですか？

そこから出ると乞食同然じゃないですか？それでも4合ほど食べていたのに1合ももらえないのに、どこに行くことができますか？乞食になるでしょ。

工場への爆撃はなかったんですか？

ああ、神戸もひどくやられました。昼間は、爆撃はなく、夜だけ。

爆撃になればどうしますか？

夜寝ているときに東の方から米軍の飛行機が空襲してきたといったり、西側から来たといったり。まったく訳がわかりません。どこから来るのか分からないんだ。そいつらがここから来るといえば、そこから来るし、そこから来るといえば、そこから来るんだ。どこから来るのかまったく分からない。そして1編隊が来る、2編隊が来る、3編隊がくるといっても、何も分からない。行ってしまう。でも不思議なことに、朝鮮人の宿舎には1発も落ちたことがなかった。

49) シマイとは終わる、完了を意味する。

空襲になれば避難したでしょう？

もちろん、避難しました。避難しなければならないけど、どこへ？どこか避難できる所ありますか？ 部屋から這い出てどこへ？

防空壕へ逃げるでしょう？

防空壕をどこに造りますか？工場に防空壕があるのに、ですよ？ そこに行けば人がいっぱい、何人入っているのか分かりません。日本人が先に入っている、私達たちは入れない。

空襲の時に怪我をした人はいましたか？

怪我した人はいません。私たちの宿舎から40～50里離れたところで空襲が多かった。空襲するときには5、6回来ました。でも私たちは誰も負傷しなかった。それで戦争が終わって乞食になった。

月給はもらいましたか？

ひと月皆勤すれば110円だが、皆勤する人はいません。私でも60～70円程度だった。

それでももらえたんですね？

そうですよ。

分隊員たちは月給をもらいましたか？

もちろんです。

月給はどこに使われたんですか？

そのお金のほとんどを家にする人もいた。その中で要領のいいやつは花札をしたり、どこかへ出かけて食べ物を買って商売をした。買って、売るんです。お腹が空いているから欲しいでしょ。私もみんなそれに使いました。私たち28人は1週間に1度ずつ会食をしました。行くのは既住者の町です。濟州島の人たち

ばかり住んでいる。大阪に行けば朝鮮町⁵⁰⁾というのがあります。そこに行って牛肉なら牛肉、豚肉なら豚肉、鶏肉なら鶏肉を買い、お米を買う。それで会食したんです。いと思うとそれも…。

解放になったことをどこで聞かれましたか？

解放になったことを最初は知りませんでした。8月20日頃、食べ物を探してあちこち歩き回っていて分かったんです。聞いてみると「終戦ではなく敗戦だ」。そんな話をしていました。だから、やつらはこっそり逃げたのか。

8月15日から逃げて誰もいなかったんですか？

いいえ。15日には日本人にもよく分からなかったようだ。17、18日ぐらいだと記憶している。その日の夕方に突然たくさんの食事が出たんです。どうしたんだろうと思ったが、日本人が知ったのはその時だろう。炊事できないから、たくさん出して逃げて行ったんだ。

次の日はどうなされたんですか？

次の日は食べ物探しだ。何がありますか？誰もいません。事務室に行っても誰もいません。何も無い。工場には行くこともできない。だから戦争が終わって乞食になった。お金をもらうために肉体労働したり、いろんなことをした。下関

50) 朝鮮町は渡日した朝鮮人たちの集団居住地で、共同体としての性格を強く持っていた。1907年に大阪東成区東小橋町157番地にでき、次第に発展した。大阪のほか九州や神戸などの地域にも形成された。朝鮮町には朝鮮人労働者が就業する作業場（工場や工事場）を中心に密集した朝鮮人が町を形成し、朝鮮半島から渡日した朝鮮人たちは、宿泊所と職業を求めて、同郷人を探した。朝鮮人たちが朝鮮町を形成して暮らすようになった理由は、第一に日本人居住地域では住宅が得られないこと、第二は朝鮮人の大部分が日本語に堪能でなかったこと、第三に大部分が自由労働者であり、密集地域で朝鮮人同士での就業斡旋をしたこと、第四に朝鮮人たちの収入では日本人居住地域で生活できなかったことによる。町の形成は低賃金と強い民族差別のなかで生計を維持していくための方便であった。朝鮮町は学校と消費組合を運営し、地域によっては病院を設立するなど、朝鮮人の共同体として積極的役割を果たした。

あたりで物もらいをしたり。

分隊28人が一緒に下関へ行っただけですか？

どうして一緒に行けますか？みんな自分の勝手です。人にどうこういうことはできない。そのようにして下関で密航船に乗った。

密航船に乗るとき、お金はどうされましたか？

お金は、ここに帰るのに200円かかったが、その200円をもらうために、さらに5、6カ月も働いた。

それで年を越されたんですね？

年を越して2月だったか、3月だったかに帰った。陽暦の3月だったと思う。お互い境遇が同じ人たちが、稼ごうとするから、お互いひと月でもはやく稼いで故郷へ帰ろうとするから、満足に稼げない。話もせずに自分のことだけ考えた。でも50～60銭ではどうしようもない。食べて寝なければならないから。

密航船はどんな船でしたか？

貨物船のようなものです。

朝鮮へ帰ろうとする人が多く乗ったんですね？

そうです。私が乗ったときは150人以上だった。

鉄の船でしたか？

いいえ。木の船です。

それに乗ってどれくらいで帰られたんですか？

日数は1日ともう少しかかった。しかし時間は長かった。

どこに到着されたんですか？

どこなのかわからない。たぶん慶尚道のどこかなんだが、釜山ではない。その人たちも密航だから。

そこから家までどのようにして帰られたんですか？

列車に乗る場所を探し出して、列車に乗って天安から帰りました。

とても喜ばれたでしょうね？

もちろんです。電話できましたか？ 電話で通話できればいいけど、面のどこかに電話があってそれを借りられますか？ だから死んだと思っていた。手紙も書いたけど、走り回っていたから手紙を書く時間もない。お金を貯めて家に帰るつもりなのに、家のことは思い出せなかった。私はお金を200円、300円稼いだから、やっとこれで家に帰ることができる、200～300円なら充分だ。

おばあさんとの結婚はいつされたんですか？

結婚してから行った。

お子さんたちもおられましたか？

いや、いなかった。

夫が帰らないからおばあさんがとても心配されたでしょう？

内心で心配したでしょう。ひとり部屋に行って泣き、便所へ行って泣いたと思う。父母の面倒を見ながら、あからさまに泣けますか？ その後、私が日本で飯を3、4杯食べさせた人に、30年ぶりか、40～50年ぶりに会いました。

その方はどこに住んでおられますか？

泰安の平川里に住んでいて礼山に引っ越してきた。その人はとてもよろこんで、私を見ると後についてきて、何でもよくしてくれました。私が申し訳なくて、背を向けると別のところへ行った。

日本にいた時よくしてくれて、ありがたくてそうしたようですね？

私が飯を3、4回食べさせました。10年ほど前から消息がわからない。その人は孟氏です。

面談・監督：許光茂調査3チーム長 1次録聴文作成：チョ・ミンジョン

編集、推敲、注釈：鄭恵瓊課長、李秉熙、権美賢調査官

神奈川県





◆面談後記◆

2006年6月27日、忠清北道清州市興徳区開新洞の口述者の自宅で実施した口述面談である。口述者は高齢であるにも拘わらず、ミニバンを運転して自宅に案内するほどかくしゃくとしていた。自宅であるアパートにはおばあさんとふたりで生活しておられた。物静かで落ち着いて、動員された事実に対して説明され、記憶力もいい方だった。口述聴取を終えた後、面談者たちが大田に移動するというと、自ら車を運転し、近道を案内してくれた。

死ねといわれれば死ぬマネまでしなければならぬ



朴來鉉 (パク・レヒョン) 男、80歳

- 1927. 1. 14. 忠清北道槐山郡槐山面西部里で出生
- 1943. 4. 頃 神奈川県日本鋼管株式会社鶴見製鉄所⁵¹⁾に動員される(17歳〔1927年生ならば16歳〕)
- 1945. 4. 頃 解放前に帰国

動員された当時はどこにお住まいでしたか？

私たちの家族の暮らし向きはちょっと苦しかった。当時、上の姉が槐山郡の延豊面杏村里に住んでいたが、その姉のところへ行って国民学校に通った。

国民学校に通われたんですね？

はい、そこを出ました。

51) 日本鋼管株式会社鶴見工場。1912年、日本鋼管株式会社設立。[川崎工場に加えて]1940年、鶴見製鉄所、鶴見造船所が発足。2003年、JFEスチール東日本製鉄所と改称。日本鋼管には4000人以上が動員された。

日本語はよくできたでしょうね？

そうです。

文字はよく書けたと思いますか？

もちろん、書くことはできた。

徴用に行く時、槐山のお姉さんの家に住んでおられたのですか？

はい、上の姉のところに居候して、2年間で初等学校を出ました。

当時の家族関係はどうなっていましたか？

家族関係としては母が居ましたが、生活が苦しくて、私が姉の家に居候して暮らすようになったんです。

お父さんは早く亡くなられたようですね？

はい。私が国民学校3年の時に亡くなった。

お姉さんのほかの家族は？

その当時ですか。一緒に住んでいた上の姉の家族も多かった。少なくとも10人兄弟姉妹がいた。下の姉も子どもが多く、下の姉は当時、曾平という所に住んでいた。

3人兄弟姉妹でしたか？

私ですか？そうです。

国民学校を終えられてどんな仕事をされましたか？

学校は1942年度に国民学校を卒業しました。延豊公立国民学校です。そこに鉱山の事務室がありました。日本人が経営する鉄鉱山です。その事務室で小使

い⁵²⁾として7、8ヶ月勤務しました。小使いとして事務室でお使いをしました。その時、18歳〔数え年か〕で国民学校を卒業して勤務していたが、ちょうど事務所の前に警察官の駐在所がありました。駐在所でその巡警、当時は警察官です。三井という朝鮮人で、とても悪質な警官がひとりいました。その人がある日、来いという。同期に卒業した金ジン○がいました。その時はカナヤ（金谷？）といった。日本の創氏名で。カナヤジンカク。その人とふたりで日本へ行けといわれた。

警察が日本へ行けという話をしたんですか？

はい。その当時は行けといわれれば行かなければならない。死ねといわれれば、死ぬマネまでしなければならぬ。

徴用状も見せなかったんですか？

そうだ。ソウルへ行けばいいと。ソウルのどこへ行くのかと聞くと、そこに行けといいます。東大門運動場の向こう側に公園があって、そこに小さなソウル運動場がありました。その運動場です。

そこに集まれと言ったんですか？

ええ、そこに行けと言った。

ソウルへ行ってから日本に行かれたんですか？

それでソウルへ行って一泊しました。その当時は黄金町といったでしょ？今の乙支路の入り口で水下町と当時は言っていた。その水下町の旅館で一晩泊まり、朝食を食べてから集まれといわれた場所に行きました。

水下町旅館には何人くらい集まっていたんですか？

水下町には私とふたりで泊まりました。

52) 小使い。官庁や会社、学校、店などで雑用をさせるために雇った人。

次の日、東大門運動場の向こう側に集まれたんですか？

そうです。

何人くらい集まったんですか？

たくさん集まった。日本の陸軍中尉。いま思うと退役将校だ。とても痩せた年寄りで、長い刀をぶら下げていた。残りは若い人たちで指導員だと言っていた。その人たちが机をずらっと並べて座り、審査というのか、面接をしたと思ったら「合格、合格!」といったんです。

おじいさんが見たところそこに集まった人は何人くらいだったようですか？

そこに集まった人ですか？合格した人は300人くらいです。たぶん全国からやってきた。

審査後、合格判定され、どうしたのですか？

そこで合格になると、待っておれという。待っていると、全員の人数把握をして引率して歩いて。いま思うと鐘路のYMCA、そこで食事をさせました。昼食を。握り飯か何かの食事をさせた。食事をしてからそこで1中隊、2中隊、3中隊というように編制し、徒歩でソウル駅まで引率していった。

ソウル駅まで移動するとき垂れ幕をして歓送式のようなものをしてくれましたか？

しなかったです。

移動中に逃亡した人はいましたか？

とても神経をとがらせていて、中間地点で人員点検をしました。総隊長の下に1中隊長、2中隊長、3中隊長といって編制したが、私は何中隊長だったのか記憶がありません。遠い昔のことだから。「全部で今日は何名、事故なし、現在何名」。すべて軍隊式でやってソウル駅から汽車に乗ったんです。団体で。

中隊長は朝鮮人でしたか？

中隊長ですか？そこで賢い奴を指名したんだ。

選んだんですか？

うん。中隊長というか小隊長というか、その上に総隊長がいた。3中隊を管轄する総隊長で、それ以外は中隊長といていた。1中隊、2中隊、3中隊というように編制して、ソウルで汽車に乗って麗水で降りました。釜山へは行かず麗州へ。全羅南道の麗州、いや麗州ではなく、麗水。

汽車で行かれたのですか？

はい。麗州ではなく麗水へ。

それは何年のことでしたか？

1943年3月下旬から4月初旬です。陽暦で。

まだ寒さが残っている頃ですね？

ええ、少しは。

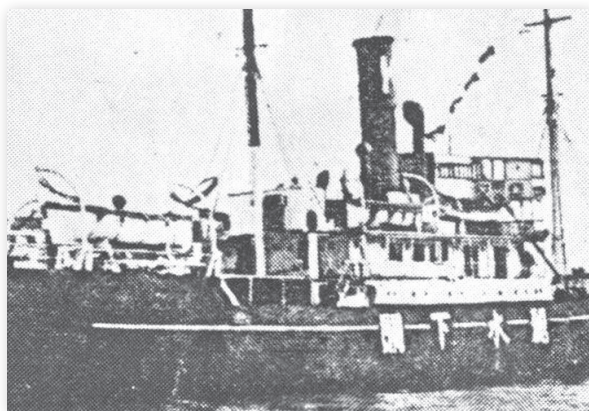
麗水へ行ってどうしたんですか？

麗水ではみんな一緒に旅館に入れないから、群山〔ママ〕に行って旅館で1泊して一晩寝ました。次の日にみんな集まって関釜(関麗)⁵³⁾連絡船に乗ったんです。麗水から下関へいく関釜(関麗)連絡船に乗って……。

行くところについて事前情報はありました？

そんなものはない。どこへ行くのかは知っていました。横浜へ行くというんです。

53) 麗水から下関に行く船は下関の関と麗水の麗を取り、関麗連絡船と呼んだ。



》》》 1929年当時の関麗連絡船。運賃は一人当たり3円55銭。

横浜へ行くとだけいったんですか？

はい、そうです。

下関まで何時間かかりましたか？

関釜（関麗）連絡船は普通8時間かかる。それくらいはかかるけど、たぶんその日の夜に行ったからよく分からないです。

300人が一緒にその船に乗ったんですか？

そうです。

その船におじいさんの一行だけでなく徴用に行くほかの人もありましたか？

ほかの人は見ませんでした。3等の部屋だから畳⁵⁴⁾が敷かれていて、そんなところに300人ほどがごっちゃに乗っているから、他の乗客のことなんて思いも

54) 畳は日本の床材

しない。私たちだけでもごっちゃになって騒いでいるから。

槐山からはおじいさんと同級生のふたりだけが行ったんですか？

ふたりだけでした。

他の人たちはどこから来ましたか？

あちこちから。北の方からも。咸鏡道、平安道、全羅道、慶尚道。みんな集まった。

下関に到着したのは昼間でしたか？

それはよく憶えていません。

到着して何をしましたか？

ともかく下関まで引率して降りると、人員点検をする。逃亡する人がいるかと思って。「総員何名。事故は現在何名！」そういうふうに番号を言えという。そして総書記は陸軍中尉で、退役将軍。その人が報告を受けてから出発する。そこから汽車に乗ったんだ。昔はそれをトカイセン(東海線)⁵⁵⁾といった。東海線を通して何時間かかったのか。とにかく横浜駅に到着した。

そこでも人員点検をしましたか？

また、しました。降りてすぐに駅でしました。

人員点検するとき人員がだんだん減らなかったですか？

そんなことは考えなかった。

逃亡した人はいなかったようですね？

いなかったです。その時までは。ともかく逃亡するかどうか、しきりに神経を使って行く先々で人員点検をしたんです。

55) 東海道線のこと。東京から大阪を結ぶ鉄道路線。約590km。

引率した総隊長は陸軍退役将校でしたか？

日本人。そこの総責任者だ。ヒモト教官だといった。ヒモト。

ヒモト教官は日本語で話したんでしょ？

日本語で話しました。

朝鮮から来た人は日本語が分かりましたか？

アイゴ！分かるんだよ。当時はみな初等学校を出たから分かります。日本政治の時（日本の植民地支配の時）に来た人たちだから、日本語はよく分かります。

おじいさんが徴用されたとき何歳でしたか？

16歳。私は少し遅れて初等学校に入ったから17歳だったかも。

一緒に行った人たちの歳はどうでしたか？

みんなその程度です。私より1歳程度、年上か年下が少しずつで、均等にまざっていました。

ソウルから一緒に行った300人がみんな横浜に行ったんですか？

そうです。横浜で降りて、支線に乗り換えたんです。

その時、日本は初めてだったんですか？

もちろんです。あっ！初めてではない。なぜかというとは私は日本と縁がありました。なぜなら国民学校を卒業する年に、国民学校で代表をひとり選びましたが、槐山郡で代表に選ばれた。当時、日本でジュンレイサンパイというのがありました。セイチサンパイ⁵⁶⁾。そのあと半月ほど日本の名勝古蹟を旅行したから、日本は見慣れていました。

56) 巡礼、聖地参拝の日本語の発音

その時、日本を見て回ったんですね。

これという所は全部回りました。だから日本に来たのは2度目なんです。

初めて来た人よりは緊張感は少なかったでしょう？

少なかった。

横浜から支線に乗ってどこへ行きましたか？

支線に乗って降りたところがハッチョナワという所です。八の字と丁の字。日本語でハッチョナワ(八丁囃)⁵⁷⁾とっていました。そこで降りました。

八丁囃が駅ですか？

それが駅の名前です。そこで降りましたが、最終駅だからそこでまた人員点検をしたんです。人員点検しましたが、ひとりの落伍もなかった。そこが最終駅だからもうすぐだといながら。そこから歩いて宿舎まで行ったんです。

宿舎はどのように配置されましたか？

到着してみると、部屋は急ごしらえの家、バラック⁵⁸⁾だったんです。そこで部屋を割り当てられました。10名余、15名か20名くらいがひと部屋に入れられました。そうして入ると、軍隊式に外に立てかけてあった畳を敷いて、リンゴ箱ほどの木の箱をさっと置いて、そこに敷き布団と掛け布団をたたんで、三つずつ間をあけて置いたんです。計画的にそうしたようです。そこに入ると気分はよかったです。三つずつ間を開けてくれたから。そこで一晩寝て、次の日から始まったんです。

到着して次の日から何をしましたか？

次の日からひと月、東京方面に行って、多摩川だったかな？ そこに大きな多摩

57) 川崎市にある。正確な発音はハッチョウナワテ。

58) 粗末な一時的な建物

川という川があります。東京の手前の多摩川は有名です。その河原に行って基礎訓練をするんです。溪流で。基礎訓練というのは「キョスケ」、日本語で気をつけ。キョスケ、ヤスメ(休め)、キョレイ(敬礼)と、こんなことばかりやらされ、徒歩訓練させられた。そんなことを数時間繰り返した。それをほぼひと月間やった。また時々、室内教育がありました。その教育というのが「ヒッショノシンネン(必勝の信念)」、必勝とかヤマトダマシイ⁵⁹⁾(大和魂)とかいう日本の精神訓練をしたんです。そしてまた学科、そう学科をそこでひと月近くしました。

服装はどうでしたか？

服装はそこで一着ずつくれた。国防色の服を。

そこに到着して服を支給されたんですか？

ソウルからそれを着ていったと思います。たぶん出発する前にもらった。軍隊式になっていたから、行くときにたぶんそれをもらった。国防色の服に戦闘帽⁶⁰⁾。昔は戦闘帽をかぶって…。その当時日本人はぐるぐる巻き上げた脚絆をつけて、国防色の運動靴みたいなのを履いた。

宿舍と多摩川は距離が近かったようですね？

いいや。少し遠いです。電車に乗って通いました。

訓練を受けて宿舍にもどったんですか？

そうです。

宿舍の周りに広い練兵場がなかったようですね？

ありませんでした。はい。

59) 日本のナショナリズム思想の用語で、日本民族固有の精神、日本人としての意識を示すもの。

60) 1940年11月に勅令「国民服令」が公布され従来の洋服や他の平常服を着用するときは国民服を着よう決められた。国民帽を戦闘帽ともいった。



≫ 戦闘帽。「国民服令」を出すと同時に発表した面前と側面の形。

訓練が終わったあとはどんな仕事をされましたか？

訓練がすべて終わると、職場に配置しなければならない。配置は大部分が鶴見製鉄所だった。鶴見製鉄所は当時、製鉄所と造船、いわば軍需工場のようなものです。製鉄所と造船だが、私たちは別途に命を受け、そこから離れた第6製板工場に配置されることになった。

製鉄所の名前が鶴見ですか？

会社の名前は、日本鋼管株式会社鶴見製鉄所です。

おじさんは日本鋼管に行かれたんですが、そこに多くの人が連れてこられていましたか？

はい。金景錫氏⁶¹⁾を知っている。私の考えではその人が隊長ではなかったか？その時の顔を憶えているような気がする。[金景錫は川崎製鋼所へと動員された。]

61) 金景錫は1926年慶尚南道昌寧で5人兄弟の次男として生まれた。17歳の1943年、日帝によって川崎製鋼所に強制動員された。罷業を主導した嫌疑で種々の拷問を受け、1年8ヵ月ぶりに帰国した。1990年に江原道で遺族会を結成、会長となった。1991年、日本鋼管を訴え、1999年に高等裁判所で和解し、410万円の解決金を得た。また、1991年には東京地方裁判所に江原道の強制連行者被害補償訴訟を提訴した。さらに、日本の軍需工場不二越に連行され、被害を受けた犠牲者7名とともに、1992年日本の不二越を相手に訴訟を提起し、3,000万円以上の和解金を勝ち取った。金会長は1991年に私財2億ウォンを出し、日本各地に散らばっている徴用死亡者の遺骨を返還した。強制動員被害者補償および権利回復のため一生を捧げ、2006年5月26日逝去。（誤記は訂正）

金景錫氏はよくご存知ですか？

ああ！新聞を見て、知っている。その当時出た新聞は全部読んだから。その人が私たちの隊長のひとりではないか、そんな思いで……。

一度会って話を聞けばよかったのに？

ああ！会うのはそう簡単なことではありません。私はここに住んでいてあの人は春川に住んでいるから。それでなくとも一度は会いたかった。その人に。その人の話を聞いていると日本語が混ざっています。私と同じ歳で同じ年度に日本鋼管に行っている。だからこの人が日本で戦後補償運動をしているから、私もそうすれば望みがあると思い、申告したんです。

製板工場について少し話してください。

はい、文字で書くと板。鉄板。

鉄板を作る工場ですね？製板と書きますか？

そうです。木偏の板です。それは板の字を使います……。まず宿舎に連れて行かれ、宿舎がないとだめでしょう？宿舎が写真にも出ていますが、とても大きなブリキでできていて、崩れかけでさび付いたそんな宿舎で、名前を第7白扇寮といった。

その宿舎は最初に住んだバラックとは別のところにありますか？

はい。そこに行かない人は最初に住んだ所のままです。そこは製鉄所組で、私はそことは違う所に行きました。私が行ったのは学生たちと一緒に、扇、日本語でアオグ、白扇寮、そんな意味だ。第7白扇寮。そこに行って暮らすようになった。製鉄所と私たちの工場、第6、第7製板工場とは離れていた。

一緒に行った300人が全部そこに配置されたんですか？

300人中約100人、100人余？



≫≫ 鶴見線浅野駅から見た日本鋼管鶴見製鉄所。

100人くらいが第6製板工場に配置されたんですね？

そうです。

白扇寮での1日の日課についてお話しください。

1日の日課は、8時間勤務しました。8時間勤務で、部所には、圧延部⁶²⁾があり、何々部があり、製板部があって、そこに入った。それぞれ職種が異なっていた。最初はコールド部⁶³⁾という所に行きました。コールド部というのは、鉄板を除去するのを、機械に入れて平たくしながら押し出す機械。機械の名前がコールドです。コールドに2人が配置され、私も配置されました。そこにはトミモド・マスオというのとふたりが配置された。

62) 回転する圧延機のロールの間に加熱した金属を入れて棒状や板状にする仕事をする部所。

63) コールド部と推定される。冷延コイルを機械で所定の大きさに裁断し「冷延鋼板」(コールドシート)を造る。

朝鮮名は何ですか？

徐ジン○。同じ部に配属され、働き始めたんです。

一緒に来た金ジン○という人はどこへ行かれたんですか？

金ジン○は圧延部へ。日本語でアチュエン。今の浦項製鉄にも圧延部というのがあります。

鉄板を薄くする作業をされたんですね？

はい。最初の所に1年近くいて、金ジン○がいる圧延部へ私が移りました。なぜ移ったかって？圧延部は力がある仕事だから、月給が少し多かったんです。それで、「どうせここまで来たんだから」と思って、移してくれと頼んで移してもらいました。圧延部へ。そこで金ジン○と一緒に働いた。

月給はきちんとくれましたか？

くれました。

働く場所によって金額少しずつ違うようですね？

もちろんです。コールド部にいた時は、仕事はそうきつくなかったから少なかったが、圧延部へ移ると少し多くなった。

いくらもらったのか憶えていますか？

圧延部へ行ってもらったのは全部で120円？そこは製鉄所で、きつい仕事をする所だから、そうだったようです。でもその120円からいろいろ控除があって、貯金で引き、いろいろ引くから、手元に残るのは60円程度だった。

月給から家に送金もされましたか？

送金なんて。その時、家の方が送金しても気に入らないようだし、分別もなかったから家には送金しなかった。金ジン○という人は、家が貧しく一人っ子だからきちんと送っていたようです。でも私は家に送金しなかった。

1日8時間勤務して120円をもらったんですか？

ひと月分です。それも差がありました。なぜかという、圧延部には組がありました。フジダクミ（藤田組？）、クワハラクミ（桑原組）とか。8時間勤務して3交代のフル稼働……。なぜかといえば機械が止まって冷めてはいけなからです。

溶鉱炉を止めてはいけなからですか？

はい。だから朝6時に出発して午後2時までが1班、2時から夜10時までが2班、そして夜10時から次の日の6時までが3班という3交代です。

食事はどのようにされましたか？

仕事に行くときには弁当をひとつずつくれました。食堂は少し離れた所、50メートルほど歩けば食堂があります。食堂へ行けば食べることができ、弁当をくれます。次の日工場に行って働く時に食べるようにと。3交代だから。

食事はどのようなものが出ましたか？

食事はおそまつです。玄米のようなもの、雑穀などです。弁当箱は、その時は戦争中だからちゃんとしたものではなく、木でできていました。薄っぺらな木でつくられ、おかずを少し入れたものを持って行き、8時間勤務するとき食べるんです。他の朝鮮人もそうですが、日本人もすべてそうしていた。

ご飯は腹一杯食べられましたか？

ひもじいというほどではなかった。仕事に耐えられる程度はくれました。

おかずは何が出ましたか？

おかずはお粗末です。ジャガイモが多かった。ジャガイモの煮つけなど。それからカボチャも多かった。カボチャを刻んだもの、そんなものばかりです。

3交代の時は弁当を工場で食べられたんですね？

はい、そうです。

3交代はどれくらいで変わりましたか？

10日に1度ずつ変わりました。10日すれば1班でしていたのが2班になり、その次は3班になる。そのようにしてひと月を過ごすんです。

おじいさんが作られた鉄板はどこで使うんですか？

それは分かりません。分からないです。私は製板工場で働いたけど、鶴見製鉄所で働いた人の話では、そこは浦項製鉄のように溶鉱炉から溶けた鉄が出るんだが、そういう仕事をしたという話だ。私たちとは距離的に遠く離れていた。

そこへ見に行ったことはありますか？

ありません。そこまでは見に行けない。その近くに行ったとき、何か行事があって大きな講堂に行くとき話は聞けます。

休日ありましたか？

1週間に1度ずつ、日曜日は休みました。なぜかといえば日曜日は、圧延部では大きなローラーが、上下のローラーが回っているが、それを全部起重機で分解して別のものと取り替えなければならない。1週間に1度。そうしないと使えないから。それにその下に油がたまっているからその油を除去する。だから1週間に1度ずつ自然と休みになる。

他の部門もそうして休んだんですか？

他の部門のことはよく分かりません。

休みの日は外に出ることができましたか？

出ました。監視はありません。

逃亡する人がいたらどうするんですか？

それでも監視はしない。でも、おもしろい話がある。初めてそこに到着して、宿舎に行って訓練を受けているとき、夕方、寝ているときのことです。そこか

ら逃げたやつがいました。ほんと笑える話だが、そいつらが私たちの部屋にそっとやってきたんです。やってきて、「私は逃亡してどこ、どこにいるが、ここよりは良い」。ここは製鉄所で危険だというんだ。死んだ人も数知れないほどだから私がいるところに来い、といって誘惑するんだ。そこへ行けばキョウワカイ、当時キョウワカイと言っていた。協和会⁶⁴⁾手帳。今でいえば民団手帳。手帳をすぐくれると言う。それさえあれば安心だから来いと。だからあちこちで逃亡するのが何人かいたが、私は逃亡しなかった。

ほかの所より自由な方だったんですね？

はい、自由でした。日曜日は休みだから、劇場にも行ったり。

劇場では何を見ましたか？

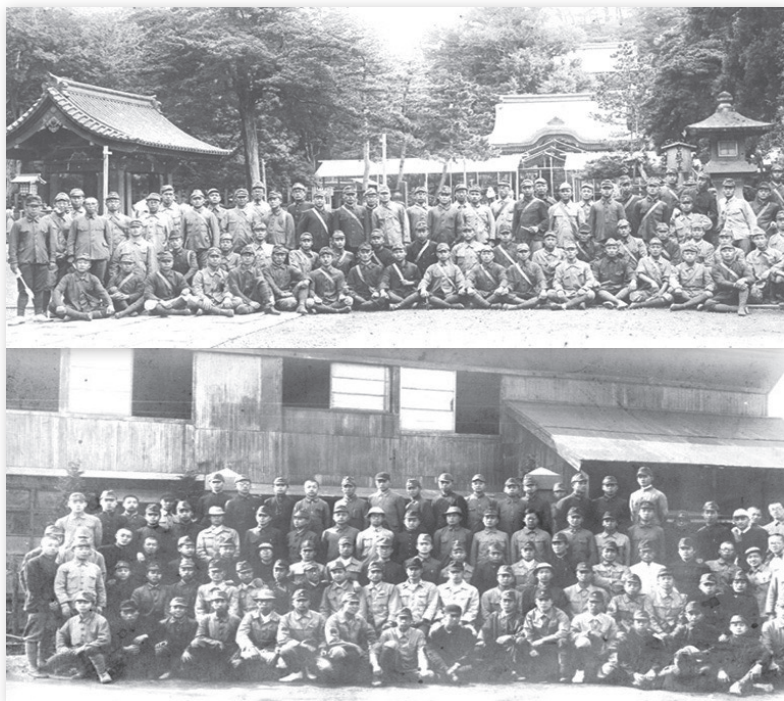
何を見たかって？鶴見では劇場は何力所もなく、しかも大きな劇場はなくとても小さいんです。だから公開映画を見ようとすれば横浜まで行くんです。横浜駅で降りて桜木町駅というところに行けば、公開映画をやっているところがあります。ありますね？

関内へも行かれましたか？

関内⁶⁵⁾は知りませんが、いま思うと桜木町駅が当時の終着駅でした。でも今はそこから延長されたと聞いています。桜木町駅で降りて1kmか1.5kmほど歩いて行けば映画館があります。

64) 協和会は日本に居住する朝鮮人の抑圧・統制を目的とした組織である。府県の警察管内ごとに支会が設置された。治安維持による日本国内の戦時体制の確立と、皇国臣民化による朝鮮人労働者の動員をおこなった。協和会の具体的な活動は、神社参拝、和服の着用、神棚の設置、国防献金などであった。日本に居住する朝鮮人に対する統制組織には1921年に結成された相愛会と1924年に結成された内鮮協和会（大阪地域）、1934年に結成された大阪府内鮮融和事業調査会などがあった。これらの組織は日本当局によって結成・運営された。1939年に中央協和会が設立され、全国的な組織体に拡大された。閣議決定によって1944年11月に協和会は興生会に変わった。

65) 神奈川県横浜市中区の地域。



》》 鶴見製鉄所に強制動員されたとき団体で撮った写真。(口述者提供)

同僚たちと一緒に出かけられたんですか？

そうです。

一緒に行った同僚の名前を憶えている方はいらっしゃいますか？

たくさんいます。

この写真はどこで撮られたんですか？

宿舎です。

到着直後に撮られたんですか？

違います。到着して何ヶ月かして撮ったものです。

写真の同僚の名前を言うことができますか？

できますよ。ここに原本がありますから。私と国民学校に一緒に行った人です。金ジン〇です。この人が。

この写真は横浜で撮られたんですか？

はい。宿舎が割り当てられ勤務するときに。

外出されて市内の写真館で撮られたんですか？

外出しなくても近所に写真館があります。

写真を見ながら思い出される方の名前をおっしゃってくださいますか？

これが私です。これです。それからこの人が金ジン〇のカナイ〔カナヤ〕ジンカク君。どのへんにいるのかな？西川はどのへん座っているのかな？写真がとても小さくて。

横浜の桜木町に出かけられたときの気分はどうでした？

ほかの何より特別でした。私はもともと田舎、朝鮮では僻地にいたじゃないですか。田舎も田舎、井の中の蛙が海に出会ったようなものです。ああ、見るものすべてがとても。当時、他の人たちは苦勞していたのに私は平穩でした。映画を見るのがとても勉強になったこともありました。そう、とにかく休みの日は見に行くのが楽しみでした。

解放されるときまでそこにおられたんですか？

解放が近くなって、私に入営通知書が来たんです。軍隊に行けと。

軍隊に行けですって？

うん。通知書が来ればすぐ、朝鮮に送られたんです。軍隊だから行かないわけにはいきません。「どこ、どこの朝鮮軍何師団へ行け」といった通知書です。ともかく入営通知がたびたびきてみんな軍隊に行ってしまう、人がいなくなったんです。その時は日本が減じる頃だった。みんな行ってしまう、残ったのは10人ほど、20人くらいか？多くても20数名にしかならないから、会社は成り立ちません。しまいにはお前たちもみなやめて行けといって、率先して追い出したんです。

解放前ですか？

前です。1945年4月。

解放の数ヶ月前ですね？

そうです。追い出されたんです。

急に追い出されると行くところもないじゃないですか？

それで朝鮮へ帰った。帰るときも麗水からだった。

製鉄所に空襲はありましたか？

いや、その時はなかったが、私が帰る頃にはひんぱんに空襲があった。

おじさんが来た時はどうでしたか？

その時は空襲のようなものはなかった。

工場で爆撃されたことはありませんか？

私がいたときにはなかったが、こちらに帰る数ヶ月前からはひんぱんにあった。当時はB29というのがあり、原子爆弾を落としたり、そのB29が遠くから飛んでくるのをみると、きらきら光るのが高い上空に飛んでいて、地上から高射砲をバンバン撃っても、3分の1くらい上がったところでボンボン破裂して、まったくの無駄打ちです。空襲が始まる頃、1945年3月9日に横浜を出発しま

した。こちらに帰る時だったから憶えている。その次の日、東京大空襲⁶⁶⁾があって、火の海になったんです。とても運がよかったんです。1日前に出発したから。東京はすっかり灰になったんです。

金ジン〇氏も一緒に帰ったんですか？

金ジン〇は私と一緒にいたけど、ある日仕事を終えて、ふつう仕事が終わると風呂に入って服を着替えて退社するんだが、彼らが急に私の所にやってきて「おい、金ジン〇というお前の友人が風呂場で血を吐いた」と言うんだ。いま考えると、当時は肺病といったが、肺結核だ。咯血したんです。一緒に住んでいるから、そこで咯血するとほっておけないでしょう。別の療養所に送りました。東京からすこしいったところに清瀬⁶⁷⁾というところがありますが、そこです。市になりましたか？地図でみるとそうなっています。清瀬の肺結核療養院、そこに入院させたんです。私は休みの日の何度かは、主に映画を見にいったのですが、その時から映画は見に行かなかった。彼の所に行かなければならなかったから。故郷からふたりで来た彼が、療養所で療養生活をしていたから。行く度にやせこけていくんです。戦争で日本が滅びる時だから食べるものがない。肺結核というのは十分に食べなければならないのに、少ししか食べさせてくれない。だから行くたびにガリガリに痩せて、ついにはいくらかももたずに死んでしまった。死んだから葬式をどうしたかという、彼が死んだのと同じころ電気部の朴ジョン〇という人が死んだ。彼が死んだから合同でふたり合わせて葬式をしたんです。お寺で。その寺の名前はわからないけど、市内の寺に行つて葬式をして最後は遺骨を朝鮮に送ってくれました。解放になって私が金ジン〇の故郷に行つて両親を訪ねるのが道理なので、一度訪ねました。行つてみると朝の畑仕事に行つたのか、誰もいません。彼は一人っ子です。年老いた両親に一人っ子。故郷に広がっていた噂を聞くと、彼が死んだため、彼の母親気

66) 米軍が行つた1945年3月10日の東京大空襲を指す。民間人の被害が大きかったことで有名。

67) 東京多摩地域の北東部にある市

がふれたのです。気がふれ、市の日、市の日になれば、田舎の市の日に出かけて、うろつきまわる。それで噂がひろまっただ。気がふれてしまっただ。今もどうしているのか、家族はいないようだ。今は分からないけれど、何とか噂を頼りに捜し助けてやれないか？ そんな思いがして今もとても良心がいたむ。しきりにそんな思いをしている。

その時会えずに戻られたんですか？

家まで行ったが会えず…。会っても彼の母が、気がふれていたから、まともに話はできなかったはずで、会えずにもどった。

ほかの兄弟の方でもおられればよかったですね？

そんな話は詳しくしなかったから。ひょっとして行けば、里長に調べてもらえば、探してもらえば、何か糸口がつかめるのではないか、ときどきそう思います。しきりに良心がとがめて。

金ジン○という方も故郷は槐山郡ですね？

槐山郡延豊面積石里のはずだ。積石里は不確かだが、私の本家のすぐとなりだから積石里になるはずだ。

解放前に帰ってこれましたが、親友が他郷で死んでそのまま帰られたんですね？

親しい友が死んで、初めて行ってふたりで働いた彼、トミモト。さっき話した徐ジン○、今も彼に一度会いたい、とても会いたい。会いたいのに生きているのか死んだのかわからない。慶南の河東出身ということだけ憶えている。とても会いたいのに生きているのか死んだのか。徐ジン○、トミモト・タスオだ。

徐ジン○さんといっしょに帰ってきたのですか？

一緒に。トミモト・タツオは河東で、麗水から近いから、そこで別れ、金ジン○は死んで、それで私一人で来たよ。

日本鋼管はとてもひどく、朝鮮人をひどく虐待したといわれていますが、おじいさんはそうした目に遭われなかったんですね？

なぜそうなのかというと、製鉄所ではなかったからです。私は第6製板工場で、製板工場は大丈夫だった。

製鉄所が問題だったんですね。

そうです。製鉄所で働いた人たちには問題があったようです。

「日本鋼管は命の交換」⁶⁸⁾といわれたんですね？

そういう言葉がありましたが、私はそこから離れた第6製板工場ではそういうことはありませんでした。

1945年4月に朝鮮に帰られてから上のお姉さんの家におられましたか？

いや、その時は下の姉が曾坪に住んでいました。その家に行きました。母は曾坪にいましたが、再婚したんです。だからそこに行き、姉のもとに長くいました。母もいましたし。

帰られてお姉さんはとても驚かれたでしょ？

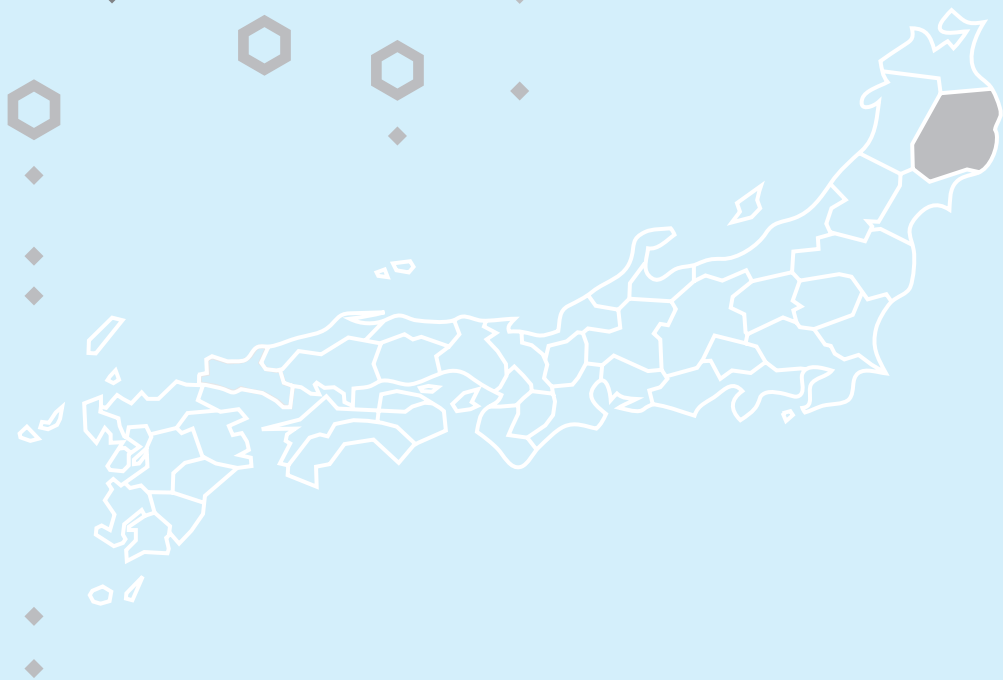
もちろんです。喜んだし。それでそこに居ました。お義兄さんは、清州の北二面光巖里という所に日本人の小さな鉱山があって、そこにいました。それでそこに通って鉱山の仕事を少しやりました。そうするうちに8月15日の解放になって、急に太極旗を持ってきて、そこで解放を迎えました。

面談・監督：許光茂第3チーム長 1次録聴文作成：韓キルサン

編集、推敲、注釈：鄭惠瓊課長、李秉熙、権美賢調査官

68) 日本語では「交換」と「鋼管」は同じ発音。

岩手県





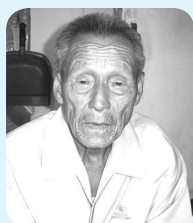
◆面談後記◆

2006年6月29日、忠南泰安郡泰安邑東門里の口述者の自宅で口述面談を実施した。泰安邑の山裾に大林アパートが建っており、その裏手の連立住宅にまわると小さな丘があった。その端に被害者の自宅があった。かなり古くからの山村であるが、開発の手が伸びている村という感じであった。

口述者の自宅の入口には犬小屋と2匹の犬がいて外部の人の出入りが簡単にはできないようになっていた。自宅には自由に飛び回る猫が3、4匹いて、家の裏手には牛小屋と韓牛がいた。面談者が訪問した時にはおじいさんは牛に餌をやっている最中であった。口述者の家は一般的な韓屋農家であり、門で家と外部を完全に遮断する構造であった。門を入ると、土の庭があり、居間と部屋などが一目で見渡せた。

口述者は板の間に腰かけたまま口述を始め、面談者は椅子を庭において向かい合った形で面談を始めた。お嫁さんとおばあさんが面談の場にいたが、よくわからないようであり、席を外した。時々猫たちがあちこちをいたずらし、ビデオカメラを触ったりして、口述の場を和らげた。

頭にいまでも爆撃の傷が



明由鎮(ミョンユジン) 男、83歳

1924. 忠南瑞山郡泰安面平川里出生
1943. 4. 28. 日本岩手県の日鉄製鉄株式会社釜石製鉄所⁶⁹⁾に動
員される〔証言内容は、日鉄鉱業釜石鉱山への動
員〕(18歳)
1945. 11. ごろ、解放後に帰国

徴用に行かれる時どこに住んでおられましたか？

その時は平川。そこは泰安面(当時は瑞山郡)平川里。もともと本籍がそこだったので、そこで峠を越えて華東学校へ。その学校があるのは華東です。山を超えます。

69) 日本製鉄釜石製鉄所 岩手県釜石にある日本製鉄の製鉄所、1880年官営釜石製鉄所とし発足。1887年民間に払い下げられ1917年株式会社になった。1924年三井釜山傘下になり、釜石製鉄に変わった。1934年、官営八幡製鉄所や釜石製鉄などが合同し、日本製鉄株式会社が設立された。1945年7月、米軍艦砲射撃で甚大な被害を受け、強制動員された朝鮮人労働者25名も死亡した。戦後、分割されていたが、1970年に合併して新日本製鉄株式会社となる。〔証言では、釜石釜山への動員である。当時、日本製鉄の釜山部門は1939年に日鉄鉱業として分離し、釜石釜山は日鉄鉱業の傘下にあった。釜石釜山では鉄鉱石と共に石灰石も採掘した。〕

その時、何をしていましたか？

これ全部、私の話、録音する？ 今？ 私はそこが本籍、生まれた所なので、私の両親は早くに亡くなったので、引っ越した。そこ全部が私の家の一族だが「ご飯をひとさじください」とまわっても、もらうこともできず、この邑に上って来て、生きてきた。ここで人に雇ってもらって、7年ほどかな？ そこから泰安邑東門里へ。

その当時、家族関係はどうでしたか？

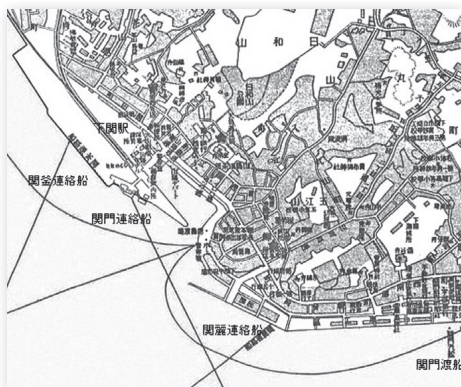
弟もいました。第一人。その下の一人は死にました。

早世されたご両親と弟とばらばらに別れて、ここにきて住まれましたか？

うん、この邑に来て何年も雇われて、何でもして生きてきたが、18歳の時に日本に行ったんだ。今、18歳と言えば中学生か、高校生か？ 今はそんなだろ。他人の仕事をしていたので、そんな仕事が嫌になって日本に行ったんだ。

誰かが、日本に仕事があると教えてくれたのではありませんか？

いや、いや、そんなこともない。その前で、日本人がガソリンスタンドとバス停車場を経営していた。そこから瑞山へ行き来していた。一日に3往復。朝が始発、その次が昼、夕方が最終バス、一日に3本しかない。その代表が日本人でバスの停留場の人も日本人だった。それで見てみるとその日本人、バス停留場の人が、私の目の前で、バスが到着すると、人々が白い布を巻いてバスに乗るんです。それで私もバス停車場に行こうと決心し、支署へ行って話をしたら、未成年だから駄目だと言われました。それで降りたのだが、人々に紛れ込んで、また乗りました。その時は、どこか外国に、日本に行くといったか、とにかく、「どこかへ行く」と。その当時、乗って行くのには何の支障もなかった。誰かが何かを言うこともなく、「年が少ない、多い」などと言われることもなく。その年に、生まれて初めてこの土地から外に出た。釜山の港



≫ 当時の関釜連絡船と関麗連絡船がつながる航路と棧橋を記した地図

に大きな連絡船⁷⁰⁾ が行き来していた。それを連絡船とも知らず、乗ったら、連絡船だったんだ。

バスに乗るときに引率する人はいたのですか？

その時は、責任者も分からず、とにかく乗ったんだ。責任者からも何の話もなく、みな同じ扱いだった。そのまま乗って行った。〔行き先が〕釜山なのか、どこなのかわからずに乗った。後にそこが釜山だったという事が分かった。釜山から連絡船に乗った。連絡船の大きさは3階だったかな？ 大きかった。で、行くのは日本だと。こうして海を越えていくのを見ると、日本ということだ。日本のどこかというと中間に見えるところがある。対馬の島⁷¹⁾だよ。そこを眺めて人々はそういった。そして日本に入った。日本のどこかと言えば、下関だといったか？ どこだったか、大きな電柱があった。大きな木の断片が近くにぷかぷか浮いていた。それがなぜ浮いているかと言えば、その船と衝突しないようにそこ

70) 関釜連絡船

71) 日本の九州北方、玄界灘にある長崎県の島、対馬最大の対馬島以外に100余の島があり、このすべての島を指して一般的に対馬という。

においてあるのだろうと。そんなことを言いあった。そこで降りた。そこは日本語で、博多⁷²⁾というところだった。日本に足を踏み入れ、車に乗ってすぐ行ったんだ。

船から降りると、また車が待っていたのですか？

いや、そこで船から降りて、車に乗った、汽車です。行先はどこかと言えば、岩手県⁷³⁾というところですよ。

釜山で一緒に船に乗った人たちはみんな岩手県に行ったのですか？

岩手県に行くというので、その人たちも皆行ったと思う。一緒に。あ、大勢です。バス〔汽車〕で行ったので。とにかく、今はバス一台に何人乗れる？

40～50人乗ったのでしょうか？

うん、そのくらい。その時。詰めて行きました。日本の博多というところで降りて、そこから車〔汽車〕で分かれた、一緒に行った人は何人かいることはいた。

一緒に行った人で名前をおぼえていますか？

名前は知っているよ。金ソン〇イ、あ、この家の上に住んでいた、またよく知っているあの慶尚道の人、慶尚北道の宋ジェ〇、そして一緒にいた人で金イン〇、そして残りは昔のことで名前を忘れてしまった。

はじめ、どのようにしてこの3人と一緒に乗るようになったのですか？

いや、その時はここから行く時には、ここの人だけだったけど、そこへ行ったときにどうやって会ったか忘れたが、そこに行って知った人たち、一緒に行ったから。

72) 九州北部に建設された博多の港湾都市。今は福岡市の今は福岡市の博多港の一部になっている1943年7月に新設された博釜連絡船の出発港

73) 岩手県、日本の北東部にある県で県の中で二番目にひろい。県庁所在地は盛岡。

岩手県のどこにいったのですか？

その名前は岩手県。鉄鉱、鉄の出るところで、鉄鉱といったのではないかな？ 坑の中から石を掘り出し、石を溶かすと鉄が出る。だから鉄鉱所よ。多分？ その人たちはそこで勤務して、私は未成年だからというので初めは石灰山、多分日本語ではセッカイヤマ(石灰山)と言ったが、韓国語ではソクフェサン(石灰山)。そこでトロッコに入れる作業をするんだ。そこに石を乗せる、電気に照らされていて明るいから。われわれが知っているのがどこかという12番坑で、12番坑で掘り出された石が下まで降ろされてきた。そしてその石をトロッコで受けて運ぶ仕事をした。

宋ジェ〇、金イン〇は製鉄所で勤務し、おじいさんは石灰山で勤務していたのですか？

そう。石灰山で勤務していたが、元気な若者は鉄道を選び、そこに移りました。鉄道会社〔部門〕に替わりしました。同じ会社なので。そこで掘る石は木のようにみえる。坑口から掘った鉄鉱石は溶かして鉄を取り出す。鉄が角木のように長い奴もあって、何でも取り出しました。私の石灰石の作業は大変でした。尺数で言えば何百尺を掘って、それを爆発させる、山がポン！と言ってみごとにくずれ落ちる。その作業をしていた元気な人は、鉄道会社選ばれてそこに替わった。そして私が19歳から20歳の時かな？ 戦争でアメリカと



》》 大正時代の釜石製鉄所の情景

戦ったのよ。戦争が終わって、あれやこれやしたが、その時のことを覚えていたので思い出したまま話すけど、そこに韓国の人が大体700名くらいいたと聞いています。

製鉄所、石灰山、鉄道はみんな一つになっていましたか？

鉾山、鉄鉾山で、あ、そこで一緒にいた人は大体600名ほどと聞いています。その時。

宿舎は一部屋に何人ぐらい寝ましたか？

鉄道では一部屋に4人です。2列に寝ると1列に4名寝たら8名です。部屋が大きくて小さいものとは違って。

石灰山ではどうでしたか？

みな同じでした。

宿舎のような所で寝るのですか？

うん、みな同じ会社だから。

宿舎にいる人が700名から800名であれば、会社全体が700名から800名という意味ですか？

あ、その人たちは別に。そこが700名から800名、それは鉄鉾山。その人たちは別に住む所があって、そこに住んでいた。

おじさんが住んでいたところは何名くらいいましたか？

そこは何百人ではなく、20名ほどだったかな？そこは石灰山を掘る仕事の人だったから。

おじさんはお元気だったから、鉄道に移ることになったのですか？

私を連れて行ったんだ

そこでは何の仕事をしましたか？

トロッコに乗って行ったり来たり。

おじいさんは運転をしたのですか？

いや、運転ではない。そこは山裾に沿って川があって、曲がりくねった道を、空車で行く時は、機関車を一つ付け、貨物車を12個引っぱって上がった。機関車を2つつけたやつは、22個を付け、降りるときには、傾斜がこんなで。傾斜でくねくねとしている、そこは。我々は釜石と言うところに鉄を持って行った。停留所がひとつ、ふたつ、何といったかな？停留所が3個か4個ありました。

停留所の名前をもう一度教えてくださいませんか？

釜石駅というところが終わりだった。

会社の名前も釜石でしたか？

釜石ではなく、会社の名前は那時、言葉だけでは鉄鉱山というのだけ聞いていたが、よく知らない。今はそこで〔釜石〕東線⁷⁴⁾という汽車、洞泉駅という東線の停留所があって、その名前としては唄貝⁷⁵⁾というところがあって、お、そして大松が、鉄が出る鉱山⁷⁶⁾

そこまで運転をされたのですか？

うん、その山から掘った石を、私たちの貨車に乗せた。それが貨物車よ。車に乗せて運ぶんだ。あの釜石へ。

74) 釜石鉄道の線。釜石東線が正確な名称。〔1940年、釜石鉄道は日鉄鉱業が経営した。1944年、日鉄鉱業線に並行して釜石(製鉄所)と大橋(鉱山)の間に、貨物線の釜石東線が開業〕。

75) 正確な発音はうたかい

76) 当時、釜石鉄道の駅は以下である。釜石製鉄駅、小佐野駅、松倉駅、人畑駅、洞泉駅、大松駅、唄貝駅、大橋駅。

運搬する仕事をしたのですか？

そう、その仕事をしたんだ。

鉄道の仕事をするとところは鉱山と比較してどうでしたか？

あ、仕事は大変ではなかったけれど、危険だった。今は電気車だけど、前は蒸気、湯気でブレーキをつかんで、動かしていたから。

蒸気で、ブレーキ動かすのは大変だったでしょう？

うん、汽車はそうしたんだ。今はみな電気でしょ？ その時はそうだった。日本でもそうだった。今はみな電気でしょう。だから間違うと危険で事故が多い。前に一度10番坑といって、10から8番坑だが、山が崩れて人がたくさん風にあおられて危なかった。この石灰山で発破⁷⁷⁾を仕掛け、爆発させるのよ。死ぬよ。石に当たって死ぬよ。鉄道の仕事をしている時、汽車がこけると煙突が転がる。コロッと転がって倒れて危険だ。倒れないようにするため車両を連結していくのだが、夜は見えないので灯をつけて歩き回り、前に行き、後ろに行きして歩かなければならない。でないと一度はずれると死ぬよ。それほど危ないけど、その時は若かったから、特に怖いと思わなかった。

鉄道で働いたときは一日に何時間仕事をしましたか？

あ、そこでは時間に合わせて一日に2回出て、3回もあった。そこでは順番にするので時間はそれほどかからない。ところが坑の仕事はどうかというと、ことばでは8時間、一日が24時間ではないんだ。 $3 \times 8 = 24$ 、その8時間づつよ。3交代。

3交代なら夜班、明け方班、昼班、というようにまわりながらするのですか？

いや、坑の仕事は時間的にそのようにしたが、我々は車で行くので朝早く出て、一日に3回出て、その次は夜の時間に合わせて人が出て、そして休んで、夜

77) 導火線装置をして爆発するように作ったダイナマイト。ここでは発破の意味。

にする時もあり、昼にするときもあり、それが一週間であれば、何回ずつかに分けて仕事した。

順番にいくのですか？

うん、順番にする。これは土方⁷⁸⁾ではないから。

仕事をして月給をもらいましたか？

うん、それは規定されたとおりにもらって使った。またここから引くものは何かといえば「勘定」⁷⁹⁾だといっていくらかとする。

勘定すると言って日にちを計算しましたか？

うん、日が抜けているとか、何かしたとか書いてある。だから長い間勤めた人は今の言葉でいうと退職金があるってそれをもらおうとする。でも今、その会社はその時の退職金があるからといって、それを求めますか。

退職金は受けられなかったのですか？

いや、そんなものをもらう時間がなかったよ。

月給は貰われたのですか？

うん、もらって使った。

残りは家に送られましたか？

家がなかったので、送らなかった。

弟たちに送らなかったのですか？

弟も、その時日本に出ていたが戻ってきた。どこにいたのかわからない。私は

78) もともとは土木工事に従事する労働者の意

79) 代金の意味があるが、ここでは「給料からの控除」の意である。

別のところにいて「一か月の俸給だ」といって一か月の俸給をもらったら、それを使った。送るところもなく、そうやって使っていた。日本はアメリカと戦争をしていたが、われわれは日本で別のことをした。日本は米軍の軍人たちも捕虜とし、我々と同じ仕事をさせた。

おじいさんがおられたところに捕虜たちが来て仕事をしましたか？

石灰山。

捕虜たちはどんな仕事をしましたか？

我々がしていた仕事。うん、石をとって来て乗せて碎いて。けれどもそれをするのは米軍の捕虜も韓国人も同じだ。あの米軍の捕虜たちに仕事をさせる。それはお金のためではなく、怠けさせないで働かせるためだ。だから日本人の親方⁸⁰は責任があるので、仕事をさせる方法を考えた。「一つの組に三人なら三人がこの車に何回乗せて運べ、そのあとはお前の自由だ」。そうやって承諾させたんですよ。

割り当てをするのですか？

うん、そうしたんだが、鉄路に入ってそこで乗せて、次の所でまた一人が入って、その前に乗せた人は、前に車があるために出ることができない。時間がかかり、それを乗せる間にけんかもしたよ。「お前のために我々が行けない、なぜこんなに時間がかかるんだ、どけ」。そうやって、ああだ、こうだとけんかになった。

朝鮮人とけんかしたこともありますか？

朝鮮人とはしなかった。よく知っているし。米軍の兵隊は韓国人か日本人か分

80) 親方が現場の労務管理を担当し、その配下の坑夫を子方と呼んだ。親方は労務請負業者の性格を持ち、親方も会社に雇用され、その労務の下で働いた。平時の労務提供では、親方が子方を率いて会社に労務を提供し、賃金を一括して受けて子方に分配した。

かっていた。初めは分からなくても仕事をするとうる。私はその時は年が若くてタバコを勝手に吸えなかった。我々がタバコを吸えば、すぐに韓国人だというのが分っているのて、初めはともすればじっと見つめて「これをくれ」と言った。彼らの苦痛がわかった。作業場に出るために歩くこともあった。たばこの吸い殻があれば、すぐ誰かが拾って吸い、いつもの道を行った。そうして昭和17年度(1942年)に会社に入ったが、昭和20年(1945年)かな?とにかく空襲で会社が壊れて、お手上げ、日本が。一番最後が7月14日。その時、昭和20年の7月14日⁸¹⁾ですよ。そこが空襲⁸²⁾を受けて。

釜石が空襲をうけましたか?

うん、ああ、空襲を受けたときに、宿舎でこうして寝ていたけれども、部屋といつても寝床を敷いた畳⁸³⁾の部屋で、寝ていると「空襲!」と叫ぶ声が聞こえた。その時、戦争が起きたら逃げるため、我々が寝ている宿舎の横に防空壕を掘った。防空壕がどんなものかというて、人一人くらいになるように⁸⁴⁾、土を長く掘って丈夫になるように上にかぶせるのではなく、適当にかぶせた。そして木で穴の中に土が落ちてこないようにして、上の方だけ何かでかぶせ、その上に土もかぶせた。そして人が出入りするところが両方あって人は両端から出入りした。ご飯を作ってくれる女の人、日本の若い女性3人がいて「おかずを何かくれ」といった。年取った女、ここのことばでいうと姑が担当してて「これを持ってきたので、おかずにしなさい」という人もいた。防空壕の一番端から入ってくるので、狭くて中がギュッといっぱい狭い穴に入らなくてはならない。そうして無理に押し込んでると、あ、前をみると、上で飛行機がぶんぶんいっている。はじめてだ、飛行機が落ちるのではないか?空襲が終わって飛行機見物をしたらいいかな、飛行

81) 釜石製鉄所では、800人ほどの朝鮮人が労働者として強制動員され、1945年7月14日と8月9日の米軍艦砲射撃で25人の朝鮮人が死亡した。〔釜石製鉄所への朝鮮人動員数は1260人ほど〕

82) 実際は空襲ではなく、米軍の艦砲射撃である。〔機銃掃射・爆撃と共に艦砲射撃がなされた〕

83) 板の間に敷く日本の床材

84) 人の背丈ほどの長さの壕

機が見られたらいい、と心の中で思っていた。ここは防空壕で人が一杯で、人が出入りするところなのに飛行機が爆弾を落とした。

人々が出入りする真ん中に爆弾をおとしたのですか？

そうだ。真ん中に打ち込んだ。そうして爆弾が落ちてパン！と爆発すると土がぐると飛び散った。それで私の頭のここに今も跡がある。なぜここに跡があるかというと、木が引っかけた。木が上から落ち、ギュッと押さえられてついたのだ。だからその時、手で押さえながら伸びてしまった。別のところに日本人がしっかりしたモーター室を建てていた。水を撒いたりするモーター室があった。友達がそこへ引っぱって行って寝かせた。その時のやつは、名前はなんだったかな？ そいつが私を親しく遊んだり、寝たりしていたやつだが、私が爆撃で伸びていたので、私の手首をブランブランと振って引っ張っていった。彼が引っ張って行って寝かせた。そこで、わたしが膝と手をついて這って、四つん這いになって水をくれといったそう。だけれど水があったらやるけれども、水もないところだといって、そのままうろろうろしていた。私がモーター室に入ると、死んだやつが生き返ったか？と、つまらないことをいって歩き回った。ドンドンとやかましい音が聞こえ、その時、私は気が付いたらしい。我々がいた宿舍が焼けてみんな崩れてしまった。飛行機はぐるぐる回って爆弾を落とした。爆弾で道が途切れた。チクショウ、橋も落ちた。

空襲は真夜中におこるのですか？

爆弾を落とすときは昼だ。ここでいえば午後5時ごろになるかな？

仕事が終わる頃に落としたのですか？

うん、その頃。爆弾を落として。ちょうど騒いでいるときで。市内に出る気もなく。日本の女たちは自分の家族でその爆発の破片にあたって死んだ人を引っ張って入口の前において、扇でこのようにしていた。その時が陽暦の7月14日だった。

7月14日というのはどうして覚えているのですか？

それは間違いない。私がどうして覚えているかというと、7月13日はそこで遊ぶ

時間に賭け事をするので、7月13日に出て遊んで賭け事をした者同士で、7月14日にどこかで会ってまた遊ぼうという約束をしたから。7月14日はその次の日だから。日本人が戦争をする最後だったようだ。そして降伏したのだ。それがあって、7月14日が私の頭の中に入っている。

空襲があつてからは、仕事はできなかったのですか？

あ、仕事だって、何もなかった。

仕事はしなかったのに食事はどうされましたか？

食事はその会社でくれた。食べさせてくれた。市内が前のようでなくなった。港町で、市内が工場に囲まれ、いい場所だったが、だめになった。港町、釜石駅と、とてもよかったところだったが、いっぺんにだめになった。そして日本が降伏した。だからここでいえば郡庁邑事務所、そこで職員たちは泣いていました。で、日本人は家族が空襲で死んでも、死体を自分の家の門の前において、「アイゴ」と泣くこともしなかったよ。

朝鮮人もたくさん死にましたか？

防空壕に50名くらいの人が入っていたが、13人が死んだ。朝鮮人がたくさん死んだ。朝鮮人、日本人区別なくその時に爆発が起きて、破片に当たって死んだ。

解放された後、どうされましたか？

解放されてからは仕事もできなくて、韓国人にも仕事をさせなかった。そのまま食べさせてもらった。でもいつかこの韓国人、朝鮮人は朝鮮に帰らなくてはならなかったが、人があまりにも多くて、船に乗るのに時間がかかり、陰暦で11月に出ました。陽暦では12月になるかな。

出てくるときはどこからでしたか？岩手県から船にのって直接帰りましたか？

いや、それは汽車に乗って船に乗るところへ、下関だったか？どこで船に乗っ

て出たかな。陸地では車で、私が経験したのを話しているので、順序が合わないが、出てくるとき財布に二百何十円になるが、それだけでも当時は大きいお金だった。そして一人当たり100円以上は換えてくれないし、おつりはくれない。あるときは前の人にお金をもらった。知らない人だったが、お金を換えて朝鮮に帰ろうと、お金100円をくれた。誰か知りたい。着ている服に消毒液などを撒かれ、誰が誰だかわからない、そんなこともあった。

出てくるとき、一緒に仕事をしていた友達とも一緒にでしたか？

一緒に出たけど。そこで各自ばらばらになった。そこは下関かな？そこから船に乗ろうとして、皆それぞれ分かれた。

船に乗るときお金を出しましたか？

そこでお金をもって出て換えようとしたけど、換えてくれる人がいなかったの。100円のお金は換えてくれて、残りは換えてくれなかった。でも私のお金は200円になるんだけど、前に知らない人がお金をくれたので、誰なのか知りたいのだけど、知らないでそのまま・・。そしてそれを失ってしまった。

鉱山での月給はどれ程もらっていたのですか？

それは決まっていなかった。一か月に自分が好きなように自由に遊んだら、規定された額から割引かれて月給が出ない。「遊ばないで、サボらないでやれ」ということだった。

鉱山と鉄道のどちらが、月給が高かったですか？

お金を儲けるのがそこだったから。鉄道がちょっと多かったか？よくわからないな。

おじいさんの日本名は何でしたか？

私の名前？日本語で書いていたのはあけいしゅちん(明石由鎮)、明石と言っていた。それが私の姓。

明石(あけいし)ですか？

うん。明るいの、明の字だから。「あけいし、あけいし」とみんなが呼んだ。

面談・監督：許光茂調査3チーム長 1次録聴文作成：韓ギルサン

編集、推敲、注釈：鄭惠瓊課長、李秉熙・権美賢調査官



◆面談後記◆

2006年6月29日、忠南泰安郡泰安邑東門里の口述者の自宅で口述面談を実施した。泰安邑の山裾に大林アパートが建っており、その裏手の連立住宅にまわると小さな丘があった。その端に被害者の自宅があった。かなり古くからの山村であるが、開発の手が伸びている村という感じであった。

口述者の自宅の入口には犬小屋と2匹の犬がいて外部の人の出入りが簡単にはできないようになっていた。自宅には自由に飛び回る猫が3、4匹いて、家の裏手には牛小屋と韓牛がいた。面談者が訪問した時にはおじいさんは牛に餌をやっている最中であった。口述者の家は一般的な韓屋農家であり、門で家と外部を完全に遮断する構造であった。門を入ると、土の庭があり、居間と部屋などが一目で見渡せた。

口述者は板の間に腰かけたまま口述を始め、面談者は椅子を庭において向かい合った形で面談を始めた。お嫁さんとおばあさんが面談の場にいたが、よくわからないようであり、席を外した。時々猫たちがあちこちをいたずらし、ビデオカメラを触ったりして、口述の場を和らげた。

私は年が若く、坑の中に入らなかった



宋栄彬 (ソンヨンビン) 男、78歳

- | | |
|-------------|------------------------------------------------------------|
| 1929. 9. 17 | 忠南扶余郡忠化面支石里で出生 |
| 1945. 1. | 日本岩手県所在、日本製鉄(株)〔日鉄鉱業〕釜石鉱山 ⁸⁵⁾ に動員される(17歳〔満15歳〕) |
| 1945. 11. | 解放後、帰国 |

日本に行かれた時にはどこに住んでおられましたか？

忠清南道扶余郡忠化面支石里。

ご両親と一緒に住んでおられたのですか？

そうです。兄弟もみないました。兄さんは北海道に行っていて、私は3番目です。

3兄弟ですか？

いえ、7男女。6男1女の三番目

85) 日本製鉄釜石製作所 岩手県釜石にある日本製鉄の製鉄所。〔当時、釜石鉱山は日鉄鉱業釜石鉱山となり、製鉄所と鉱山は別の事業所となっていた。〕

お兄さんは北海道にいったられたのですか？

はい、北海道に行っていました。

おじいさんがお兄さんより先に徴用されたのですか？

いえ、お兄さんが先。

一軒に二人連れていかれたのですか？

そうです。もともとは私が行くのです。北海道へ。

初めに、ですか？

はい、私がいくことに。でもそこに、お兄さんが行った。お兄さんは農業学校に行っていたのですよ。お兄さんは「お前は小さいから行けない、僕が行く」とお兄さんが代理で行ったんです。初めはそんなでした。次に1年ほどたった時、私が、家で寝ていたら起こされて連れていかれたのです。

おじいさんに徴用状が出ましたか？

そうです。

面から出たのですか？

そうです。面に募集所があってお兄さんが「お前が行くというが年も若いので僕が行く」お兄さんが連れていかれたんです。次に私がまた募集所へ連れていかれたのです。それでお兄さんは北海道へ、私が岩手県に行きました。

募集する人が来て連れていきましたか？

そう、募集書記が連れていきました。

その時、徴用状を持ってきましたか？

いや、そのまま。その時は、徴用状がないまま、面に連れていかれました。扶余へ行って、論山で車に乗せられてそのまま行きました。そして論山に行くど

日本の会社から担当職員が来ていました。日本人が。

お兄さんが先に北海道へ行かれたじゃないですか、お兄さんと手紙をやりとりしたことは覚えておられますか？

そうです。わたしと手紙の連絡はありました。

その後におじいさんが徴用に行くことになったのですね？

その時は徴用状もなく、居間でカマスを編んでいて戸を開けてみたら、そのまま無条件に「お前出てこい」と言って、そのまま引っぱっていきました。

それでそのまま行かれたのですか？

そのまま行きました。

お兄さんが北海道へ行かれた時もそうでしたか？

その時もそうです。そのまま、おまえ来いといって連れていかれて、面に置かれ、面からそのまま日本のトラックでそのまま。家族は皆同じ家に住んでいたから、みな知っているよ。募集の書記が連れて行ったのを、みな知っている。

邑からたくさんいきましたか？

そうです。うちの邑から私が行ったときも3人行きました…。

一緒に行った人を覚えていますか？

名前はわかります。朴ジョン○、崔サン○の3人で行ったから。

3人とも岩手県に行ったのですか？

そうです。そうして朴ジョン○は、炭車のポール持ち(pole,炭車の運転手)をしていたが足が折れ、ここへ来て論山で死んだ。いくらか経っていない。死んだんだ。

最初は面を集まって行きましたか？

扶余へ行って、扶余から論山に行って、論山から汽車に乗って。

扶余の郡庁に集まったのですか？

そうです。郡庁に。

どのくらいの人があつまったのですか？

たくさん集まりました。100名くらい。

論山に行くともっとたくさんの人が集まっていたのですか？

はい。論山に行くと、日本人がカバンをかけて来ていて「中学校を出た者は手をあげろ」と。その時には中学校を出ていたら最高だ。「国民学校を出た者は手をあげろ」と。そうして人を選んで、中学校を出た者を大隊長、隊員たちを統率する大隊長に命じ、国民学校を出て日本語を話せる者を小隊長に命じたのです。そうしてその者たちは、そこで役職に就いた。そうして大田へ行って、汽車に乗り替えて釜山へ、釜山で連絡船に乗ったよ。その時から日本人は座ってただ監督し、大隊長、中隊長、小隊長になった者に統率させ、日本に行った。そこに行くのではなく、東京に本社があるといって、本社に行って服を全部着せ替えさせてから、岩手県の鉄鉱会社に入った。そこで中隊長に選ばれた者は総括する取り締まりとされた。取り締まりというのは行った者を管理する者で、日本人がそれをさせた。

大隊長、中隊長、このような人に、ですか？

そう、そうさせた。その時、体が悪くて仕事ができなくて、寮(労働者合宿所)で寝てご飯を食べて、腹がすいて話もできなかった。そこで論山で選ばれた大隊長、その人たちに取り締まり⁸⁶⁾にさせたが、その人たちが寝ていた者、病気だといって寝ているものを引っぱって行って、その寮の事務所へ連れて行って、

86) 取締。監督、取り締まる者。

殴った。そう、日本人が殴るのではなく、一緒に行った大隊長が取り締まりをさせられ。アイゴ、とんでもないことだ。

おじいさんは国民学校を卒業されたのですか？

国民学校も出ていない、農業をしていたから。

釜山から船に乗る前に一晩は寝たのですか？

釜山に行くとき船が一つあった。そこですぐ乗せられて、そのまま日本に行つて、下関⁸⁷⁾で降りて、汽車で東京まで。東京に行って本社へ。

消毒のようなものもしましたか？

消毒のようなものをたくさんしました。釜山でたくさんしました。その時は風が多かったので。それはDDT⁸⁸⁾とか何とかで。それを振りかけて、そうして東京に行つて服だけ着替えさせて。白い洋服ですよ。作業服。

東京で服を着替えてから会社の中に入ったのですか？

外で立ったまま服を与えられて。

会社は大きかったですか？

大きいことは大きかった。鉄鉱会社だから。日鉄付属鉱業所(〔日鉄鉱業〕釜石鉱業所)だ。鉄を坑から掘りだして、電車に乗せて出して。そのままクラッシャー(粉碎機)といった。第一クラッシャー、第二クラッシャー。岩の塊のようなものを乗せて碎いて、そいつを全部粉にして釜石にある製鉄所に行く。

その製鉄所で仕事をされたのですか？

いや、その石を砕くところで。クラッシャー。

87) 下関 山口県の港町 関釜連絡船が到着する港

88) 殺虫剤の一種で現在は使用禁止されている



》》》 釜石鉱山周辺略図

石を砕く工場もその近所にあったのですか？

いや、鉄鉱石をそこで砕いて、汽車に乗せて運び、釜石というところに製鉄所はあって。石を掘り出すところは鉱山ですよ。鉱山。

山があって石を掘り出す人が他にもいたのですか？

そうです。でも私は石を砕く仕事ではなく、石を砕くクラッシャーに油を運ぶ仕事をした。油の運搬。

鉱山の名前は何といいますか？

そこは岩手県だよ。岩手県日鉄付属鉱業所。でも家に手紙を送るときはその住所「岩手県大橋(甲子村大橋)日鉄付属鉱業所」こういう住所になった。その時はしょっちゅう、手紙をおくったから。

手紙をしょっちゅうやり取りしたのですね？

そうですよ。

おじいさんが行かれた時は何歳でしたか？

17歳〔数え年〕の時。若いので坑〔内〕の仕事はさせなかった。油を運ぶ仕事をした。油差し⁸⁹⁾。

宿舎はどこでしたか？

だから、各所にあった。「第2労務」、私たちは第2労務。未成年者は皆、第2労務へ。第2寮があって、第1寮があって。飯場(現場労働者宿舎)だよ。

おじいさんは第2寮にいましたか？

はい、2寮にいて。

2寮には未成年者ばかりいたのですか？

そうです。未成年者ばかり。

寮に食堂が一緒にありましたか？

いや、朝鮮人に飯をくれる食堂は他にあって、日本の奴らがご飯を食べるところは別にあった、そうだ。

寮は部屋がいくつありましたか？

12部屋あった。寮の中に12部屋。1部屋に約20名ずつ寝るでしょう、両側にこうして畳⁹⁰⁾部屋があって、真ん中に通路があって、約20名ずつ寝た。

昼食も食堂で食べましたか？

そうです。昼食もそこで食べました。昼食はたいてい朝、仕事に出るとき、弁当を作って、木の弁当箱。その木で作った弁当箱を持って一番最後の組にひつついて、それを持って行って、朝仕事に出るときに食べる。弁当をもらってもご飯が少ないか

89) クラッシャーに差す油の運搬したことをいう

90) 日本の床材

ら、朝全部食べてしまい、昼もお腹がすくときが多かった。朝弁当を食べてしまつて、夕方の5時まで待つとお腹がすいて死にそうだったよ。ご飯はたいい麦飯。

おかずは？

おかずは、そこはわかめがたくさんとれるっていう、わかめの煮物とわかめ汁。毎日それだ。わかめ汁とわかめの煮物。それが主で。

監督する人は仕事を間違えると殴ったりしましたか？

そう。いつも殴る。逃げて捕まったら大騒動だ。朝ならその工場の出口に広告板があって、そこに「逃亡者」と大きく書いて、捕まえた者たちを5、6、10人、そこにずらりとこうしてひざを折って座らせる。このように体を曲げて。仕事に行く時に見ろと。そのように座らせて、皆が仕事に出て行った後に、その者たちを各寮の便所を全部掃除させて、また仕事に出るとき、その広告板の前に逃亡者と書いて貼って、そこにひざを曲げさせて。そこは雪がたくさん降っている畑に、そこに座らせておいて、また仕事に出るものは、見ろと。「お前たちも逃げたらあのようなになる」というのです。

逃亡するとつかまりましたか？

ほとんど皆、捕まりました。私の村から一緒に行った者も捕まりました。

おじいさんも、ですか？

いや、一緒に行った人、崔サン〇。

逃げて捕まえられましたか？

ふふう。朴ジョン〇はトロッコのポール持ちをしていて足が折れて切断した。トロッコのポール持ちというのが何かというと、トロッコが坑の中から出てくると、ポールを持ってきては、トロッコが戻るときはポール持ちが持ち帰らなくてはならないし、またそのポールをくっつけなくてはならない。真っ暗な夜中に仕事をしていて電車でひかれてそうだった。

そうして怪我をしたら、病院へ行きますか？

病院はある。

会社の外にありますか？

いや、会社の中にあった。大きな会社だから

宿舎も皆、会社の中になりましたか？

そう、会社の中に皆ありましたよ。

朝、何時から仕事をしましたか？

その時で12時間仕事をした。2交代で。

出勤する時、朝会をしましたか？

朝会はしましたよ。

人員数を把握するのですか？

そうです。人員把握をし、各現場で仕事をする班長が引率して入りました。

班長は朝鮮人ですか？

朝鮮人もいたし、日本人もいましたよ。

ひとつの班に何人ずついましたか？

でも、その坑の中に入る人たちは、番号が違って、我々は油差しなので、最後に行って油だけを差したらよかったので。

班は他になかったのですか？

そうです。



》》 現在の釜石鉱山の選鉱場の情景

休みは別にありましたか？

いいえ、休みの日は別にありません。

仕事が終わったら、次に交代するまで休むという式になっていたのですか？

そうです。夜間勤務をすると昼休んで、昼に勤務すると夜に休んで、一週間ずつ交代です。

休みの日は何をしましたか？

ただ、寝ていたよ。ハハ。

会社の外に見物に行きましたか？

そこは山の中なので見るものもなかったです。

外に出ることはできましたか？

できました。遠いところまでは行けませんでした、その中では行き来できま

した。その時、米軍の捕虜たちも約700～800名がそこにいた。

収容所は他にありましたか？

他にありました。アメリカ人の捕虜収容所もあって、中国人の収容所もあるという事です。

米軍や中国軍人たちを見ましたか？

もちろん見ました。

話もしましたか？

話はできなかった。アメリカ人やイギリス人の捕虜収容所は2階建てのよい家で、中国人の収容所は豚小屋のようにつくられていた。だからアメリカやイギリス人は全部工場、機械を直す工場、その鉄工場のようなところで仕事をした。技術労働をした。また中国人は犬のような扱いだった。われわれ朝鮮人よりも。その人たちは毎日死んで行くようだった。中国人は朝になれば、同僚たちの死体をついでわれわれの寮の前を。アメリカ人の捕虜収容所は2階建てとてもよく建てられていた。アメリカ人が仕事に出るときは日本人の憲兵が前後にぴったりと立って、こうして引率して、中国人は犬を捕まえるようにして。ふう、韓国人は中国人に比べたら、まだよかった。

ご飯の他に配給されるものはなかったですか？

配給は酒も出ることはあった。

日本酒ですか？

そう、日本酒です。タバコの配給もあった。

おじさんは未成年だったのに出たのですか？

それでも出た。お、その時からタバコを吸ったの。その時にタバコをおぼえた。

その鉱業所におじいさんより先に来ていた人もいましたか？

あ、たくさんいた。

その人たちと話をしましたか？

もちろん。どこから来たのかとか、そんな話。その時は全部創氏じゃないか？
その時は。われわれ同士はわれわれの姓で呼んだ。

話をしてみたら、全国各地からきているようでしたか？

そう、全部事情が同じで、とても人情もあってよかった。

年のころはどうでしたか？

年にあまり関係はなかった。私が論山に行ったとき、おじさんがそこに来ていた。

論山に集まった時ですか？

集まった時…。一番上のおじさんが。

おじさんも一緒にいったのですか？

一緒に行った。

一緒に仕事をしましたか？

そう、だから年には関係がなかった。慣れていたから。

おじさんがおられてそんなに寂しくなかったですか？

ああ…、おじさんは年上なので、年の上の人は他の寮で寝て。

北海道に行かれたお兄さんと手紙はしましたか？

そうです。手紙は出しました。故郷の家にもしました。

ご飯が少なくてお腹がすいたでしょうが、ほかにおやつのようなものはありませんでしたか？

そうだな、餅のようなものを売るところはあったが、餅をかうお金がどこにある？

お金は日当でもらったのですか？

月給で。

いくらずつくれましたか？

その時は、大体…、多くて5円以下で3円か、4円だった。

一か月で、ですか？

はい、一か月で。

一か月にそれだけしかくれなかったのですか？

はい、それだけしかくれなかった。3円何十銭か、たぶんそんなもんだ。坑に入る人はもう少しもらって、私はやさしい仕事をするので、月給が一番少なかったです。

寮と食事は提供するので、他にお金が出ていくことはなかったですね？

そうです。

服も会社が支給してくれましたね？

そうです。

それにしても月給がとても少ないですね？

そう、なに、その時3円だったかもらったが…。

月給を家に送るとか、貯金をするとか、そんなことはなかったですか？

その時、たぶんいくらかずつ、共済しました。

月給をもらうのがとても少なくて家に送ることはできなかったでしょうね？

送れませんでした。その時にはとても送れませんでした。

そのお金で餅を買って食べたそうですね？

そうです。餅を買って、はは…。

市内に出かけたことはありましたか？

市内はそこにはなくて、工場だけです、工場。

そこに餅を売る人がいたのですね？

それで、そこからちょっと出ると、餅を売る人がいました。

汽車に乗って、遠くに行ったことはなくて、近所にだけいましたか？

そうです。バスもないし。

近くに村がありましたか？

村は…。少し行けば、村はあります。そこに行く日本人の監督たちの社宅がありました。

朝鮮人の住む村は他にありましたか？

ありました。そんなものがありました。そこは昔に渡日した朝鮮人のすみかだ。

自由に来た人たちですか？

そうです。

朝鮮人の村に行ってみましたか？

下からだけ見ました。行かなかったです。

爆撃のようなものもありましたか？

そこにはなくて、釜石製鉄所があるところは爆撃があったということです。

製鉄所には爆撃があったのですか？

はい、爆撃がありました。爆撃があつて、なにやら缶詰工場があつて、軍需工場だ、それが爆撃にあつて粉みじんになつて、その缶詰のようなものをもらつて食べたことがある。

製鉄所の近くに軍需工場があったのですか？

はい、いわばイワシ工場、缶詰工場、そこが爆撃を受けて全部バラバラになつて我々が整理することもあつて、缶詰のようなものをたくさんもらつて食べた、ということだ。

製鉄工場とイワシ工場が近くだったのですか？

とにかく、そこで爆撃を受ける音が聞こえたから。多分70～80mほどでしょう。

おじさんはどんな油をはこんでいたのですか？

通常、クラッシャー(粉碎機)を回すために、グリース⁹¹⁾があつた。クラッシャーが回るのに塗る油で、油だけ塗っていた。

油を塗る人は他にもいましたか？

はい、クラッシャー工場が山の急斜面にあり、2階、3階がこのようにずっとあつて、急斜面に第一クラッシャーで大きな岩のようなものを割つて、第二クラッシャーに来ると小さく割つて、第三クラッシャーに行くと粉にして、その下で汽車に乗せ、製鉄所に運んでいくんだ。

91) Grease、機械の摩擦部分に使う粘着性のある潤滑油

油はどこから持ってきたのですか？

それは下に行くと油を取り扱うところがあった。そこで桶に入れて、私が担いで登った。その山道を。

歩いて登ったのですか？

そう、歩いて登った。

電車のようなものに乗って登ったのではないのですか？

いや、電車は坑の中から掘り出して、第1クラッシャーまで岩のカタマリを乗せて来たら、降ろしてつぶして一番下に来たら、汽車が粉だけ乗せて、製鉄所に行くんだ。

一緒に行った朴ジョン〇、崔サン〇、おじいさんと同じ仕事をしましたか？

いいえ、その人たちは私より年をとっていたので、他の仕事をして、私は年が若いので坑には送られなくて、その人たちは忙しい方に行って、鉱車のポール持ち。

崔サン〇、おじいさんは？

その人も坑の仕事をした。

坑の中で仕事をしていて、事故が起きるとかそういうことが多かったですか？

そんなことは見なかったです。

朴ジョン〇、おじいさんのように怪我をしたことがありましたか？

そうです。その人は足が切断されて、とても苦労しました。私は怪我をしたことがなくて。

日本に行ってどの程度仕事をしたのですか？

1月に、陰暦の1月3日に行ったのです。そして8月15日に解放され、それまでそ

ここにいた、だからそれほど長くはいなかった。

解放された年の1月に行ったのですか？

はい、そうです。

解放されたのはどうしてわかりましたか？

ラジオで分かりました。ラジオで突然、ひっくりかえりました。解放されてから1、2日あったので、朝鮮人は朝鮮人同士、自治連盟を作って皆で腕章をまいて歩いたんだ。

朝鮮人が解放されたという話を聞いたのですか？

はい、解放されたと。それで日本のやつらの武器は全部アメリカの軍に解除されました。武器を使えないように。朝鮮人はその時から腕章を巻いて思い通りに動いた。米軍の捕虜が解放されたのでB29が、捕虜がいるので自動車や食べるものを、落下傘で毎日ばら撒くんだ。それで我々はその車に行き、落ちたものを拾ったが、洋菓子とかいろいろあって、その時はよかった、ハハ。毎日B29が腹をバツと開けると、自動車も落下傘から落ちてくる。

自動車も落ちてくるのですか？

そう、ジープのようなもの。毎日、落下傘で落とすので物件を持って余まして、我々が何か拾えば、奴らはもっと落としてくれ、それで本当に助かった。その時、ホホホ。

解放されて、朝鮮人取締役の下で働いていた人たちが、その人たちに復讐したりすることはなかったですか？

特になかった。それはなくて、その人たちが自治連盟と組んで腕章を巻いて、われわれ朝鮮人が出るときも停留場ごとにその人たちが立って、案内してくれ、下関でも船に乗るところも、その人たちが教えてくれて、そんなでしたよ。

**下関で船に乗って帰って来られましたが、その船は会社で準備してくれた
ものですか？**

それは知りません。ホホ。そうだ、その自治連盟というのが腕章をまいて、人々を管理していたと。日本人は仲間ではないから。

会社から退職金のようなものはもらいましたか？

そんなものはありません。そんなものはないです。

では、お金は持たないで出たのですか？

ひとつも持たないで出ました。お金がどこにあるのですか？持って出るお金が。

下関から韓国に帰ってくる朝鮮人はとても多かったようですけど？

多かったです。多いです。下関で船が足りなくてそのまま20日待って帰ってきました。

解放されてどのくらいしてから帰ってこられましたか？

多分、相当長くいました。日本人は飢え死にするかと思いました。我々が思うには、畑を耕して山に火をはなって畑にして、食べられるようにして生きていこうということだと思います。

韓国に帰るのは何月ごろになりましたか？

11月ごろかな、多分。

解放されてから約3か月いて出てこられましたか？

はい、そうです。

故郷に帰ったらお兄さんは帰ってきておられましたか？

はい、お兄さんが先に帰っていました。お兄さんは炭鉱でとても苦労したとい

っていました。

故郷に帰って何の仕事をしましたか？

農業をちょっとしてそのまま出ました。他郷に。

結婚はいつされましたか？

結婚はソウルでして、結婚して50年になります。

ソウルにいつ来られましたか？

軍隊に行って帰って来て、私が軍隊で怪我をして、腹部貫通傷を受けて傷痍軍人に。それで私は52年度に怪我をして、病院を出てからこのソウルにとどまった。故郷へ帰らないで。

おじさんが日本の工場におられる時、日本人は年が上でしたか？

そうです。年上。私には年上。とにかく若い人はいなかったです。

工場にお使いに来る女の勤労挺身隊はいなかったですか？

いなかったです。クラッシャー工場では、石と鉄を選びだす仕事をずっと座っている日本の女たちがいました。

若い女たちですか？

そう。若い女だった。つまり軍需工場なので、みなそんな仕事をしていた。

日本語はお上手でしたか？

できませんでした。まあ、大体聞き取れたよ。通訳する人もいて。

周辺に軍隊がありましたか？

日本の軍人、日本の憲兵がたくさんいました。

憲兵が会社の前で、歩哨で立っていましたか？

それは見ませんでした。とにかく憲兵が来て、その捕虜に仕事をさせ、全部憲兵がしろと。

日本にいるとき特別に記憶に残ることはありますか？

ホホホ、記憶に残るのは寒いという事。とにかく夜に雪が窓の外の上まで積もって寒くて、畳の部屋に眠るので、かぶるものと敷くものはたくさんくれる。そんなに寒くてもすっぽりと入っていれば、汗もでてくる。それはまあよかった。私が思うには初めて行ったので、敷くもの2つ、かぶるもの3つで5個ずつくれた。布団を。

坑の中へ入ってみましたか？

いや、入りませんでした。

小隊長や、大隊長の名前は覚えていますか？

とりしま、その人はとりしまというんだが、怖くて言葉もかけられない。殴るし、作業員で病気の人がいっても病院へ行かせず、人員数を満たすために動員して、どれほど失望したか。とても怖くて、仕事に出ないと言えば、強制的に引っぱって行って雪の畑になげとばしたというよ。ホホ。

中隊、これはどの程度の大きさでしたか？

中隊というのは、その時、一中隊、二中隊まではあったようです。

初めに行かれるとき、期限がありましたか？

期間はその時は多分2年だったか。でも解放になったでしょう。

おじいさんの後に来た朝鮮人はいましたか？

いました。続けさまに来ました。

一度に何百人ずつくらい来ましたか？

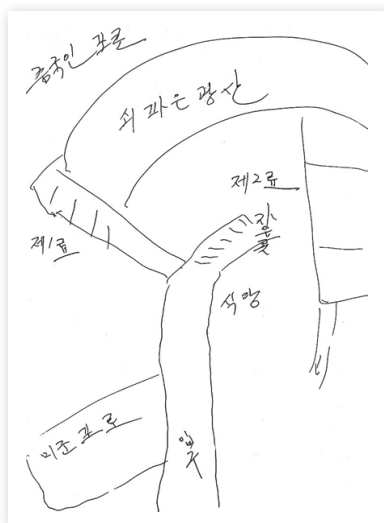
何百人かは知らないが、多分200人くらいです。入ってきました。たくさん来たと思います。その時、戦争がどうなるかはっきりしないため、やつらはわめき散らしていました。その時は、そうするほかなかったのです。やつらは日本が負けたら、大変だと思っていたから。

おじさんがおられたところを絵にかいていただけますか？

さあ、わからないけどな。こうして、これが入り口だ、そしてここから登れば、このように行くが、ここに食堂があつて、こうやって階段を上ると我々の寮。寝るところがあった。そしてこちらのほうに行くとな上の人たち、我々より大人の寝るところ。

第一寮ですか？

そう。第一寮。ここが第二寮。



≫ 宋榮彬さんが書いた釜石鉱山の周辺の略図(左上から時計回りに、中国人捕虜、鉄を掘る鉱山、第2寮、寝るところ、食堂、入口、米軍捕虜、第1寮)

第二寮ですか？

そうです。そしてこの裏は大きな山で、ここは電車が行き来して乗せる、つまり鉄を掘る鉱山で、この後ろは全部山。

捕虜収容所はどこにありましたか？

捕虜収容所はここ、入り口、ここに米軍捕虜収容所があつて。

この人たちはここでご飯を食べましたか？

そうです。ここで食べて寝ていました。ここには中国人たちの捕虜収容所があつた。山の上に頂上みたいところに中国人捕虜所、ここが釜石という都市だ。ここが海岸、海辺があつた。

おじいさんが仕事をしていたのはどこですか？

どこ？ それは山の下でこんな大きな工場、石を砕く工場、この鉱山からトラックに乗せて、ここから見れば、第一クラッシャー、第二クラッシャー、第三クラッシャーがあつた。この下で汽車に乗せて、釜石へ行くのだ。

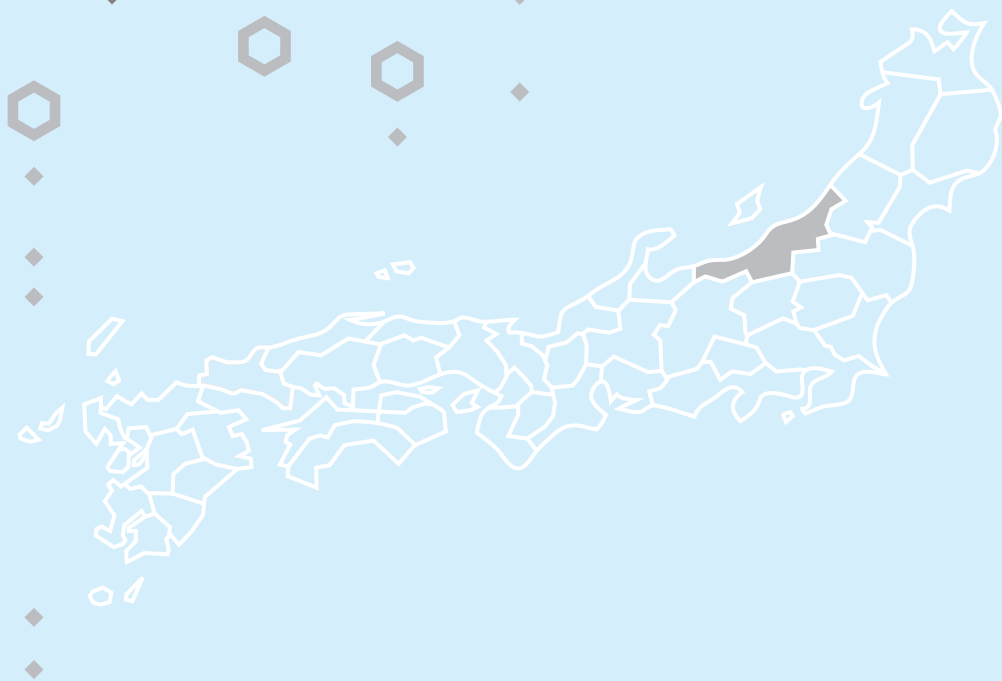
おじいさんはその時、日本の名前はなんでしたか？

ああ…、まつはら、ソンウォン。ソン〔松〕とウォン〔原〕の字(松原栄彬)。

面談・校閲：高賢嬉調査官 1次聞き取り文作成：韓ギルサン

編集、推敲、注釈：鄭惠瓊課長、李秉熙、権美賢調査官

新潟県





◆面談後記◆

2005年10月20日、忠南泰安郡遠北面事務所で、別に準備された場所で口述面談を実施した。口述者は今もお元気で当時を正確に覚えていて、同行者の名前も何人か教えてくれた。お父さんに出された徴用の代わりに行こうとしたが、年齢に達していないために行けなかった。次の年に年齢が該当するとすぐ、担当を訪ねて行かせてくれと頼み、行くことになったという。お父さんが徴用になるのを防ぐために、まだ若い年に選んだ道であった。

ポンポン船に乗って帰る途中、 海の幽霊になるところだった！



金東烈 (キムドンヨル) 男、80歳

- | | |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 1927. 7. 25 | 忠南瑞山郡遠北面薪斗里で出生〔現在は泰安郡遠北面〕 |
| 1944. 12. | (陰暦)日本新潟県西頸城郡(にしくびきぐん)所在の電気化学工業株式会社 ⁹²⁾ 徴用され、原石を溶かす溶鉱炉の労務者とされる(18歳〔満17歳〕) |
| 1945. 8. 23. | 解放後、帰国 |

何年生まれですか？

1927年生まれ。

何の年ですか？

丁卯生まれ、ウサギ年。

92) 電気化学工業株式会社、1915年設立。カーバイドを利用し、肥料石灰窒素の製造、販売を目的とした。苫小牧で1912年に北海カーバイド工場を設立、それを母体に電気化学工業を設立した。1916年福岡県に大牟田工場を設置、その後、豊富な石灰石資源と自家水力発電所がある青海工場を1921年に開設、今に至る。現在、エレクトロニクス製品、高分子有機系製品、無機系樹脂加工品などの各種製品を生産する化学会社〔現在の企業名は、デンカ株式会社〕。

日本の名前はなんでしたか？

創氏です。かねしろ(金城)。

トンヨル（東烈）はどう読みますか？

はい、トレツと。

日本に行くとき家族はだれがおられましたか？

お父さん、お母さんがいて、妹たちがいて、私が長男です。

その時、家では何の仕事をして暮らしていたのですか？

農業で暮らしていました。

徴用に行くとき、年は何歳でしたか？

はい、陰暦で？とにかく昨日が正月だったから2日に行きました。

それは何年でしたか？

昭和⁹³⁾でいえば、20年、その年に解放されました。だからそれは昭和17年、いや、昭和19年でした〔陽暦〕。

で、おいくつでしたか？

はい、18歳。

韓国の歳で18歳なら、満17歳にしかありませんね？

そうだ。

とても若いのですが、学校に行っていましたか？

学校？その時、普通学校といって3年行って出ました。遠北普通学校。

93) 日本の年号、1926年が昭和元年。

では、日本語もちょっと書け、漢文もちょっとはご存じだったでしょう？

はい、知っていました。

徴用に行くとき、だれが来て、行かなければならないといいましたか？

その時は面の係(労務担当者)がいましたが、名前はわかりません。

同じ遠北の人はいましたか？

はい、同じ遠北の人。

その人は徴用状のようなものを持ってきましたか？

地域には区長というのがいたじゃないですか。区長⁹⁴⁾がいました。関区長、関氏。名前は〇〇。それでお父さんに、7月に、労務者として行けというのです。私はその時、17歳。〔代わりに〕7月に私が行こうとしたが、年齢を満たしていない、18歳になっていないといって、その時は受け入れてくれませんでした。瑞山まで行きました。ミョンシン旅館という旅館で。ミョンシン旅館。

行く1年前ですか？

はい、1年前です。

1年前にお父さんのところへ徴用が来たので、自分が代わりにいくといったのですね？

はい、その時から行くといっても、受け入れてくれなくて行けませんでした。もう一度家に引き返せと言われて、帰ってきた。お正月が過ぎて2日に行けという

94) 日帝期、各邑を一つの区域(区)としてその区の長を区長と呼んだ。今の洞長、里長がこれに該当する。日帝時期に区長は最末端の行政員として朝鮮総督府→道庁→郡長→邑面事務所→区長と業務が進んだ。区長は邑の事情を一番よく知っているために、警察や会社職員と同行して直接邑の人を動員する手助けをし、また強制動員対象者は区長の個人的な判断で決定される場合があったために邑の人たちの恨みを買うこともあった。



》》 1921年竣工当時の工場の情景

ことで、私が別に「おとうさん、志願して行きます」と言って行きました。お父さんが行くと、仕事は農業をしてくらしていましたが、生活ができないので、「お父さん、私が行きます」と言ったのです。

その時の区長は薪斗里の区長でしたか？

薪斗。今は1区、2区、3区まであるんだが。分区になっています、今は。当時はそのまま薪斗里区長でした。それで「お父さんを送ったらどうしても生活ができないので、私が行きます」といって、私が行った。

初めにどこへ行くのわかりましたか？

なんの、あの日本の住所ですか？わかって行くのでなくて、行ってみなければ、です。日本の新潟県⁹⁵⁾西頸城郡青海町、電気化学工業株式会社青海工場。

95) 韓国音ではシンソクヒョン。

これは日本語で読むとどうなりますか？

日本はにつぼんだけど、そのシンサヒョンは新潟県と読む。にいがたけんにし
くびきぐん⁹⁶⁾おうみまち⁹⁷⁾でんきかがくこうぎょうかぶしきかいしゃ。

発音がとても正確ですね？

はい、おうみこうじょう⁹⁸⁾〔青海工場〕。

初めにどこに集まりましたか？

その時はミョンシン旅館だったようです。

誰が連れて行きましたか、それとも一人で行きましたか？

そう、誰が、労務かな。責任を任されている人で面の職員が瑞山まで引き受け
て、引き継ぎして来ました。

瑞山に多くの人が集まっていたですか？

そうだ。瑞山郡内に行くとかくさんいました。数はよくわかりませんが、それで
もその時約100人くらいでした。

瑞山からまたどこに行きましたか？

洪城で泊まりました。そこから釜山でまた一日泊まりました。

洪城に行くと瑞山よりも人が多かったですか？

ああ、そうだ。何百人になりました。

96) 西頸城郡。

97) 青海町

98) 青海工場

洪城から一般の人たちが乗る汽車に乗って行きましたか？

そうだ。

逃げた人はいましたか？

逃げた人もいました。洪城の旅館で寝ましたが、抜けた人もちょっといて。強制で行ったので逃げることもありました。そんなこともあって。

捕まったら、また徴用に行かなければならないでしょう？

そうだ、また。

行くときに何年の期限でいくという話をしましたか？

そう言う話はありません。期間はその時は2年だといいました。2年だといいましたが、それは期限でなくて。そこに、日本の発音で今井という人が、〔韓国読みで〕クムジョン。

クム（今）と、ジョン（井）と書くんですね？

そうだ。クムジョン、今井という人がいたんだ。

朝鮮人ですか？

いや、日本人の労務係。工場にきて、工場長ではなくて、労務を担当する労務係。

工場の労務係？

そうだ。工場の労務係です。

その人が2年の期限だといいましたか？

2年だといいましたが、そんな期限はない。解放されたので出ました。期限を勝手に2年だといいましたが、それは無期限ということです。

洪城から釜山に行くとき、汽車のなかから逃げられないように監視する人はいましたか？

いた。日本人はその時二人来ました、二人いました。解決士〔引率者〕。

月給をくれるとか技術を教えてくれるという話はなかったですか？

技術を教えるということはなかったです。

釜山に到着して一泊して連絡船に乗ったのですか？

連絡船に乗って下関⁹⁹⁾に行きました。そこで旅館で一泊しました。

その次にどこへ行きましたか？

新潟県に行きました。あの青海工場。

青海工場まで汽車に乗って行きましたか？

はい、汽車に乗って行きました。

行く間に弁当のようなものはくれましたか？

はい、弁当。

動く間、何人ずつの中隊、小隊などを作ったりしましたか？

それは、中隊、いやその場所まで行って、分隊に編成しましたが、分隊でなく、班を作って、1班長、2班長、3班長、4班長、5班長、このようにしました。

おじいさんはどの班でしたか？

私は1班。

99) 下関。山口県の港湾都市。関釜連絡船が発し、到着する港。

一斑に何人くらいいましたか？

一斑に30名ほど。

班長の名前は何ですか？

班長が、防葛里、遠北面（当時瑞山郡、現在の泰安郡）の防葛里の人です。その人はもう死にました。名前がその当時、李セン〇だといいました。

日本語で李セン〇ですか？

そうだ。李セン〇です。李セン〇。日本語では李セン〇で、サン〇と呼んでいた。

この人はおじいさんより歳が上でしたか？

私よりは一つか二つ上でした。でも死にました。

到着して宿舎はどこに決めてくれましたか？

そこは日本の倉庫のように建てられた持ちので、タタミ〔畳〕¹⁰⁰⁾の部屋です。

飯場（労働者宿舎）の話ですが、家は長く、中間に廊下があって部屋がいくつありましたか？

部屋はこのようがありました。

これが部屋ですか？

そうだ。そこは全体で、このようにいくつかの部屋があつて、逃げられないように囲ってあつた。当時、逃げられないように囲いが。

畳が敷かれた部屋にはふつう何人ずつ寝ましたか？

約30人ずつ。一つの部屋に。

100) 日本の床材。



≫ 最近の地下足袋(調査1課李秉熙調査官
撮影)

建物には部屋がいくつありましたか？

部屋が、8つほど。そのくらいかな。そしてそこに、なんと江原道からも来て。無茶です。江原道から来て、忠北道からも来て、全羅道からも来て、慶尚道からは先に来ていて。

慶尚道が先に来ていたのですか？

はい、先に第1次で来ていて、我々は2次で来た。

忠清南道2次は何人くらいでしたか？

さあ、そんなことはわかりませんが、全体で約5～600名でした。

そこに行って作業服のようなものはくれましたか？

はい、工場服をくれました。

服はどんな色でしたか？

服、アイ！ 何というか、青みがかった色です。軍隊のようではないです。だから越南服と。ちょっとなに、色が。

灰色のようなのですか？

はい、灰色。

靴もくれましたか？

運動靴、あの、なんだ、地下足袋¹⁰¹⁾？地下足袋は、靴の代用品で薄くて十分には使えないですよ。

帽子もくれましたか？

そうだ。服は、あの、家に送れというから送りました。服はパジチョゴリでしたよ。小包で送れというから送りました。

食事はどうしましたか？

ご飯は専門的に食堂で作る人がいて、労務者が食べる場所に。

その食堂は朝鮮人がしていましたか、日本人でしたか？

日本人がしていた。

朝は何時に食べましたか？

その当時に朝は8時に起きました。

ご飯を食べようとするより早く起きなければなりませんでしたが？

そうだ。早く起きなければなりません。7～8時頃になるから。

ご飯を食べて工場までどのようにして行かれましたか？

歩いてです。

101) ゴム底のある作業労働用の足袋



≫≫ 電気炉から溶け出るカーバイド

時間はどれくらいかかりましたか？

その工場が、工場に行こうと思えば、約15分か、20分だ。

宿舎はなんと呼んでいましたか？

寝るところだったので、宿舎といっていた。

宿舎から工場まで列を作って歩いていきましたか？

そうだ。列を作って、団体だから。

班長が立って後ろのほうに立って行きましたか？

いや、それが日本人、なんだ？ 監督は韓国人。自分の職場にカーバイド¹⁰²⁾ならカーバイド、山に行くのは山(鉱山)¹⁰³⁾に行き、カーバイド工場に行くのに、そのように歩かせたという話ですよ。韓国人、慶尚道の人が責任者になって引率していきました。

102) 炭素と金属元素の化合物をいう。特にカルシウムカーバイドを指す。生石灰をコークスなどで熱く焼結する。カーバイドに水を入れるとアセチレンガスが発生し、ここに火をつけて照明、溶接などに利用する。炭化カルシウム。炭化石灰。

103) 一般的な山ではなく、鉱山を意味する。

その人の名前は覚えていますか？

覚えていません。くにもとどといったかな。国本。

宿舎から工場まで歩くと山（鉾山）があって、カーバイド工場もありましたか？

そこはカーバイド工場です。

おじいさんはカーバイド工場に行きましたか？

はい、カーバイド工場です。今でいうならガス、大きな釜があって、カーボンといって、こんな大きな、鉛筆の中のようなもの。鉛筆の芯のようなもの。

黒鉛のようなものですか？

とても大きいです。それを普通カーボンといいます。カーボンなので、それを電気とハンマーで処理して、あとでそれをもう一度改造し、ハンマーで作って、工場で火に入れました。

石を砕いて火をどのように入れましたか？

石灰石の原石、それと石炭を電気〔炉〕で溶かして、こうして溶かして二階で火を入れて、カーバイド水をこのように煮て、下層で集めます。

釜に原石と石炭を入れて電気で溶かし、その水が二階から一階に下りてくるのですか？

はい、溶けた水は流鉄のようです。赤くなっていてそれをタンガというが、そこに土をこねて入れて電気でまた煮る。電気でタルグ¹⁰⁴⁾のようなものを押すと、鉄車（作業用の手押し車）が受け、また次の車が行って、さらに次の車が行って、ここで受けて、そうして昇降機で下して送るのです。

104) 土を固く固めるときに使う機器。

その車に鉄のような水が落ちるのですか？

はい、そうです。全部受けます。それを車で受け止めて。

おじさんはスコップで石炭と原石を入れる仕事をしたのですか？

テリキという、つまりコムレ¹⁰⁵⁾だ。コムレを動くボルトにかけて、そのコムレのようなものをつかんで引っばると、石炭と原石が出てくる。こうして混じったものが出てきたら、下で受けて下に置く。

その風炉に火がつくようにするのですか？

そうだ。

とても熱いところで仕事をしたのですね？

そうだ。熱い。だから30分交代で。

一つの班が同じところで仕事をしたのですか？

交代でするので、何人かたくさんになります。

休むのでなく、その間にほかの仕事をしましたか？

いや、休憩室で、熱いところでそのような仕事をしてきたから、30分間、風にあたってちょっと休みました。

仕事は朝何時から始まりましたか？

8時半だったか？ そう思うと、いつもその頃だったようで。また昼間の交代、夜間交代を5日間ずつするのです。いつも夜昼、工場は回っていなければならないので。休みなく回ります。

105) 穀物を集めて広げたり、畑の土をならしたり、かまどの灰を掻き出したりするときに使うJ字の形をした機具。長方形の半月形または台形の板切れに長い柄をつけたもの。

2交代ですか？

はい、2交代です。

8時30分から仕事を始めたら、昼食の時間まで続いて仕事をしましたか？

交代して、交代しながら。

昼食の時間になるとサイレンがなりましたか？

いや、時間になるとわかって。

工場に食堂がありましたか？

弁当を作ってくれました。朝、弁当を持って行きました。

昼食の時間にも工場は回らなければならないですよね？

工場は交代するから。交代休みがご飯を食べる時間ですよ。昼食の時間に他に何ができる？

みな一緒に休んだら、工場も休まなければならないのでだめでしょう？

はい、そうだ。工場はずっと休めません。

ご飯は満足にくれましたか？

十分でなくてお腹がすいて。

ご飯は計りで測ってくれたと言っていましたね？

いや、そのままよそってくれました。でも少ししかないので、お腹がすいて。そのご飯を食堂で、配食が始まると、もっと食べようとしてひどく殴られる。そんな人もいました。

ご飯を板に一人ずつ乗せてくれましたか？

初めに乗せてくれ、うん、食前感謝だと言いました。それを3回復唱しました。

日本語で、ですか？

はい、日本語で言ってから。そして一気に出ていくのです。食前感謝だといって「この食物は天皇陛下」、その時までいたので、「食前の感謝、この食物は陛下の無窮の至恩に報い奉るがために、いただくことをお願いします」とののろと先唱し、復唱しました。今、靖国神社に参拝しろというのと同じだ。天皇に参拝しろといえばそのまま…。

それは、この食べ物を無窮の天皇陛下の恩恵に報いることができるようにお願いします、と、こういう内容ですね？

そうだ。

それをしなければご飯をやらないということはなかったですか？

いや、できないなら、しないといって虐待ですよ。

朝食はお膳で出ましたか、お茶碗ででしたか？

このように鉄の釘が打ち込んであって、鉄の釘のところにお膳の板とかかかっていてそれをとると¹⁰⁶⁾そこに配食してくれる。

ご飯は米のごはんですか？それとも、豆も混じっていましたか？

いや、米のご飯をくれました。味噌汁もくれて。そして海でとれた海草のようなものもくれました。

おかずは何をくれましたか？

たくあんです。

昼ごはんも同じものですか？

はい、昼食は握り飯。

106) 食堂の壁にお膳の板がかかっているという意味とみられる。

水は好きなように飲めましたか？

水は好きなように飲めました。おかずは塩とおにぎりをくれました。

仕事は夕方何時に終わりましたか？

一日に12時間仕事をして、そんなものでした。

汗をたくさん流す仕事をされましたが、お風呂はありましたか？

風呂はいりました。大衆浴場、共同浴場、風呂場。

そこではお湯ができましたか？

電気で。思うようにできました。

夕食を食べたら、すぐ寝ましたか？

点呼したよ。一人でも逃げていないか、点呼だと。時間を合わせ、確認しました。逃げていないかを。

点呼の時、何人いて、誰が病氣とかいいましたか？

そんな、患者だなんて、そんなことは。

夕方点呼をしたら何をしましたか？

寝ました。

何か酒を飲むとか、そんなことはなかったですか？

酒なんかありません。

休みの日はありましたか？

休みません。休むことはなかったです。

もし、病気になって仕事に出られなければ病院に行きましたか？

そうだ。確認して、病気であれば病院に入れます。とても仕事ができるくてとてもつらいから休むと言えば、こん棒でひどく殴られます。

どのように殴るのですか？

見ているところで。

日本人が殴るのですか？

そうだ。そして朝鮮人がさせられるんです。その人をなぐれと。命令に服従するまで。

では、ちょっと殴ってみせてそれではだめなんですか？

だめです。それを問いただす人がまた日本人に殴られる。

殴られた人は次にどうなりますか？

自分の部屋で寝ますが、結局、また工場の仕事ができるようであれば、させます。さらに営倉も。

工場には日本人がたくさんいましたか？

多くいました。

日本人はいくつぐらいの人でしたか？

若い人は全部その当時、戦争、兵隊にいて、老人の何人かは骨折していてまともな体でない。

傷痍軍人でしょう？

はい、そのようです。また女たちは若い男は戦争に行くので嫁にも行けない。それでそのまま女たちは、あらまし大体30歳過ぎ、また40歳で結婚をしない未婚だ。そのような工場の人たちと、農村から行ったり来たりしている人、その

当時そんな程度でしたよ。

朝鮮人とその人たちが一緒に仕事をしていましたか？

そうだ。

日本の女の人はあまりしんどくない仕事をしていましたか？

日本の女、そうだ。女たちはカーバイドを車に。それを押す仕事は、それもしんどいですよ。

一日も休まないで仕事をしていて月給はもらいましたか？

月給はちょっともらいました。それが2円50銭、初めてもらうのが2円50銭だと。そこでまた貯蓄しろというのですよ。なんということか、普通の扱いをされなかったですよ。

貯蓄した通帳はみせてくれましたか？

いいえ。そこで貯蓄しろと言って、それから後はなにも知りません。

一日に2円50銭なら一か月に75円なのに、それをくれなかったのですか？

くれなかったですよ、それが。

10円、20円とかは？

いいえ、くれなかったです。

小遣い程度のものをもらったら、そのお金はどこで使ったのですか？

私はお腹がすくので、自由に何か買って食べた、その程度です。花札をする人はそこで使って。退屈だから遊ぶために、その程度ですよ。

たばこのようなものは配給でもらいましたか？

そう、それはくれました。二日にひと箱。「きんし」（金鶏）というもの。



≫ 金鷄。戦前の日本で売られたたばこの一種で、一箱15銭ぐらいだった。

「きんし」を漢字で書くと、錦の錦と書くのですか？

知らない。漢字はしらない。「きんし」だとひらがなで、「きんし」、「あさひ」があって、でも「あさひ」ではなくて、「きんし」ですよ。酒もくれました。

何日ごとにくれましたか？

何日ということはなくて何か月です。労務配給とっていました。労務配給。

酒は一人当たり、どのようにくれましたか？

それは部屋ごとにくれました。みんなの分を一緒にくれました。

それではこんな瓶で、一瓶とか二瓶くれましたか？

はい、それが班だからです。

故郷におられるご両親に手紙を送るのは可能でしたか？

それはしました。通信は。

家にお金を送ることができましたか？

そうだ。家に送るのは個人的にできない、というのは、お金をやると逃げるかもしれないので。逃げるためにはお金をためるからです。家に送るといって送

金してくれました。

家に送金したのですか？

はい、貯金は貯金としてそこから控除しました。

今は一か月にいくらくらいしたのか、覚えていますか？

よくわかりません。ひと月にもらうお金が何十円でしょう。貯めていてそれを、何か月後にすこし送るということです。

家に何か食べるものを送ってくれとか、そういうことはしなかったですか？

そんなこともあった。寒いので服をちょっと送ってほしいと。パジ、チョゴリ、綿入れを、お母さんが機織りをよくされていたので、分厚い軍隊の服のようにして、会社へ小包で送ってくれました。それをとても捨てることができなくて、お母さんが送ってくれたものは、解放になって帰ってくるときに持って帰りました。

熱いところで仕事をしたので、けがをする人もいたようですね？

そうだ。けがをした人はいました。けがをした人もいたし、死んだ人もいました。電気で間違っって何かし、電気で爆発したら死にます。電気で仕事をしていれば。

そうして死んだ人はどうしましたか？

そういうのは家に送ることもあるし、そこで火葬してお寺に置くこともある。

遠北面から2次で行った人のなかで、何人死にましたか？

うん、それは、確実に確認できないです。

人が死んだのは、知っていますか？

はい、感電して死んだのを。

山だというのはカーバイドを作る原石を掘るのですか？

原石を掘ります。山から。

朝鮮人は皆そこへ上って仕事をしたのですか？

山へ行く人は山へ行き、工場に行く人は工場に行くというように分類されました。

山に行った人も宿舎はそこにありましたか？

皆そうだから一緒にありました。

初めに分けられたとおりに工場に行く人は続いて工場に行き、山に行く人は続いて山にいきましたか？

そうだ。工場は工場、山は山、そうしました。

山でする仕事は具体的にどんなことをしましたか？

山は、どんな仕事をしたかという、日曜日に時間ができたからではなく、夜、夜間勤務したら昼には休むのでその間にそこへ上って行きました。自分が仕事で行ったり来たりするのでなくこっそり行って山の仕事を一度見たことがあります。そうすると仕事をしている人たちは工場へ行く車に原石を乗せて混ぜる仕事をする。私が木につかまってみていると、工場の下り坂でそりのように下りる。そうしていて誤るとトンボ¹⁰⁷⁾〔鉄路から鉱車が落ちること〕になるが、そうすると大ケガをする。

山でむしろ、けがをする人が多いんですね？

はい、あぶないです。

そうして過ごしていて解放をむかえたのですね？

そうだ。

107) 鉄路から鉱車が落ちること

班長のようなことはしなかったですか？

はい、そんなことはしませんでした。

解放されたのはどうして知りましたか？

あ、それは我々がいた工場が青海工場なんだが、捕虜、米軍捕虜がそこに1000人ほどいて、その工場で勤務させていました。

捕虜収容所があつて他に仕事をさせましたか？

はい、それはヤチャルという監督が、日本人の監督がいてそのようにさせました。

捕虜たちはどんな仕事をしましたか？

鉄を注ぐ鉄工場。鉄を取り除く鉄工場。そんなところで仕事をして。

お使いをしましたか？

いいえ。それは直接させます。とても熱くて、熱いので流鉄工場は本当につらいです。

朝鮮人よりもっとしんどい仕事をしましたか？

はい、もっとしんどいこと。約1000人程度の捕虜を使ったが何をしていたのか。米軍捕虜たちは解放されたことをすでに知っていたでしょう。すでに解放されたので飛行機が今日来て補給をしてくれるのを。解放されたら今日は3日ぶりに飛行機で輸送してきて補給するものを落としてくれるでしょう。服や食べるものなど全部落とすのです。工場の中に。

工場では解放されたという話は別にしなかったのですか？

しなかったです。でもアメリカの捕虜たちと韓国人はいろいろな消息が早くて、言葉が通じてわかった。どうしてかいうとアメリカの言葉はわからないが、日本語で通じた。それで韓国人といれば、お互いにすぐに通じてわかりますよ。

解放前にも米軍と会うこともあったのですか？

日本人には分からないようにしなければ。分かったらいけないでしょう。

米軍の捕虜たちにたばこをやるとか、何かお互いに物を交換するとかいうこともあったのですか？

そういうことをして、ばれたら大騒ぎですよ。それは厳しくお互いに守っていた。こっそり行ってアメリカ人と「おれ、半島人、オッケイ」、オッケイはアメリカの言葉だから。

私が半島人だ？

そう、半島人と、このように「半島人、OK」と言いながら、こんにちわ、いいね、など米軍が。

米軍の捕虜と会って解放されたのを知ってから、家に帰ろうと思いましたが？

思わないわけがない！ 解放されたんだから。

日本人に「家に帰る」といいましたか？

それが、もうそうなったのだから、国際的に条約がそうなったので、帰さなければならぬでしょう？ それでどうなったかといえば、ちょっとそのままでいろ、ちょっと待っている、でも帰れといったので、すぐに荷物をまとめて、帰る準備をしろというので準備をしたんだが。

帰るとどこに言ったのですか？

そうでなくて、「一か月延長になったので、帰れないから勤務しろ」と。荷物をまとめて帰れと言っておいて、「そうだ、こんな指示が降りたので、一か月勤務しろ」というので「だめだ、帰れというので荷物までまとめたんだ。なんで今帰れないとそを言うのだ」といって無理やり出てきました。無理に。はい、糸魚

川¹⁰⁸⁾というところに。

糸魚川というところが工場の近所にあるのですか？

いいえ、そこに汽車にのるところがあって警察署があって。

工場から少し離れているのですか？

はい、工場から離れています。工場から。糸魚川まで2時間歩いたので。2時間も歩いたのです。

解放されてみな一か月の間仕事をして帰国したのですか？

いえ、みんなしなかったです。それ以上はしなかったです。

故郷へ帰るといってみんな出てしまいましたか？

はい、糸魚川警察署にみんな直接行って、警察署の庭に行って我々を送るよう
に言ったのです、われわれは帰る、と。どうしようもなく、そこで。

そこを出るとき、退職金や仕事をした月給のようなものを準備してくれましたか？

それは、準備するにはしてくれたが、足りなかった。

ではその新潟から家まではどうして帰ってきましたか？

だから「帰ろう！」みんな、なんだ、100人ほどが大声で。どれほど家に帰
りたかったか、願いなのです。警察署から出て、そのまま確認もせずに帰ろうと
団体で出て、行くことは行ったので、そのまま送りだしたよ。あの一、なんだ？
「船、連絡船に乗るところからは関与はしない、行ってもここでは責任を取ら
ないので勝手にしろ」と。それでそのままこうして。

108) 正確な発音はイトイガワ、糸魚川。新潟県の都市。

連絡船のようなものを斡旋してくれて自由に行けといったのですか？

はい、それで汽車に乗って下関に来ると、お金を出して連絡船に乗ろうとすると、それがすぐ簡単ではなかった。軍事に行ってきた人をまず連絡船で送るとのことだ。軍人になっていた人がどれほど多かったか？「まず、急いで送らなければならない」と言って九州の福岡県に渡ってきました。福岡、そちらへ行ってみたら早いかなと思って行ってみましたが、福岡県でもそこもない、その日は泊まる場所がないので、近くの馬屋で泊まりました。馬や牛が食べる飼料を韓国で供出しましたよね。そこで、飼料がつんであるところで、そのまま乾いた草に寝ました。寝て、船に連絡もできなくて、今日もダメ、明日もダメ、それで一日一日とどまって19日間、そこで過ごしました。

それではほとんど9月になったでしょう？

はい、そうです。ほとんど9月でした。家に帰ってきたのが陰暦で8月23日に到着しました。

8月23日ですか？

はい、到着しました。それで福岡に19日いました。

そこから船に乗ったのですか？

船にりましたが、それがあの閤船です。16馬力の発動船。もやしを蒸すみたいに満員でした。

もやしを蒸すみたいに？

ああ、はい、そうして帰って。

何人ぐらい乗りましたか？

何人乗ったのか、とてもぎゅっといっぱいだったから。

車費はどれくらい出しましたか？

船賃、あのどれくらいか、その時のお金で125円か、130円出した。その時のお金なら大きいでしょう。大金ですよ。

おじいさんはそれよりもお金をもっと持っていたのですか？

はい、お金はちょっと持っていました。

その間の月給と退職金はもらったのですか？

はい、それでそこで、ご飯も食べるものもなく、売る人もなく、それで食堂も何もなく、今のよう。トウモロコシの揚げたようなものを食べました。

その船に乗って何日で家に帰ってきましたか？

ポンポン船に乗ってきたが、日本人だったが、機械が故障し、海の半分も来ていないのに機械まで故障したと、責任逃れをするように言ったが、そのまま風で進んで、なんとか直し、24時間ぶりに。船が釜山まで夜昼かけて三日ぶりに着いた。夜昼進んで三日ぶりに。だからどれほどになるか？ 24、24、48、48時間¹⁰⁹⁾になりますよ。釜山は明るく、灯がついていて、それは明け方でしょう。明け方。それで夜昼三日ぶりです。釜山に到着しました。

その船には何人ぐらい乗っていましたか？

何人かそれは数えられません。混雑していました。

100人は超えていましたか？

そうです。そんな程度になるかよくわかりません。私も混乱のなかで帰ってきましたが、沈没しないか、あの、なんだ、沈没したら海の幽霊になるかもしれない。そのまま、そこで。

109) 実際は72時間

その船に女の人はいませんでしたか？

女、いました。居民たちも乗っていたから。そこに住んでいた人（一般の渡日朝鮮人）も少しいました。先に行っていた人。

そこに先に行って仕事をしていた人たちですか？

はい、慶尚道の人たち、少し住んでいました。

下関まで来て船がなくて待っていたが、福岡県に行って闇船にほとんどが乗ったのですか？

みんなでなく、一日でも一時間でも早く帰りたい人だけ乗って、また後に残った人もいて。

釜山に降りてお腹もすいているのに、何か食べるものはありましたか？

それで釜山に来ると全国各地に在留難民所もあって、そこで「朝鮮独立万歳！」と。

旗をこのように立てていたのですか？

はい、音楽隊は演奏して、また保安隊というその時の組織もありました。解放されて保安組織もあって、汽車の横では大きなおにぎりとおかずを作ってこうしてつかんで投げってくれた。そしてある人は服も包んでくれて、とても喜んでむかえてくれたんです。

それでは釜山で降りて、すぐに汽車に乗って故郷に帰りましたか？

その時、そこで釜山で、そうです。そこでちょっといて、釜山で汽車に乗ってそのまま洪城を通して。

その時、汽車賃は出さなかったですか？

汽車賃はその時は出さないで、無料で。

一緒に行った遠北面の人たちもほとんどみな乗りましたか？

残った人もいて、先に帰った人は帰りましたが、そのままみんな帰らなかったです。先に行った人は先に行きました。

洪城まで来て、さらに瑞山まできたのですか。洪城に来たら、ほとんど夕方になってしまうようですが。

はい、そこで食事を出してもらって出迎えをうけて。

お母さんがきてくれたのですか？

いいえ、洪城内でその時の邑から来てくれました。官職である人たち。出てきて何といったか、瑞山の郡守が出てきました。そうして歓迎をしに出てきました。

遠北面からですか？

遠北面にきたら、真っ暗でした。真っ暗だから他には出ていません。遠北まで来たらいつの間にか、夜でした。すぐこの面事務所にはいました。

昔もここが面の事務所でしたか？

はい、面事務所。それで面に寄りましたが、その時が夜11時ごろになっていたのではないかな。

一緒に行った人の中で名前を憶えている人はいますか？

たいていは皆、死んだ。死んだ人の名前も話さなければなりませんか？ 礪溪里だと言っていたが、この人も死にました。文ボク〇、また崔サン〇、名前はよく知らないけど。また、ここが礪溪里でしょ。ここを越えると交差点があるけど、そこの人も死んだ、文ジャン〇、みんな死にました。

もっと他の人で覚えている人はいますか？

いることはいるが、遠北面の人でカビョン〇、カビョン〇の二人はいとこです。一緒に帰って来ました。金ヨン〇ももう一人いました。村はよく知りません。ケ

ギ〔大基〕里¹¹⁰⁾ だったか、陽山里でどうしていたか。でもその人もその後がわからない。どこで死んだかわからない。行って帰ってきたときには、見たけど。

みな一緒に行って帰って夜に到着して面にいったの？

面に帰ってきたので。面で張〇〇氏が、面長になっていて面長席に座っていました。

もともと面長だったのですか？

いいえ、もとは面長でなく、解放されて資格ができたといって。前には巡査でその部長だったんです。ここに支署があるでしょう。

巡査部長だったのが解放された後に面長になったのですか？

面長になったと言って面長の外套を着て座っていました。私たちは、「日本に行つて死ぬほどの苦勞をして、死地にこうして行つてきたのに、どうして出迎えないしないで、知らん顔をしているのか？」というと「すまん、すまん」といった。夕食をおごってくれた。自分たちが夕食を食べる問題ではない。家に帰ったら、家には多分食料もなくて、今本当に困難なのが、実情なのだ。米でも何でもよこせと、そこまで言った。

おじいさんは勇気がありますね？

アイ、私一人ではなくて何人もいたので。そう言ったら、簡単にそうしますと聞いてくれた。後で米を少し送ってくれ、食べましたよ。

この人は巡査部長の時も悪くない人でしたか？

悪くなかったです。賭け事をして追われたときには、塀を超えてこうして脱出していけと支えてくれた。そんな巡査部長だった。

110) 遠北面大基里を意味すると考えられる

おじいさんは日本に行って大変な苦勞をされたので、最後に韓国政府や日本政府におっしゃりたいことはありますか？

国のない悲しさ、特に苦勞は十分しました。何か言うことがあるでしょうか。時代が時代だったんだ。

面談・校閲：李秉熙調査官 1次聞き取り文作成：韓ヒョンサン

編集、推敲、注釈：鄭惠瓊課長、李秉熙、権美賢調査官



◆面談後記◆

2005年10月18日、忠南瑞山市浮石面事務所で実施した口述面談である。結婚して京城（現在のソウル）でガラス技術者として仕事をしていたが、強制動員された。お元気にみえたが、言葉はゆっくりであった。一部聞き取りにくい単語もあったが、発音が正確で全体に内容はたやすく把握することができた。

わしらはみな死ぬ、そう思っていたよ



金伯換 (キムペッカㇺ) 男、88歳

1919.2.17 忠南瑞山郡浮石面松柿里出生
1945. 日本新潟県の電気化学工業青海工場¹¹¹⁾に動員される(25歳)
1945.8.15. 解放、後に帰国

おじいさんの生年月日はいつですか？

陰暦では正月一日です。それは4255年(1919年)だと、聞いているが。

なに年ですか。

それは己未生まれ(1919年)、ひつじ年です。

徴用に行かれた時おいくつでしたか？

25歳でした。両親が出生申告書を遅く出したためです。

111) 電気化学工業株式会社。〔以下、注92と同じ〕

戸籍にある生年月日が遅いのですか？

遅いです。実際の歳がちょっと上です。3歳か4歳。今は87歳ですね？

戸籍の歳はどうなっていますか？

4255年だから80、85。

徴用されたとき、結婚はしていましたか？

そうです。約1年になっていました。

結婚してその次の春にいきましたか？

正月にいきました。寒いときです。

何年ですか？

昭和¹¹²⁾何年かになっていたの、18年か〔20年〕。

解放される何年前か、覚えていますか？

よく知りません。

解放される前に帰りましたか？

いいえ、解放された年に行って、解放されて帰りました。

その当時、家族はどうなっていましたか？

お父さんが亡くなっていました。弟だけいました。お母さんはいて。家で家族はその時大変苦勞をしていました。弟が3人、妹が3人。

おじいさんが、長男ですか？

長男です。

112) 日本の年号、1926年が昭和元年

当時、何をして暮らしていましたか？

おじいさんが5斗落〔マジギ・耕地面積〕くれました。で、その時は地下水がありません。地下水がなくて雨水だけでした。食べられる年よりは、食べられない年が多かった。農業は、空から雨が降らなければ。今のように地下水がなかったのです。

供出はたくさん出されましたか？

出しました。みな、出しました。出さないことができるというのですか？

隠して出さなかったりはしなかったのですか？

ええ。少しだけ、そうしました。家で食べるものを、です。

弟たちは当時、学校に行きましたか？

その時ですか？その時、学校へ行っていた子どももいました。国民学校です。その時、とても苦労しました。私が稼いでいたのですが、徴用に行っていなくなったから。

供出をたくさんして生活は精一杯でしたでしょう？

精一杯というより、足りなかったですよ。だからお母さんが春になったら、ヨモギを取りに行きました。海辺にいつては、ノムムンジャ取りに。

ノムムンジャとは何ですか？

それは雑草ですよ。海の雑草。そして麦を臼で引いて、おかゆに炊いて。そうして家族が命を守ったのです。

はじめに誰が徴用に行けといったのですか？

訪ねてきたのですよ。区長¹¹³⁾が来たのではなく、消防隊員だよ。

113) 区長は日帝期の呼び名、今の洞長。里長。〔以下注94と同じ〕

松栴里で消防隊員が、ですか？

いえ、浮石面翠坪里で。

消防隊員は何人きたのですか？

二人で。一人では来ません。

その人たちは朝鮮人ですか？

そうです。朝鮮人。そしてまた、里長が話をして。

里長の名前は覚えていますか？

里長は覚えています。ユ〇〇。

おじいさんより年上だったですか？

年上です。今は亡くなって、いません。

里長も翠坪里の人ですか？

里長は松栴里の人で、私も松栴里です。浮石面松栴里です。

日本に行けと言葉で言ったのですか？

言葉ではありません。出張に行けという通知書です。

消防隊員は日本のどこに行けと言ったのですか？

どこに行けとか、そういう言葉はなかったです。ただ用紙だけくれました。そこには明日なら明日、明後日なら明後日、何時に出てこいと。

どこに出てこいと書いていましたか？

面に。そこに集合して。

今のこの場所が昔も面事務所でしたか？

はい。ここに集まって瑞山郡に行きました。郡庁です。

徴用状が出て何日ぐらいたってから行きましたか？

約1週間して。

日本に行ったら月給はどれ位くれるという話がありましたか？

そんな話はありません。期限ありません。

どこに行くという話もしませんでしたか？

どこに行くという話もありませんでした。また何か月いなければならないという話もしなかったです。何の話もなかったです。無条件です。

徴用状が出て、一週間の間に逃げた人はなかったですか？

逃げた人もありました。すると必ず家族を他の所に送るんです。また機会を見つけて送るんです。それで、結局は行かなくてはならなくなるのです。

徴用に行く前の一週間は何をしていましたか？

服を準備して、瑞山郡に集合しました。面の職員が郡まで引率してくれました。

浮石面で何人があつまりましたか？

何人かは知りませんが、96人くらいになりました。

面で、ですか？

いえ、郡で。196人(96人?)¹¹⁴⁾が行きました。日本へ。

114) 196名か、96名かは、確実でない。〔他の証言から約100人の動員とみられる。〕

ここから一緒に行った人で、名前を覚えている人はいますか？

います。金ドン〇、この翠坪里の人です。

面事務所に集まったのですね？

引率され、郡に行った。

郡に行くがたくさん集まっていたでしょう？

たくさん集まっていました。そこでまた一晚寝て。

どこで寝ましたか？

旅館で。また洪城に行って、一晚寝て。

洪城までは何に乗って行きましたか？

バスに乗って。

洪城からはどこに行きましたか？

またそこから列車に乗って、それから釜山に行きました。釜山で連絡船に乗って日本に行きました。釜山では寝ませんでした。洪城で二晩寝たようです。

釜山からはどうしたのですか？

船に乗りました。

船に乗って日本のどこに降りましたか？

それは詳しく覚えていません。降りて、また続いて列車に乗って、結局、新潟県。

汽車に乗ってしばらく行きましたか？

寝て。寝ながら行きました。

行く時、汽車の両側で逃げられないように、だれか番をしていましたか？

そこでは引率して来た人が5人か、4人いました。

日本人ですか？

はい、その人たちはみんな番をしていました。

行く時は弁当をくれましたか？

くれました。行くまでは待遇がよかったです。

96名は全部新潟へ行きましたか？

そのまま行きました。

到着してみてどうでしたか？

行ってみると、雪がたくさん降っていましたが、日本の新潟県で、40年ぶりにたくさん降ったそうです。行ってみたら工場の屋根の雪をどける作業です。屋根が沈むかと思うほどでした。ここから徴用に行ったものみんな、大きなスコップで落としました。そして全部、小川に流しました。それが作業でした。

屋根が何でできていましたか？

トタンです。

間違ったらへこみますよね？

はい、屋根がへこみますよ。

寝るところはどうでしたか？

宿舎は別にあって、食堂も別がありました。

宿舎はどうなっていましたか？

ただの畳部屋¹¹⁵⁾でした。長くて大きかったです。廊下のようなものはなかったです。そのまま開けて入るのです。戸がありました。戸を開けて入ると、ずーっとこう。毛布と布団を広げて、寝るようになっていました。大きい部屋でした。

一部屋に何人くらい寝ましたか？

約20名。

そういう部屋が何部屋ほどありましたか？

宿舎がいくつかになっていた。宿舎の横に食堂があって、ご飯は各自がよそつて食べて。

到着したら初めに屋根の雪を降ろす仕事だと言いましたか？

雪を降ろす仕事よ。また午後になって夕食を食べて宿舎に入りました。

雪を降ろす仕事はどのくらいしましたか？

1か月ちょっと¹¹⁶⁾しました。

宿舎から工場までどのくらいの距離でしたか？

ちょっと歩いたほど、15分ほど。

工場はどんな建物でしたか？

門があって、ここからいったん入りました。取り締まりがいて、動けないのですよ。それでここで仕事をしました。

115) 畳は日本の床材

116) 一か月を少し超える期間

食堂はどこにあったのですか？

食堂は宿舎の横の外にありました。

工場は何でできていましたか？

コンクリートで。

工場は何個ほどありましたか？

3つ、4つほどありました。

朝は何時に起きましたか？

普通、明るくなったら。

起きて食事をするのですが、ご飯はきちんと出ましたか？

きちんとは出ません。豆が半分混じって、おかずはタクアン。

味噌汁のようなものは出ましたか？

味噌汁はありません。おかずはたいしたものではありません。だからご飯は足りなかった。他人のためにきつい仕事をした。しばらくすると、人がいるため、ご飯が足りなくなった。仕事に行ったり来たりする間に、ヨモギをとった。ヨモギをとって洗っておいて、ご飯に混ぜて食べた。量が増えるからです。

昼ごはんはどのように食べましたか？

昼になるとサイレンがなりました。

夕食はどうしましたか？

汽笛の音がなりました。

仕事をして汗が出たら、お風呂に入れましたか？

お風呂はありました。

冬で寒かったですしょうけど、服をくれましたか？

はい、下着をくれましたが、それでも寒かったです。その時は今のようによいものがなかったので、貴重でした。厚い服が貴重でした。

服は工場でくれたのですか？

くれました。帽子も。でも靴はありませんでした。新しいのはなくてどこかからの中古でしたよ。

一か月たって雪が少なくなりましたか？

少なくなりました。

その時からは何の仕事をしましたか？

昼は班で仕事をしました。工場です。

班での仕事とは、何ですか？

それは、何かといえば、その時は戦時だったから。そのために機械と機械の間の隙間をコンクリートで塞ぐのです。万一、爆弾がこちらに落ちてても、こちらは傷ついてもこちらは大丈夫。そのため、工場のあちらの機械とこちらの機械の間にコンクリートを打ちました。そうすれば、一方が壊れても、もう一方は壊れないです。そしてカーバイド用の[石灰石]の山に行った人は、山から鉍石を鉍車に乗せて運ばなければなりません。鉍石を乗せたレールの上の鉍車を、山から下に押し降ろすのです。

鉍石からカーバイドを作るのですか？

はい、カーバイドを。

おじいさんは石を砕く仕事をされましたか？

私はしなくて、見るだけです。



≫ 電気化学・青海工場の石灰石採取場の
情景

おじさんはコンクリを積む仕事をしたけど、もともとそんな仕事のできたのですか？

違います。したことなかったです。しろといわれて、それで。

具体的にどんな仕事をされましたか？

セメントを混ぜるのです。これもしんどかったです。混ぜるのも、塗るのもしました。

雪をおろすのよりずっとたいへんだったでしょう？

とてもしんどかったです。

月給はもらいましたか？

月給をもらったことは記憶にありません。

休みの日はありましたか？

休みの日はありません。でも私たちに任された仕事をしました。これをするとい日かかる。言ってみれば、任されてやる仕事、そのように任された。そうしたら、3時か4時前に終わるでしょう。春に3時か4時なら、日曜日はまだ十分に明

るので、海に遊びに行けます。下の海岸へ。

会社の名前は何といいましたか？

青い海です。あおみ¹¹⁷⁾〔おうみ・青海〕工場と言います。工場、新潟県。

村がどこかわかりましたか？

それはわかりません。海の近くです。新潟工場といいました。工場からは見えませんがちょっと降りたら、海でした。10分程、降りると海でした。

休みの日がなくて、少し早く終わると遊びに行ったんですか？

休日¹¹⁸⁾はなかったです。海岸へ行って、私たち同士で歌を歌ったりしました。

遊びに行く時、引率した人は他にいたのですか？

はい、日本人。私たちだけでは自由には行けません。でもその時は、日本の戦争の時で、生きて帰れるという考えはなかったですよ。いつか死ぬだろうと思っていました。でもこうして生きながらえています。

お金を家から持ってきた人はどこで使いましたか？

使うところがありません。村の下へ降りると海岸です。買う時はおでん、かまぼこです。これしかありません。

食べたことはありますか？

食べました。

お金はありましたか？

少しありました。持って行ったものです。でもたくさん食べると下痢をすると

117) 正確には、おうみ(青海)

118) 〔原文の主日は〕休日の意味

いって主人は売ってくれなかったです。

日本語はお上手でしたか？

できました。ここの初等学校ぐらいです。卒業もしなくて行ったのです。4年生。

日本の名前は何でしたか？

かねしろみつろう、金城光郎。みつお、コウロウとも。

海岸へ遊びにいったのは何回くらいですか？

3, 4回くらいです。

配給のようなものはもらいましたか？

タバコをもらいましたが、タバコは吸いませんでした。

酒も、ですか？

もらいました。5人に一つ。飲める者は飲みましたが、私たちは飲みませんでした。

では配給をうけたタバコはどうしましたか？

だから、米軍と何かを換えました。米軍の捕虜と。

米軍の捕虜がいたのですか？

300人ほどいました。

米軍の捕虜とタバコを何にかえましたか？

ライターをくれ、万年筆もくれました。

おじいさんも換えてもらいましたか？

ありました。言葉は通じなくても、物を持って行って、頼めば。

米軍の捕虜はどんな仕事をしましたか？

何をしていたかわかりません。その人たちはその人たちで別に。

会うことはなかったのですか？

会いました。会わないでおこうと思ってもトイレではしょっちゅう会いました。

米軍の捕虜たちはなぜそこにいたのですか？

捕まってきました。捕まった米軍の捕虜たちは仕事をさせられたのです。日本人が連れて来て。そのままでは食べさせなかった。

仕事をしていて怪我をした人はいましたか？

ひとりいました。

そこに浮石面の人はいましたか？

いいえ。浮石面の人だったら私が知っています。

朝鮮人でしたか？

はい、朝鮮人。

逃げた人はいましたか？

逃げた人は一人もいません。逃げたら捕まって見せしめにされ、殴られますよ。

疲れても頑張って仕事をしなければなりませんね？

一生懸命しました。

工場には日本人がどのくらいいましたか？

日本人がたくさんいました。日本人が住んでいますから。

工場の周りには日本人が住んでいるところがありましたか？

はい、村。でも主には女です。

その女の人は女学生ですか？おばさんたちですか？

混じていました。そして若い女の人たちはですね。徴用で来たようです。募集して約4日間なら4日間、一週間なら一週間、続いてきました。他の所へ行って、また来て。

おじさんは日本語が上手だったので班長のようなものはされませんでしたか？

21人いましたが、班長をしました。班の人員21名。

班長はどんな仕事をしましたか？

班長は主に仕事を早くしろとか。その日に契約した仕事は全部しなければなりません。

早く仕事をしろと言って、ご飯を食べるときも一緒に連れて行ったのですか？

そうです。出るときも一緒に出て早く、早く昼ご飯を食べに行こうと。

小遣いのようなものは貰わなかったですか？

もらわなかったです。

家に手紙は出しましたか？

手紙、一切しなかったです。

したらいけなかったですか？

いいえ、することはできました。でも私がしなかったです。

夏になって空襲が多かったですが、工場は攻撃されましたか？

それはなかったです。捕虜がいるので絶対に爆弾を落とさなかったです。

捕虜を釈放しなかったのですか？

ああ、それはわかりません。解放されたあとにアメリカの物資がとてもたくさんきました。

解放されたことはどうしてわかりましたか？

12時前です。ラジオは聞こえませんでしたけど、仕事を中断させました。事務室から出て休めと。少しして中止だといいました。それで止め、その時解放が。

日本人は泣いて言いましたか？

そんなことは全くありません。

日本人の男たちは年をとった人でしたか？

年をとった人です。若い人はいなかったです。若い人は全部軍人でしょう。

解放されたから、家に帰れと言いましたか？

日本人が、ですか？ かれらも帰るといいました。それは良いことでした。

戦争が終わったからですか？

そうです。戦争が終わったんだと。降伏したといって泣いたのは全くなかったです。

近所の村から工場に出退勤する人はいましたか？

特になかったです。

解放されてすぐに家に帰ってきましたか？

15日ほど経ってからです。仕事を少しづつし、食べるものはたくさんくれました。

新潟から家までどのようにして帰ってきましたか？

その時は順番。工場に知らせが来たのです。新潟の工場の韓国人は何日に出発と。その工場は何日に出発するようにと順番にしたのです。でも、釜山への連絡船に乗れない、船に乗れない。二日間は人で混むというのです。少ししたら私たちも行かなければならないのに、混むのは嘘かもしれないと思いました。ダメだといわれても「今日が行く日だ」と、ぴったりにその日に出ました。荷物を用意して駅に行こうと。でも道で止められました。「それは嘘ではない、本当だ。だから二日間だけここで泊まって出発しろ。そうしたら釜山行きの船にすぐ乗ることができる。列車から降りれば船に乗ることができる」と。我々は、嘘や騙し話を聞いていたので、怖かったのです。あいつらが韓国人をみな殺すというわさを聞いていて。そんな怖い思いがあったから、これはいかん、すぐ行こうと出して出ました。そしたらすぐ食べられるように煎豆袋と少しのお金に旅費、どれだけか今は分かりませんが、渡されたのです。そこで、駅に行こうと出発しました。そうして、駅で〔列車に〕乗りました。

何の駅ですか？

覚えていません。それは新潟の駅でしょう。列車に乗り、降りました。下関に着いてみると本当に船がありませんでした。二日後に来いと言ったのに、もう来たのかと言われた。そう言われると我々にはことばがありません。それで仕方なく馬小屋で二日間、寒くないので馬草をしいて寝ました。そして港に行き、密航船に乗ってきました。連絡船ではなく、木船です。50トンほどの。

その船に何人くらい乗りましたか？

少ないです。15人ほど。

そうしたら、初めに一緒に行った96名がみな乗れなかったでしょう？

乗れなかったです。各自で、その時は。

帰るとき旅費をくれましたか？

そうです。一人前から、どれだけか引いて少しくれました。

船の主人は日本人ですか？

朝鮮人です。麗水から来た人です。

それで閤船に乗って麗水にきたのですか？

麗水に到着すると白米のご飯をくれました。解放されて帰ってきたといって。

麗水から瑞山まではどうやってきましたか？

列車に乗って。お金を出して。

洪城まで来てそのあとどうやってきましたか？

洪城でまたバスに乗って。瑞山に来るのに乗って。その時、瑞山では徴用に行った人の家族が全部出ていた。瑞山停車場の車部¹¹⁹⁾に。

おじいさんの家族もでてきましたか？

いいえ、出てきませんでした。家に帰って会いました。

月給を全部渡したら使ってしまうので渡さないで貯金をしていてあとで渡すという話はなかったですか？

そんな話はありません。

それではなぜ月給をくれないといったのですか？

その話は聞かなかったです。一切お金の話は。説明があったか？皆どう思ってたのか。戦時だから、これも戦場のように無賃金で仕事をしなければならない

119) 車の始発や終着のための集合所

とだけ思っていた。我々がお金をつくって韓国に持って帰ろうという気持ちはなかったですよ。死ぬと思っていたからだよ。「いつかここにも爆弾が落ちてみんな死ぬのだ」と。

当時おじいさんよりもっと若い人はいましたか？

もっと若い人もいました。

もっと年上の人は？

50になる人も。

月給を家に送ってくれることはなかったですか？

いいえ、全然ありません。

貰ったものと言えば、最後に旅費をもらった他にはありませんか？

それしかありません。

日本に行かれた後はここではどんな仕事をされましたか？

私はガラスの仕事です。それを専攻しました。

解放後に習いましたか？

いいえ、その前に習いました。日本に行く前にも仕事は皆習いました。

京城へ行っていましたか？

はい、ちょっと俸給をもらって家に送るために弟も結婚させて、妹も結婚しました。行く前はそうだったんです。でも日本に行ってもしようと思ってもどうしようもなかったですよ。

では、京城にはひとりでおられたのですか？

はい、一人です。



≫ 青海工場で作ったカーバイドに水を入れて発生するアセチレンガスに火をつけて灯火に使った。これはカーバイドと水を入れて使うカンデラ(調査1課李秉熙調査官撮影)

でも徴用状が出て、帰ってこられたのですね。逃げようと思ってもいつか一度は行かなければならないから、帰ってこられたのですね？

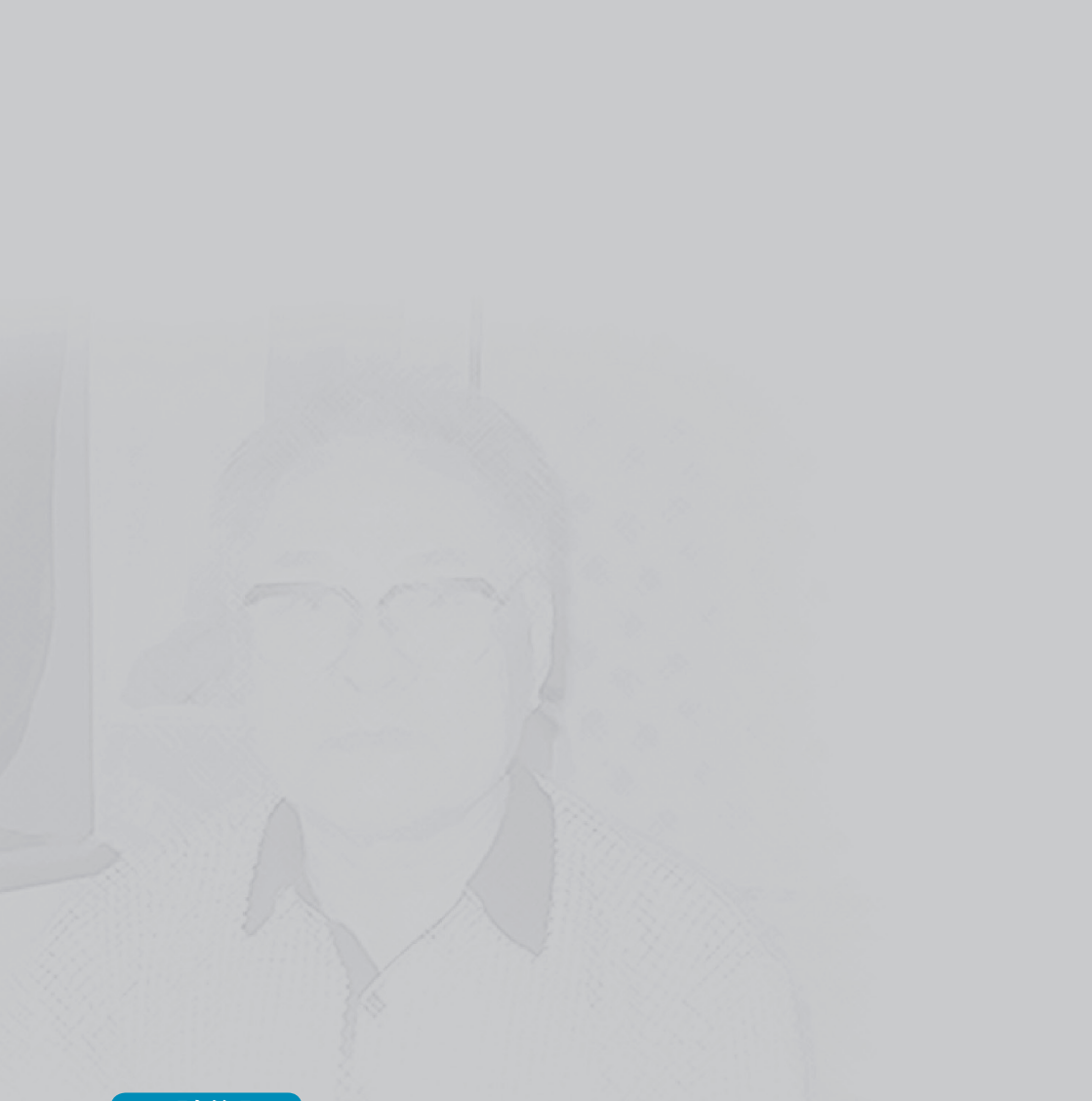
はい、弟の代わりに行かなければならないです。

日本の工場に行ってお金を一銭ももらわないで苦勞されたのですね？

大変苦勞をしました。そこでは大変苦勞して。私よりもももとの同僚たちはひどい目にあいました。石ころを掘る人たちは雨ふりでも休まず仕事をしました。カーバイドを焼くんだが、山で〔石灰石を〕採る。山でまず石を砕いて、落とす。そしてそこで穴をあけてまた爆発させて。これくらいずつに分けて、そのまま入れて乗せるのです。〔そして工場で〕カーバイド〔を製造する〕。

面談・校閲：李秉熙調査官 1次聞き取り文作成：沈スンア

編集、推敲、注釈：鄭惠瓊課長、李秉熙、権美賢調査官



◆面談後記◆

2005年10月18日、忠南瑞山市浮石面、口述者の自宅で口述面談を実施した。おじいさんの体調がよくないので、面事務所に出てこられなかった。そのため、直接口述者の家を訪問したが、思いのほか、ご病気には見えなかった。おじいさんは聴力がよくなく、大きな声で質問をしなければならなかった。おじいさんは返事をたえず文語体でされ、調査を受ける人の姿のように感じ、雰囲気が固くごちなかった。けれども当時の記憶をよく話され、病院で仮病をつかったこと、帰還のときカバンを失ったことなどのエピソードも話して下さった。

急に火の玉が落ちて来て



金鳳来 (キムポンネ) 男、81歳

1926. 9. 26. 忠南瑞山郡地谷面華川里で出生
1943. 面書記によって動員。新潟県所在、電気化学工業株式会社¹²⁰⁾カーバイド生産工場に動員される(20歳(数え年))。日本語が可能で班長になる。(証言から、動員年は44年後半とみられる)
1945. 解放後、貯金した通帳と退職金をもらって密航船に乗る。釜山に到着し、汽車に乗って家へ帰ってくる間にカバンを失った。

日本には何歳で行かれましたか？

20歳、結婚もしてなくて。独身の時です。

どのようにしていくことになりましたか？

その時は行くだけだった。覚えていない。面事務所から無理に送られました。その人たちも誰かを決めて行けというのが難しいので、手あたり次第引っ張っていくのです。その担当者が。

何人がいきましたか？

何人？ 日本の工場に何人、行ったのかと？ 100人です。面内[郡内]で100人。結

¹²⁰⁾ 電気化学工業株式会社。〔以下、注92と同じ〕

婚している人も。若い人でも結婚していた。あ、その時は誰でも捕まえていきました。引っ張っていくのですよ。引っ張って。

どこに集められましたか？

瑞山の邑の中です。邑内のどこかの旅館かな。あ、忘れた。その旅館で泊まって、次の日に行きました。次の日に瑞山の初等学校に全員が集合し、行ったのです。シンソクヒョン(新潟県)¹²¹⁾に向かった。募集係が日本から来ました。

集合して何をしましたか？ 行事のようなことはしましたか？

何かの行事はなかったです。そのまま人員を把握して、連れていきました。人員を把握し、他の話はなかった。「皆さんは新潟県のどこ、どこに行きます」。こう説明して連れて行った。瑞山の初等学校から釜山に行って、釜山の宿舎で一泊し、次の日に行きました。

瑞山から釜山まで何に乗って行きましたか？

列車です。瑞山で、いや、ちがう！ 洪城に行って列車に乗ったな。それから日本に行きました。船に、連絡船に乗って。新潟県に行きました。新潟県の会社前で降りました。列車がその前まで通っていたから。

船に乗って降りたのはどこですか？

船に乗って降りたのはどこか？ シモノセキでしょう、下関。そこから新潟県まで。その時は列車に乗って行きました。

到着したところは何をしている会社でしたか？

日本〔電気〕化学工業株式会社。面から行った100名がみな同じ会社に行きました。行った者の中で、朴ノ〇を覚えています。朴ノ〇、李セン〇、李フン〇、この3人しか覚えていません。今は。

121) シンソクヒョンは、韓国読み



≫ 電気化学(株)・青海工場周辺
略図

会社でおじいさんはどんな仕事をしましたか？

そこに行って？ みんな同じ重労働をしました。その時、内勤と外勤があって、外勤に行く者と内勤する者に分けた。それで私は内勤をして、他の人は山に行って外勤をしました。外勤の勤務は何をしたかというと、その工場のカーバイド原料¹²²⁾を生産しました。私は内勤の勤務をしました。

それでは内勤の勤務は何をしましたか？

カーバイドを生産するのです。外勤はカーバイド原料〔石灰石〕を山に行って調達する仕事をし、内勤がカーバイドを生産するのです。

では100人を別の部所に分け、仕事をしたのですね？

ふた所、両方に分けてました。内勤、外勤に。それで私は内勤をした。別の人は外勤に行きました。

122) カーバイド、〔注102と同じ〕

当時、日本語ができましたか？

日本語？日本語は一等です。そのくらい、よくできました。学校は簡易中学校をでました。当時日本語ができない人もいましたよ。それで私が通訳をたくさんしました。私がそこで班長もちょっとなりました。ここで行ったときから。1個の班が50人の班長。ほかの班も50人にして、班を5個の班に分けました。いや？3個の班だったか？一班が40人だったか？いや、30人だったか？そんな感じです。一班が。

では、班長はどんなことをしましたか？

班長は、単に人員を把握し、出退勤の状態に関心を持つのです。一緒に仕事に行けるように準備し、朝点呼を準備し、また帰ってくる時の点呼を準備するのです。引率者はいました。日本人一人が、私の上にはいました。

では、出退勤を示すことができましたか？

ああ！それは行く時に一回、人員を掌握し、事務所に報告してから行ったのです。

おじさんの宿舎はどうでしたか？

宿舎？宿舎は韓国人用の建物がありました。我が国の人ばかりを募集し、垣根まで作って逃げられないようにし、そんな生活、拘束生活をしたんです。

宿舎はどうなっていましたか？

宿舎は飯場のような労働者合宿所の建物を作って、宿舎にしていました。一部屋に15人ずつだったか。

仕事は何時から何時までしましたか？

出退勤の時間は朝が8時、夕方が6時です。通常、私は昼と夜の仕事をしました。交代で夜間班と昼間班とがあって、一週間に一回ずつ交代します。夜間が5時に行って朝6時に交代するのです。正式に仕事を始めるのは夕方の6時です。仕事に入って、その次の日6時に出てきて。そのように2交代で、12時間仕

事をするのです。

ご飯はどこで食べましたか？

食堂でご飯を食べるのですが、日本人がご飯をくれました。ご飯はただ食べるだけです。一週間に一回、1合くれました。おかずはたくわん何切れかとみそ汁と。他におかずはありません。

休みの日はありましたか？

休み？ 休みはありません。日曜日と同じで交代するので、休日はありません。日曜日は半日交代で入って。普通は朝入って、夕方出てくるのだが、日曜日は朝10時頃に入ります。若干時間が1時間ほど、余裕があるのです。そのように出入りするので、休みはありません。

では、会社の外に、見物に出ることはなかったのですか？

出られる？ 出られませんよ。垣根もあるし。垣根の中だけで、住むようになっているし。外出・外泊は全くありません。外出できないようにして強制的に置いておくのです。そのまま日曜日もその宿舎の中だけです。そこで座って話をして、寒かったら部屋に入って。そんなものですよ。休みはありません。

監視をする人はいましたか？

ああ、監視というか、出入の門に一人。部屋から出てまっすぐいくと、すぐ事務室の前を通過するようになっていました。出入口が事務室の前を通るようになっていて、出られません。夕方になれば、行く所もなく、道も分からない。だから、出入りはできません。

月給のようなものはもらいましたか？

日当が1円です。一か月仕事をしたら30円。月給はその通りにもらいました。でも貯金しました。貯金しないとだめでした。貯金しろと強要したのです。「後で家へ帰るとき持って帰れる」と勧めたのです。私はお金といえば、家にただ

200円送っただけです。貯金もしたこともなく、することもなく。

家に手紙は出しましたか？

手紙はいつでも好きなだけ出すことができました。ここで送るものは郵便局で検閲して日本に手紙が来たら、やはりそこで検閲して。

初めに行く時、何年間仕事をするという話を聞いて行きましたか？

期限？どんな期間があったのか？そのまま漠然と行ったのです。期間もなくただ行っただけ。24か月の間、送るということで行ったのです。でも期間になったとして、倭国〔日本〕が返してくれる？ 韓国人をみな返せば、会社が倒れてしまう。なんとそこに500人もいたのです。

日本人は何人ほどいたのですか？

日本人もちょっといました。でも大部分は韓国人です。日本人はほとんどいなかった。韓国人はそこに約500～600人いて、日本人は50人にもならなかったですよ。日本人は年寄りばかりで若い人は一人もいない。そして娘たちが出勤していました。日本人の男はいません。みんな戦争に出ていて。それで韓国人に仕事をさせ、日本の娘にはちょっと軽い仕事、やさしいことをさせた。カーバイドを生産するのに、鉋車を引っ張り出して押す、こんな作業は熱くて、熱のために仕事ができません。やけどをしない人がいるか？ その人たちの足の甲や服に火の玉が落ちて。だから怖いし危険であって、とても危なかった。

カーバイドはどのようにして作るのですか？

カーバイドを生産するって？ それは鉄タンコ〔タンク〕¹²³⁾に、限りなくタンクに近づき、2万50¹²⁴⁾〔2万5千〕ボルトの電気の入っているところに、石灰と石炭と混ぜてスコップで投げ入れるんだ。そうしてそいつを戻して、カーバイドを取り出す。

123) 鉄のタンクの意味と推測される。

124) 2万5千の間違いとみられる。

有機合成分野への進出 - 化学品事業の有機的展開

世界恐慌後の経済混乱期や第二次世界大戦下においても、当社は食糧の安定供給に欠かせない肥料の生産を使命として一途に経営を行うことで、さまざまな苦難を乗り越えてきました。

そして戦後、当社は化学品事業において様々な展開を図っていきます。まず昭和20年代の戦後復興のなか、当社はカーバイド法によるアセチレン系有機化学の分野に進出。建材や接着剤の需要増に応え、酢酸や酢酸ビニル、塩化ビニルなどを事業化するほか、カーバイド生産での余剰石灰石の有効活用のため青海工場でセメント事業を開始しました。

さらに昭和30年代には、石油化学の勃興に対して、アセチレン系有機化学事業の競争力を高めるため誘導品開発を積極的推進。昭和37年(1962年)、工業化が難しいとされたクロロブレンコムを国内メーカーとして初めて自社技術により企業化に成功。当社の技術力に対し、内外から大変高い評価を得ることができました。



電気炉から溶融されたカーバイド



クロロブレンプラント(青海工場)

》》 電気化学(株)のホームページには強制動員に関することは全く書かれていない。

おじいさんはその取り出す仕事をしましたか？

我々はタンクで混ぜるんだ。火で。それが火の塊で、熱くて…。

怪我をしなかったですか？

その時やけどをして騒いだ？ 傷跡がみな消えた。40～50年になるので。40～50年がなんだ？ 解放が60年前ではないか？ 60年前の話であり、解放された後、治りました。

解放されたのはどのようにして知りましたか？

そこで解放を迎えた。その時放送をしました、日本人が。放送があったあと、日本人はもう休戦だといった。でも韓国人は仕事を続けました。解放後も帰ってくるまで。そして帰るのも手続きを踏んで出て来たら連絡船に乗ってきたんだけど、我々はそうすることができなくて、帰るといってみんなで今の言葉で言えば、デモをしました。貯金通帳を取り返して、食料を4、5箱持って下関で

食べて寝ました。当時船があったかな？ 順番に乗っていただけないのに、それができなくて密航船に乗って帰りました。私は密航船に乗って、残りの人は密航船に乗らないで順番に定期船に乗って帰りました。

解放されて何か月後に帰りましたか？

解放されてその年に帰りました。9月だったかな、8月15日に解放されたでしょう？ 9月に帰りました。

会社から家に帰るとき、貯金通帳と集めていたお金は全部くれましたか？

通帳ですか？ それは全部取り戻してきました。それをもらわなければ騒ぎが起きますから。ホホホ。

ではお金はどれほどもらいましたか？

日本から帰るとき？ もらったものはなくて、仕事をした労賃をもらって自分たちが貯金した通帳、それらを持って出てきました。密航船に乗るとき。その時のお金で300円持ってきました。

その時一緒に乗った人たちを覚えていますか？

今生きている人はいます。その時、定期船にいつ乗れるのかわかりません。1か月かかるか、2か月かかるか、定期的な船は多くなく、そのまま密航船に乗ってきました。それで小さな船に乗ってきましたが、風波にあって苦労しました。それである島に無事について帰ってきました。船がひどく壊れて、その船を直して帰ってきました。当時、船がないので、直してその船に乗らなければなりません。それで海に一週間と半日留まっていました。帰るのに一週間と半日かかりました。

それで釜山に到着しましたか？

はい、釜山に到着しました。釜山に来たら、道別になっていました。忠清道、江原道、慶尚道… どこかな。道別に全部、旗がさしてありました。道別に列車に乗って故郷に帰るのです。私はそこで引率者になりました。そうしてその人た

ちを引き連れ、列車を幹旋し、洪城まで帰ってきました。そこから瑞山に来ました。日本に行く時に一緒に行った人たちとは一緒に帰ってきませんでした。皆が混じって帰ってきました。

おじさんが班長だったじゃないですか？班長をすると他の人と何か違うことがありましたか？

班長も他の人と違う事はありません。他の人とも一緒です。

会社から逃げた人はなかったですか？

会社から逃げた人は一人か二人いました。違うところに行きました。その人たちが行ったところは分からない。囲いの中で20、24ヶ月を耐えていました。逃げた人の行方は不明です。その人たちは他所へ行って暮らしたようです。

配給のようなものは出ましたか？お酒のようなもの？

配給？そんなものは全然なく、タバコはちょっとくれました。タバコの配給程度です。でも私は、タバコは吸いません。それで友達に全部やりました。仲のいい友達に。

作業服は分けてくれましたか？

作業服もなかったです。自分の服を着て仕事をしました。来る時に着てきたものです。十分な作業服を受け取れない人も多かったです。作業服を十分に受け取っていれば、行く時に着ていた服で帰ることができた。でも、私は服を着て帰ってきました。家から持って行った物を着て、帰りました。2着持って行ったので、それを帰国の服にしてきて帰ってきたのです。作業服は燃えて、穴が開き、着られませんでした。カーバイド生産の火で燃えてブスブス、それに耐えた。やけどをしたのは一人や二人ではありません。だからその服は着られない。

やけどをしたら、会社で治療をしてくれましたか？

治療はしてくれました。病院があります。市内に病院があって、治療はしてく

れた。患者の治療はしてくれました。自分たちがこき使えなくなると損害が出るので、治療をしないといけないわけです。それで病院での治療はいくらでもできましたよ。私も病院生活を6か月ほどしました。

どこを怪我したのですか？

怪我ではなくて肺が悪くなったのです。肺と胃と。そこで嘘をついたのです。初めは病院へ入院をしました。入院をすると、あ、毎日検査をしました。毎日。それで大丈夫だとなると、退院させて会社にもどすというので、すこし嘘をつきました。

仮病をつかったのですね。

病院に行くと体温から測ります。それで病院に向かって、ダッと走って行く。50メートルほど手前まで、走ります。それで病院の前からそろそろと行って体温を測ると「あ、これは困ったね。しまったわ」と奴らは驚く。体温が上がっているから。「まだまだ、まだまだ」、休めとって、休養させると言います。こんな風に技を使って、ちょっと休んだ。大体、仕事も難しく、お腹もすくし。食べるものはたった1合のご飯だけ。それで若い男子が我慢できますか？だから、ご飯も盗んで食べた。

どこで、ですか？

食堂で。ずうとこう並べてある。50名ほどの分が並んでいる。それをぱっと脇に挟んでご飯をもってくる。人はまわりにいない。脇に挟んで立っていてもわからない。内務班に持ってきて食べて、会社に帰って一部は食べて、なにしろ食事が少ないので、それだけでは仕事ができなかったのです。そのようにとても苦労しました。

空襲や爆撃はなかったですか？

爆撃？ ああ、それは頻繁にはなかったです。釜山から下関を越えていく時に、一度ありました。信号がきて、船で避難しました。でも何の避難をしたのか

な？ 船の中で腹ばいになるほかありませんでした。そして会社が一度爆撃を受けました。会社で一人死にました。空襲警報が鳴って避けたが、避けられず、会社でまごまごしているうちに爆撃を受けて、一度か二度、火傷をして人が死にました。そして解放されて、会社の近くに米軍が入ってきました。ああ、その人たちは服のようなものを持ってきてくれ、また毛布のようなものもくれて、寒くないようにして苦労なく過ごしました。それを持ってきた人もいたし、捨ててきた人もいてそうして帰ってきました。

通帳をもって帰ってきたとおっしゃいましたね？

通帳は持って帰れず、現金をくれました。現金をもらってどうしたか？もともと少なく、お金は釜山で換えた。それは、損ですよ。1円ずつ引いて換えたのだから。商売で、そういうふうに変えたんだ。

家に200円ほど送られたと言われたでしょう。家族の人はそのお金を受け取ったとっていましたか？

家にお金を一度送りました。あ、家では受け取りました。その時は、家に母、父と兄が二人いましたが、一人は分家をして、一人は父母と農業をしていました。そうやって暮らしていました。

末っ子だったんですか？

末っ子ではないです。3番目です。弟が一人いました。私より先に徴用に行きました。4人兄弟ですが、私一人が残り、私が行ったのです。〔弟は、〕どこだったか、咸鏡北道だったか？ その時、韓国で募集したのです。徴用と同じようなものです。募集したので行きました。

いつ行きましたか？

それは知りません。私が行った後に、弟が行き、私は日本に行き、それぞれ別々に別れて行った。弟はその時20歳未満で行った。名前は金ポンハンです。

カーバイドの材料を山から掘ると言いましたね？

山にそのカーバイドの原料の石灰山があります。その石灰を採って会社に運搬する。でもその山の名前は知りません。会社の近くでしたよ。距離が、ここから面事務所に行くほどです。ちょっと離れています。〔山の名は黒姫山〕

その山は全部石灰山ですか？

あ、荒々しい大きな山で、それが全部石灰山です。そこから石灰を採って、山で仕事をする人は会社に運搬して、そして石炭も運搬して、石灰と石炭を約3万ボルトか2万5千ボルトの電気釜で煮詰めます。上で煮詰めると下の桶に入り、これくらいのかめに抜き取って、出来あがりです。抜き取る作業をしました。

通帳のようなものはありましたか？

私は持ってきたのですが、無くしました。一文無しになって帰ってきました。それで家に帰ることもできなくて、洪城に10日間、いました。家族はそこで待つように言いました。そうしてお互いに連絡でき、来ることは聞いていたのですが、なかなか来なくて。いつ来るのかとしばらく気をもんでいました。ああ、通帳を失ってしまって、どうするんだ。

2年間、内勤だけだと言われましたが、外勤の方がよかったですか？ 内勤の方がよかったですか？

よいという方はなかったです。同じです。まあまあ良いと言えば外勤で。中は熱くてやけどをするし、仕事は辛いです。

労賃に差がありましたか？

労賃の差はありません。みな一緒です。危険でも人は皆、山に行って、仕事をしようと思いました。あ、空気もいいし、新鮮だし。私のように暑いところで苦勞しないでどれほどかよかったです。わたしは山に行くのは嫌いだったので、内勤に入ったんですが、とても暑くて、閉口しました。火の前なのです、暑くな

いといえますか？ だがら、夏と冬は上着を一つ引っ掛けて、ズボンははいて、カーバイドの火がはじけて煙いし、服に火がついてすぐに燃える。だから自分で布切れを縫って、作業服をつぎはぎにして着ていました。内勤で仕事をする人たちは、苦しかったです。外勤は冬になったら寒いという事は分かっています。休憩室があるので、休憩室に入って座っていればいいのです。それで年をとっている人が外勤に行き、若い人が内勤で働いたのですが、苦勞が本当に多かったです、若者は。

班長は同じ仕事をしましたか？

はい、班長は手当をを少しずつもらいました。手当はその時のお金で20円です。20円ずつくれました、その時。それでも囲いの中にいるので、お金があっても使うところがありません。それで困っている友達が貸してくれと言えば、貸してやりました。ちょっと可哀そうな人にも貸してやったりしたが、返す日には、何も無いよ、返す金は何処にも無いよ？月給を貰っても使ってしまい、全部無くしてしまうのです。手当をもらうのは20円ずつ、きちんともらいました。そのお金を集めてみたら、その時のお金で1000円余り集まりました。20円ずつ集めたのが。

たくさん集めましたね？

1000円なら大きな金額でしょ。1000円であれば、その時の倭政のお金で大きなお金です。それをもって帰ってきたが、とても疲れていて、眠ってしまった。大田にきて、湖南で降りる者たちが服も全部持って行ってしまった。それでそのまま無一文で帰ってきました。お金もトランクに入れて3000円を持って行ったんですが、3000円全部失いました。その者たちが私のトランクを持って降りてしまったのです。湖南の人たちが全部持って行ってしまった。

面談・校閲：高賢嬉調査官 1次聞き取り文作成：韓ヒョンサン

編集、推敲、注釈：鄭惠瓊課長、李秉熙、権美賢調査官



◆面談後記◆

2005年11月22日、釜山市沙下区下端二洞にある口述者の自宅でなされた口述面談である。口述者はぼつぼつと話をしたが、同行者の名前も具体的に一部を記憶していた。陳述によれば、動員地で一緒に仕事をした李チャン〇与李フ〇の2名とは、解放後に邑で会ったという事である。区庁の2名が同行して立ち会ったが、おじいさんの部屋には寝台がぎっしりと詰まっていた。おじいさんは寝台の上に座り、向かいに金美賢調査官が座り、区庁の職員2名と面談補助者の金潤美調査官が同席した

監獄の罪人のように扱われた



金青松(キムチョンソン) 男、87歳

- 1929. 4. 19. 忠南瑞山郡南面堂岩里で出生
- 1944. 9. 日本新潟県所在、電気化学工業青海工場¹²⁵⁾へ動員される
- 1945. 10. 帰国

おじいさんは何年生まれですか？

4月19日です。20年。

故郷はどこですか？

瑞山市竹城洞(当時は瑞山面竹城里)、瑞山面で今は瑞山市だけど。

本籍と竹城洞はちがうのですか？

ここと？(本籍地は)忠清南道瑞山郡南面だ。

¹²⁵⁾ 電気化学工業株式会社。〔以下、注92と同じ〕



≫≫ 戦争末期、'皇国臣民の養成'の目的で普通学校を国民学校に名前を変え、教師も腰に刀を差すことになった

生まれたのは竹城洞ですか？

ちがう。だからその時は、瑞山郡の南面堂岩里、そこで生まれた。

その時、ご両親と一緒に住んでいましたか？

そうだよ。

家族はどうなっていましたか？

兄さんと私。妹はなく、姉さんが一人、兄と姉。

その時、農業をしていましたか？

農業だった。小作をちょっとしていて、自作もして。

おじいさんは学校へ行きましたか？

学校、だからその時は、昔だから、4年生、国民学校よ。その時は普通学校¹²⁶⁾。

学校の名前は何ですか？

学校の名前？南面国民学校。

4年制の学校ですか？

はい、4年で卒業しました。

おじいさんは日本語が上手でしたね？

いや、その時は日本語がちょっとできた。校長も日本人、支所の主任も日本人で、一緒に集まって、話したので。

校長、支所長も日本人ですか？

そうです。その時も一緒に話をした。

言葉も、ですか？

はい、でも、4年を卒業してから家に帰って農業をして、みんな忘れてしまつて。日本に行くと、一言も分からなかった。そこには日本のいろんなところから集まった人たちがいて、九州の言葉、四国の言葉、どこかの言葉もあり、一言も分からなかったです。

人々は全部方言を話すからですか？

ただ、聞きとるだけで。

126) 普通学校。1895.8小学校（小学校令）→1906. 8普通学校（普通学校令）→1926.7尋常小学（小学校令）→1938.3（第三次朝鮮教育令）→1941.3国民学校（国民学校令）→1996.3初等学校

堂岩里に日本人はたくさん住んでいましたか？

いや、堂岩里には。その時、南面というのが村名だから。校長と支所の主任しか、住んでいなかった。日本人は。

おじいさんは学校を卒業して就業はしなかったですか？

しなかった。そのまま、農業をした。

日本は結婚してからいったのですか？

そう。ここに來た時、上の子が3歳になっていたかな。

結婚は何歳の時にされましたか？

私が20歳の時に。

結婚してずっと堂岩里にすんでいたのですか？

ずっといた。

20歳であれば、村単位で、報国隊や勤労奉仕などはさせられなかったですか？

たくさんあった。その年は分らない。日本に行った年は。

日本に行った年は分らないのですか？

はい、それで日本に徴用で引っぱって行かれて、そのまま、解放後に歸った。

日本に行かれる前の報国隊の話をちょっとしてください？

あ、行っていた。その時は行かなかったら、いう事を聞かなかったら切られる、どうする？ 死ねといわれたら、死ぬふりまでして生きてきたのに。

誰が報国隊を召集して、行くことになったのですか？

それは面長だ。

報国隊に行って何の仕事をしたのですか？

それは、埋め立て作業もあり、いろいろです。土方¹²⁷⁾の仕事だよ。

報国隊は若い男の人だけがするのですか？

そう。

女の人も田植えの時にさせられたことはなかったですか？

そんなこともあった。女たちは。でも報国隊に行って仕事をしたのは、後に解放される頃。その頃、女たちも総出動して、男たちと話す間もない。

おじいさんは結婚されて長女の娘さんと息子さんがおられるが、息子さんが何歳の時に日本にいかれたのですか？

よくおぼえてない。2歳だったか、3歳だったか。

娘さんが何歳だったか覚えてないですか？

年子だったと思う。2歳ちがいよ。

農業をしておられて、日本に行くと、どんな通知が来ましたか？

いや、だから一度、報国隊に行くという令状が来た。とにかく令状が出たら、容赦なく引っ張られて行った。その時は。

誰が令状をもってきましたか？

いや、それは洞・班長。

洞班長が「金青松、令状が来た」と声をかけましたか？

そう。令状を持ってきて、行かなければならないと言い、強制的に引っ張って

127) 土木工事で働く人を示す言葉。

行かれた。行きたくて、行くか？

当時、堂岩里から徴用に行った人は多かったですか？

我々と一緒に行った人は何人かな。でもその人たちはみんな死んだ。

その人たちの名前は覚えていますか？

名前？死んでいるのに、名前をいうの？ 金サン〇という人と、金サン〇、崔ワン〇、崔ジョン〇、金ジョン〇、そして日本に行って、会った人でいま生きているのが二人いて、李チャン〇、李フ〇。

この人たちがみんな堂岩里の人ですか？

いや、竹城洞の人です。

おじいさんは徴用の令状が来て、夫人と子どもを置いたまま、とても心配だったでしょう？

はい、手紙が一度来ましたが、家から来たものでなく、妹の夫が書いたそうです。妻の甥がとても大きなやけどをしたと。ああ、それを聞いて仕事をする気もなくなり、生きて行く気力もなくなった。

令状を受け取るとき、どこに集まれ、どこから出発するという事は言いましたか？

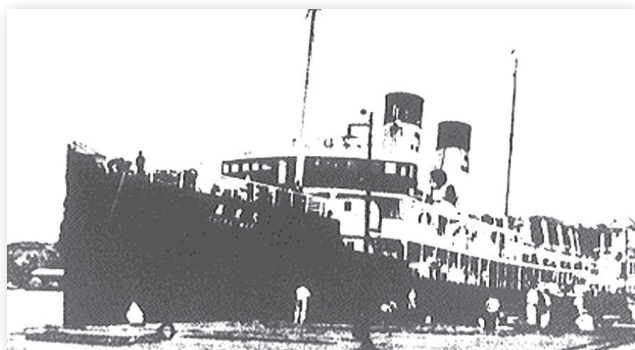
行く時に？そう、面事務所、南面面事務所。

面事務所まで歩いて行きましたか？

そう。それでそこから、泰安というところか、40里だが、40里歩いて行きました。

泰安に郡がありましたか？

いや、泰安面だった、その時。



≫ 関釜連絡船の一つ昌慶丸

泰安から一緒に移動した人たちは何人ほどいたか、覚えていますか？

何人ほどだったかと？ その時、瑞山の人たちが50名、唐津の人が50名だそう
で。

100余名が泰安にみな集まったのですか？

そうだ。

泰安からまたどこに行ったのですか？

泰安から天安に行き、天安から釜山に来た。

汽車に乗ったのですか？

はい、列車に乗った。

そして釜山からは？

関釜連絡船¹²⁸⁾で、新潟県まで行った。日本で降り、列車に乗って新潟まで行った。

128) 関釜連絡船。〔以下注32と同じ〕

釜山からもっと多くの人が一緒になりませんでしたか？

うじゃうじゃと多かったです。多くても、知ろうともせず、知ることもできなかった。とても多かったから。

行く時、引率者が別にいましたか？

行く道を案内する人？それは韓国人ではなく、そこに出てきた人は二人だけ。

日本人ですか？

はい、日本人で。

どんな服を着て行きましたか？

いや、だから関釜連絡船に乗る前に、着せ替えさせられた。国防色の作業服に。

今は、国防色はヨモギ色ですが、その時は黄色っぽいのが国防色でしょう？

そう。そのとき、その色をみて国防色だと思った。

日本の新潟のどこへ行きましたか？

新潟のどこへ。ソドンソン〔西頸城〕郡。そこが新潟県。西頸城郡青梅町¹²⁹⁾。

おじさんが仕事をしたところですか？作業場

名前はとても遠い昔で、ぼおっとなったな。工場だ。カーバイド¹³⁰⁾の製作所、作っているところ。

そこに初めて行ったとき、何をさせられたのですか？

初めての日、泊まらせられるところか？何もくれず、連れていかれただけ。人の

129) 新潟県西頸城郡青梅町

130) カーバイド、〔注102と同じ〕

扱いもせずに。

人としての扱いもしなかったのですか？

そう、この言葉では、監獄生活をする人たちを罪人というが、引っ張られて来た者という扱いだ。農村で農業をしていた人としての扱いでなく、罪人としての扱いだったよ。

むりやり、無視して連れていったということですか？

そう。一言も言わないで。

罪人扱いをどのようにしましたか？

ご飯も。一日に3ホブ5勺¹³¹⁾だったか？ そうして1か月、2か月過ぎるととてもご飯を減らすので、それで固定的にさせる仕事は疲れるし、食べるものはだんだん減らされるし、お腹がすくばかりだ。仕事はきついし。

宿舎はどんなところでしたか？

あ、それは社宅という決まった所。

社宅はどんなものでしたか？

ああ、日本の社宅だと言えばわかるだろう。

学校のように長いものですか？

そんなのもあって。お互いに車座になって話すには良いような。部屋はこのようにずうっとあって、こちらの側にもずうっとあって、腰かけて互いに話をするような、こんな風になっているところ。

131) ホブは量の単位で穀物、粉、液体などの量を図るときに使い、1ホブは1柁の10分の1で約180mlに該当し、勺はホブ10分の1で18mlである。[ホブの漢字は合]

一部屋に何人くらい入りますか？

一部屋に20名。でも何坪かはわからない。

20人が入るほどならちょっと大きいですね？

広くは大きい。この部屋の二倍くらい。

そこに、部屋長のようなものもいましたか？

そうです。ひと部屋に一人ずつ。

その人は何と呼んでいましたか？

パンチョ¹³²⁾〔班長〕と。

その社宅の名前が他にありましたか？

南社宅。

では東西南北は全部社宅で囲まれていたのですね？

そう。すべて。

南社宅には瑞山、唐津の人だけでなく、他の地域の人もありましたか？

瑞山の人と、唐津の人がいた。

おじいさんが行ったとき、すでに来ていた朝鮮人もいましたか？

ああ、いた。1次で来た人たち、慶尚道の人たちだそうだ。

では、おじいさんは2次ですか？

いや、私は3次。

132) 班長のこと

では2次は？

瑞山の人だ。我々は3次。

1次の慶尚道はどこの人が覚えていますか？

慶尚道のどこかわからない。おお、だからその人たちは偉そうにしていた。その人たちが先に来て先輩だといばっていた。

いばっていたのですか？

とても。だからその人たちが班長で、責任者で。

先に来ていた人もおじいさんの時のように100人ほどだったのですか？

いや、それは知らない。

おじいさんの次に4、5次が来ましたか？

はい、あった。

4次で来た人はどこから来たか知っていますか？

全羅道の人たちだ。

全羅道のどこの人たちですか？

知らない。5次も知らない。

そのカーバイド工場に朝鮮人がずいぶんたくさん来たんですね？

我々がいた組が500人で主に瑞山、唐津、慶尚道の人、何人、全羅道の人、何人。

組の名前はなんですか？

いた場所の？いや、一つの組でなくてその社宅で分散していた。

分散していて500人が一単位だったですか？

違う。

到着して訓練を受けましたか？

訓練、約一週間、訓練を受けたかな？

どんな訓練ですか？

いや、だから「前に行け、後ろにまわれ」

訓練を受けた後、工場に配置をするのですか？

そうだ。その次に、その訓練が終わるとおのおの仕事をする場所に配置させる。

おじいさんは何の仕事をしましたか？

原石山、その山から石を降ろしたら、砕いて車¹³³⁾〔鉱車〕に乗せるのだ。

工場の横に原石が出る山があったのですか？

あ、そうだ。とても高く。ここの山よりもっと高く大きいよ。

工場が谷間にあったようですね？

そう、谷間に。原石はカーバイドの原料です。にぎりこぶしくらいの石を焼いて。

焼くのですか？

おお、焼いて、我々が試験しようと手でつまめるほど冷めた時、取り出し、水をさっとかけると、その石が普通の石のように冷めるのではなく、サッとふくれる、このように。

133) 鉱車。炭鉱で使うものは炭車という。

粉のようにサッとひろがるのですか？

はい、こんなに広がる。

そうしたら、粉になったものを集めるのですか？

いや、そうしたら、それを工場に、鉱車に乗せておき、ガスロン車〔ディーゼル車か〕がそれを引っぱって行くんだ。

ガスロン車はガスで動く車ですか？

ガスで動くようだ。

その車で工場に持っていくということですか？

ああ、それを引いていき、カーバイド工場でそれを粉碎する。そのため、続けて鉱車に一杯にしなければならない。連続して鉱車を連結させておいて、そのガスロン車で引っぱって行く。

おじいさんは鉱車が工場に行けるように、砕いて乗せる仕事をずっとされたのですか？

そうだ。

朝鮮人はみんなその仕事をしたのですか？

いや、なかで仕事をする人は、もともと体が弱くてできない人は、なかで仕事をした。一番うまくいかないのは、天気の良い日だが、一番の苦役だよ。雨具を着て、石を一日6トンずつ乗せるのが、一人当たりの割当量だ。それが基本のトン数だ。

6トンより多く運べば、お金をもっとやると言いましたか？

楽な仕事もあることはあったが、目で見て、できる人にさせた。一日の基本を6トンと計算するのではなく、6台の車だ。6台の車に乗せる、一人あたり。でも6車に乗せると時間に不らずに遊んでも、何も言わなかった。アイゴ、そういう

こと。一人でスコップやその時、その人たちの言葉で…、ミツグワといった。鉄で作ったミツグワ。それで6トン車を乗せると、その日は遊んでも何も言わない。その全量を乗せられなければ、暗くなっても仕方がない。その全量を乗せられるまで、仕事をさせるのだ。それで6時。朝の6時だと、とてもしんどい。それで朝ごはんだとって少しくれるのを食べて、また山に引っ張っていく。

山に仕事に行く時は何時頃終わりにになりましたか？

終わりはない。6トン乗せたら、終わり。

そしたら、夕方全部できなかったら、ずっと仕事をしなくてはならなかったのですか？

ああ、そうだ。あいつら。ひどい監督に当たった日は、死にそうだ。

監督たちはずっと見ているのですか？

いや、見ているというよりも、札というトタンに番号が書かれたものを10個ずつくれて、車を受け持ったらそこへ一つ通す、それは私がしたという印です。6個を満たしたら、その日は時間が残っても、何も言わないのです。

10個を渡されたら、10個しろということですか？

10個まで。もっとしたら、お金をもっとくれるという事。でも誰がそんな力がある？ 6トン満たすのにもたいへんなのに。車の間に挿すところがあるけど。こう挿しておくとその前にガスロン車でずっと引っ張っていく。

日本人も一緒に仕事をしましたか？

あ、日本の奴はいなかった。監督だけした。

工場のなかでですか？

工場の中には日本の女、若い女も少しいた。

日本の若い女は何の仕事をしていましたか？

雑夫の仕事をしていた。そこでカーバイド、「それを移せ」、「石を置いておけ」などの仕事。大きな車1トンに乗せたのを、ガスロン車で運び、一つずつ押して行って、それを使うところへ送るんだ。

日本の女たちの年はどのくらいでしたか？

年をとった人もいたし、そこにも勤労報国隊という学生たち、各工場へと送られた報国隊がいた。

その日本の女たちは何日来て仕事をしましたか？

そう、子どもらは工場からも来て、各学校からも来て、何日かを任されて、その日を満たしたら帰って、また来て。

おじいさんはその日本人と話ぐできましたか？

ああ、できた。

恋愛する人はいなかったですか？

恋愛しようとしたら、いくらでもできた。でも、食べていけるかわからないし、何の感覚もないし。女なのか、男なのか、女がいいのか、そんなことに興味が向かない。なにしろ、お腹がすいていたから。

そこに捕虜はいなかったですか？

ああ、米軍の捕虜はいた。

捕虜も仕事をしましたか？

我々とは別の仕事、場所が与えられていた。一緒にいなかったから。

捕虜たちはどのくらいいましたか？

朝鮮人よりは多くはなかったけど、約15日、20日過ぎると場所を移していた。

でも日本人は悪い奴らだ、米軍の捕虜はすごく大きいじゃない？ 日本人は小さいし。列を作ってずっと連れていくのだが、足が揃わなくて乱れると、その列の前の先頭から最後まで頬を殴るのだ。ああ！それほどひどいのだ。日本のやつらは。

米軍の捕虜と話をしたことはありますか？

あ、あるよ。その人たちも辛かった。タバコはくれないし、ごはんもちょっとだからとても空腹だ。そばに行くと「タバコ、タバコ」という。それでこっそり一つずつ抜いてやると本当にありがとうというんだ。それが日本人に聞こえると殴られる。あ！その時思ったが、韓国人もかわいそうだが、米軍の捕虜もかわいそうだと思ったよ。何がかわいそうかという、先頭であってもどこに立っていても、一人だけ足を乱したら、止まらせて足並みがそろうまでやり直させるのだ。

米軍の捕虜たちは工場の中と外を、15日間隔で、仕事をしていたのですか？

はい。

おじいさんも15日仕事をしてまた他の所で15日仕事をするということでしたか？

いや、ちがう。一回配置を決められたら、最後までその仕事をしなければならない。

米軍の捕虜は？

米軍の捕虜にはそうしないで、韓国人にはそうさせた。

さっきおっしゃった金サン〇、崔ワン〇、崔ジョン〇、金ジョン〇さんたちも一緒に仕事をしましたか？

うん、だからそこで。でも、そこは雪がたくさん降る、雷の音が聞こえると雪

崩、高い山から滑る音、とても大きな雷の音がする。その人たちは日本の方に向いて唾も吐けないといった。日本に行ってきたから。

李チャン〇与李フ〇とは同じところで仕事をしましたか？

はい、でもその人たちはもう皆死んだよ。

朝鮮人には配給としてタバコを少しずつくれたようですね？

あ、そうだ。成年になってからくれた。未成年にはそれもくれなかった。

小遣いとか月給はくれましたか？

あった。月給はあった。

どれくらいくれましたか？

それがどれくらいなのかわからない。

ひと月分ごとにくれましたか？

そうだ。ひと月に月給をくれた。月給くれたが、本来どおりくれない。必ず、お前どのくらい使うかというので、申請をした。その金額が大きかったら、多いといってくれない。

月給がでたら、その中から使うお金を申請し、申請しただけをくれるのですか？

いや、それも我々が欲しければくれた。申請したといって全部くれるのではないんだ。家にも送るのだと。だからお金を持っている必要もないという。買ったてべるのも食べ物があってこそ買える。成年になってタバコを吸う人は配給されたが、タバコを吸わない人は隣の人に売ったりした。

外出はしませんでしたか？

あ、しなかった。工場の外には全く出ることはできないようにしていた。逃げるといって。

逃げる人が多かったのですか？

いや、多くはなかった。

工場の外に出て隣の村に行ってみたことはありますか？

ないね。

では工場と宿舎だけを行ったり来たりするほかなかったですね？

自分の作業場、工場、そこに行くとか、それに行く時は一人では行けない。引率者がいて連れていく。そして帰ってくるときも引率者について帰ってくる。そのように苦労させられた。

その引率者が点呼をしなかったのですか？

しないはずがない、朝夕したよ。

出退勤や6トンを満たしたというを確認する台帳のようなものはありましたか？

そうだ。それはあった。そして朝5時にご飯だといってちょっとずつくれた。それをもらって食べて、6時に現場に行ってカードを打たせた。

紙で作ったカードですか？

はい、紙のカードを出した。そこに打てば、6時なら6時、そうでなければ6時前にも打たされた。その時、その時間どおりに。そうして札（表札）を裏返しておけば、終わりだ。

退勤する時も同じことをするのですか？

そうだ。退勤する時もそうする。

雪崩がよく起きたと言われたが、それで人が死ぬこともありましたか？

あった。本当にこんなことを言うとは嘘だと思われるが、雪がどんどん積もるので、

その原石を探さなければならない。それで発破¹³⁴⁾をする。それでそこから、土と石を運び、一人前として6車ずつに乗せ、日課が終わる。だから寒いと6車分できる人がいない。とにかくお腹が一杯でないとできない。もともとやりたくはない。

作業場では事故がおこることが多かったですか？

ああ、多かった。とてもたくさん雪が降るから、溶けるのも多いから、服を着てその雪に会くと雨にあったようになる。

雪に会うとすぐに溶けるのですか？

おお、雪がすぐに溶けて、ざあざあと流れて、韓国人も日本人もとにかく雪の降る日は雨用の服装をしていくのだ。

雨の服は何でできていましたか？

だから、草で。韓国の村にある蓑¹³⁵⁾のようにつくってある。アイゴ、そこで仕事をして生きて帰ったのも才能だよ、とにかくそれを言えばきりがない。苦労したよ。

解放されたのはどうしてわかりましたか？

いや、米軍が先に言ったので。でも8月14日までは、日本人は思いどおりに米軍の捕虜を扱っていた。少しでも間違えば殴ったりしたが。15日に12時になると、すぐに工場から捕虜たちを集め、もう解放されたと。

捕虜たちが集まったのですか？

おお、そうだ。もうわれわれも自由だ。日本人の側も捕虜たちが通るとピタッと敬礼をして。

134) 発破。発破装置。導火線装置をして爆発させるように作ったダイナマイト

135) わら、カヤの類で編んで腰や肩にかけて巻き付ける雨具。主に農村で仕事をするとき雨が降ると使用していたもので、内側は編み、外は葉などを垂らす。

日本人が、ですか？

はい、とても恥ずかしい。会うと、間違っていたという。敬礼をして。そんなのを見るとあきれるよ。法とはそれほど恐ろしいものだなあと。

朝鮮人は？

朝鮮人は解放されたかどうかわからない。米軍は自分の国に帰るのでどれほどいいか。それで捕虜たちは知っていたようだ。8月10日頃、米軍の横に行くと、「もう少し、もう少し」、ちょっと我慢したらといってくれた。彼らは知っていたのだ。

解放された後は仕事をしなかったですか？

しない。軍需工場だけ、仕事を廃止した。農業の工場は続いて仕事をさせると。それらをちょっと減らしてさせるのではなく、前のまま。その前のまま。アイゴ、ひどい奴らだ。野郎め。

おじいさんがおられたところは軍需工場ですか？

いや、農業工場だ。〔当時、電気化学工業は軍需工場であり、カーバイドは農業にも利用された〕

仕事が廃止されたのはどうしてわかりましたか？その工場の横に他の工場があったのですか？

とても近くにあった。

おじいさんがおられたところは農業工場で、他の工場は軍需工場でしたか？

はい、カーバイド製作所。

解放されてからも続けて仕事をしましたか？

そう、した。

解放されていつまでその仕事をしましたか？

解放されて、一か月した。

解放されてから、いつ家に帰らせるというそんな話もなかったのですか？

しなかった。しない。解放されてから、一か月もしたかな？「次の日、朝鮮へ返してやる」、そんなことをいった。そしてとにかくもっと仕事をせよ。ご飯はだんだん少なくなった。

解放されたのに、朝鮮人は抗議しなかったのですか？

異議を言ってどうする？異議を言えば受け入れてくれるのか。

米軍はどうでしたか？

ああ、米軍は8月15日の午前に各工場から集まって思い通りに。飛行機に何か物品を乗せて、落下傘で降落としていたよ。米兵たちに食べると。

それで一か月仕事をして家に帰るとき、どのように送り出してくれましたか？

それで、そこから約50里になるかな、そこまで送ってやるといったのに、話がすまない。もう一か月仕事をして行けと。そこで、デモを起こした。韓国人同士がパッと集まった。あちらもどうしてもできないようだった。その時、巡査が前と後に立ち、少し進むと、戻れ!と言った。更に2周すると、そこでまたそう言ったが、両側で阻止され、自分たちの力ではどうしてもないと諦めた。その時から韓国人を相手にできないようだった。どうしてもなかった。そこで貯金をしていたのを出してくれといった。貯金をいくらしていたのか、どうしていたのかは、向こうが勝手にくれたのでわからない。

旅費のようなものはなかったですか？

あ、なかった。何もなかった。

貯金したお金もくれなかったですか？

はい、貯金をちょっとだけくれましたが、いくらかも知らない。

そのお金を受け取ってどこへいきましたか？

もらって下関へ行った。下関から関釜連絡船¹³⁶⁾で送ると。あちらの話ではそうだったが、下関へ来たら、送ってやる、来いとか、行けというのは何だったんだ？人が多く密集していた。韓国人がまわりを囲んでいた。あちらだって対応ができない。みんな行けと。解放されて、みんなが連絡船に乗るところへ集中したので、こわい。そこで間違ったら踏まれて死ぬ。限りがない。九州、博多に行く連絡船に乗ってもいいし、密航船に乗ってもいいと。それで博多が残っていたので、それで来た。アイゴ！朝鮮人が本当に多かった。その時は。

博多まで会社の人が送ってきてくれたのですか？

アイゴ、いいや。

下関までだけ送って来て、その後は各自がかってに帰ってきたのですか？

ああ、それでここでかっとなり、あちらでかっとなり、あいつらぶん殴って帰ろうと言ったら、みなそっと避ける。日本人の野郎は我々を思い通りにしたので、われわれに殴り殺されそうだから、どうしようもないでしょう。何の保証もない。集団でとびかかって殴ったらどうする。あいつらはあらかじめ分かっていたから、逃げた。

博多に来てどうなったのですか？

そうして博多へ来て、二晩泊った。それでもまだ席がない。次々に集まるから。その時連絡船が2円40銭だったか、韓国へ行くのが。それである人が韓国へ行こう。一緒に行こうといって今度は密航船にのった。密航船に乗るのが150円ずつ。その時の150円といえば大金だ。米1斗が1円40銭だから。

136) 下関と釜山を結ぶ航路

その密航船には何人が一緒に乗りましたか？

だから対馬に降りてみたら、20人ほどかと思っていたら500人ほど降りた。その密航船から。

中間の対馬に寄ったのですか？

いや、博多から密航船に乗ったら「18時間で釜山につく」と。でも今でいう台風218号〔号数はママ〕に会った。途中にその218号の風。韓国に秋に吹く風があるだろう。218号。海の真ん中で会った。アイゴ！それで前に行き、後ろ行き、また横に行く船は、波の上をずっと上がれば天にあがるようだった。波が高く18時間で釜山に着くといったのに、18時間で対馬に着いた。アイ！波のために行ったり来たり。それで対馬で2日泊まった。そこには朝鮮人が住んでいた。

対馬に、ですか？

おお、それでそこで一日二日ご飯を買って食べて、そこでまた50円ずつだったか、また出した。そして、釜山に着き、「ここが釜山の埠頭だ」というので、歩き出た。足を水につけて足を踏みしめて「とうとう韓国へ帰ってきた、とうとう朝鮮の地に来た」と本当に大きく息をした。そしてここまで来ると、できるだけのことをしなければ。列車に乗ってでも。

釜山でも人が多かったですか？

おお、でも日本人が50名はいた。新義州かどこかに住んでいて来たと言いながら、お宅たちどこから来たのかと言った。新潟県から来たというと「あ、雪が多い」、新潟県には雪がたくさん降るとか。そして絶対家に帰れるだろうとか。その日本人は韓国にいる日本人たちをよく礼遇してくれと、私たちも日本に行ったら朝鮮人を礼遇するからと言った。

朝鮮にまだ残っている日本人に会ったら礼遇してくれといったのですか？

そう。2時間以上しゃべった。

さっきおっしゃった人とも一緒に来られたのですか

あ、ばらばらだった。何名かは一緒に来なかった。だから人はまかり間違えば置いておかれる。思い切って乗ったんだ。誰か案内者がいた。ごった返しのなかで。

釜山から瑞山までは汽車に乗ったのですか？

おお、帰るときは苦勞した。家に帰るときには苦勞も苦勞ではないが、「自分の故郷に帰ってお父さんお母さんにさえ会えばもうよい」という思いになり、辛いのも辛く思わない。

徴用に行ってきた人たちが区長¹³⁷⁾や面の職員たちに「お前たちのために私たちは苦勞した」と村から追い出すとか、そんなことはなかったですか？

私が住んでいたところではなかった。おお、噂では「お前のために仕事をしてきて死ぬところで生きて帰ってきたんだ」と、「刃物を持ってとびかかった」「棒を持ってとびかかった」、こんな噂をきいた。

ところでその村ではそんなことはなかったですか？

ない。我々はそんなことはしなかった。

解放になったあともその人たちがそこで仕事をしつづけましたか？

そう、すぐに代わってできるか、それでしていた人がずっとしなければならぬ。

帰ってくるとき、怪我などはなかったですか？

帰るときは怪我したか、わからない。足の甲だ。山から石を降ろしているとき、足の甲を怪我して、二か月ほど苦勞した。

日本で、ですか？

日本で。

137) [注94と同じ]

そこで病院に連れていってくれなかったのですか？

病院はあった。あったけど、そのときあいつらの話では、医術がよいと言ったが、ここのヤブ医者よりもだめだった。

おじいさんは本当に具体的に記憶しておられますね？

記憶力はだめになった。この近所にもわしのように日本に行ってきた人がいるか？

面談・校閲：金美賢調査官 1次聞き取り文作成：チョミンジョン

編集、推敲、注釈：鄭惠瓊課長、李秉熙、権美賢調査官

船がないから闇船で帰ってきた



朴基成 (パクキソン) 男、89歳

1919. 7. 10. 忠南瑞山郡浮石面芝山で出生¹³⁸⁾ [1918年生まれ]
1945. 1. 日本新潟県所在の鉱山(名前不明)に動員される(28歳 [数え年])¹³⁹⁾
1945. 9. 解放後帰国

日本に行く時、何歳でしたか？

年は、28歳です。28で行ってきたが、正月に行って8月15日に解放されて帰ってきたので、月数でいえば1年にはならない。解放されて帰ってきた。

解放された後に、どのくらいで帰ってきましたか？

解放された後に？ 一か月。陰暦8月14日に帰ってきた。秋夕の前日に家に帰ってきたから。

138) 戊午生まれ、実際には1918年の生まれである。

139) 新潟県の鉱山で米軍捕虜収容所があったところは電気化学工業株式会社青海工場である。ここは鉱山と精錬所を同時に運営した。ここでは主に石灰石を利用してカーバイドを生産した。口述者が仕事をした作業場も青海工場であったと推定できる。

陽暦と陰暦が一か月の差がありますね？

一か月の差だよ。

解放後、一か月後に帰ってきたのですね？

そう。大韓海峡があったが〔帰国することなく〕、働き続けた。解放されたのを知らなかった。みんなは、解放された日から仕事をしなかったのに。

解放されたことも知らずに、仕事をした人がいたようですね？

いや、知っていてもさせる。その日、どうしろと？

今おいくつですか？

89歳です。午年だから、年取ってるでしょ。だから軍人として行かずに、労務者として行ったのです。そのころは軍人の年になったら軍人として行く。労務者は労務者。それで労務者で行った。

日本に行く前は何をされていたのですか？

私は農業をしていた。

結婚はされていましたか？

結婚していた。結婚もその年の正月だったか。結婚して間もなく行った。正月、とにかく結婚したあとに行った。子どもはいなかった。

その時のご家族はどのようなでしたか。

お父さんが一人いて、お母さんは亡くなっていた。

日本に行くと徴用状のようなものが出ましたか？

徴用状が出た。面から、浮石面の小使い¹⁴⁰⁾たちが持ってきた、面の書記たちが。

140) 小使い。官庁や会社、学校、店などで使い走りをさせるために雇用した人。

区長¹⁴¹⁾が受け渡すのではなく、面の書記たちが直接持ってきた。面書記が。

朝鮮人ですか？

朝鮮人だ。

令状を受けて徴用にいったのですね？

そうだ。徴用に行った。強制。

初めに面で集まったのですか？

いや、郡に集まった。

村から何人行きましたか？

私一人。

他の人は？

なかった。面で選んだので。各村から選んだんだ。

郡庁に行ったら、何人くらい集まっていたか？

郡で集まったのは何人なのかって？ 200名くらいだろう。それほど多くはなかった。どれくらいになるか、わからない。面で…。浮石面で。面から行くのは7名か、何人か。姓も知らないし、名前も知らない。白ナク〇という人は一人知っている。一人は月溪里から行った。月溪里の朴さんたちが行った。他に誰か知っている？ 一緒に行って仕事をしたが、長いことしなかったから。覚えているのは、白ナク〇ひとり。

白ナク〇さんはお亡くなりになりましたか？

ああ。ここで生活していたが、生きているのか、死んでいるのかわからない。こ

141) 区長は日帝期の呼び名、今の洞長。里長。〔以下注94と同じ〕

ここに住んでいるが、一緒に行った人で生きているのは、私しかいない。みんな死んだと思う。よくわからないけど。

郡庁で集まってどこへ行きましたか？

郡から洪城へ、そして天安に行ったんだ。そこから日本へ連れてこられた。その人は日本人ではなく、そこで仕事をしている人だ。

この国の人ですか？

韓国人。慶尚道の人。その人が連れにきた。その人と、その人に募集されて行ってきた。天安まで引率されて。

日本のどこに行って何の仕事をするということは言ってくれましたか？

いいや。そのまま行った。何も言わず、どこに行くとも言わなかった。そのまま。

おじさんは日本の名前がありましたか？

わし？うん、日本語で名前を、当時、キソンと言っていた、キソンです。イムラ。

釜山からすぐ船に乗りましたか？

そこで一日寝た。旅館。

人が多かったのではないですか？

何百人になった。でも何人ずつまとまっていたのかは知らない。わからないよ。

一晩泊って船に乗ったのですが、その船の大きさはどのくらいですか？

大きな船。遊覧船のように大きい船、連絡船(関釜連絡船)¹⁴²⁾だ。2階か3階かになる連絡船だ。

142) 下関と釜山を結ぶ船

日本のどこに行かれましたか？

九州。船で九州に行った。そこで降りて、また列車に乗った。そこがどこか？大阪か？とにかくそこから、あのニガタ¹⁴³⁾〔新潟〕に行った。新潟までずっと列車に乗って、そこに行った。日本語で新潟だろう。

韓国語ではなんといいますか？

シンサヒョン¹⁴⁴⁾〔新潟県〕

新潟県ではどこに行ったのですか？

そこから30里ほど行ったかな。いや、山ではない、鉱山だ。その時、雪がすごく降ったので歩いた。そこでは列車には乗らなかった。

歩いて鉱山まで行かれたという事ですか？

ああ、降りるところにある宿舎に行った。

宿舎はどんなものでしたか？

2階建ての家で突き出すように建っていて、全部そのような2階建てで、木でできたもの。3階はなかった。数棟。

ひとつの部屋に何人ぐらい寝ましたか？

寝るところはそこではなく、寝るところは他の違う部屋だった。

2階建ての家ではなく、寝るのは他の所で寝たのですか？

その2階の家はちょっと狭い。大きくなく、狭い。それで寝るところは他にあって、大きな学校ほどの大きさで、そこで寝た。何百人が寝た。そこが寝るところ。

143) 新潟

144) 正確にはシンソクヒョン



≫≫ 山の上から見下ろした現在の電気化学(株)の青海工場全景。谷の全部が工場である

食事はどのようにしましたか？

食事は食事をするところがあった、食堂だ。女もいて男もいて。

ご飯はどのようにくれましたか？

全部準備していた。すでに盛ってあってどんぶりに。

食券のようなものは持って行くのですか？

食券はなくて旅館でご飯を食べるように、食堂へ入るとご飯を食べるところは椅子があって、ご飯の器を持って行って使う。

誰が引率していたのですか？

我々を連れて行った人。

その人が何人ずつ連れていきましたか？

鉱山へ上るときには、約40～60名か、100名ほどになるか、その程度を連れていた。

一部屋で寝るのもそのくらいで寝ましたか？

一部屋で寝るのもそのくらいだった。100名も寝た。そのように作ってあった。

寝るときに、毛布をくれましたか？

毛布は一枚ずつくれた。

到着するなり仕事をさせましたか？

行って、一週間は遊んでいた。教育も特にさせなかった。雪があるのに、教育ができるのか？ その家は2階なので1階は使用できなくて1階が残っていた。雪で行くところがあるか？

雪が解けてからはどんな仕事をしましたか？

雪が解ける前は、鉱山に上る鉱車の列があった所、そこに行くくと電信柱があった。そこを掘れば、鉱車が出てくるという。一か所に20人が、4、5人ずつ3列になって、1車両ずつ掘り出した。かぶさった雪が少ない所を確かめ、雪を落として人が入り、スコップで掘ると鉄路¹⁴⁵⁾が出てくる。鉄路が出てくるまで掘った。

何で掘るのですか？

スコップ、スコップで。

石ころをスコップでどうして掘るのですか？

雪だ。石ころではない。雪だよ。その中から鉄路が出てくる。雪を全部どけると鉄が出てくる。汽車、あの鉱車の鉄路が。そこで、それを一週間した。ごみをとるのか、鉄路を出すのかといって。

一週間、雪かきしたのですか？

うん、だから、ひとりが受けて掘れば、上の方へと踏み上がって。そこで受け

145) 鉄道の線路

なければならない。雪がとても多く降った。

雪がたくさん降って、線路を塞いでいたのですね？

そう。それで我々が行った時には、雪がひとつも降らなかった。あとになって雪がそんなに積もったんだ。

おじいさんが行かれた鉱山の名前は何ですか？

何の鉱山、何の山かも知らないで、新潟の石山？ その石を掘って火をつける。すると熱くなる。そこに水をかければサッと溶ける。石を水に入れたら溶けてしまう¹⁴⁶⁾。

なぜ溶けてしまうのですか？

そういう石なんだ。

水に入れたら溶けてしまうのですか？

うん、一週間、鉱車を押して道まで出し、今度は、鉱山で石を掘るんだ。

石をどのようにして掘るんですか？

どのようにして掘ったかって？そこは大きな山だ。いくら底を掘っても平らにならない。それでずっと坑を掘っていく。掘っていくと傾斜したところがある。そこへ少し入って「ここを掘ればよい」というところを上に向かって掘る。石の山だから土と石、それを鉱車に乗せる。そして坑木をはめる。落ちないように坑木をはめる¹⁴⁷⁾。そして坑の底で、鉱車に乗せる。鉱車がいっぱいになると、次の鉱車に乗せ、またいっぱいになると次の鉱車を受け入れる。鉱車はたくさんある。鉱車を受け取った人は入口まで押していく。そこに石を挽くところがある。掘った石を挽くところがあった。

146) 精錬所の溶鉱炉についての説明。

147) 坑木をたてて坑が崩れないようにする作業の説明

上の方の岩盤が落ちてくるのですか？

続いて落ちてくる。だから鉱車を止めて、落ちてこないように、鉱車を止め、そうしたのです。

それではトンネルではなく、上から、横から掘るんですね？

そうだ。土を選り出すんだ。石に土も混ざっているから。鉱車を押していくと土を捨てるところがこんなになっていた。円形に捨てるから鉱車の先だけが入る。それを挽くところにもっていき、挽く。鉱車は大体四角い。縮めたり広げたりできるようになっている。縮めると開いて砂利や土が全部飛び出す。

後ろに落ちますか？

うん、落とせと言うから。そして石片だけを捨てて穴に落とす。他の遠い所に持って行くみたい。それを引き出して積んで他の工場に持って行く。その工場ですぐに使うらしい。



≫≫ 電気化学の青海工場で原石を運ぶ貨物列車

それで何を作るのですか？

それで、休みの日、工場へ行ってみると、私たちと一緒にいった人で体が弱い人が工場で仕事をしていた。それで休日に行ってみたら、大きな釜がある。火で焚く大きい釜があって、そこに入れる。石の粉を入れ水で洗う。洗い流すのは土、砂で、石ころは石ころのまま出てくる。そうして、その石ころは下の工場で溶かすようだ。それを溶かすために、どれほどか熱くする。火格子に押しつけ、長い棒で混ぜる。米軍の捕虜がその火をつけて、他の方で銑鉄を受ける。その銑鉄を押し車で受け、そのまま載せる。押し車を進めて待っている。

その石山の名前を聞いていませんでしたか？

聞いたことはない。

朝、何時に出て働きましたか？

朝は明るくなったら出た。夕方には無い。

夕方に出て食事をしましたか？

ご飯を食べて朝にはそこに集まって朝会をして、山に行きました。山に行く時もここから連れて行った人が案内する。その人が連れていく。

宿舎と石山はどのくらい離れていましたか？

あまり離れていません。30分にもならない、20分ほど歩いた。

夕方、仕事が済んだら歩いてくるのですか？

そう、歩いてきて。

昼ご飯はどうしていましたか？

昼食は持って行ったか？昼食は持って行って食べた。多分。

休みはありましたか？

休みも日曜日も休むのではなく、長く働いたら一日ずつ休む、抜けるときがありました。そこで休む人が何人かになる、一日にその部屋で二人か三人交代で休む。もともときつい仕事なので。筋力がいる仕事。

お腹はすかなかったですか？

お腹がすかないどころか？ご飯を食べるとき、ご飯は少ししかくれない。豆は食器に半分にしかならないのをくれる。

月給はくれましたか？

月給はくれなかった。いや言葉では、来る前には家に送るといったが、一度も送っていない。あとで帰る時には米2～3樽と、お金は封筒に入れてくれた。その時お金が3万ウォン。その時のウォンは今のお金と同じではなく、1万ウォンが多分今の10万ウォンだったと思う。3万ウォン¹⁴⁸⁾。3万ウォンが入ってた。車に乗ってきた。車は出してくれないよ。私たちが帰る時には。

解放されてどうしましたか？

そこで仕事をしているときに解放されたので、米軍の捕虜たちは仕事をしなかった。でも我々は仕事をした。一か月ほどした。米軍たちは行ってしまった。

解放後も仕事をしたのですか？

解放された後も。続いてしろというからした。それでもまだ帰れないのかと不平をいうと、船がない、人が一度に集まるので船が順番に着かないという。それで「車がないとか、船が着かないとかいうが、押し出していこう」。労務者たちは団体で押し出そうと言ったが、出られなかった。あれこれしているうちに一か月かかった。仕事をしながら思案をめぐらして。

148) 3万ウォンは当時のお金で300ウォン程度を意味する。[30円程度?]

解放されたのはどうして知りましたか？

ああ、米軍捕虜たちがいたから。その日、直接聞いた。

米軍の捕虜たちと話ができましたか？

できなかった。あいつらは工場に行き、われわれは山に行き、行き来していて
かち合う時がある。我々はこっちへ行き、あいつらは工場へ降りて行って。

寝るのは同じところで寝ましたか？

いや、別々に寝た。米軍とどうして一緒に寝る？米軍の捕虜は捕虜なので、軍
の捕虜として捕まえてきた人間だから。工場に入ると見張られていた。

船に乗るのに、どこに行かれました？

それで集まって「行こう」と、そうしなければ帰れない、このままでは出られな
い？しかし警察5人が止めようとした。だが我々が静かにしていられるかい？
5人だったらおとなしくしているが、何百人なので押し出して行った。われわ
れも半分出て、また半分出た。約50名ずつ、100名ずつと集まって出ていっ
た。誰も出ることを止められない。それで、そのまま出ていった。

その前にお金はくれましたか？

いや、そうやって出て、列車があるところまで歩いた。歩いて出て、その列車
を運行しろといった。そこで、米いく梱ずつと封筒を返してくれた。それを
持って列車が来たら乗るといって、列車に乗った。その時、日本の食堂の人
と看護人、男たち、その仕事をしていた人が全部出てきた。多分我々が乗る
のは知らないまま、出てきたんだ、そいつらは。そこから列車に乗って出て
みると、来た時は家があったが、帰る時には家があったかい？みな爆撃をう
け、あの大きな工場の煙突だけが、一つだけ立っていた。そのまま、そこで
崩れないで、それだけが立っていた。で、連絡すると、船がないので乗れな
いということだった。

連絡した場所はどこですか？

下関、ここ。釜山に行くのに。そこまで汽車が着いた。

下関から船がなくてどうしましたか？

船がなくて、続けて泊まった。旅館があったか？その時、8月だか、9月だか。そこには爆撃を受けなかったところがある。無傷の家があった。でも人がいない。みんな空いていた。崩れていたら、入ることはできないが、そこに3日泊まった。それで何に乗ったかな？船はないし、連絡船はない。だから、闇船に乗って帰ってきた。

闇船には何人ほど乗ったのですか？

何人かは知らない、適当に。でも一人にいくらずつか、その時一人当たり1万ウォンずつ、3万ウォンもらった。船賃が1万ウォンだ。それで釜山に出なければならぬのに、釜山に出ないで、釜山の北の蔚山というところに出た。約24時間かかった。夕方出て朝、蔚山に着いた。その時、風も静かで着いた。本当に穏やかだった。よく帰ってきた。風でも少し吹けば、おぼれて死ぬところだ。

蔚山からここまではどのように来られましたか？

蔚山を出ると、ここの青年たちが、お客が訪ねてこられたといって、その村の青年たちが、とにかく全部出てきた。みんなで村に行った。村に行って一晩寝て、次の日の食前に汽車に乗ってきた。蔚山から汽車に乗ってソウルに来た。そして天安に出て、家までバスに乗って帰ってきた。

日本にいるとき、家に連絡はよくしましたか？

多少は連絡した、手紙で。今のように電話があるのではないし、手紙で少しした。

鉦山で掘った石で溶かす鉄はなんですか？

あ、真鍮¹⁴⁹⁾。真鍮だけ抜き取る。大きい。1尺か2、3尺になる。それをグイッとそこから多分切り離すようにして取り出すと、それをぐいと押し込めば、水のところまで来る。平たくなるじゃない。そこでこのように切るようだ。真鍮よ。それで鉄を溶かすところにも行く。道具で鉄を溶かすと、溶けた鉄が出てくる。

そこで親しくした友達はいなかったですか？

わし一人で行ったので。付き合った人、さあな、白ナク〇という人、一人付き合っていて帰ってきた。でもその人も死んだか、生きているかわからない。もう40年にもなる。

仕事をしていて、事故とか怪我をしたことはありましたか？

わしも石を粉砕するところで、そこに行って、二人で一緒にしていたが、鉦車が転覆する事故が起きた。全部コンクリートだから。鉦車にここから積んで行ってぶちまけてくるのだが、ゆっくり押していくのはむずかしい。力がなければ難しい。そこにサッと行って、積み込む。そのときに、二人が事故にあった。鉄の塊を押す仕事は密着して、これをつかんで引きよせなければならない。鉄を熱したのがある。そいつをズボンのすそと両方の足で支えたが、倒れてそこに落ちた。それで頭に怪我をした。そうしたら口から泡がぶくぶく出たそうだ。それでそれを見たのが、そこで仕事をしている日本人だ。そいつらが来て、担架を持ってきて、くくってどこかに行ってしまった。

名前はわかりますか？

名前は知らない。崔さんというのだけわかる。一緒に仕事をしていた人だ。そしてもう一人はちょっと遠い村の人だ。大阪に行ったが、そこでちょっと停止

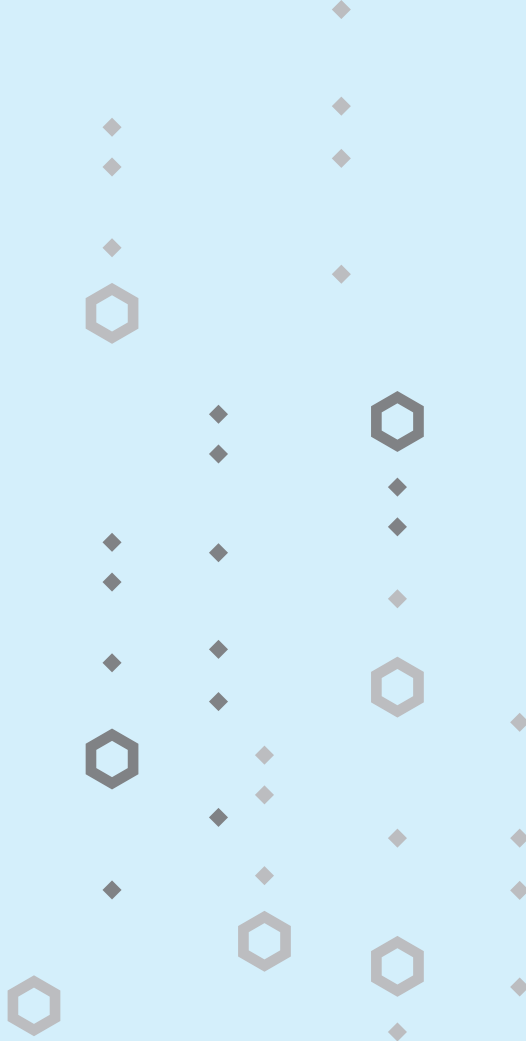
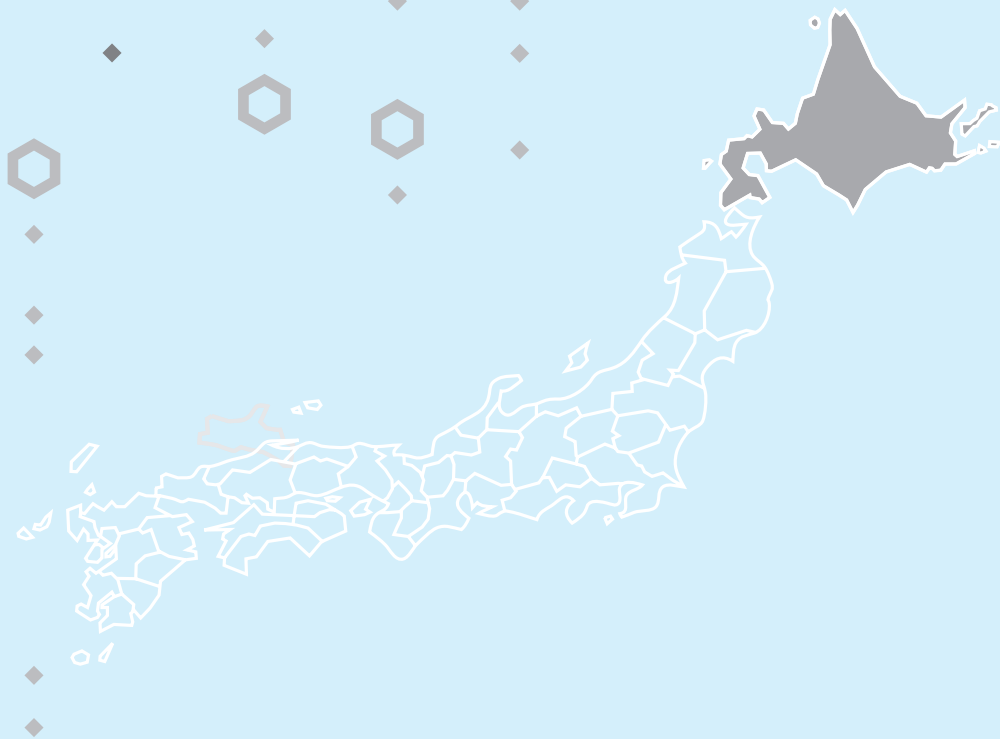
149) 銅に亜鉛を10～15%入れて作る合金。加工しやすさびないので工業材料として広く使う。口述者は銅のことを示しているようだ。

した。少し休んだり乗ったりしていた。そしてまた汽車に乗る時に、汽車に乗らないでござと、降りろという。でも一人が乗っていて、足の片方が落ち、着ていた服が挟まった。それで体も一緒に入ってしまい、そのまま死んだ。轢かれて死んだ。汽車に乗っていたが。でも彼らがその時、なんと言ったか？火葬にして送ると言ったか、わからない。死んだという事を家に伝えたのかどうか知らない。

面談：金澄烈調査2チーム長 1次聞き取り文作成：韓ヒョンサン

編集、推敲、注釈：鄭惠瓊課長、李秉熙、権美賢調査官

北海道





◆面談後記◆

口述面談は2005年12月12日忠南瑞山市禮川洞の口述者の自宅居間で行った。和やかな雰囲気の中で、口述者は比較的詳しくお話してくださった。おじいさんの体と心は健やかであり、面談は容易であった。面談する時、おばあさんと村のお年寄りの一人が横におられた。

零細民で、配給を断つというので仕方なく行った



朴龍源 (パクヨンウォン) 男、79歳

1928. 5. 20. 忠南瑞山郡瑞山面禮川里出生
1944. 7頃 日本北海道所在、北海道炭礦汽船(株)夕張鉱業所¹⁵⁰⁾に動員(17歳)
1945. 解放後帰国

おじさんはいくつの時、日本に行ったのですか？

ああ、17歳になった年の7月。あの、北海道夕張というところに炭鉱があるので。ユウバリタンコ、タンコは炭鉱で、北海道夕張市の夕張炭鉱。その炭鉱で仕事をしました。炭鉱で仕事をし、解放後に帰ってきました。1年3か月かな、1年3か月後に解放になりました。出てきたのは、解放されたその年の12月で

150) 北海道夕張市にある石狩炭田の炭鉱。夕張炭鉱(1889～1970)は北海道炭礦汽船(北炭)が開発した。夕張には、北海道炭礦汽船の夕張、平和の鉱業所、三菱鉱業が開発した大夕張炭坑などがあった。1960年代には20を超える坑があったが、1970年代以降、ガス爆発や海外の石炭の普及のために、廃坑になった。

〔北炭史料『釜山往復』には1944年8月10日に瑞山からの動員者58人が釜山を出港したことを示す記事がある。〕

す。で、どのように出てきたかまで話さないといけないですか？

はい、誰がおじいさんに日本に行けと言ったんですか？あるいは志願をされたのですか？

アイゴ、志願なんて誰がする？ 強制で行ったんです。強制で。だから7月に、その年の7月の前の6月かな？ 令状が。初めに令状が出たときに逃げて、行かなかったのです。行かなかったが、5回か6回か、一か月に2回か3回ずつ令状が続けて出ました。それでも行かなくて家で仕事をしていたのに、逃げるというって捕まえに来るのです。それで昼を避けて人の仕事をしに他所の家に行っていて、夜に家に来るのですよ。ああ、それでも捕まえに。その時も一人で逃げられたら、逃げるよ。ここでその時も、体だけなら逃げたら逃げられるよ。どこにでも捕まえには回れないよ。昔だから。その年、零細民だったから引っぱって行ったのです。その時、夜に来て何か言って。零細民だから、つまり食糧を配給でもらっていた。日本の時は、貧しい人たちに配給をくれていたが、それをもらえないというから。お父さんが年をとって、お母さんも年をとっていたので、そういったのですよ。父母は仕事をできなかったですよ。私が若く、仕事をして食べていたからです。零細民だから配給を受けて生きていたのです。でも配給をあげないというのです。切ってしまうというのです。

おじいさんが日本に行かないと配給を切るといったのですか？

はい、切ると。それで仕方なく行ったのです。瑞山市内で一日寝てから、行けと。だから人が多かった。旅館で寝て行けと。その時、仕方なく行ったんだ。配給を切るといったので。切られたら大変です。簡単に飢え死にする。父母が老人だったから行ったんだ。

その当時、家族はどうなっていましたか？

幼い弟たちも二人いました。父母と弟二人と幼、弟たち、私が長男で。

令状が来て夜に誰かが捕まえにきたと言われたのですが？

小さい時、私は言葉をどもる病気だったのです。それで言葉をどもるのです。

最近、一回倒れて、血圧で倒れてからは、言葉がはっきりしなくなって。で、仕方なく引っ張られて行った、私が逃げているのに、引っ張って行かれた。3年前、2年前に行った人たちは志願して行った人たちが多かったが、なぜ私は行かないで逃げたのかというと、若かったのもあるけど、日帝時代の終わりごろにはそこに初めて行った人たち、3～4年いても帰ってきません。帰してもらっていません。それは、仕事をさせる人が不足していたので。それで、その後には誰も行こうとしません。先に行った人たちが3、4年経っても帰って来ないので。帰って来ないのに行く人がいますか？それで行かないで、逃げようとしたのに、仕方なく引っ張って行かれたのです。

その時、連れて行ったのは誰ですか？

この村では私一人が。瑞山邑事務所、いや、その時は邑事務所でなく面事務所、いや、その時も邑事務所だった。邑の事務所の書記が、担当書記がいました。李〇〇という担当書記がいました。

李〇〇が瑞山の人全部を引っ張って行ったのですか？

はい。その人たちがするのでなく、その時には邑の里長でした。今は洞長というじゃないですか。その時は里長が指示した。だからその人たちは知らないです。

里長が書記に指示すると、書記が動くのですか？

そうです。

配給を切るというのは誰が言ったのですか？

その人が。その担当書記が。李〇〇。

周りにおじいさんのように配給を切るといって引っ張って行かれた人はいますか？

この村で？ ありません。北海道に行って炭鉱に行ったら、私が一番若いようだった。私より一歳若い人もいました。私が17歳で行ったんですが、そこに行っ

てみると16歳の人もいたのです。

日本に何年にいったか、覚えていますか？

1944年、43年だったか？ 44年だったか？ 解放の一年前に行ったので44年でしょう。

瑞山の旅館で一晩寝たという事です、旅館に行く可他にもたくさんいましたか？

いました。

何人くらいいましたか？

わかりません。旅館の部屋がちょっと大きく、ぎっしりいっぱいだったので、多分20人くらいでした。何人か確実なことはわかりません。

知っている人はいましたか？

知っている人は一人もいませんでした。

おじいさんは零細民なので捕まって行ったのですか？

零細民でない人もたくさん行きました。だから、人の小作をしている人、雇われている人を引っ張って行く、弱いものだけを引っ張って行ったのです。ソフン〔서흥〕面に住んでいて15歳になってここに引っ越してきたのです。父母について。だから他の邑の人間だといって差別された。そして邑の里長がそういう人を見くびっていたから、捕まえたのですよ。

李〇〇が日本までついてきたのですか？

いいえ。瑞山から。どんな人か知らないです。李〇〇という人はそこで旅館まで引率して来て、他の人二人が監視していました。夜に逃げるかと思って。逃げられないように二人が監視していました。

日本人ですか？

日本人ではない。日本に行って日本人に会いました。北海道へ行ったんですが、釜山で降りると日本人がピタッと、そこからは日本人(引率)。その時は韓国といわなかった、朝鮮といった。引継ぎをして、日本人に渡した。

瑞山から釜山に行ったのですか？

釜山に行った。

釜山からはどのように行ったのですか？

連絡船という事だけ知っています。釜山から連絡船が行ったり来たりしていたじゃないですか。

連絡船に乗るとき20人ではなくもっとたくさんの方がいましたか？

もっといた。他の人も。その連絡船は、徴用で行く人もいたし、他の仕事で行く人もいて、別の人もいました。別の人もみんないた。その時はお互いに行ったり来たりする日本人と韓国人はお互いにひとつの所に住んでいるのと同じです。だからちょうど行ったり来たりするのでしょう。だからそこに住む人は一度日本に行こうとする人は多いでしょう。でも我々は何人とも何百人にもなるわけです。一度に行くのが。

旅館で監視していた二人の人は一緒に行きましたか？

はい、一緒に行きました。

北海道までですか？

いや、釜山まで。

瑞山から釜山までは何に乗って行きましたか？

何に乗った？バス、いや、トラックだ。〔列車での移動とみられる〕

監視していた二人の人が釜山まで連れて行ったのですか？

監視員が二人。

北海道まで何日かかりましたか？

昼には連絡船が動かなかったです。飛行機のために。その時はアメリカの飛行機を見て攻撃されるといって。それで昼には動けなかったんです。夕方、日が沈むころに釜山からでました。日がかなり上った時に日本に着きました。

降りたところはそこが北海道でしたか？

そこで船から降りて北海道に陸路で行こうとすると何日もかかります。何日もかかりました。行くと東京、東京へ行って三日間見物をさせるといいました。東京へ行ってそのままあちこち引っ張りまわして、あちこち見物させて。今まであんな村に住んでいたので見物するだけのことはあった。三日間見物させて、寝るのは旅館で寝て、ご飯をくれるが味噌がゆ、これくらいの小さなおがずの器に味噌がゆを、旅館で味噌がゆをくれた。ご飯はくれなくて。

東京で見物して北海道までまっすぐ行ったのですか？

はい、まっすぐ行きました。そのあとは東京からまた汽車で行きました。また船に乗りました。北海道、青森だったか、そこがどこか、そこから船にのって越えなければなりません。東京から二日間かかったかな？よく覚えていません。二日かかった後、昼には汽車で、昼にはそんなに多くは行けません。その時は日帝の最後の年でひどかったからです。その最後の年には、昼は普通の飛行機、アメリカの飛行機が行ったり来たりするので。昼には人も出歩けない。だから解放の前に李承晩博士が話をしたそう。韓国人は白い服を着ろと。すると飛行機が爆撃をしない。白い服。その通りだが、白い服があるか？後に日帝の終わりの頃は、日本人も白い服を着た人もいました。爆撃に当たらないようにと。

初めに北海道の炭鉱に行くというのを誰が言ってくれましたか？

誰？北海道へ行くのは知っていた。北海道へ行くといった。

誰が行くと言いましたか？

李〇〇という人。で、3年したら必ず帰ってくると言いましたから。3年ですよ。心配するなど。当時、貧しい人はりんごを食べるのが大変だった。りんごを一つ贈り物として持ってきて、服を一着もらいました。家に直接持ってきたんです。

北海道へ行ったらお金がたくさん儲かるという話もしましたか？

はい、お金が儲かると。韓国、その時は朝鮮といいましたが、韓国で暮らしている零細民はまずしかったのです。お金を儲けるのは難しかったです。農村で農業をする場がなくて。日本に行けば、月給制だと。一か月に一回ずつもらえる。病気で抜ける日は、無いけど。でも、ここ韓国でお金を稼ぐよりは多いでしょう。でも、私はいくらも稼げなかった、初めてきた人は「シンテミ」と言われて。つまり、初めて来た人たちにはお金を少ししかくれなかったのです。

「シンテミ」って何ですか？

初めて来た人という意味です。初めて入ってきた人。日本語で「シンテミ」〔新米、新入り〕という。そうして長くなると、1年ならいくら、2年ならいくら、長くなった人はたくさんくれるのです。それで3年以上、4～5年いた人もいました。お金をたくさん貯めた人は解放後、韓国へ帰ってお金持ちになった人は多くいます。よく貯めた人は。でも貯めないで、日本で夜になると博打をし、自分たちだけで博打もして、お酒も飲んで、そんな人はお金をたくさん使って、貯めることもできなかった。

おじいさんはお金を少し貯めましたか？

1年ちょっとなので、それでも少し貯金し、いくらか貯金して、いくらか使えと家に毎月送りました。

家にお金を送ったのですか？

はい、少しずつお金を送りました。炭鉱から送りました。そして我々はそんなところでお金を使うことも知らない子どもなので、出て行くこともないし、夜は

たくさん食べるものを買った。食事がお米のようなものはお目にかからない、大豆カスです。だからそんなものは食べられないので。出て、買って食べる人は多かったです。そういう人はお金を稼げなかったです。

買って食べる人ですか？

はい、お金を稼げない。着実に生活している人はその時のお金で5000円[ママ]、5000円を儲けた人が最高です。また出てくる時に800円、その時の800円と言えば、それを韓国に持って帰った人は、田んぼのような土地、約2000坪を買いました。で、お金を使わないで韓国に帰っても、一日に2回ずつあがります、3回ずつも。朝いくらか上がれば、昼いくらか上がり、また夕方上がって、毎日、土地代や物価がそのようにあがる時勢でした。

月給はいくらもらいましたか？

何円になるかな。10円にもならなかった。その時10円なら大金だった。もらうときは約1円70銭程度だったかな。

そのくらいなのに、どうやって800円も貯めましたか？

どのように貯めたかって？まじめに炭鉱で仕事だけしたから。

家にはどのくらい送りましたか？

頑張って送って10何円くらい。

お金は通帳で送ってくれましたか？

いいや、家に手紙を書いて郵便で送りました。韓国と日本はその時は通じていたので行ったり来たりして同じだったでしょう。韓国も日本も同じだったから。

貯金通帳もありましたか？

いや、通帳はありません。

保険のようなものには入っていなかったですか？

はい、そんなものはありません。いくら貯金すると、取り扱う人がいくら引きました。いくら貯金したら、いくら引くというふうに、それで貯金を実質的にいくらしたかわかりません。賢くない人だけが残るから。貯金はきっちり引かれて少ししかくれない。賢い人は一番に韓国を出る。だから韓国から先に行った人が先に帰る。後の人は後。われわれは日帝後半だから一番後に帰るので。しかし、最も賢い人は残って人の金を取ってしまう。

利口な朝鮮人ですか？

はい、そこでは韓国人で利口な人が多かったです。愛国者たちもいて、そういう人もいないじゃないですか。行政、つまりここでいえば洞事務所のような所へ出向いて手続きをしてくれた。一銭も取られないようにして、帰した。

利口な人のおかげで、おじいさんも800円を持って出たのですか？

はい、そんな人たちのおかげで、出られた。

月給でなくて解放されたあとに退職金のようなものをもらいましたか？

それですよ。月給でなく貯金したもの。取られたもの。その時は貯金なのか、何なのかわからなかったです。

月給から貯金するといつていくらを取りましたか？

はい、貯金するといつて。

それを後で返したのですか。

はい、そうです。

それで、月給は少ししか受け取らなかったのですか？

それが1円、2円の少ししかならない。それを受け取った。一日の日当です。月給なんだが、月給がそれですよ。仕事に行けない日、病気で行けない日がある

と、みな引かれてしまって。

一か月に受け取ったお金が2円少しにしかならなかったのですか？

いや、一日2円、一日の日当がそう。で、1円70銭を受け取った。一日の日当を。

汽車で北海道に行く時、瑞山から行った20人のほか他の人もいましたか？

他の人もたくさん一緒に行きました。ここ瑞山から一緒に行った人が約20名で、他の所から来た人はいくらか多かったです。全国的に日本に徴用された人は毎日行くのです。瑞山では一か月に一回行くのです。何か月に一回募集して集まって。だから全国的にみれば、たくさん集まるじゃないですか。だから毎日出ていきます。

北海道へ降りると、人は多かったですか？

はい、多かったです。他の人もたくさん一緒に行ったので、どの人がどの人か分からなかったです。大体、徴用で来た人は一か所にいるので何百人ずつになります。一度に行くので。

北海道に到着した時、天気はどうでしたか？

夏に？ 天気はこことほとんど同じです、天気は。でも、北海道は雪がたくさん降りますよ。夏には雨がよく降って、また冬には雪がたくさん降ります。毎日続けて、8尺ぐらいの屋根まで届くときが多いです。でもすぐに溶けます。一日、二日で全部溶けます。北海道は寒いところです。寒いところですが、道が凍ることはないです。凍らないで、灰色です。雪が降って全部溶けてもぬかるまない。雨が降っても土がぬかるまないので。済州島と同じですね。済州島で訓練を受けましたが、済州島は雨がよく降るじゃないですか。よく降っても雨がやめば、黒い土が。風が強く吹くので。それは済州島の話で。北海道は、風は強く吹かないし、山が多いです。高い山が多いです。それで、たいてい山が火山、だから煙が出る、煙突から煙がでるように。そういうところが多いです。

山から煙がいつも出ていますか？

はい、なぜそうなのかというと、石炭が多く入っている。火山が多いという事です〔ママ〕。それでそちらは行けません。その煙が出ているところはよくないので、鉄条網を付けた。行けないように。

北海道に降りた何百名はみな夕張炭鉱へ行ったのですか？

はい？ みな、北海道に行った。そこには炭鉱が多いからです。いろんなところにめいめい。でも私がいた炭鉱はその夕張市にある夕張炭鉱。北海道で一番大きいのです。その炭鉱が一番大きくて、人も多かったです。それで解放になって人がみな帰ったのです。韓国人で団長が一人いました。練兵場に集まって団結して。出るまで、韓国に帰るまで。解放されて、帰るまで。我々は団結した。米のご飯を見たこともなかったので、米のご飯が出るまで。米のご飯をくれるまで、服をくれるまで。服がみなすりきれて、その炭鉱に入ったら靴も服も全部擦りきれてなくなりました。擦りきれて、炭が引っ付いて擦りきれた。服をいいのをもらって、靴もいいのをもらった。日帝の末期には、韓国人はわらじを履いていた。藁を買って持って行き、わらじを作って履いていたんです。日帝の末期はとても困難な生活だった。日本が大東亜戦争する時、日本ではみな若い人は外国に行っていて、見たことがなかった。みんな戦争に行って。韓国人も軍人としてたくさん引き抜かれて行きました。でもそのために女たちが農業をして、男は老人しかいない。農業や、工場のような所、若い人は女たち、男は一人も見ることがない。だからみんな軍人だけのために生きた。軍人だけのために。韓国でも米を多くは持てなかったでしょう？ 供出に出して、日本も米がたくさん出ると、軍人だけが米のごはんを食べた。老人、中年、そうでなければ幼い子ども、そんな家庭には、米の配給を少ししました。それで日本人も、若い女たち、女しかいないから、日本人も米のご飯は見られなかったです。農業をしても、ひとつも家にももらえなくて政府に出したんだ。その人たちは何と言っていたのでしょうか。日本の一般人は「我々は農業を熱心にして国に差し出している、我々が世界をみな占領しなければならない」とそう言っていたのです。



》》 1940年ごろの夕張鉱業所の情景

そんな話を北海道にいたときに聞いたのですか？

はい、外に出るときに。その炭鉱からちょっと出ると、農村。リンゴが多かったです。リンゴ農園が多く、また日本ではジャガイモがたくさん植えられていました。そこはジャガイモがたくさんとれて、春に植えても秋まで、冬がきて、葉っぱはみな枯れても、じゃがいもは土の中にそのまま入っていました。冬まで。

炭鉱から農村まで近かったですか？

近かったです。約5里ほど出たら、5里なら2キロ〔韓国では1里が約400m〕。歩いて2キロ。そこまで歩いて出ました。3交代だったからです。

3交代で仕事をしましたか？

3交代で24時間ずっとではない。仕事をして出れば、ちょっと寝てその辺を歩いて休憩して。

8時間仕事をしたら自由ですか？

ああ、自由？ 遠くまで行ったらだめです。その時間に出なければ、出なければ

いけません。出なければもう、離脱したこととして捕まえられる。その間に必ず来なければなりません。その時間までに来なさい？長いこと出ていませんか？時間内であればいいですよ、そういうことです。

外出して仕事をする前に帰ってきたいのですか？

いや、その次の日に出勤するじゃないですか。

では出勤する前までですか？

そうです、自由です。それまでは。

逃げた人はいなかったですか？

いました。いましたが、逃げるところがないのです。農村以外に行くところがないからです。北海道は特に炭鉱以外には農村が多いでしょう。ところがそこでは受け入れてくれません。だから行くところがありません。受け入れてくれないから、出て遊んで帰ってくるのです。一晩寝て帰ったら、だめなんですよ。

おじさんが炭鉱でした仕事は何ですか？

石炭を掘る仕事です、石炭。我々は若いので、石炭を日本語で、ペルロ¹⁵¹⁾〔ベルト〕というのに乗せた。石炭を掘るのは一人前の者がして、その人たちはお金をたくさんもらいます。石炭を掘るとあふれて、地面にこぼれます。機械でやたらに掘るので、それをスコップですくい取って、ベルトに乗せる、つまりまあ、今の昇降機と同じです。乗せておけば、行くから、乗せておけば。

乗せる仕事をされたんですね？

はい、そうです。そればかりしました。そして木材、木材を担いで入るんです。炭を掘るところの横にベルトローラーというのがあって、炭を外へ運びます。外へ運んで落とします。炭を掘っては移動し、移動した場所にベルトローラーがあり、それによって炭が運ばれて行きます。一人でするのではなく、多くの

151) ベルトの日本語の発音。

人があちこちで掘っていて、外へ出るときまで、縮こまった姿勢です。そうして運び出すのがベルトローラー、昇降機のようなもので、掘るところはそうなっています。坑があると、知らない人はここで炭を掘ると思うけど、このように炭を掘るのではなく、横に掘るんです。そしてここまで、運び出します。炭を掘って、そして掘りつくせば、場所を移す。そうすると、そこが空くでしょ。空けば、天井が崩れるんです。だからまた木で支える。木で支えて出てきます。木材を持って入ることは、機械ではできないから、担いでそこへ入る。そんなことをした。

仕事をするところは危険ではなかったですか？

危険でした。危険です。石炭を掘るところは、間違いなく危険でした。今、話をすれば、掘るところは広くて崩れたら大変です。ここに人がいたら、崩れないようにする。そのため、木でここを全部支える、支えるときも危険です。それで我々は、慣れない人は木の前に来てはいけないといいます。それをする人は、とても長くいる人で、日当もたくさんもらっている人です。危険だから、たくさんもらっている。

事故が起きて人が怪我をしたり、死ぬのを見たことがありますか？

はい、たくさん見ました。その石炭を掘るところは、気をつけなければ。石炭は掘らず穴だけ掘るところがあります。なぜかという、いくらか掘って入ると石炭があります。それでその人は、機械で観察し、ここに石炭がある、ここに石炭があると知らせるのです。そうしてその石を全部掘って、いくらか掘って行くと、そこに石炭がある。そこがとても危険だ。ガスが…、そのまま死んでしまう。ガスが急に出るとそのまま、中で爆発する。ガスが爆発すると危険で、人が真っ黒になり、死ぬ人が多いです。そんなにたくさん死にました。

人が死んだらどうしましたか？

死んだら、きれいに洗い、とても大きい棺に。ここの棺とは違って、裸にしてきれいに洗って、おがくず、かんなくずというでしょ、それが一番きれいだから。きれいな中に入れて僧が来て、念仏をとても長くします。韓国の教会、イエス



≫≫ 日本では人が死ぬと火葬する。寺院では過去帳をつけ、住所と氏名、死亡時の年齢などを書き込む。福島県・いわき町にある長寿院の過去帳の一部(調査1課李秉熙調査官撮影)

教会のように。日本はみな仏教です。死んだらそこにみな入れる。人が産まれたら、みな名前をつける。僧たちが来て念仏を言って、そこから僧たちも火葬場まで行く。韓国人は埋葬するところまでよくやります。よくお世話をして、きれいにもし。けれど日本人は火葬をするから。このように埋める決まりがないです。そして墓石をひとつずつ建てておくのです。碑石にだけ韓国名、韓国人の名前を書きつけて、碑石に。

怪我をした人はどうしましたか？

病院があるのはありますが、近くではないです。遠くの病院へ行くのです。行くのは見なかったです。

炭鉱で日本人と一緒に仕事をしましたか？

いいえ、しません。日本人は監督する人だけ一人、二人だけ、出たり入ったり

する。仕事をする人は、日本人では一人もいません。

朝鮮人だけ仕事をしましたか？

はい、朝鮮人だけ。炭鉱に入る前に、坑に入る前に、事務室があります。その人たちがこうして名前を書きます。いま、誰々が入坑しますと。そして体を調べる、なぜかという、マッチやタバコを吸ったら大ごとだからです。入坑前にそれを調べ、体の検査です。で、その日本人の事務所、全部日本人です。そして協和というのですが、協和〔寮〕¹⁵²⁾があります。寝るところです。

協和会ですか？¹⁵³⁾

そうです。で、そこにも事務室がありました。それも日本人。それで日本語で。私が日本語を思うようにできなくて、少しずつしました。少しずつなので、たくさん通訳しました。

通訳する人は他にもいましたか？

はい、いました、通訳。他にもいました。韓国人で。

その人は通訳だけしましたか？

はい、事務室で通訳の仕事をしました。仕事をしながら通訳をしました。通訳だといって。

事務室に何人いましたか？

約3名しかいなかったです。協和〔寮〕に事務室が一つずつありましたから。

おじいさんの日本の名前は何ですか？

きむらりゅうげん(木村龍源)。きむらが姓でりゅうげんは名前。

152) 団体として協和会を指すのではなく、収容された寮を示す〔協和寮〕。

153) 注64と同じ〔協和寮を協和会と誤認して質問しているが、口述者は協和寮について話している〕

寝るところはどうでしたか？

寝るところですか？ 寝るところは一つの部屋で、ここよりは少し狭い。階ごとにある。真ん中に暖炉があってこんな暖炉。これは暖炉板で、これが暖炉だ。その部屋では寝ないです。

部屋の真ん中に暖炉がありましたか？

はい、これが部屋で、その端が段々になって、このように2人ずつ、一段に2人ずつ寝るのだ。2段だったか3段だったか。ここは部屋の床に。部屋は寝台ではなく、段から少し上に、木で出来た一つの段にあって、もう少し上がるとまた一つ段があり、二つの段階で。部屋なら、ここが入口で、ここが部屋で。

一部屋に何人が寝ましたか？

だから、一つ所に4人、ここがまた4人、そうすると8人でしょ、12人。

一緒に一つの部屋を使っていた人の名前は覚えていますか？

一人もいません。顔も知らないし、忠南の人は見なかったから。

では、どの人がいましたか？

慶尚道、全羅道の人もいたのですが、瑞山で親しい人は全く見なかったです。どこに皆行ったのか、見なかったです。

瑞山から一緒に行った人も夕張炭鉱に一緒に来ましたか？

はい、一緒に行きました。そこまで。

協和寮の他の所に行ってみましたか？

他の所にも行きました。協和寮は多く、他の所にもありました。炭鉱の休みの時、山を一つ超えると、ほかの炭鉱がありました。

その炭鉱の名前は何ですか？

知りません。北海道は炭鉱が多いです。とても多いです。

協和寮は何個ありましたか？

協和寮？さあ、何個あったか、われわれの事務室のところに6個あったか？

事務室がいくつぐらいありましたか？

ひとつ。そしてほかの協和寮があちらに一個、あちらに行っても一個、そんなところはお互いが行き来はできないでしょう。何かをしに行く時だけ行きます。

ひとつの協和寮の規模はどのくらいでしたか？

大きいですよ。倉庫のように建てられていますから。倉庫のように建てられていて、考えてみたら、約30坪、20坪、になるかな。

ひとつの協和寮に部屋が何個ほど入っていましたか？

6個かな。そんなことまで聞くのかい？

夕張炭鉱に何人くらいいましたか？

夕張炭鉱の〔韓国人の〕人員が何人いたかと言えば、5000人は超える。北海道では一番大きな炭鉱だ。5000人だと言っていたが、解放されてから、班長だという人で韓国人だが、演説をし、この夕張炭鉱は5000人だといった。ここに集まった人が解放されたと。

韓国人みな集まると？

はい、それで集まったんだが、全部で5000人だと言いました。

韓国人だけで5000人だと言いましたか？

ああ、韓国人だけで。

おじいさんがそこにおられる時、新しい人たちがまた来たのですか？

新しく？はい、いました。一人か二人。一年の間に。

出て行った人は？

出ていく人はありません。出さないです。

初めに契約のようなものをして行きましたか？

ありません。

言葉だけで3年だと言いましたか？

はい、言葉だけでいいました。

食事はどのようにしましたか？

ごはん？ 初めの15日間は米を少しずつ入れ、大豆かす、豆かすを混ぜて出しました。半々ずつ。そうしてまた15日間は炭鉱に入らないで、軍隊訓練をさせました。15日間、軍人訓練をさせて、それをさせる間は米を少しずつ入れてくれました、ご飯を。そして15日過ぎると、軍隊訓練が終わったといって、明日からは炭鉱に入ると。炭鉱に入る前にご飯を…、食堂があったから。協和寮というところへはいると、米は一つもなく、大豆かすと北海道はフキ¹⁵⁴⁾が多いです。山に行くと、とても大きいフキがある。山は木を切らないといけない。山で100年や100年以上古くなった木はとても大きくなって、下にある木がみな死ぬ。それを切って倒し、間引きをします。落ち葉が腐って堆肥になっている中を歩くと、腕ほどのフキがある。フキの葉は傘になる。雨が山でいつも降るので、その葉一つとると雨に濡れないですよ。それを採って細かく切って、ご飯にします。でも死んでも飢え死にしても、それは食べられない。ご飯と大豆かすを混ぜて、ご飯としてくれましたが、そのフキがとても苦くて臭くて食べられません。それは取り除き、大豆かすだけ食べましたが、小鉢で一杯しかくれないのです。皿にぶちまけるようにくれるんだ。だからそれはフキだけを取り除いて、大豆かすだけ食べるのです。朝食と弁当が出ますが、弁当を坑まで持って行くことはないです。お腹がすいているので、全部食べてしまいます。坑の入口で調査して、なぜ弁当を持たないで行くかと怒鳴られます。

154) フキ。忠清道の地方語でモオデともいう。キク科に属する多年草

では、どうされましたか？

そのまま入りました。どうするのですか。入れないようにできますか？

おかずはなにがありましたか？

そこは魚が。そこでは今は見たこともないニシンと明太。そこは島だから。魚が多くとれる。またクジラの肉、毎日はいれなくて、少しずつくれたときがあります。そして下に行くと、汽車の駅前、そこには食料や魚、そんなものが置いてあった。我々に山ですずっと働いているから、我々に持ってこい、食堂に持って来いという。持ってきたら、ニシンのようなおいしいものは取り出して、暖炉があるので、そこで水で。塩もないが、お腹がすいていたので、そのまま水で煮て食べました。

お腹がとてもすいていたのでしょうか？

とてもすいていました。ご飯も米を見ることもなく、大豆かすだけちょっとずつ食べるのでお腹がとてもすいていました。それで大きくなれない。その時は大きくなる時なのに。17歳なら大きくなる時ではないか。それなのに大きくなれない。

炭鉱におじいさんより若い人はいましたか？

いた。私より1歳若い人もいました。



》》 サハリン現地調査(2005年)。山奥の鉱山の跡を探して入り込むときに見つけた大きなフキの葉。大きいのは傘ぐらいのものもあった(調査1課李秉熙調査官撮影)

年をとったひともしましたか？

年をとった人もいました。

普通は何歳ぐらいに行きましたか？

そこに行った人？ 約20歳、30歳、そんな程度。

協和寮で寝るときその人たちはみなおじいさんと一緒に来た人たちですか？

いや、そこに先に来た人。後で行った人、私も後で行ったので3人が残りました。その時一緒にきました。私は腸チフスにかかりました。解放されてから熱病にかかって、何も食べられませんでした。15日間、何も食べなかったです。その時は米の飯をくれました。解放されてから、米の飯をくれといって。それは砂、砂を口に入れるようで食べられなかった。まだ帰れず、そのまま水だけ飲んで生きていた。最後は死ぬところだった。その病気になって解放前にはそんな病気はなかったです。それで解放されてから熱病にかかった人は多かった。その熱病にかかった人は伝染するから申告しろと言った。申告すれば、その人だけ、置いていくという事だ。でも私のことを協和寮に一緒にいる人が申告をしなかった。死んだと申告し、隠してくれました。我々の部屋ではそんな人はいなかったと。そして韓国に帰るとき、私が汽車の駅まで出て歩けないから、一緒に帰る人が両側から支えてくれて出ました。日本の本土に行かず、船に乗って。そこから船で来ました。釜山まで。

連絡船に乗ってきましたか？

はい、でもそんな病気で起きることもできなかったが、釜山にきて船から降り、釜山の土を踏んだら、すぐ歩けた、よくなって。

解放されたのはどうして知りましたか？

我々は坑道にいました。坑道にいたのですが、外から人が、坑道まで入ってきました。坑道の中まで。「解放された！解放された！」と叫びながら、それですぐに出ました。仕事をやめて。仕事は何だ？ 解放された。

解放されなければずっと仕事を続けたでしょうね？

続けてしたでしょう。坑道の中から歩いて出ようとしたら、歩いて出れば約10里以上です。坑道の内から外で仕事をするとところまで出ようとすれば、10里。約5里、10里、歩いては出られない。さっきペドウロ(ベルト)というのがあったでしょう。それが動いていたから。精米所のように回っていて大きいんです。それが仕事をするとところまで入るのです。さっき石炭をそこに積んでといったでしょう。それに乗せて降りるのです。でもそれも危険です。間違ったら吸い込まれてしまう。昇り降りに乗せてくれない。坑道に誰もいない時に、乗らなければなりません。誤って出る時に、いっぱい炭を積んだところに人が乗るからです。だからだめです。危なくて。出るとき急いで降りなければ、炭をはき出す所にまで行くと死んでしまいます。死ぬのです。解放になった。でも韓国人で留置場に入っている人が多かったです。留置場、韓国人が。仕事もしないで博打ばかりしている人を留置場に入れていました。ところが、解放されると、多くの人が来て留置場から出せと。そして日本人たちが開けずにのろのろしていたら、韓国人が「このやろう、仲間を殺すのか」とこん棒でたたいて、事務室を壊して。

留置場の戸を開けろといいながらですか？

はい、そうです。そして撤収、2、3日の間です。軍人たちは武装を解除しなかったです。約2日までだったか、3日まで。

そこに軍人がいたのですか？

はい、憲兵。でもその人たちは解除をしない。北海道まで米軍が上陸し、そこまで来たら解除をします。武装の解除を。そのため〔留置された〕人たちが出られないです。今、すぐに出られるのに。その時はそんな時間がないので。それでも韓国人は、警察が長い刀を差して行き来すると「このやろう、刀を下げてうろろうして」と足で蹴って、放りだすのです。そして憲兵が武装解除をしないので、銃を奪い取って、野郎、殺すぞと。

炭鉱の中に軍人が多かったのですか？

いや、何人かしかいなかったです。追加されて来た人たち、そんな人もいて。

憲兵、軍国主義だから軍人だと言えば、だれも逆らえない。警察も逆らえないし。中国人で徴用されてきた人もいたそうです。何人か。我々がいた協和寮にはいなくて、他の協和寮にいたが、解放されたので、その人たちが日本の家に…、中国人は靴を脱ぐ習慣がないですね。部屋に入るとき。その時も中国人は靴を脱がなかったです。それで靴も脱がないで、日本の家に入って「全部出せ」と奪って、横取りして米なども奪ったそうですよ。韓国人はそこまではしなかったです。米をくれといって、食べて。

炭鉱で中国人がもっとたいへんだったのですか？

同じですよ。同じですが、監視していましたよ。中国人は何人しかいなかったのだから〔ママ〕。

暴動のようなものはおきなかったですか？

いや、いや、解放の前には、日本人には逆らうことはできませんでした。そして中国人は解放の直前にきました。ほんとに直前〔ママ〕。どこから来たのかは、通訳できなかった。

捕虜ですか？

捕虜ではないです。日本は満州を占領していたのが長かったです。日本の占領、それで捕虜ではないです。引っ張って来たのです。引っ張って来て、仕事をさせたのです。

炭鉱の周辺の市内にお酒をのむところとか、遊ぶところがありましたか？

市内？ 市内、夕張市という炭鉱でひとつ…なかったです。話だけ聞きました。約10里行かなければならないと。市内がありました。市内にはいろんなものがあるという事です。市場もあり、食堂のようなもの、そんなものがみなあると。炭鉱でも別を買って食べる食堂がありました。そこへ行って何か食べようと思えば、お腹がすいているので馬肉、そばを煮たもの。肉を少し入れた馬肉の汁、それを食べるのです。それだけ、ご飯もなく。私は買っては食べなかったです。他の人は市場に行って買ってたべました。そしてお餅を買って食べる人は多かったです。

お餅は協和寮に餅売りがきました。でも、私は一度も買って食べませんでした。

おじいさんはなぜ買って食べなかったのですか？

私は家に少し送らなければならない。そこから送らなければならないのに、送れなくなります。貯金をしないとイケません。半分くらいは貯金をしろと。買い食いをしてはお金を貯められません。

家にお金をどのくらいずつ送ったのですか？

約20～30円、そのくらい送ったかな？ それは会社から送りました。そこで調書を書けば、そのまま引かれます。いくらか、月給をもらう時、家にいくら送るのに、貯金はいくらかと言います。でもお金は見たことがありません。お金をどうしたら見られるのか、全部、付けですよ。買って食べるときも、です。〔付けの分を引かれると〕月給のお金はありません。そこで全部引かれます。それで足りない人は次の月に引く、そんな人もいました。

酒やたばこは？

私はしなかったです。他の人は付けで買いました。

配給でくれるものはなかったですか？

その時はタバコです。こんなタバコではなくて、小さいキセルです。タバコを吸うと叩き落として、その火で長くためてまた吸って。

おじいさんは未成年だからタバコをくれなかったのですか？

いや、くれるのでなく、タバコを買って吸うのです。

殴るとかそういうことはなかったですか？

殴らなかつたです。誰も殴らなかつたです。年取った大人の人も殴らなかつたです。殴らないけれど、いわば一日か二日、離脱する人がいるじゃないですか。結局は帰って来ないといけなない。どこにも住むところはないから。その時は、日本

人が殴るのではなく、韓国人で監督する通訳、その人たちが乱暴に殴るのです。何で殴るかというゴム紐、このように広く作ると分厚いので、うつぶせにさせて背中を殴るので、血が出るほど殴る。日本人が殴れと言ってさせる。

通訳が班長ですか？

班長みたいなものではないです。

通訳が仕事もさせて、殴りもするのですか？

はい、事務室で一緒に仕事をしながら。後に解放されてから、我々はその監督者、何と言ったかな。

通訳？

お、その人たちを殴りもしました。韓国人で悪くふるまい、その中でも特に悪くふるまう人がいました。韓国人が韓国人に悪く当たりました。解放され、何人かを殴りました。それが分かって、その人だけを日本から先に韓国へ送ってしまいました。後でそんなことが起きたから、その人たちは全部いなくなりました。

通訳は何人ぐらいいたのですか？

一つの協和寮に一人ずついたので、協和寮が10個なら10名。その炭鉱で約100人になるか。大きな炭鉱だから。それで、その人たちだけを、別に送りました。みな、殴られて殺されるといったので、日本のやつらが。

炭鉱と一緒に仕事をしていた人たちは全部おじいさんのように引っ張って来られた人ですか？

いいえ、志願してきた人たちがもっと多かったです。引っ張って来られた人は解放される一年前頃に、たくさん来ました。その前は、志願してきた人が多かったんです。なぜかという、あの話を聞いていたので。来たら3年で帰れるといったので。3年でお金をもうければ、韓国では金持ちになるといわれ、志願してきた人が多いです。しかし、約1年前、約1年半前、2年前に行った人が帰って

来ないのです。ここでも帰ることができない話を聞きましたよ。帰せないと、不足しているから、強制で引っ張ってきたと。〔帰ってこないのに〕誰が志願して行くといえますか？ だから、強制で引っ張ってきたんだ。

強制で行っても、志願して行っても待遇は同じでしたか？

お金は貰った、お金は貰ったが、強制で行った人は、お金はそれほどない。新兵〔新入り〕だから、お金が少ない、少なくなる。

日本で神社参拝はしましたか？

いや、我々にそんなことする時間があるかい？

では、仕事だけしましたか？

そうです。仕事だけさせる。労務者だから神社参拝なんて。そんなものはなかった。市内にあることはあったが、市内に行けなかったから。

市内に行けなかったのですか？

行けなかった。北海道夕張市だと。私がいたところが夕張市、夕張炭鉱なので。

休みの日はありましたか？

ないです。日曜日はありません。そして休みの日だといえば正月。日本は陽暦の正月。

その日は何をしましたか？

ただ遊んで。陽暦の正月には、日本人でちょっと上の人、何人かが私を見て、まだ若いのにかわいそうだといって、連れて行ってやれと。年始回りではなく、挨拶しにいくと。私に行こうというのでその家に行くと、食べ物を準備してくれて、私は横に座った。私と同年のような子もいたので、こちらにこい、一緒に食べようといった。事務室の事務員たちが何か書いてくれて、うちに行って何かして来いというので行ったのです。その家が近いので、行くと、日本の女がとても人

情が厚かったです。かわいそうに食べに来いと、かわいそうだから送ったのだと
いって、たくさん食べさせてくれました。たくさん食べて行けといって。

どんな家ですか？

普通の家庭の家。協和寮の事務室の男が自分の家に連れて行ってくれたので
す。ときどき行きました。行くとよくしてくれました。かわいそうだと言って。

協和寮の事務室の人とおじいさんは親しかったですか？

親しかったって？ 若いから、かわいそうだと。このように異郷に来て苦労して
いるといって、行くと夫人が食べるものをたくさんくれて、そういつてくれるの
です。人は同じなのに、若いのにこんなところに来て、苦労してと。

日本人と結婚した人はなかったですか？

多かったです。約3～4年は多くなかったけど、たまにありました。

その人たちは協和寮に住んでいるのではなく、他で住んでいましたか？

いいえ、その人は仕事をしに来ているので、昼に出る時もあるし、夜に出ると
きもあるので、時間は多くないです。

面談・校閲：河承賢調査官 1次聞き取り文作成：チョミンジョン

編集、推敲、注釈：鄭惠瓊課長、李秉熙、権美賢調査官



日帝強制動員被害者支援財団



出版参加者

日本語版(2021)

企画・発行

日帝強制動員被害者支援財団

日本語翻訳

日本語翻訳協力委員会

本文訳: 堀内稔、信長たか子

編集・校訂: 李康成、竹内康人、飛田雄一

最終監修

玄明喆 | mchyun79@hanmail.net

韓日関係史学会 前会長、北海道大学博士(Ph.D)

韓日歴史共同研究委員会委員

主要著書:《明治維新初期の朝鮮侵略論》,

《19世紀後半の対馬州と日韓関係

韓国語版(2006)

編著: 日帝強占下強制動員被害真相糾明委員会

企画: 鄭惠瓊、ハン・フンス

責任編集: 鄭惠瓊

面談・録取文の検読: 金滢烈、許光茂、高鳳勲、李秉熙、金美賢、河承賢、
權美賢、高賢嬉

編集・校正: 權美賢、李秉熙